

上尾市立平方北小学校再編検討協議会

協議報告書 別冊資料集

上尾市立平方北小学校再編検討協議会

令和8年3月

目次

1 会議録、会議資料、ニュースレター.....	1
1.1 第1回会議.....	1
1.1.1 会議録.....	1
1.1.2 会議資料.....	10
1.1.3 ニュースレター.....	24
1.2 第2回会議.....	26
1.2.1 会議録.....	26
1.2.2 会議資料.....	41
1.2.3 ニュースレター.....	68
1.3 第3回会議.....	70
1.3.1 会議録.....	70
1.3.2 会議資料.....	83
1.3.3 ニュースレター.....	110
1.4 第4回会議.....	112
1.4.1 会議録.....	112
1.4.2 会議資料.....	128
1.4.3 ニュースレター.....	149
1.5 第5回会議.....	151
1.5.1 会議録.....	151
1.5.2 会議資料.....	163
1.5.3 ニュースレター.....	184
1.6 第6回会議.....	186
1.6.1 会議録.....	186
1.6.2 会議資料.....	201
1.6.3 ニュースレター.....	216
1.7 第7回会議.....	218
1.7.1 会議録.....	218
1.7.2 会議資料.....	228
1.7.3 ニュースレター.....	244
1.8 第8回会議.....	246
1.8.1 会議録.....	246
1.8.2 会議資料.....	254
1.8.3 ニュースレター.....	266
1.9 第9回会議.....	268
1.9.1 会議録.....	268
1.9.2 会議資料.....	275
1.9.3 ニュースレター.....	286

2	協議会基礎資料.....	288
2.1	検討協議会設置条例.....	288
2.2	検討協議会委員名簿.....	290
2.3	平方北小学校 令和6年度 学校要覧.....	291
2.4	通学区域図（令和3年4月1日現在）.....	295
2.5	参考資料の紹介.....	296
1)	上尾市学校施設更新計画.....	296
2)	令和5年度実施アンケート.....	296

1 会議録、会議資料、ニュースレター

1.1 第1回会議

1.1.1 会議録

会 議 録		
会議の名称	令和6年度第1回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和6年7月26日（金）午前10時から午前11時40分	
開催場所	平方北小学校 体育館	
議長(委員長・会副氏名)	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、橋村 則史、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	上村 友佳	
事務局	西倉教育長、加藤教育総務部長、瀧澤学校教育部長、池田教育総務部次長、黒田学校教育部次長、杉木教育総務課長 学務課 吉羽主幹 指導課 玉造副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、欠部主査、樫出主任、矢野主任	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 上尾市学校施設更新計画について ① 上尾市学校施設更新計画基本計画 ② 上尾市学校施設更新計画実施計画 ③ 上尾市立平方北小学校再編検討協議会 (2) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 13名
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和6年9月4日 議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>議題 (1) 上尾市学校施設更新計画について ① 上尾市学校施設更新計画基本計画</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
A 委員	<p>〈主な質疑・意見〉 (基本計画が)令和3年に決定されたことを全く存じ上げていませんでした。風のうわさで平方北小がなくなるようなことを耳にして、どうということなのかと少し不安がありましたが、お話を伺って、学校のイメージとして素晴らしいと感じました。 全体のイメージとしてあるものが、各学校に当てはめるとどうなっていくのかは、これからお話されると思いますが、このお話についてどのくらい皆さんが知っていたのか、具体的なことは一切何もないという状態でよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の基本計画につきましては、上尾市全体での取り組みについて、このような方向性でお願いしたいということでございます。具体的な事柄につきましては、この次にお示しする実施計画で、その具体的なことを検討し始める時期を示したものを作成しております。 結果としましてはまだそれぞれの学校についても具体的な内容は決定していないということになります。</p>
A 委員	わかりました。安心しました。
会長	<p>ほかに何かございますか。ないようであれば、続きまして、実施計画について説明をお願いします。</p> <p>②上尾市学校施設更新計画実施計画</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉 特になし</p>

会長	<p>ないようであれば、続きまして、平方北小学校再編検討協議会について説明をお願いします。</p> <p>③上尾市立平方北小学校再編検討協議会</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
B 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>まず平方北小の再編のことについてご説明いただきましたが、最後の方に再編という言葉を使うということは、この平方北小が、人数や学級数も減少しているため、他の小学校と合わせた形で適正規模を図ろうというのが目的で再編・検討をするのでしょうか。それともそれぞれの学校の特色があるため、現状のまま、もうすこしこういうふうにやっぴょうとかを考えるのが目的なののでしょうか。その目的が結果ありきで行うのでしょうか。</p> <p>最初に「子どもが減ります」「学級規模は適正規模が12から18学級です」と数字が出てきて、「再編を考えましょう」というと、そういう答えが見えてくるように感じます。お子さんの学区を途中で変えたりすると友達との関係もあり、子どもたちの心という問題がすごく出てくると思うので、そういうことも検討しながら行ってほしいというのが説明を受けて感じた次第です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。おっしゃる通り再編の方法については学区の調整や、もしくは統合などを考えております。ただし、そこに至るまでの子どもたちにかかる負担や考えられる懸念事項等について本協議会を通していろいろと検討しながら最適な方法を導き出すというのが狙いでございます。ですので、おっしゃられた方法につきましては検討協議会の中で、皆様からご発言をいただきまして解決する方法を考えながら進めていきたいと考えております。お答えになっておりますでしょうか。</p>
B 委員	<p>多方面から考えられることが一番良いと思いますので、やはり子どもの心を中心に一番に考えて検討していくことが必要ではないかと思っておりますのでよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>その他に何かご質問等ございますか。</p>
A 委員	<p>はい。今、B委員からお話ありましたが、私としては、丸山団地にとって、平方北小ではない場所に行くことになると、通学の距離がすごく気がかりです。</p> <p>この前、橘高校まで上尾市の住民避難訓練で移動した際、多分、平方小学校と同じぐらいの距離であると思いますが、大人が歩いて行って結構「ヒィヒィ」言う方もいらっしゃったりしました。今はタブレットを皆さんの子どもさんが持っていて、ランドセルの中にタブレットを入れて、さらに教科書を入れて、その重さで歩く距離っていうのが非常に気</p>

	<p>がかりです。</p> <p>そういったことを、どのタイミングでお話すればいいのかっていうのがよくわからないのですが、今、言って良かったのでしょうか。何か思ったときに、お話させていただいて構わなければありがたいと思います。</p>
事務局	<p>その都度、様々な意見があると思いますので、そのタイミングで思ったことをご発言いただけるとありがたいです。またそのご発言ができなかった場合でも後日「こういったことはどうなのか」という意見やご質問ありましたら後日でも、我々の方はお話を伺いたいというふうに考えております。</p>
A 委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>(2) その他</p>
会長	<p>今回の内容を含めて、皆さんから今後の進め方とかに何か気づいた点があったらご意見をいただきたいと思いますので、ぜひ何かございましたらご発言をお願いいたします。</p>
C 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>タウンミーティングが5月19日にあり、そちらにも参加しました。そのときに出た意見として小規模の何が悪いのかという意見がありました。</p> <p>私は人が少なかったりしたら、もうなくていいかなと思っていましたが、「小規模の何が悪いのか」「先生の目が行き届きやすい」「学区の見直しが厳しい」という意見等が出ていました。そういった意見もあるのかと思いました。</p> <p>しかし、小規模の何が悪いのかということで（上尾市学校施設更新計画基本計画の）84ページにメリット・デメリットが書いてあって、「1人1人の学習状況や学習内容の定着状況を把握でき、個別指導できる」「ICT 機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である」と書いてありますが、上尾市全体で考えたら子どもの人数というのは変わらないですね。上尾市で ICT の機器、タブレットについて、実施すると決めたら、それは変わらないのに、なぜここにメリットとして書いてあるのだらうと思いました。全員分の整備というのは上尾市で考えたら全体で実施しなければいけないので、それは小規模校のメリットではないのかなと思っています。</p> <p>私自身も通学路が心配と言っていましたが、魅力ある学校に行きたいと思うのはすごく理想ではありますが、命の問題に直結するのがその通学路であったり、学校の耐震性、あとはいじめであると思います。その3つができた上で魅力的な学校になると思っています。</p> <p>通学路を私も歩いてみましたが、やはり重たくて、本当に20分～25分ぐらいかかりました。その通学路の問題なども結局は通学路の見直しが厳しいと言われて終わってしまったので、もう少し詳しいことをみんなで話したり、聞けたら良いと思っています。</p> <p>耐震性については書いてあったのですごく良いと思いました。耐震の時期とか、どうしてできないのか、どうしてやるのかが分かたら良い</p>

	<p>なと思いました。</p> <p>一番私的には直近ではやはり通学路、どうしてこっちから行っちゃいけないんだろうと。私の個人的なことですが、家から平方北小までまっすぐに行くと近いのですが、(通学路では)遠回りをしなければいけなかった。やはりそれは仕方ないとは思いますが、私自身それが嫌で転校しました。どうしても嫌だと言って、(家から)3分の学校に行かせてくれといたしました。その後は楽しく過ごしましたが、やはり子どもにとってはその歩くのがすごい負担ではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。その他何か、これからいろんなところでいろいろ気になったことを受け答えしていくとは思いますが、この場で最初に何かこの点はどうしても議論させたいということがございましたらご発言をお願いいたします。</p>
<p>A 委員</p>	<p>ラフな感じで、みんなで思うことを1人1人の意見をうかがう機会があってもいいと思いますが、どうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今日このような会を開いたので、まず第一回はこのような形でやってみた感想や、この先の進め方の考えがあるようでしたら、皆さん一言ずつという大変かもしれないので、ある方はそれぞれ順番にお願いできればいいのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは事務局の方からご提案がありましたので、ご発言やお考えがいろいろあると思いますが、これから議論を進めていく上でどんなふうにしたらいのかということや、今日の議論の感想などございましたらよろしくをお願いいたします。</p>
<p>D 委員</p>	<p>せっかくの機会なので、感想なども込めて話したいと思います。</p> <p>北小にも子どもがもう6年7年通っていますので、北小の現状というのいろいろと考えていますし、PTAということもあって、先生たちと話したり協力して活動していることもあるので、いろいろ考えていることはあります。</p> <p>数年前には一度北小は統廃合になるという噂みたいなものも1回流れた時期もありましたし、その時期には統廃合になると少し考えてはいたこともありました。それに対しあまりマイナスのイメージは持ったことは正直ないです。</p> <p>やはりメリット・デメリットがもちろんあって、いろいろと難しいですけれども、統合することにもっと前向きになっていいのではないかと私は個人的に考えています。ただその統合の進め方は本当に子どもたちの気持ちに寄り添うのが大事だと思うので、これからそれを話し合っていく部分ではあると思うので、あまり具体的な話をするところではないと思います。</p> <p>いきなりこうですと決めるのではなく、地域に納得いくように話をし、子どもたちにとっても急に転校とかになるとかではなく、地域の子どもの交流を少しずつ進めながら、だんだんと違う学校だけ知っている子だという形が作られながら、一緒の学校になるとなっていけばよいのではないかと考えています。</p> <p>通学路が遠くて大変ということや、いろいろと本当にしょうがないこ</p>

E 委員	<p>となので、飛躍しますが、例えばスクールバスをつくるとか、それぐらいのことも考えながら、いろいろともっと前向きに意見をみなさんで出し合って良いように進めていければなと思っております。</p> <p>子どもが幼稚園くらいの時に、「合併が決まりました、反対をしませんか」というポスティングがありました。市としては一度、平方北小は、平方小、平方北小・平方東小・太平中で平方一貫校を作りますという案が完成していたとは思いますが、それが白紙になったと思います。多分、それは反対があったから白紙になったとは思いますが、これは事実ですか。</p>
事務局	<p>まず最初に作った基本計画の中では再編をしていく案というのをお示しさせていただきましたけれども、決定はしていないものでした。皆さんで考えながら進めましょうという計画を最初作りましたが、その再編案のインパクトがすごく強くて、そのような方からご意見いただきました。そこから見直しをさせていただきまして現在に至るところになります。</p>
E 委員	<p>ポスティングは、反対をしましょうというポスティングでした。市がこういうふうになって決めました、全部の小学校と中学校の合併についての情報が書いてありました。それに対して反対をしましょうという紙が入ってたので、合併するんだと思いました。子供が幼稚園のときだったので幼稚園の保護者と話すと、その紙は来たと言っていました。ちゃんと調べてはいないので、その後に反対が成立して白紙になったと思っていました。市としては合併をしたい前提でこの会議をしてるのか、それとも平方北小は合併とかではなく、通学編成するとか、人を増やして22校の小学校がある状態を保ってもいいのか。合併はありきのこの話し合いなのか、B委員がおっしゃっていたように、それすらもあやふやでスタートしているのか。市としての考えというのは、教えていただけないでしょうか。</p>
事務局	<p>一番に考えてるのは、適正規模になるのが一番良いと考えています。その手法は先ほど申し上げたように学区の調整や統合するなどがあるので、そこについて議論できればと考えております。そのため、上尾市としての方向性は、適正規模にすることです。その手法については明確ではないです。</p>
E 委員	<p>合併ありきでもないっていう考えってことですか。</p>
事務局	<p>合併ありきでもないです。</p>
E 委員	<p>それを話していくということで大丈夫ですか。</p>
事務局	<p>可能性として何ができるのかというところからスタートするという風に考えています。</p>
E 委員	<p>分かりました。ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p>

F 委員	<p>ちょっと情報をしっかり収集できてないところもあったんですけども、合併するしないから、校区などいろいろこれから回数重ねて協議していくところだと思うので今特に大きい意見はないですが、これから皆さんと協議してゴールありきとかいろいろ可能性を探っていきたいと思いますとかいろいろありますけど、全体を見ながら話ができればと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
G 委員	<p>現段階では僕は統合に賛成ですが、学区というか通学路の問題や、平方北小がなくなって平方東小さんとかに行く際の学童や、先生方、空き教室などいろいろ懸念する部分が出てくると思うので、その辺も踏まえて協議できればと考えています。ただ、統合が反対の方とかもいらっしゃると思うので、その辺も踏まえてお話できたらなと思います。</p>
H 委員	<p>学校を統合するか、またはこのまま少ないところで残しておくかという問題があると思いますが、私がちょっと耳にしているところによると、クラス替えもできないので、幼稚園頃までは小敷谷東部に居るが、小学校に上がる時は引越すという意見も聞いています。</p> <p>また中にはよく目が届くため、小さい学校も良いと言っている人もいます。本当にこれは難しい問題だと思います。</p> <p>ただ、第一に考えるのは子どものことだと思いますが、それと子どもさんを預ける先生方のことも考えなくてはいけないと思っています。</p> <p>例えばこの平方北小は他の学校と同じ規模ですが、先生は少ないです。しかし、学校内の管理する内容はどの学校も同じだと思います。少ない人数でやるのはそれも大変です。先生のモチベーションもあると思います。</p> <p>そういうことを考えていくと、また場所にもよりますよね。</p> <p>先ほど言ったとおり、私たちのところ（小敷谷東部）は両方の小学校（大石南小、平方北小）に来ていますが、大石地区の説明会を実施する場合、平方北小は大石地区に入っていないので関係ないんです。平方地区で説明会を実施する場合も、小敷谷東部区は入っていないんです。そういう、私達はコウモリ状態なところがあります。それから、多分聞き違いかもしれませんが、複合ではないが、いろんな施設も一緒に作るという話も聞いていますが、もしこちらが既存の仮に平方東小になった場合、またうちの方の避難所とかもみんな平方地区の方におんぶするってというような形になるのでその辺も議論の1つだと考えています。</p>
I 委員	<p>今日は第1回目の再編検討協議会ということで、ただいま基本計画や実施計画等の説明をいただきました。</p> <p>このスケジュールの通り、2回目、3回目、4回目と情報提供をいただいたり、各論の協議があると説明を受けていますので、それを今日の資料をもとに自分としてどんな意見があるのかを、自分自身で少しお勉強をしておきたいと思っています。</p>
B 委員	<p>先ほどもお話しましたが、適正規模や施設など、子どもたちというところよりも違うところから論点が始まるような気がして、ちょっとしっくりいかないと感じています。先ほどもなぜ（学校規模が）小さくていけないのかと意見がありました。</p> <p>それもそうだし、一定の規模があれば施設として充実するので、子ど</p>

	<p>もたちにとって良いことは間違いない。ですから、いろんなことを考えるときに、今の子たちはどうしてあげよう、これから何年後かに1年生として入ってくる子たちはどうするのかとか、そういう考え方でやっていけないといけないと思います。何かどこかで線引きをするのかもしれないですが、そうなったときに突然今の小学校から別の小学校に行きなさいと、ある種転校みたいな形になったときに、子どもたちの心にかかる負担は大きいと思います。</p> <p>うちの娘は私の仕事の関係で2度ほど転校させてしまった関係で結構つらい思いをさせたというのもあります。ですから、子ども1人1人を考えながら、再編するとしてもどういうやり方がいいのか。再編をしなくてもいいのであれば、対応していく方法はないかというのを、基本方針ありますがもっと協議していく必要があると思っています。</p>
J 委員	<p>座ったままで失礼します。</p> <p>合併問題とか、統廃合問題を小中一貫校についての話し合いの場というのは、多分私は参加したのが3回ありますので、3回以上あったはずです。</p> <p>いただいたこの勉強会の基礎資料について熟読してきました。非常に良くできますけれども、今まで行った話し合いの結果とか方針というのはあまり反映されていないように感じました。教育委員会の方にはその資料全部あると思いますので、そういった個々のものが反映されていればもう少し分かりやすくなると感じました。あと、この資料をベースにしてやるわけですから、話し合いをしていく段取りをこれに沿ってやればよろしいと思います。その方がスムーズに行われると感じました。以上です。</p>
K 委員	<p>先ほど自己紹介の中で触れましたけれども、ここに着任をして本当に皆さんに支えられているというところは実感しております。</p> <p>先ほどご意見を伺いまして、皆さんの言葉の中で子どもたちのためというキーワードはすごく私の心にささっています。こういう委員会が立ち上がりますと、子どもたちの耳にも入ると思います。そうしますと子どもたち何も言わないかもしれませんが、やはり落ち着かなくなってしまうことがあると思います。</p> <p>校長としてはドンと構えて粛々と子どもたちのために何がいいのかというところで、学校経営を進めていきたいと新たに思いました。以上です。</p>
L 委員	<p>こちらの資料の（学校施設更新計画基本計画の）84 ページに小規模校のメリットデメリット、それから85 ページに規模の適正化により見込まれる教育的効果というのが書かれておりましてそちら拝見したところ、概ねその通りだなというところを感じたところでございます。まず客観的データとして、その中でも働く中で私もやっぱり人間関係で小規模校だと、子どもたちの人間関係が固定化してしまうというのは課題として感じています。</p> <p>ただその中で再編を進めるのであっても、先ほどの B 委員がおっしゃられたように、子どもの気持ちを大切にということで、こちらで決めたことを子どもに伝えることも大切ですし、また子どもはどう考えているのかという意見を吸い上げるなど、子どもの気持ちを大切にして先</p>

<p>会長</p>	<p>を見越して進めていくのが大切なのではないかなと感じました。以上です。</p>
<p>副会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>この大きな意見といいますか、各論になると、それぞれの立場でそれぞれの考えが出てきます。だから大変なんですね。</p> <p>ただこの協議会としては、今日の資料の3ページの検討協議会の設置経緯の中で触れられていますけれども、これに基づいて協議していくのがこの場ではないかなと考えています。</p> <p>たった10年であろうと、歴史があり、重みがあります。</p> <p>そういうものをしっかりと1人1人の委員さんが、心に持ちながら、これに則ってこれから協議を進めていくというのが、よろしいのではないかなと思っております。</p> <p>あと私事で申し訳ないんですけど、私が退職いたしました中学校は統合により今はございません。そんなところにも勤めた経緯がございます。</p> <p>今後、いろいろ経験上の話もしていきたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>子どもが第一というのは共通していると思いますが、やはりそれぞれの立場からの意見がいろいろあるかと思っておりますので、今後、協議会の議事に則って議論を進めていけたらと思っております。よろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様他にご意見なければ、その他、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。今後の予定でございますが、先ほどの年間スケジュールでご説明させていただいたとおり、次回の2回目は10月初旬を予定しております。詳細な日程につきましては先日のアンケートをもとに、調整をしておりますので、後日、早めにご案内いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 閉会</p>
<p>事務局</p>	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和6年度第1回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>以上をもちまして、令和6年度第1回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>青木副会長ありがとうございました。第1回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

上尾市学校施設更新計画について
資料

1

【説明・質疑応答の予定】

- ① 上尾市学校施設更新計画**基本計画**について
・説明、質疑応答
- ② 上尾市学校施設更新計画**実施計画**について
・説明、質疑応答
- ③ 上尾市立平方北小学校再編検討協議会について
・説明、質疑応答

2

○検討協議会の設置の経緯

・令和5年3月に改定した「上尾市学校施設更新計画基本計画」

子供たちの学びに望ましい学校規模の維持のため、
各学年単学級の状態が5年以上継続することが見込まれた場合に、
教育的な影響の改善を図るために、地域の実情を勘案しながら
統廃合を含めた**学校の再編について検討**を開始すること。



【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

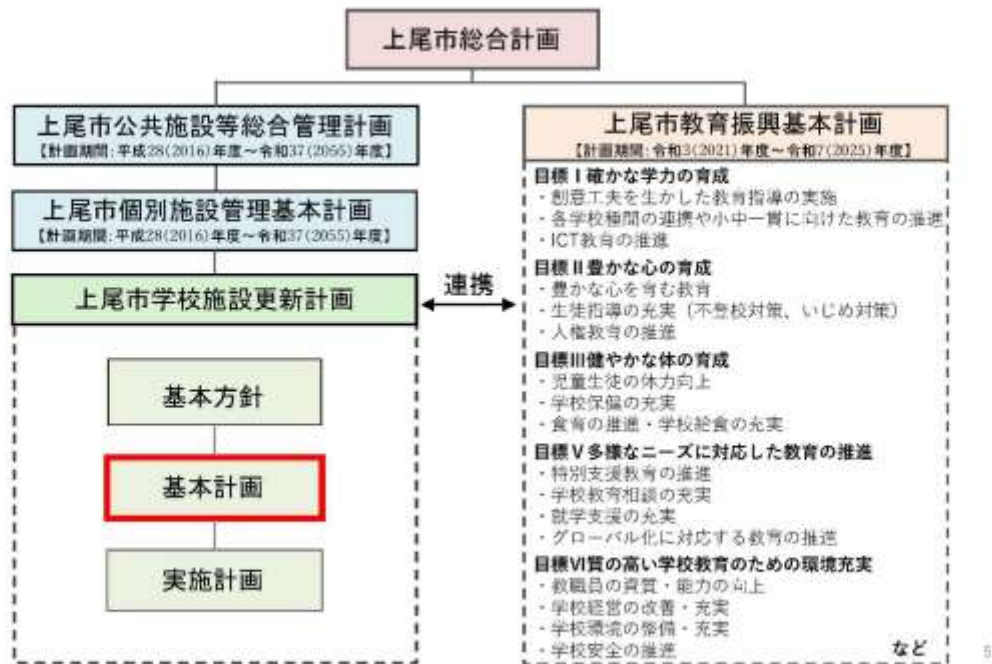
1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

3

上尾市学校施設更新計画 基本計画

（令和5年3月改定）

4

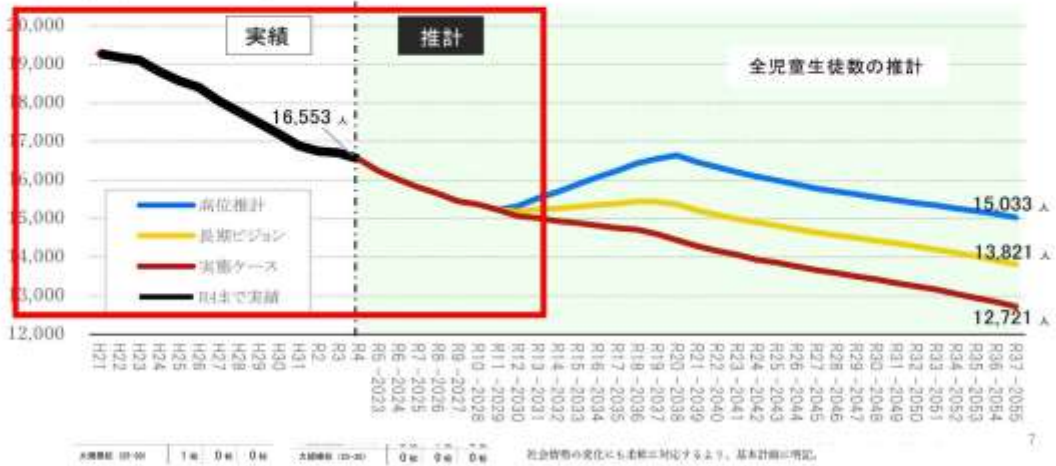


基本計画
概要説明動画



児童生徒数の推計

児童生徒数の推計は、実態ケースでの推計（合計特殊出生率約 1.26）、上尾市地域創生長期ビジョン推計と整合させた推計（同約 1.36）、合計特殊出生率が高位で推移した推計（同約 1.46）の 3 パターンで推計。全体としては減少傾向であるが、学校区によっては横ばいで推移する学校も推計されている。



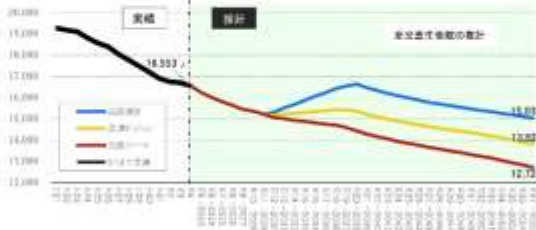
上尾市学校施設更新計画 基本計画 概要

基本計画見直しの Point

- I 総数 35%削減の枠に収められない基本計画へ見直し
- II 教育的観点を中心に基本計画へ見直し
- III 児童生徒数については、実態に即した推計の採用（学校区別の推計も掲載）
- IV 市民、保護者、児童生徒へのアンケートの実施のほか、ワークショップの開催など、幅広く聴取した意見を踏まえた見直し
- V 将来の人口変動等にも柔軟に対応できるよう計画見直しの時期の明記

児童生徒数の推計

児童生徒数の推計は、実態ケースでの推計（合計特殊出生率約 1.26）、上尾市地域創生長期ビジョン推計と整合させた推計（同約 1.36）、合計特殊出生率が高位で推移した推計（同約 1.46）の 3 パターンで推計。全体としては減少傾向であるが、学校区によっては横ばいで推移する学校も推計されている。



学校規模の推計

一部の学校において学級数の増加が見られるもの、全体としては、児童生徒数の減少による小規模化の傾向にあるが、学校区では学級数の減少率の幅に差がある結果が推計されている。

小学校	R4	R20	R37	中学校	R4	R20	R37
水郷小学校 (8-11 学級)	5 校	5 校	6 校	水郷中学校 (2-4 学級)	1 校	1 校	3 校
清正小学校 (12-16 学級)	11 校	14 校	15 校	東の郷中学校 (2-11 学級)	3 校	3 校	2 校
東正徳小学校 (17-24 学級)	4 校	3 校	1 校	東正徳中学校 (12-14 学級)	5 校	6 校	5 校
大郷小学校 (25-30 学級)	1 校	0 校	0 校	東郷南中学校 (15-20 学級)	2 校	1 校	0 校
				大郷中学校 (25-30 学級)	0 校	0 校	0 校

計画のコンセプト 持続可能な教育環境づくり

【実態】 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり（教育環境の整備方針）

「安全・安心」、「新しい学び」、「地域」、「快適」をキーワードに、学校施設の在り方を示し、未来の子供たちのための学校施設の在り方を基盤、地域のシンボルとなる「魅力あふれる学校」の創出を目的とする。教育的効果の向上、シテイセールス・変化促進の模

- | | |
|--|--|
| <p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中利用や利用後まで文化施設の活用を奨励し、健全利用又は防犯の視察を開始。 ・学校を利用するすべての市民の安全を確保。 | <p>【新しい学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北に特化する取組、可変性のある施設、多様な学習環境を整備できる教室空間の創出。 |
| <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携・協働して行うための空間、地域コミュニティの拠点となる施設の創出。 | <p>【快適】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の広さ、学校を利用するすべての人に配慮した施設整備。 |

【実態】 子供たちの学びに寄り添った学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

- 子供たちの学びに寄り添った学校規模
 - 小学校 12 学級以上 18 学級以下
 - 中学校 12 学級以上 18 学級以下
- 学校再編検討のタイミング
 - 小学校は今の学年で「学級換算」の状況が、また、小学校は「学級換算」の状況が 18 以上超えることが見込まれる場合、再編を検討する。
 - 中学校は「学級換算」の状況が 18 以上超える場合、再編を検討する。

【実態】 計画的・効果的な学校施設の更新（学校施設の更新方針）

- | | |
|---|---|
| <p>【更新方針の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に活用できなくなった建物や、更新の必要性が認められる施設を、計画的に更新する。 更新に際しては、安全確保や防災対策、バリアフリー化など、安全確保や防災対策を優先する。 | <p>【更新の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設更新を進め、安全確保や防災対策を優先する。 更新に際しては、安全確保や防災対策を優先する。 |
|---|---|

計画見直しの時期

本計画は、10 年ごとに見直しを行い、将来の人口変動や教育を取り巻く環境の変化など、社会情勢の変化にも柔軟に対応できるよう、基本計画に明記。

計画のコンセプト

持続可能な教育環境づくり

方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり（教育環境の整備方針）

「安全・安心」、「新しい学び」、「地域」、「快適」をキーワードに、学校施設の在り方を示し、未来の子供たちのための学校施設の更新を進め、地域のシンボルとなる「魅力あふれる学校」の整備 ➤ **教育的効果の向上、シティセールス・定住促進の核**

【安全・安心】

- ・目標耐用年到来前に劣化状況の調査を実施し、延命利用又は建替の検討開始。
- ・学校を利用するすべての市民の安全を確保。

【新しい学び】

- ・変化に対応する柔軟性、可変性のある施設、多様な学習環境を展開できる教室空間の検討。
- ・小中一貫教育を見据えた環境整備。

【地域】

- ・学校と地域が連携・協働していくための空間、地域コミュニティの拠点となる施設の複合化の検討。

【快適】

- ・空調設備の充実、学校を利用するすべての人に配慮した環境整備。

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校環境の維持（学校環境の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校環境

- 小学校 12 学級以上 18 学級以下

（授業日りの学級数（特別支援学級を含む））

※定員を超えるような規模の学校は、個別の児童も数割の下の教育計画等について検討し、必要における児童生徒数の転向率を見据えながら、運営、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

小学校は全ての学生で1学級編制の状況が、また、中学校は3学級以下の状況がそれぞれ以上継続することが見込まれる場合、状況を踏まえた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新（学校施設の更新方針）

耐用年数の延長

安全性が確認できた建築物の目標耐用年数の延長

延長に際して長寿命化工事を必須とせず、必要な維持管理を継続し、更新費用を確保

変更時期や財政負担の平準化

施設の複合化

児童生徒数の減少による未利用スペースの発生を念頭に、社会教育施設と施設一帯を複合化

児童生徒への様々な教育的効果の向上

経費の削減

・施設積手を建設しない建築計画や投資の集約化など、施設の経費による効率的な負担軽減

・教育的効果の最大化を目指すため個別教室等の学校施設の共有化

将来の時代に最適な負担を先送りしない持続可能な行政運営

方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり（教育環境の整備方針）

「安全・安心」、「新しい学び」、「地域」、「快適」をキーワードに、学校施設の在り方を示し、未来の子供たちのための学校施設の更新を進め、地域のシンボルとなる「魅力あふれる学校」の整備 ➤ **教育的効果の向上、シティセールス・定住促進の核**

【安全・安心】

- ・目標耐用年到来前に劣化状況の調査を実施し、延命利用又は建替の検討開始。
- ・学校を利用するすべての市民の安全を確保。

【新しい学び】

- ・変化に対応する柔軟性、可変性のある施設、多様な学習環境を展開できる教室空間の検討。
- ・小中一貫教育を見据えた環境整備。

【地域】

- ・学校と地域が連携・協働していくための空間、地域コミュニティの拠点となる施設の複合化の検討。

【快適】

- ・空調設備の充実、学校を利用するすべての人に配慮した環境整備。

子供たちが「**学校に行きたい！**」と思う
最先端の技術 やトレンド を採用した **魅力あふれる学校** を創る

111

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校規模

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

左記に該当しない規模の学校は、現状の児童生徒数の下での教育的課題等について分析し、将来における児童生徒数の動向等を見据えながら、適宜、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

小学校は全ての学年で1学級編制の状態が、また、中学校は8学級以下の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、統廃合を含めた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

11

方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新（学校施設の更新方針）

耐用年数の延長

安全性が確認できた建物の
目標耐用年数の延長

▶ 改築時期や
財政負担の平準化

延長に際して長寿命化工事を必須とせず、必要な維持管理を継続し、更新費用を確保

施設の複合化

児童生徒数の減少による余裕スペースの発生を念頭に、社会教育施設等と施設一部を複合化

▶ 児童生徒への様々な
教育的効果の向上

経費の削減

- ・仮設校舎を建設しない建替計画や校舎の集約化など、最小の経費による効率的な施設更新
- ・教育的効果の最大化を目指した特別教室等の学校施設の共有化

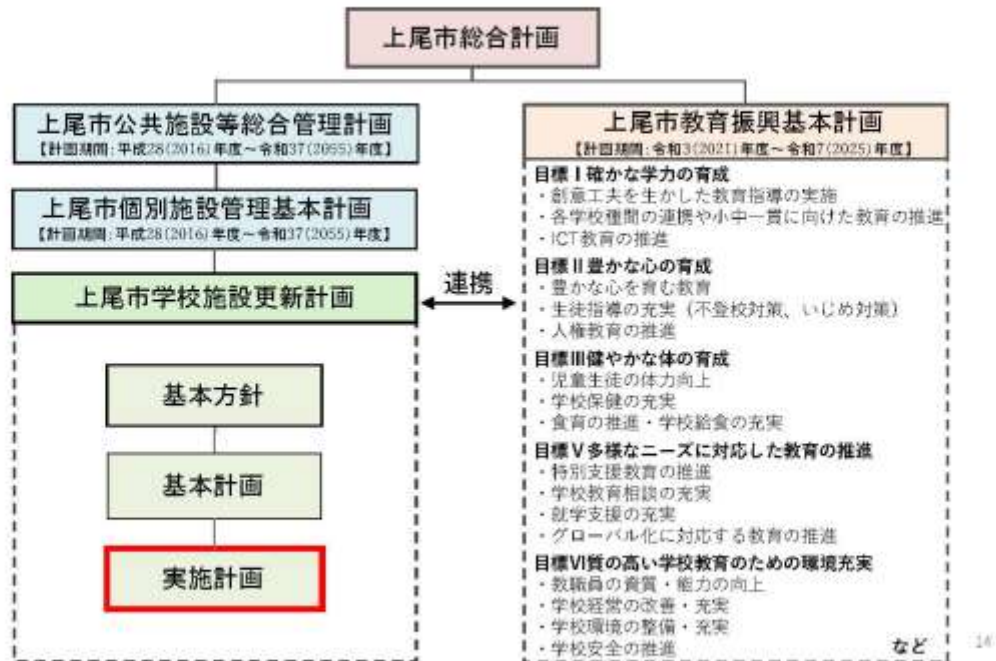
▼
将来の世代に過度な負担を先送りしない
持続可能な行財政運営

12

上尾市学校施設更新計画 実施計画

(令和6年3月)

13



実施計画とは

基本計画で定めた小・中学校の施設更新の基本的考え方の下、
計画的な **施設更新の実施手法・実施行程** を定める計画

基本計画に示した
3つの方向性に沿って
実施手法を整理

直近5年間の
学校毎・校舎毎の取組を明示



10

方向性 1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり (教育環境の整備方針)

方向性 2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持 (学校規模の適正化方針)

方向性 3 計画的・効率的な学校施設の更新 (学校施設の更新方針)

11

方向性 1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり (教育環境の整備方針)

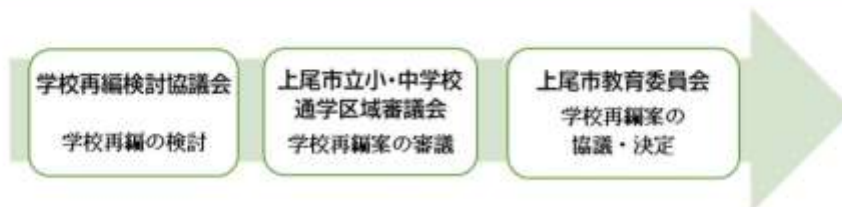
- 「安心安全」「新しい学びへの対応」などを実現する **学校施設の更新は、教育効果や市財政への影響を勘案し、最適な時期に実施**
- 学校施設の更新を行う際には、**学校運営協議会や児童生徒、教員等の意見を踏えながら検討**
- 小・中学校が隣接する学校の更新を行う際には、施設を共有化し教育的効果の最大化を目指して、**小中一貫教育の充実のための校舎を一体化させた学校の建設に向けての取組を推進**



17

方向性 2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持 (学校規模の適正化方針)

- 学校再編の検討にあたっては、**検討対象校の単位で検討協議会を設ける** など、**保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図ること**
- 検討対象校においては、適正規模化の手法である「通学区域の調整」及び「統合」を効果的に組み合わせるなど、**学校や地域の実情を踏まえた最適な方法を検討**するとともに、必要に応じて通学手段の見直しも検討

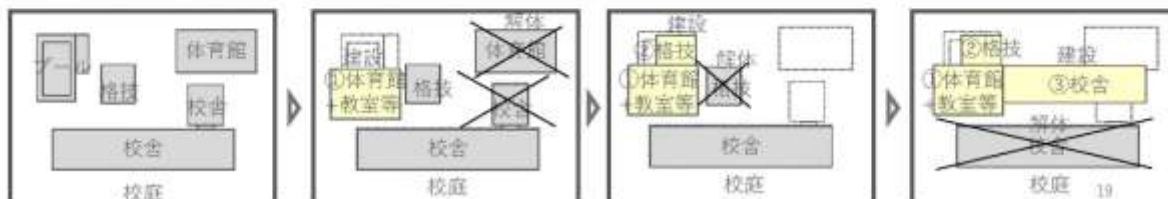


18

方向性 3 計画的・効率的な学校施設の更新 (学校施設の更新方針)

- **仮設校舎を建設しない効率的な建替えを原則**とするが、建替えの際には、工事区域と児童生徒の活動区域を明確に区分けして、**児童生徒の安全安心な学校生活を確保しながら計画的に施工**
- 施設更新は、**最適な施設配置**となるよう、校舎全体の耐用年数を勘案しながら、既存施設の延命利用や更新時期を前倒しすることも検討

【仮設校舎を建設しない建て替えのイメージ】



5年間の行程を明示

学校敷地内にある全ての建物の建替えについて検討

学校全体の取組み	更新の方向性		期中の取組み概要		取組み	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	効率的・効果的な施設整備を行う		更新 (建築等)		事業計画実施	事業計画		全体設計		
校舎単位の取組み	校舎名	構造	目標耐用年 到来年度	最長構造的耐	取組み	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
	〇〇校舎東	RC	20〇〇	20〇〇	維持管理					
	〇〇校舎西	RC	20〇〇	20〇〇	維持管理					
	体育館	RC+S	20〇〇	20〇〇	設計、工事				個別設計	工事
	武道場	S	20〇〇	20〇〇	設計					個別設計

各校舎の耐用年数に合わせて工事を実施

学校再編の検討対象校

尾山台小学校 ・ 平方北小学校 ・ 大石南中学校

〔小学校〕全ての学年で1学級（特別支援学級を含まない）の状態が5年以上継続することが見込まれる学校

〔中学校〕8学級以下（特別支援学級を含まない）の状態が5年以上継続することが見込まれる学校

▶ 学校再編検討協議会を設置し、保護者、地域住民との対話を通じて、学校規模の適正化に向けた検討を実施

21

2024年から
再編の協議

20	学校全体の取組み	更新の方向性		期中の取組み概要		取組み	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
		児童生徒数減少のため、学校再編を検討		再編		再編の協議	再編の協議				
平方北小学校	校舎単位の取組み	校舎名	構造	目標耐用年 到来年度	最長構 造的耐 用年	取組み	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
		体育館	RC+S	2031	2036	維持管理					
		管理・南校舎	RC	2036	2056	維持管理					
		北校舎	RC	2036	2056	維持管理					
		給食室	RC	2036	2056	維持管理					

22

5 大石小学校	学校全体の取組み	更新の方向性		期中の取組み概要		取組み	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
		効率的・効果的な施設整備を行う		保全 (維持管理)		維持管理					
	校舎単位の取組み	校舎名	構造	目標耐用年 到来年度	耐用年 過剰耐用年	取組み	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
		管理・南校舎	RC	2029	2049	維持管理					
		体育館	RC+S	2030	2035	維持管理					
北校舎		RC	2031	2051	維持管理						
	給食室(新館)	RC	2059	2079	維持管理						

73

学校名	第1期 R6～R10 (2024～2028)	第2期 R11～R15 (2029～2033)	第3期 R16～R20 (2034～2038)	第4期 R21～R25 (2039～2043)	第5期 R26～R30 (2044～2048)	第6期 R31～R35 (2049～2053)	第7期 R36～ (2054～)
1 上尾小学校	実施計画						
2 中央小学校	実施計画						
3 大谷小学校	実施計画						
4 平方小学校	実施計画						
5 大石小学校		実施計画					
6 原市小学校	実施計画						
7 上平小学校		実施計画					
8 富士見小学校							
9 尾山台小学校	← 未定 →						
10 東小学校	実施計画						
11 大石南小学校				実施計画			
12 平方東小学校	実施計画						
13 原市南小学校					実施計画		
14 鴛川小学校			実施計画				
15 芝川小学校			実施計画				
16 瓦葺小学校					実施計画		
17 今泉小学校	実施計画						

実施計画書
15ページに掲載

24

平方北小学校再編検討協議会の役割

令和6年度のスケジュール

25

○検討協議会の役割

子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、
平方北小学校の**学校再編を協議**し、その内容を**取りまとめる**こと。



26

○検討協議会の役割



27

今年度の年間スケジュールについて（案）

	日程	協議内容
第1回	7月26日 10:00～ (勉強会)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画、実施計画等の説明 年間スケジュールの確認
第2回	10月初旬 15:00～ (情報提供)	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい学校規模について 教育環境に関するアンケート調査の結果報告 「望ましい学校規模を実現するために必要なこと」について
第3回	12月中旬 (各論協議)	<ul style="list-style-type: none"> 学校の再編について各論協議
第4回	2月末 (各論協議)	同上

28

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.1 令和6年10月4日発行

◎ 平方北小学校再編検討協議会とは

□上尾市学校施設更新計画基本計画（令和5年3月改定）では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。

□上尾市では、平方北小学校に関する学校規模の適正化について協議するため、上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）



◎ 平方北小学校の現状

～全ての学年で単学級の状態～

□平方北小学校は年々児童数が減少しており、令和2年度から現在まで、全ての学年で単学級（1学年1学級）であり、その状態が今後も継続する見通しとなっています。



見込み

	児童数（学級数）							合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	
令和2年度	22(1)	18(1)	20(1)	20(1)	30(1)	13(1)	10(2)	133(8)
令和3年度	16(1)	22(1)	17(1)	20(1)	21(1)	28(1)	8(2)	132(8)
令和4年度	22(1)	16(1)	21(1)	16(1)	19(1)	21(1)	9(2)	124(8)
令和5年度	12(1)	22(1)	16(1)	21(1)	17(1)	19(1)	8(2)	115(8)
令和6年度	17(1)	10(1)	22(1)	18(1)	19(1)	18(1)	8(2)	112(8)
令和7年度	22(1)	17(1)	10(1)	22(1)	18(1)	19(1)	7(2)	115(8)
令和8年度	16(1)	22(1)	17(1)	10(1)	22(1)	18(1)	6(2)	111(8)
令和9年度	22(1)	16(1)	22(1)	17(1)	10(1)	22(1)	6(2)	115(8)
令和10年度	16(1)	22(1)	16(1)	22(1)	17(1)	10(1)	6(2)	109(8)
令和11年度	12(1)	16(1)	22(1)	16(1)	22(1)	17(1)	6(2)	111(8)
令和12年度	16(1)	12(1)	16(1)	22(1)	16(1)	22(1)	6(2)	110(8)

◎ 15名の委員に委嘱書を交付

令和6年7月26日（金）に平方北小学校体育館において第1回平方北小学校再編検討協議会に先立ち、委員の委嘱書等交付式を行い、下表15名の委員に対して委嘱書（任命書）を交付しました。

氏名	選任の区分	氏名	選任の区分
福島 禎子	在籍児童保護者	蛟嶋 紀子	地域住民
伊藤 由佳	在籍児童保護者	小森 幸男	地域住民
上村 友佳	在籍児童保護者	手塚 雅博	地域住民
橋村 則史	未就学児童保護者	長嶋 佐央里	聖学院大学 准教授
本館 弘貴	未就学児童保護者	青木 一弥	元校長
佐藤 智栄	未就学児童保護者	三日月 桂子	平方北小学校 校長
陣ノ内 文江	地域住民	廣林 達哉	平方北小学校 教諭
河原塚 律緒	地域住民		



第1回協議会では会長と副会長の互選、勉強会を行いました。

◎ 会長、副会長の互選

□会長は長嶋 佐央里委員、副会長は青木 一弥委員に決まりました。

◎ 上尾市学校施設更新計画の説明

□上尾市学校施設更新計画について、以下のとおり説明を行いました。

- ・学校施設更新計画基本計画は、2万件のアンケート結果などを基に、「教育環境の整備方針」「学校規模の適正化方針」「学校施設の更新方針」を定めていること。
- ・実施計画では、5か年の更新の実施手法と実施行程を定めていること。

※ 詳細については右記の二次元コードをご参照ください。

学校施設更新計画の
詳細リンク



◎ 本協議会の役割

□本協議会の役割は子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、平方北小学校の学校再編を協議・意見集約することです。

□学校再編案は通学区域審議会へ諮り、最終的に上尾市教育委員会で協議・決定します。



◎ 委員の意見（抜粋）

□通学路の見直しが厳しいという話を聞いたことがあるので、もう少し詳しいことを知りたい。

□今の平方北小学校に通う子供にはどうしてあげよう、数年後に新入生として入ってくる子供たちにはどうしてあげよう、という考え方でやっていけないと考える。

□子供はどう考えているのかなどの意見を吸い上げるなど、子供の気持ちを大切にして先を見越して進めていくのが大切だと考える。

□子供が第一というのは共通していると思います。



◎ 今年度のスケジュール

今年度の協議会は4回、2か月に1回程度で以下のとおり予定しています。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			第1回 勉強会			第2回 情報提供		第3回 各論協議		第4回 各論協議	

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第1回協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。



1.2 第2回会議

1.2.1 会議録

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和6年10月3日(木)午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会員)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、橋村 則史、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名		
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 玉造副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、檜出主任、矢野主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 議題 ① 子供たちの学びに望ましい学校規模について ② 教育環境に関するアンケート調査の結果報告 ③ 意見交換(フリートーク) (2) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 8名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和6年11月11日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____</p> <p>(議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>議題 (1) 議題 ①子供たちの学びに望ましい学校規模について</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉 特になし</p>
会長	<p>ないようであれば、続きまして、教育環境に関するアンケート調査の結果報告について説明をお願いします。</p> <p>②教育環境に関するアンケート調査の結果報告</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
A 委員	<p>アンケートで4つの学校（平方小学校、大石南小、平方東小、今泉小学校）を、選択していますが、この説明がおかしいと思うのですが、今泉小学校では近くの方は平方北小学校を選択することはまずないと思います。</p> <p>私の孫も今泉小の近くに住んでいますけど結構な距離があるので選択肢に入らないと思います。平方小学校と平方東小学校と平方北小学校の範囲内であれば、このパーセントは違ってくると思います。</p>
事務局	<p>最後にご説明をさせていただいたアンケートは、4校（平方小学校、今泉小学校、平方東小学校、大石南小学校）の学区の方になります。</p> <p>ですので、その学区の方がもし平方北小学校に通えるようになったら通いますかという設問になってございます。</p>
A 委員	<p>意味は分かりますけど、あまりに距離が離れている方にアンケートを出しても、満足な回答が来ないと思います。</p>
事務局	<p>平方北小学校区に接する近隣の学校ということになりますので、そうしますとこちらの4校が該当したために、この4校の学区にお住まいの方にアンケートを取った次第でございます。</p>

B 委員	<p>学区の際にあるらしいです。今泉小学校近いから。場所によっては通学できる。隣接している。友達が行くなら私もそちらに行くのもいいかなと思ってしまう。</p>
C 委員	<p>道路を挟んで平方北小、道路渡ったら今泉小というところもあります。</p>
A 委員	<p>そうですね。</p>
事務局	<p>参考でモニターに写し出したものがあるのでご説明させていただきます。(別添資料1参照)</p> <p>今平方北小がこちらにございまして、こちらの円が徒歩距離で1.5キロ圏内を示してございます。今回の基本計画では小学校の徒歩圏内は1.5キロ圏内にしようという形でまずこの円をひかせていただいております。</p> <p>その中でこの赤い点、いろいろあると思うのですがけれども1.5キロ圏内にお住まいの方がこれだけいらっしゃるということで、今泉小学校だと、222人中79人が1.5キロ圏内の中にいらっしゃるという形であったため、こういった近隣の学校に今回アンケートをとらせていただいたという次第となっております。</p> <p>A様がおっしゃった通り、本当に近くのところでは再集計すると、パーセンテージが変わってくるということもごもつともでございますので、そちらのパーセンテージについては改めてこちらの方で確認をしてみたいと考えてございます。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p>
D 委員	<p>これは距離だけの問題であるのか、あと何年も前から平方北小が再編されるっていう、そういう情報を受けての思いなのかっていうことが表れてないなっていうふうに感じます。</p> <p>もしも再編されてしまうと思ったら、きっとそこへ入学したいとは思わないなと考えます。そういう数字としてはあまりにも衝撃的な数字で、でもこれは(平方北小が)ないも同然だっていうようなことがたくさん挙げられているように感じるのですが、これだけを見ては判断がしかねるなと感じます。</p> <p>アンケートはやはり設問によって回答がすごく変わってくるというのはあるので、例えば小規模であるけれども近い学校と、適正規模であるけれども遠い学校とでどちらを選ぶのかというアンケートはないですよ。そういう意味では確かに適正規模のメリットを拝見して最もだと思うところもたくさんあります。</p> <p>でも、こちらの分厚いほう(冊子)だとメリットに対しての意見数がたくさんあって、デメリットに対しての意見数はあまりないなど、小規模は小規模なりの思いが反映されているという印象を持ちました。</p> <p>ただクラス替えの問題ですとか、先生方の負担ですとか、そういったことを考えると、適正な学級数がいいのだろうなというのは納得できます。要はそういう学校に行きたいけれどもすごく遠かった場合どう</p>

<p>会長</p>	<p>選択するのだろうか。そこが問題ではないかと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>他に何かございますか。ないようであれば、続きまして、意見交換に移らせていただきますがよろしいでしょうか。フリートークの形式で意見を伺いたいと思います。</p> <p>③意見交換</p>
<p>会長</p>	<p>子どもたちの学びに望ましい学校規模の実現に向けて1回目にも少し説明をいただきまして、事務局より平方北小学校の現状やアンケート調査を今日報告していただきましたが、現時点では皆様の平方北小学校の現状の学校規模に関して、どのようにお考えか、今 D 委員からご意見いただいたようにアンケートの取り方とか、もう少し聞きたいことや、そういったことが何かございましたら、忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>E 委員</p>	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>よく分からないので、確認したいことがございます。今日の説明で学校編成は良く分かりました。確かにその通りだと思います。その先なのですが、平方北小は実際の話、平方東小の方に行くっていうのは決定していますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>決定はしてございません。</p>
<p>E 委員</p>	<p>ということはそのまま残る可能性もあり、逆に平方東小から生徒さんたちを平方北小に呼んで、この学校が残る可能性もある。</p>
<p>事務局</p>	<p>そういうことを考える場がこの協議会のこの場です。</p>
<p>E 委員</p>	<p>そこは決定しているのかこれからの話なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>これからです。</p>
<p>E 委員</p>	<p>もう一つ、一貫校、一貫教育方針でどちらなのがちよっと分からないのですが、それはもう決まったことなののでしょうか。そういうふうに進めていくのか、まだそれも決まってないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>上尾市小中一貫教育基本方針については、令和5年3月に策定をさせていただきましたけれども、令和8年度から上尾市内全中学校区で小中一貫教育に取り組むことが決まっています。現在それに向けた準備を各中学校区の方で進めているところでございます。</p>
<p>E 委員</p>	<p>一貫の可能性はあるということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>一貫教育の基本方針についてはあくまでも小中一貫教育という教育の内容になりますので、小中一貫というふうに言うと、施設一体型の小中一貫校とかそういうことをイメージしがちですが、そういうことで</p>

	<p>はなくて、全ての中学校区で小中が一貫した教育を取り組んでいくという意味になります。</p> <p>ですので、施設一体型の小中一貫校を作るという意味ではございません。</p>
E 委員	<p>しかし、一番可能性がある学校ということになるとここになりますよね。そうすると、その他に瓦葺や大石南中、その辺もある程度進めているのですか。</p> <p>例えば、仮に平方東小と太平中と一貫校になる場合、その他に候補として出ている大石南中もそういうふうにとどこかの学校と一貫になるような予定は出ているのですか。</p>
事務局	<p>おっしゃられているのは、小中一体校という小学校と中学校が一つになったような学校のイメージということでしょうか。</p>
E 委員	<p>そこが分からないです。一貫校と、その一貫教育というのが少し私理解できていないので。</p>
事務局	<p>まず小中一貫教育というのは、小学校1年生から中学校3年生までの教育について一連の流れとして進めているものでございます。そういう教育の内容で連携を図る、指導をするのが小中一貫教育というものになっております。</p> <p>小中一貫教育は教育システムの話ですが、もう一つおっしゃられているのは小学校の建物と中学校という建物を一つにするというものだと思いますが、校舎を一つにしたからといって小中一貫教育学校、義務教育学校という物にはなりません。</p> <p>単純に小学校と中学校の校舎がくっついているだけなので、それぞれの学校がそれぞれ独立している状態でもあるということになります。</p> <p>ですので、校舎が一緒になることによって、例えば、小学校と中学校の先生の連携が図りやすいとか、あまり使っていない特別教室をお互いの小学校と中学校が共同利用することによって、より使える部屋にするとか、そういった部屋を共用利用できるのも新しくITラボなどの最新の施設設備を入れた教室を一つ作るとか、そういったいろいろなメリットもありますが、それは小中一貫教育とはまた別の話です。</p> <p>ただし、施設が一体になっていて連携をしやすい形になっていると、小中一貫教育がより充実しやすいという研究や考えもあります。そのため、例えば平方東小学校であれば太平中学校と隣り合わせですので、そういったことが可能であれば、今後の建て替えのタイミングでは検討も進められると考えています。</p>
E 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>この先々、北小は生徒が減ってきていることを良く理解している。</p> <p>参考までに確認したいのですが、今の状態で平方新田、丸山団地、小敷谷東部、第二団地の子供が平方北小へ登校していると思いますが、地区別の児童数は分かりますか。</p>
B 委員	<p>通学班を見ている感じで、中学校は分かれる子供たちは大体半々く</p>

	らい。
事務局	<p>今細かくは分からないのですけれども、数字じゃなくて申し訳ないですが現状の児童の居住地分布はこのような形になっています。(別添資料2参照)</p> <p>小敷谷東部であればこのあたりかと思います。上尾道路を渡った側の方が比較的世帯数が多いと思われます。あとは、第二団地の前あたりも世帯数が比較的多い状態です。</p>
E 委員	人数はわかりますか。パーセントでもいいです。
事務局	すみません。今すぐに分からないので、次回までに確認します。
E 委員	参考で大丈夫です。ありがとうございます。
事務局	偏りとしてはそのような方が多くなっているというところが現状です。
E 委員	先々、生徒数によって学校をどこにという話が出てくるのではないかなと、参考までに。
事務局	ありがとうございます。
会長	他にございますか。
D 委員	質問も混ざりますが、一貫教育というお話がさきほどありましたが、アンケートの設問5の学校再編についての中に、小学校と中学校で統合を行うというものがありますが、この統合というのは一貫教育とはまた別の形になるのでしょうか。
事務局	そうですね。別になります。
D 委員	統合とはどういう意味ですか。
事務局	統合するということになると、義務教育学校や一つの学校になっているようなイメージです。
D 委員	建物も共有で一つになるということですか。
事務局	そこもまた色々あるのですが、義務教育学校は人数が少ない学校が多く、一つの校舎を使う場合もあれば、1つの学校で校舎は分かれて使っているという形態があります。
会長	すみません、ちょっと話変えます。統合の話でアンケートを取るときには「統合とはこういうことです」という説明があってアンケートに答えていただいたのですか。
事務局	そちらについてはその具体的な説明はしていませんでした。

会長	<p>それぞれの回答者がそれぞれに想像した方法で回答したということですね。分かりました。</p>
B 委員	<p>上尾市の学校規模の考え方についてのところのアンケートを見ると最低でも3クラス希望の保護者が多いですが、現状、平方北小は全学年1クラスしかありません。この1クラスというのは、ただの1クラスではないと思います。他の標準的な学校で、3クラス以上あるような学校であれば、1クラスの人数って大体何人くらいでしょうか。</p>
事務局	<p>概ね20人の後半から30人の前半ぐらいが多くなっています。</p>
B 委員	<p>そうですね。平方北小は現状で1クラスの人数が20人を切っている状態で、うちの子は2年生ですが11人しかいません。だから、クラス数で1クラス少ない、3クラスくらいあった方が良く、そういうレベルの話ではないです。1クラスの時点でもう10人とか20人くらいしかいないのです。クラス自体の人数が少なすぎて、それはちょっと少なすぎると感じます。</p> <p>小規模はこじんまりしてみんな目が良く行き届いていいなど、そういう小規模大規模のイメージの中で小規模がいいものだというイメージがあると思います。私達もそういうイメージはありますが、1クラスに数十人いる小規模ではなく、1クラス10人しかいない小規模では、普通の皆さんがイメージする小規模のメリットとはちょっと違うという気持ちもあります。</p> <p>どんなところにもメリット・デメリットがあると思いますが、ここまでの小規模校、言ってしまうと超小規模校ではメリット・デメリットどちらもありますが、結局デメリットに感じる部分の方が私としてはちょっと強く感じているというところを意見として出しておきたいと思いました。</p> <p>そして、平方北小を他の学校と統合するかどうか、学校の整備をするといったことも含めてですけれども、この近隣校の人数を上尾市の発表したデータで見ると、平方北小は112人です。一応ひかり学級（特別支援級）がありますが、そこを抜くと、各学年1クラスです。平方東小は358人で、特別支援級を抜かしても、全学年大体2クラスずつあります。平方小は244人で、1、6年生は1クラスで2～5年生は2クラスというデータが出ていました。なので、もし1番少ない平方北小と2番目に少ない平方小をくっつけたとしても、350人くらいです。1クラス30人で1学年3クラスが理想であると考えれば、1学年で90人。6学年で540人になります。</p> <p>これが適正なクラス単位だと考えると、平方北小と平方小を統合したとしても全然標準には満たない規模であるというのが平方地区の問題だと皆様に分かって欲しいところです。</p> <p>「統合はどうか」とか、「統合なんてしないで」というお話やチラシ、ポスティングなどよくありますが、それにちょっと惑わされないで欲しいなと少し思います。最近はこちらには来なかったですけど、ご近所の方や、もうお子さんが大きくなったお家に、「平方北小がなくなってしまいます、どうしますか」というポスティングがあったりして、「そうなの」ってご近所の方にも言われたのですが、そういうことじゃない</p>

<p>F 委員</p>	<p>というところをもうすこし分かって欲しいなと思います。</p> <p>B 委員の意見を受けて、小規模校はやっぱり先生の目が行き届いているというメリットはかなり大きく取り上げられていると思いますが、先ほどのアンケートだと先生の負担が大きいということで、私達が思っている先生の実態と全然かみ合っておらず、私達が勝手に理想を押し付けているだけなのかなと思ってしまいました。</p> <p>教員が生徒を見るというのは職務であり当たり前のことではあります。その度合いは学校規模によって差があつて、小規模だったらよく見てもらえると思っていましたが、他の仕事が増えてしまっていて、そこまで手が回らないのであれば、違うのかなと思いました。先生にとってもデメリットなのだと思います。</p> <p>あとは小中一貫教育というのも、私の甥っ子が通っていたようで、小学校が6年、中学校が3年ではなく、9年間の中で4・3・2の垣根を越えた教育をしていたような気はします。</p> <p>私も考えてみたのですが、小規模は学年同士では少ないかなと少し思いますが、交流しやすいという点もあると思いました。</p> <p>あとは、先生の実務上のことを少し知りたいなとは思っています。この仕事が多くなったとか、本当に生徒のことが見られているのかなど、一番子どもにも関わってくるのだと思います。以上です。</p>
<p>E 委員</p>	<p>今の話について、私はこの学校へよく来ますが、確かに人数が少ないから目が届くので、教育の方にはメリットがあると思います。</p> <p>ただ学校として見ると、他の大きい学校や小さい学校でやることと同じなのです。まず先生の仕事として、例えば細かい話で環境の整備などいろいろあると思いますが、先生が少ない小さい学校でも他の学校と同じことをやるのにも、先生の数が少ないので大変だと思います。勉強はおそらく目が届いて上手くいくと思います。ただその他の仕事は先生に負担がかかるので大変だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>現役の先生方がいらっしゃるので、G 委員にお話をお伺いします。</p>
<p>G 委員</p>	<p>先ほど雷管の音が聞こえたかと思いますが、あれは6年生が陸上大会の練習をしているところです。</p> <p>私も昨年度6年生の担任だったのですが、6年の担任が多分小学校の中で一番仕事量が多いと思います。例えば2学期の行事ですと修学旅行や、陸上大会、昨年度は運動会が9月にありました。その修学旅行一つにしても、私が前いた大石小学校は5クラスだったので、旅行会社と打ち合わせする担当、子どもに渡すしおりを作る担当、会計の担当、食物アレルギーの担当など5人で仕事を分担していましたが、それを全部1人がやることになるので、やはりその行事の負担とかはあるかなと思います。</p> <p>それに加えて校務分掌というのが平方北は平均3つですが、他の学校では2つや1つであつたりします。学年の行事に加えて自分だったら、生徒指導と情報と社会科みたいなものが昨年やっていたりしましたが、それが（負担では）あるかなと感じます。</p> <p>ただ、校長はこちらの働き方は本当によく考えてくれていて、削減するところは削減しながらやっていこうというところです。教員が忙し</p>

	<p>いからということはもちろんありますが、それで小さい学校はやめましようっていうのはしなくてもいいと思っています。私としては子どもたちの人間関係の広がりがないことや、切磋琢磨する行事ができない、そういったところで考えた方がいいと思います。子どもファーストでいきましょう。</p>
<p>会長</p>	<p>H 委員はいかがですか。</p>
<p>H 委員</p>	<p>今、G 委員からお話があったと思いますが、先ほどのアンケートの中で 1 人が持つ校務分掌というのがありました。やはり他の大規模校と比べると平方北小は多いというのは思います。私も前任が中規模校でしたがそれは実感しています。</p> <p>そうしますと、やはり先生方の働き方改革っていう話も出てきますので、先生達がスムーズに働けるようにすごく学校経営を工夫しなくてはいけないとは思っています。なので、校長として手腕を問われているところで、私も少し勉強していかないといけないので、先生方から意見をいただきながら進めているというのが現状です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>副会長</p>	<p>今は 1 学年で 3 学級くらいありますと、学年主任がいてあと何人かの先生がいるので、1 学年の教育を 3 人ずつの複数で見ることができます。そうすると、ベテランがいたりあるいは新任の先生が入って来るなど、子どもだけじゃなくて教員同士も切磋琢磨します。後は経験上の話からすると、1 学年で先生が 1 人になると、担任の先生は大変でした。</p>
<p>I 委員</p>	<p>いろいろな話を聞いていると、教員の方の負担がすごいなと思いました。</p> <p>今回のアンケートを見ても教員の方が、自分たちがきちんと子どもたちを見るためには適正規模が必要なのだ、ということで回答なされたのかとアンケートから読み取れます。</p> <p>先ほど校長先生の方からも学校経営の手腕ということで、私は学校関係のことをやったことがないのでよく分からないのですが、企業においてはいろいろな営業所がありまして、そこをきちんとやっていくのであれば小規模な営業所もあれば大規模な営業所もあります。大規模の営業所の下には課長がたくさんいますので分担ができますが、小規模の営業所の所長は全てを見ることになるのでかなりの負担があります。ただ、その際にそこ（教員）に全て押し付けてしまえば、最終的に子どもたちのところに負担が出てくるというふうに思います。それはつまり、小規模校の教員の方の負担が大きいということは、今の学校一つ一つのことではなく教育の全ての仕組みが何かおかしいのではないか。</p> <p>（学校規模の）大きいところだと修学旅行もいいところに行けるとか、非常に「えっ？」と思ひまして、それでは平等でもなんでもないじゃないですか。そこからして、今の問題は全部繋がってくるということは、教育の仕組み自体、大きな問題ではないのかなと。子どもたち 1 人 1 人のことではなく、教育運営というぐらゐの仕組みに大きな問題であ</p>

って、再編以前の問題です。

そこがきちんとしてから、再編どうしましょうかとか、規模をどうしましょうかという話をしないといけないと思います。

今、学校が小さいから先生や子供が大変ですということに対して、今が大変なのは分かるし、すぐやらなければ今の子どもたちかわいそうだけれど、そこが一緒くたになっています。

各学校の先生も、皆さん一生懸命やられているというのはよく分かりますが、まずは子どもたちのことを考えてやらないといけないというのが、お話を聞いていて思いました。

あと、先ほどの平方北小に行きますかというアンケートが冒頭にありましたけど、突然に「あなたの子どもを平方北小に行かせますか」という話を受けて、訳が分からないまま「はい」と言う人はほとんどいないと思います。なぜ平方北小に行かなければいけないのか。平方北小がどういう学校なのか。そういう説明もないのに、「平方北小に行きますか」と言われても誰も「行きます」なんて言わないじゃないですか。

先ほど D 委員もおっしゃいましたけど、アンケートはいくらでも操作できるじゃないですか。そちらが操作したとは言いません。そういう意味で言っているわけではありません。

アンケートを取るのも大変なものだと思っているのですが、ただ何故このアンケートを取るのかを明示する必要があったと思います。

今平方北小は非常に子どもたちが少ないので、もし通われる方たちがいればこういうふうになります。だからこそそういうことを考えていくっていう、そういう判断ができるように説明した丁寧なアンケートの取り方が必要だったのではないかという気はします。

多くのアンケートの結果を見ていると先ほど出ていましたけど、やはり通学時間や、通学の安全性。安全性も距離も同じようなものだと思いますが、そこを保護者の方たちは切望しているわけです。うちの娘たちは学校から5分、10分以内の場所に住んでいたのも、最後に中学校になって少し遠くなって学校行くのが嫌だになって言い出したくらいです。

だから子どもたちも通学距離は気にすると思います。そういう面ではこの先どうしたって再編が必要になると思います。子どもの人数がどんどん減ってくれば、今の3つの小学校で成り立つかって言ったら成り立たないわけです。ここはもうはっきりしているわけじゃないですか。じゃあどこに小学校置くのですか。一番大きいところはここです。だからここに行くのです。そしたら今平方北小問題でやっていますが、全体の問題でもあるわけじゃないですか。本当にこのやり方で良いのですかっていうのはアンケートを読んでいてそういう感じがしました。

平方北小だけ何とかすればいいのであればこのやり方でいいと思いますが、子どもの人数がどんどん減っていったら、最終的には平方には小学校は1校で良いということになるのであれば、その1校の運営はどうするのか。そこまで持っていく間においてはどうするのか。そこに意見を集中していかないとどうしようもないですし、そうなったら通学の問題もあります。

子供たちに1.5キロも行き帰りに歩くというのは、少し鍛えられて良いかもしれませんが、そんなに時間かけて行くようではかわいそう

会長

ですし、そういうことを考えてどういうふうにするか。

漠然といろいろなアンケートやお話があったりしますが、最終的には平方の子どもの人数が何人くらいになって、学校規模を適正規模にすることを想定した場合、平方の地区全体で学校を何校になっているのか。そういったことを示したうえでアンケートを取るなど、子供たちの意見を聞いた方がいいのではないかと感じます。

再編した時にうちの子をこちらにとやるのもあるけれども、やはり子どもの心っていうのを大切にする必要があります、そのために子どもの意見をもう少し聞いた方がいいと思います。ただし、子供の意見を聞くというのは難しいことだとは思っているので、先生たちにお任せするしかないと思っています。

そういったことをこの間資料をいただいたり、今お話し聞いていて感じました。

J 委員

ありがとうございます。他に何かございますか。まだ発言されていらっしゃらない方もいらっしゃると思いますので、少しこちらからもご指名したいと思いますが、J 委員、何かございますか。

さきほど I 委員が言っていたように、子供たちの意見を聞くのはいいなと思ったのでぜひやっていただきたいなと思います。私も入学時検診前後の入学前にアンケートが自宅のポストに入っていて、情報が何もなかったのを見て、やはり小学校がなくなるのかと思いました。親としては、子どもが統合の可能性がない学校に入学させたかったので教育委員に問い合わせたところ、再編についてはまだ再編の形はできてないという話をお聞きし、学区の違う小学校に入学させることについては、何らかの理由が必要なことや、通学路の問題から違う学校に通わせることはできないと言われました。

親としてはすごい入学式は不安でしたが入ってみると、小学校の人数が少ないので C 委員のお子さんも、他の子も、子どもとしてはすごく楽しいみたいです。アリオに行くと同じ学校の他の学年の子がいて挨拶をしたりするなど、そういうところがあるのはすごくいいですね。1年生だけど、5年生や6年生と学校から帰ってきたり、一緒に遊んでいる姿を見ると、小規模でもよかったのかなと感じるところもあります。

ただ、平方北小が再編で大きい学校になって人数が増えた時に、子どもに対応できるのか不安要素ではあります。

しかし、さきほど言われていたように、再編しても人数が少ないというのであれば、また話が変わってくると思います。その場合に不安なのは、通学路です。

小学校とはまた違う話になりますが、地域の住民も減っているというのはよく聞いていたので、そういうところもまた最終的には小学校統合だけで終わる話ではないのかなと思いました。また、先生たちの意見を聞いて、平方北小は子供の数が少ないからすごく目が行き届いていてすごく良いなと思っていましたが、先生たちの負担が大きいついていうのを知れて良かったかなって思います。

C 委員

同じような意見になってしまいますが、今回のアンケートを見て、教職がすごく大変なのがありました。今、先生が大変だというのがわかっているからなりたいた方はあまりないかと思います。その先生が大変というのはなんとなく分かっていましたが、それが自分の思っていた以上でした。

さきほど意見があったように、もちろん子どもが一番です。しかし、私の意見としては先生も大事だと思います。

今はされていない方もいるかもしれませんが、皆さん仕事をされているとおもいます。仕事をしていて環境はすごく大事です。もちろん仕事はお金を得て生活するためには必要なものではあり、その手段として教職を選んだ方だったとしても、仕事がつらい中で精神面にも負担を受けて子供の面倒を見てもらっているのは申し訳ないと思っています。特に先生たちは対人で相手も大人ではなく、簡単に分かり合えないため。

簡単に言ってしまうのですが、先生たちの実務を少し楽にできるように1人、2人増やせばいいのではと思いました。そのため、そういった手段について調べました。スクールサポーター、アップイスクールサポーターさんは教職の免許がない人でもできる制度のため先生の補佐しかできないですが、教員のサポートをできるという制度を見かけました。小規模校にはそういう人を入れてあげてほしいと思います。

話が少しずれますが、もし小規模校として続いていくなら、先生たちにもう少し優しくしたほうが良いと思いました。働く先生も人なので、家庭があったり自分の生活もあるので、そこをどうにかしてあげてほしいです。子供が在学して見てもらっているのも、先生がすごいというのは日々感じていますので、先生たちもどうにかしてあげてほしいとこのアンケートを見て思いました。

また話しが違う方向になってしまいますが、小規模校はさきほど言っていたよう良いところもあり、低学年の時はすごくありがたく思っていました。

しかし、子供の年齢が上がってきたときに、アンケートに書いてある通り人間関係などに直面したときに、クラス替えがないことが子どもにこんなに負担になるのかと思いました。逃げ道がないというか、行きたくても行けない子というのはきっといると思います。もしクラス替えがあって嫌だった子と分けられたら、次の学年からは1年行けるということがあるかもしれない。だけど、クラス替えができないために何年か通ったが、その後ずっと通えなかったということがあるかもしれない。アンケートを見てそういう意見がありました。そうすると、人数が多くて、クラス替えができるというのは、小学生である6歳から12歳の子たちにとってはすごく大きなことだと思います。

また、嫌な子と離れるだけでなく、仲が良い子と分かれるのも大切な経験で、仲がいい子と別れて悲しいという感情も大事だと感じます。そこから新しい友達ができるという経験もありますし、そういう経験は多分この今しかできないと思います。それがないまま育っていくのは、他の学校と比べるともったいないと思います。クラス替えがないことに良いこともあるかとは思いますが、「クラス替え、何組だったー」という経験が今の平方北小の子たちにはないことは、経験値として損ではないかと思っています。

会長

K 委員

今の件でよろしいですか。

今の件で感じることは、平方北小の先生が一番分かると思いますが、クラス替えができればうまく学校に通えた子が何人かいました。結局、修学旅行も行けなくなってしまったけれど、そういうのを見ていました。私も10年近く子どもを送り迎えしているので、直接お話をしています。先生一番分かりますよね。一番苦勞して。クラス替えがもしできていれば、その子たちもちゃんと学校に通えたかもしれないと思います。

ありがとうございます。K 委員、いかがでしょうか。

まずアンケートの調査結果を見て思ったのは、教員と保護者で意見が割れている。

メリット・デメリットどちらを感じているかっていうところで、意見が割れていたのも、まずここから違うんだなっていうところを感じていたのですが、保護者の方はメリットの方が大きくて、教員の方はデメリットが多いですが、ほぼ45%、55%くらいではほぼ同じくらいでした。だからやっぱりそれぞれ良いところがあるし、それぞれに悪いところもあるというのを感じます。

教員の方が、教員歴で15年までの方と15年から30年までの方でわざわざ分けられていて、なぜかと思いましたが、ベテランの方はいろんな学校を経験したうえでデメリットを感じると答えているので、一番その意見が大事なのではないかと思いましたが。保護者は自分の子どもが通っている学校のことしか知らないし、小規模校だったら小規模校、大規模校だったら大規模校、それ以外のこと多分ほとんど知らないと思います。

なので、いろんなバランスはあると思いますが、どちらがいいかとなると、小規模校よりは、少人数クラスの方が良いのだなとそういうふうにも汲み取るべきものがあるアンケートではないかと感じました。

あと、どういう対策していくかという先の話はまだ早い感じもします。学校選択制にするとか、学校の数を減らすのか、区域を分けるのか、いろいろあると思いますが、選択制は良くないと思います。選択制にした時点で多分優劣が生まれてくると思うので、それは義務教育の段階ではよくないかなと思います。

最終的には学校の数を減らして、それぞれの区域を広げて子どもを集めるしかないのではないかなと感じています。

会長

L 委員

ありがとうございます。L 委員はいかがでしょうか。

先ほど教員の方からお話があって同じ意見なのですが、小規模の学校だとクラス替えがない、またいじめが起きたとき、その問題を抱えたまま小学校6年間過ごしてしまう。

これって結構大事なところで、一番子どもたちが気にするところだと思います。親としても子どもがいじめにあったりしたら、無理して学校行かせてないのかなと思います。学校行かないと勉強もできないし、友達もできないので、やはりクラス替えとかそういった一回リセットが多少でもできる環境が必要かなと思います。

人それぞれだと思うのですが、小学校7歳から12歳、中学校の13歳

	<p>から 15 歳って大きくなるにつれて、グループが個々で多分できて、新しい友達を作るのがちょっと緊張したりとか、それで飛び込んでいけなかったりして、新しい友達を作るのが多分難しくなっています。であれば小さいうちに、みんなでわちゃわちゃと友達を作れる時間に、友達の輪を広げてあげるっていうのも、少ない人数よりかは、多少ちょっと多い人数の環境に子どもをおいてあげた方が、今後中学生になったときにもまたお友達が増えて、そういう子どもたちの生活がしやすい状況が作れるのかなと思っています。</p>
会長	
M 委員	<p>M 委員はいかがでしょうか。</p>
	<p>私はもう子どもも当の昔の 0B でするので、皆さんのように学校に対しても、熱い思いはちょっと違うのかなという思いで今日アンケートの結果報告を聞かせていただいて、大方の意見ってこういうことなのだろうなという見方をさせていただきました。</p> <p>ただ、第一回目の協議会のときには、この先どうなるのかなって思いがありました。今日 I 委員をはじめとして、私にとって、とても参考になるようなご意見がたくさんあったので、これから会議がどのような方向に向かっていくのかということを考えていくのに、良い話し合いだったのではないかと感じます。</p> <p>少し他人事のような意見で申し訳ないですが、これからどんなふうを検討していけばいいのかしっかりと考えていきたいなと思って皆さんのご意見を聞かせていただきました。</p>
会長	
	<p>ありがとうございます。そろそろお時間になります。次回の会議とかに向けて言っておきたいこととかある方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。</p> <p>今回いろいろとご意見いただきました。この中で少し私の方でもメモを取ったり、事務局の方でメモを取っていただきましたが、これを取りまとめて次回の会議でそれぞれ出た意見を取り上げて、議論を深めたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>(2) その他</p>
事務局	<p>他に内容であれば、その他、事務局から何かございますか。</p>
	<p>はい。今後の予定でございますが、3 回目の協議会は 12 月 19 日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
会長	
	<p>以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>5 閉会</p>
	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和 6 年度第 2 回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いします。</p>
副会長	

事務局

以上をもちまして、令和6年度第2回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。

青木副会長ありがとうございました。第2回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様お疲れさまでした。

以上

**第2回平方北小学校再編検討協議会
資料**

1

前回の振り返りについて

2

○上尾市学校施設更新計画 基本計画

計画のコンセプト

持続可能な教育環境づくり

方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり（教育環境の整備方針）

「安全・安心」、「新しい学び」、「地域」、「快適」をキーワードに、学校施設の在り方を示し、未来の子供たちのための学校施設の更新を進め、地域のシンボルとなる「魅力あふれる学校」の整備 ➤ **教育的効果の向上、シティセールス・定住促進の核**

【安全・安心】

- ・目標利用年到来前に実化状況の調査を実施し、基金利用又は建替の検討開始。
- ・学校を利用するすべての市民の安全を確保。

【地域】

- ・学校と地域が連携・協働していくための空間、地域コミュニティの拠点となる施設の見合点の検討。

【新しい学び】

- ・変化に対応する柔軟性、可変性のある施設、多様な学習環境を創出できる教室空間の検討。
- ・小中一貫教育を見据えた環境整備。

【快適】

- ・空調設備の充実、学校を利用するすべての人に配慮した環境整備。

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校規模

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1 校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

左記に該当しない規模の学校は、現状の児童生徒数や今後の教育的課題等について分析し、将来における児童生徒数の動向等を見据えながら、適宜、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

小学校は全ての学年で1学級編制の状態が、また、中学校は8学級以下の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、統廃合を含めた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新（学校施設の更新方針）

耐用年数の延長

安全性が確認できた建築物の目標耐用年数の延長

改修時期や財政負担の平準化

延長に際しては寿命延長工事を必須とせず、必要な維持管理を継続し、更新費用を確保

施設の見直し

児童生徒数の減少による余裕スペースの発生を念頭に、社会開放施設等と併設一棟を基本とす

児童生徒への様々な教育的効果の向上

経費の削減

- ・施設改善を徹底しない建替計画や総合的集約をなど、単一の経費による過剰的な施設更新
- ・教育的効果の最大化を目的とした特別教室等の学校施設の共有化

将来の世代に過度な負担を先渡さない持続可能な行政運営

○上尾市学校施設更新計画 基本計画

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校規模

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1 校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

左記に該当しない規模の学校は、現状の児童生徒数や今後の教育的課題等について分析し、将来における児童生徒数の動向等を見据えながら、適宜、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

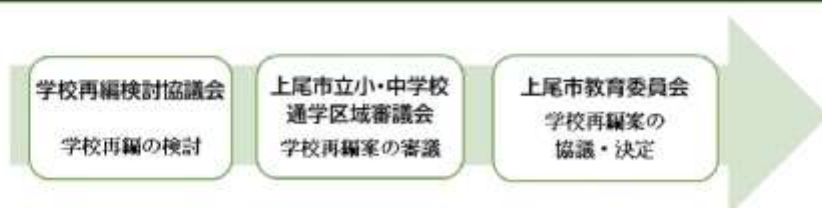
小学校は全ての学年で1学級編制の状態が、また、中学校は8学級以下の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、統廃合を含めた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

○上尾市学校施設更新計画 実施計画

方向性 2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

- 学校再編の検討にあたっては、**検討対象校の単位で検討協議会を設ける** など、**保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図ること**
- 検討対象校においては、適正規模化の手法である「通学区域の調整」及び「統合」を効果的に組み合わせるなど、**学校や地域の実情を踏まえた最適な方法を検討**するとともに、必要に応じて通学手段の見直しも検討



5

○検討協議会の役割

○上尾市立平方北小学校再編検討協議会条例（令和6年3月22日上尾市条例第5号）

第1条 ～前略～上尾市立平方北小学校（以下「平方北小学校」という。）に関する**学校規模の適正化について協議し、もって子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため**、上尾市立平方北小学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

第2条 協議会は、平方北小学校に関し、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 学校の再編に関すること。
- (2) 通学区域の編成に関すること。
- (3) 児童の安全確保に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、**学校規模の適正化に関し教育委員会が必要と認める事項に関すること。**

6

○検討協議会の役割

子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、
平方北小学校の**学校再編を協議**し、その内容を**取りまとめる**こと。



7

【第2回 協議会の内容】

- ① 子供たちの学びに望ましい学校規模について
・説明、質疑応答
- ② 教育環境に関するアンケート調査結果について
・説明、質疑応答
- ③ 意見交換

8

子供たちの学びに望ましい学校規模 について

3

○国の省令による学校規模の標準（基本計画P79～P82）

小・中学校の学級数は、「12学級以上18学級以下」

と規定されています。

ただし書きにより、地域の実態などにより弾力的な運用が認められる



○学校教育法施行規則（昭和22文部省令第11号）

第41条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第79条 第41条から第49条まで～中略～の規定は、中学校に準用する。

10

○国から示されているメリット・デメリット（基本計画P84に掲載）

【小規模校のメリットの一例】

- ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ・様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ・運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ・異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる

【小規模校のデメリットの一例】

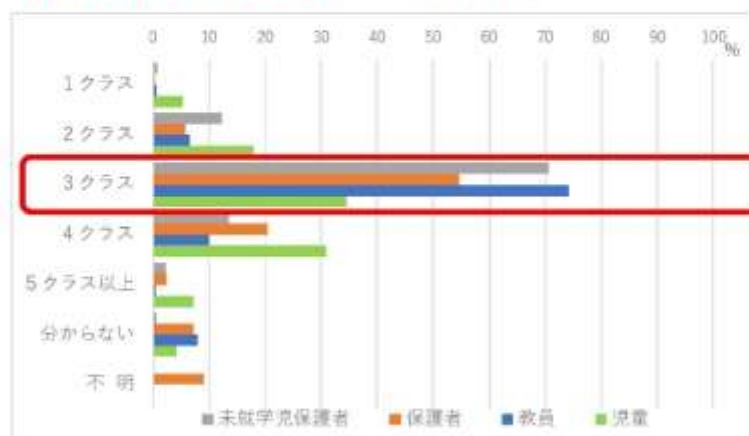
- ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ・クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる

11

○上尾市の学校規模の考え方（基本計画P55）

- ・令和4年に実施した「子供たちのための新しい学校づくりに関するアンケート」の回答

小学校の適切なクラス数は、「3クラス」が最も多い



12

○上尾市の学校規模の考え方（基本計画P82）

【学校規模の定義、許容できる最低規模の基準】

学校規模	小学校の基準	中学校の基準
許容できる最低規模	12学級	9学級
小規模校	6～11学級	3～8学級
準小規模校	—	9～11学級
適正規模校	12～18学級	12～18学級
準適正規模校	19～24学級	19～24学級
大規模校	25～30学級	25～30学級

【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

13

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

学校規模の適正化により見込まれる教育的効果

- ①児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力を着実に育むことができる**教育環境の提供**
- ②学校を支える**教職員の組織体制や勤務環境の充実**



14

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

①教育環境（人間関係、指導面）

- 子供たちが多様な集団の中で社会性や豊かな人間関係を築くことができる。
- 様々なグループでの学習活動などが設定でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導の両方が可能となる。
- 児童生徒同士の人間関係や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる。
- 児童生徒を多様な意見に触れさせることができる。
- 新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる。
- クラス替えを契機として、児童生徒が気持ちや意欲を新たにすることができる。
- 学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作ることができる。
- 学級に枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導体制をとることができる。
- 多くの教員がいることにより、生徒が多様な価値観に触れながら、学び合う機会が増え、資質を向上させることができる。

15

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

②教員配置

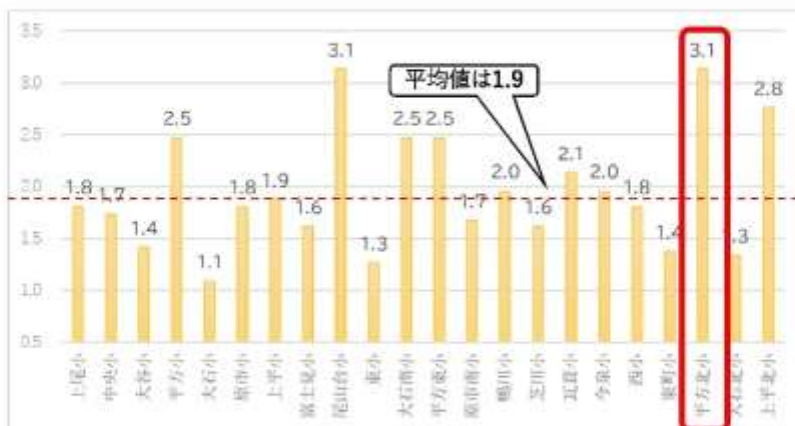
- 中学校では、全教科に専門の教員を配置することができる。
- 学級担任以外の教員を多く配置することができる。
- バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が可能となる。

③学校管理・運営

- ティーム・ティーチングによる指導（T・T指導）、グループ別指導、習熟度別指導、専科指導等の多様な指導方法を実現することができる。
- 人員が十分なことから、教職員が気兼ねなく休暇を取得することができる。
- 校外における研修等に参加する機会が確保され、教職員の資質向上を図ることができる。
- 教職員一人当たりの校務や行事に関わる負担を分散・軽減させることができる。
- 教職員の負担軽減により、教材研究などより多くの時間を費やすことができる。

16

○教職員の配置（基本計画P37）



小学校教員1人当たりの校務分掌における主任等の担当数

17

○教職員の配置（基本計画P86）

小学校 12 学級		小学校 6 学級	
<教職員構成>		<教職員構成>	
校長	1 人	校長	1 人
教頭	1 人	教頭	1 人
教諭	14 人	教諭	7 人
養護教諭	1 人	養護教諭	1 人
事務職員	1 人	事務職員	1 人
計	18 人	計	11 人

教職員が少ないがゆえ、担当する校務分掌も多い

18

○平方北小学校の現状

H30→R6
児童数
74人
40%減

年度	児童数
H30	186
H31	164
R2	133
R3	132
R4	124
R5	115
R6	112
R7	?
R8	?
R9	?
R10	?
R11	?
R12	?

110人

140人

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
23	15	26	21	28	27
1年	2年	3年	4年	5年	6年
18	11	23	19	21	20

推計と実人数の差
28人
20%減

112人

?人

19

質疑・応答

20

教育環境に関するアンケート調査の 結果報告

21

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P1～2）

教育環境に関するアンケート

調査目的：学校の再編検討に向けた参考資料とするため

対象校：平方北小学校、尾山台小学校、大石南中学校
(学校再編検討対象校)

調査対象：教員、保護者、通学区域内の未就学児保護者

調査内容：学校規模、学校再編、学校再編の検討組織、
教育環境

22

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P10）

調査対象者及び回収率

対象者	アンケート種別	対象者数	回答者数	回答率
教員	教育環境に関するアンケート	49	47	95.9%
保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	144	99	68.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	90	46	51.1%
	大石南中学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	160	109	68.1%
未就学児保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	83	38	45.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	70	28	40.0%

23

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P2）

項目	設問	設問内容	対象者					
			教員	保護者			未就学児保護者	
				尾山台	平方北	大石南	尾山台	平方北
学校規模	①	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか	○	○	○	○		
	①-1	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか※教員歴別	○					
	②	現在の規模で困っていること等はあるか		○	○	○		
	③	1学年あたりの適切と考えるクラス数					○	○
	③-1	上記選択理由					○	○
	④	教員1人あたりの負担感※教員歴別	○					
学校再編	①	学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること	○	○	○	○		
	②	学校再編に望ましい手法		○	○	○	○	○
	③	学校再編検討で配慮する点					○	○

24

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P2）

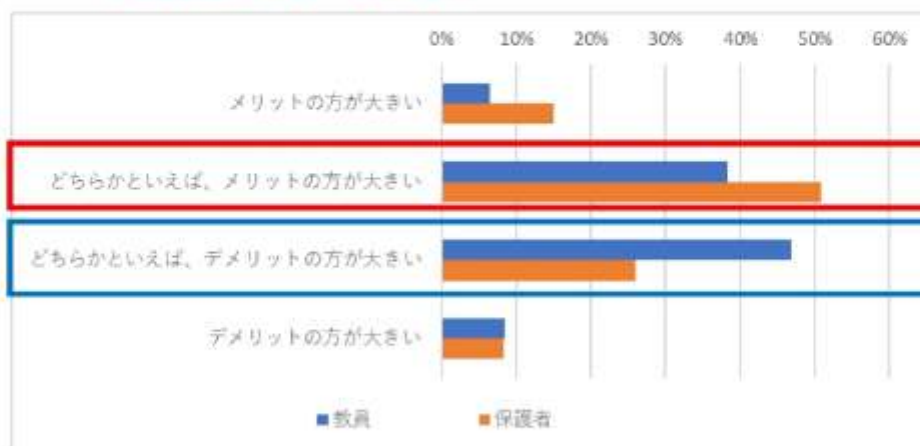
項目	設問	設問内容	対象者					
			教員	保護者			未就学児保護者	
				尾山台	平方北	大石南	尾山台	平方北
学校再編の検討組織	①	構成メンバー					○	○
	②	市民公募メンバー	○	○	○	○	○	○
教育環境	①	学校で身に付けてほしいこと					○	○
	②	学校教育に求めるもの					○	○
	③	どのような学校を望むか					○	○

26

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P3）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）



26

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともメリットが大きいと回答した方の、メリットについての記述内容

メリットに関すること（保護者：42件、教員：17件）

保護者

・すべての先生がどの学年の子どもの事も把握してくれているので、相談事やちょっと学校へ行った際でも安心してどの先生にもお話する事が出来ます。先生方が一人一人に寄り添って指導や相談に乗ってくれるので心強いです。

教員

・子供一人一人をしっかりと見て指導することができるから。児童はきめ細やかな指導をしてもらえるから、一人あたりの使用する物や空間、人、時間等が必然的に多くなるから。

27

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともデメリットが大きいと回答した方の、デメリットについての記述内容

デメリットに関すること（保護者：33件、教員：22件）

保護者

・実際、小規模校に勤めているので、クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができないことが大きなデメリットであると強く感じます。学校行事、勉強などで仲間と競争する機会が少ないのは残念です。

教員

・クラス替えがないことで、人間関係が固定化してしまう。いじめ等の生徒指導上の問題が発生すると、その問題を抱えたまま小学校6年間を過ごすことになってしまう。

28

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともメリットが大きいと回答した方の、デメリットについての記述内容

デメリットに関すること（保護者：1件、教員：2件）

保護者

- ・ クラブ数をもっとあると嬉しい。

教員

- ・ 切磋琢磨することに慣れていないので、外に出ると緊張しやすくなってしまう。
- ・ 集団による活動において、できる課題が限られてしまう。

29

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

3校の保護者254名の回答

1) -②「現在の学校規模で困っていること等はあるか」（保護者）

現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。（1つ選択）【単一選択（必ず一つを選択）】

全体		ある	ない
選択数	254	88	166
構成比	100.0%	34.6%	65.4%

30

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

3校の保護者254名の回答

1) -②「現在の学校規模で困っていること等はあるか」（保護者）の自由記述

「ある」と回答した方の、その理由

- ・ 友達関係の問題が改善されない。PTA活動など、保護者の関わりも負担の方が大きく協力できなくなる。
- ・ 運動会で競争する意識がもてない。クラス替えがない。役員や旗当番がとても負担が大きい。クラブ活動がいろいろできない。
- ・ 苦手な人と同じクラスになる確率が上がったり、入りたい部活がなかったり、諦めることが多いのも、小規模校だと思います。

31

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

1) -③「1学年あたりの適切と考えるクラス数」（未就学児保護者）

小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から1つ選択してください。

全体		1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上
選択数	66	2	19	39	5	1
構成比	100.0%	3.0%	28.8%	59.1%	7.6%	1.5%

32

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

1) -③- 1 「クラス数選択の理由」 (未就学児保護者) ※複数回答

前問「1学年当たりの適切と考えるクラス数」で回答した理由に近いものはどれですか。
次の中から、当てはまるものをすべて選択してください。

全体	1 全学年の児童と交流しやすい	2 深い交友関係の構築を期待できる	3 個々の活動の場が増える	4 教員の目が行き届きやすい	5 体育館など余裕をもって使うことができる	6 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい	7 広い交友関係の構築をききたい	8 クラス替えが人間関係が固定化しない	9 多数の先生と関わりやすい	10 クラブ活動や委員会等の選択肢が多い	11 運動家などの醍醐味を体験させられる	12 多様な意見に触れさせることができる	13 その他	
選択数	66	16	24	12	35	9	5	26	40	20	12	20	17	1
構成比		24.2%	36.4%	18.2%	53.0%	13.6%	7.6%	39.4%	60.6%	30.3%	18.2%	30.3%	25.8%	1.5%

※回答者数に対する割合です

○アンケート調査の結果について (教育環境に関するアンケート調査報告書P17)

3校の教員47名の回答

1) -④- 「教員1人当たりの負担感」 (教員)

問 1-3 小規模校は、適正規模校 (1校あたり 12 学級から 18 学級) と比べて、教員 1 人あたりの負担が大きいと思うことはありますか (1つ選択)

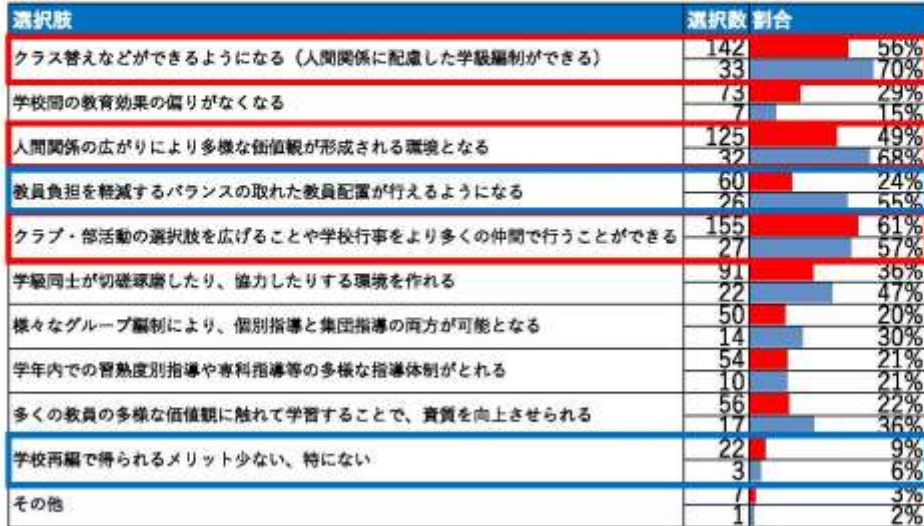
全体	負担が大きいと思う	どちらかといえば、負担が大きいと思う	どちらかといえば、負担が大きいと思わない	負担が大きいと思わない
47	24	12	9	2
100.0%	51.1%	25.5%	19.1%	4.3%

76.6%

○アンケート調査の結果について

3校の保護者254名と教員47名の回答

2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」(保護者、教員)※複数回答



※回答者数に対する割合です

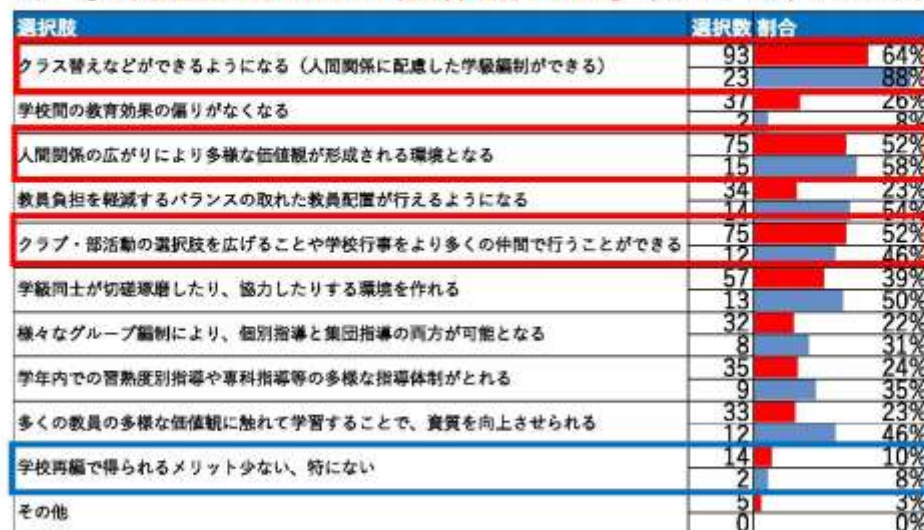
■ 保護者
■ 教員

35

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の保護者145名と教員26名の回答

2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」(保護者、教員)※複数回答



※回答者数に対する割合です

■ 保護者
■ 教員

36

○アンケート調査の結果について

3校の保護者254名と未就学児保護者66名の回答

2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者) ※複数回答

選択肢	選択数	割合
通学区域の見直し	158	62%
他の小学校との統合を行う	78	31%
小学校と中学校で統合を行う	50	20%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	85	33%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	63	25%
どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)	26	10%
その他	14	6%
	0	0%

※回答者数に対する割合です

■ 保護者
■ 未就学児保護者

37

○アンケート調査の結果について

平方北小学校の保護者46名、通学区域に居住する未就学児保護者28名の回答

2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者) ※複数回答

選択肢	選択数	割合
通学区域の見直し	27	59%
他の小学校との統合を行う	17	37%
小学校と中学校で統合を行う	8	17%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	20	43%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	13	28%
どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)	7	15%
その他	3	7%
	0	0%

※回答者数に対する割合です

■ 保護者
■ 未就学児保護者

38

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

2) -③「学校再編検討で配慮する点」(未就学児保護者)※複数回答

学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から3つまで選択してください。

	1 子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保	2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減	3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備	4 再編する学校の子供たち同士の事前交流	5 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示	6 避難所機能の存続・充実	7 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備(複合化)	8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明	9 その他	
全体										
選択数	66	57	41	20	12	10	14	5	20	0
構成比		86.4%	62.1%	30.3%	18.2%	15.2%	21.2%	7.6%	30.3%	0.0%

※回答者数に対する割合です

39

通学区域に関するアンケート 調査報告書

40

○アンケートの概要（通学区域に関するアンケート調査報告書P1～2）

通学区域に関するアンケート

調査目的：学校の再編検討に向けた参考資料とするため

対象校：平方小学校、大石南小学校、平方東小学校、
今泉小学校

調査対象：上記の通学区域内の未就学児保護者

調査内容：通学区域

41

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P3）

問1 現在、平方北小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。
今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、平方北小学校への就学を選択できるようになった場合、平方北小学校への就学を選択しますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 選択する	2. 選択しない	3. 分からない
512	5	462	45
100.0%	1.0%	90.2%	8.8%

42

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P3）

問2 「問1」で回答した理由について、次の中から1つ「○」を記してください。

「問1」 回答	問2 回答数	1. 小規模 な学校だから	2. 学校が 近くなるから	3. 学校が 遠くなるから (近い学校があるから)	4. きょう だいが他の 学校へ就学 しているから	5. その他 ※
1. 選択 する	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
2. 選択 しない	457 100.0%	22 4.8%	2 0.4%	371 81.2%	51 11.2%	11 2.4%
3. 分か らない	42 100.0%	3 7.1%	2 4.8%	20 47.6%	3 7.1%	14 33.3%
全体	504 100.0%	27 5.4%	6 1.2%	391 77.6%	54 10.7%	26 5.2%

43

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P4～5）

問3 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、どのようなところを特に重視して学校を選びますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 友達が多 く入学する	2. 通学距離	3. 通学の安 全性	4. クラス替 えができる学 校規模	5. 児童数の 少ない 小規模な学校	6. その他
507	45	266	151	26	3	16
100.0%	8.9%	52.5%	29.8%	5.1%	0.6%	3.2%

問4 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、配慮する点は何だと思えますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 児童の負担 を考慮した 通学距離	2. 児童が安全 に通学できる通 学路	3. 保護者や地 域住民に対する 意見聴取	4. 保護者や地 域住民に対する 説明や情報提供	5. その他
506	256	213	18	11	8
100.0%	50.6%	42.1%	3.6%	2.2%	1.6%

44

質疑・応答

45

意見交換

46

意見交換の内容

- ・平方北小学校の現状の学校規模について感じていること
- ・アンケート等を踏まえて考える望ましい学校規模について

【頂いた意見】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

47

【頂いた意見】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

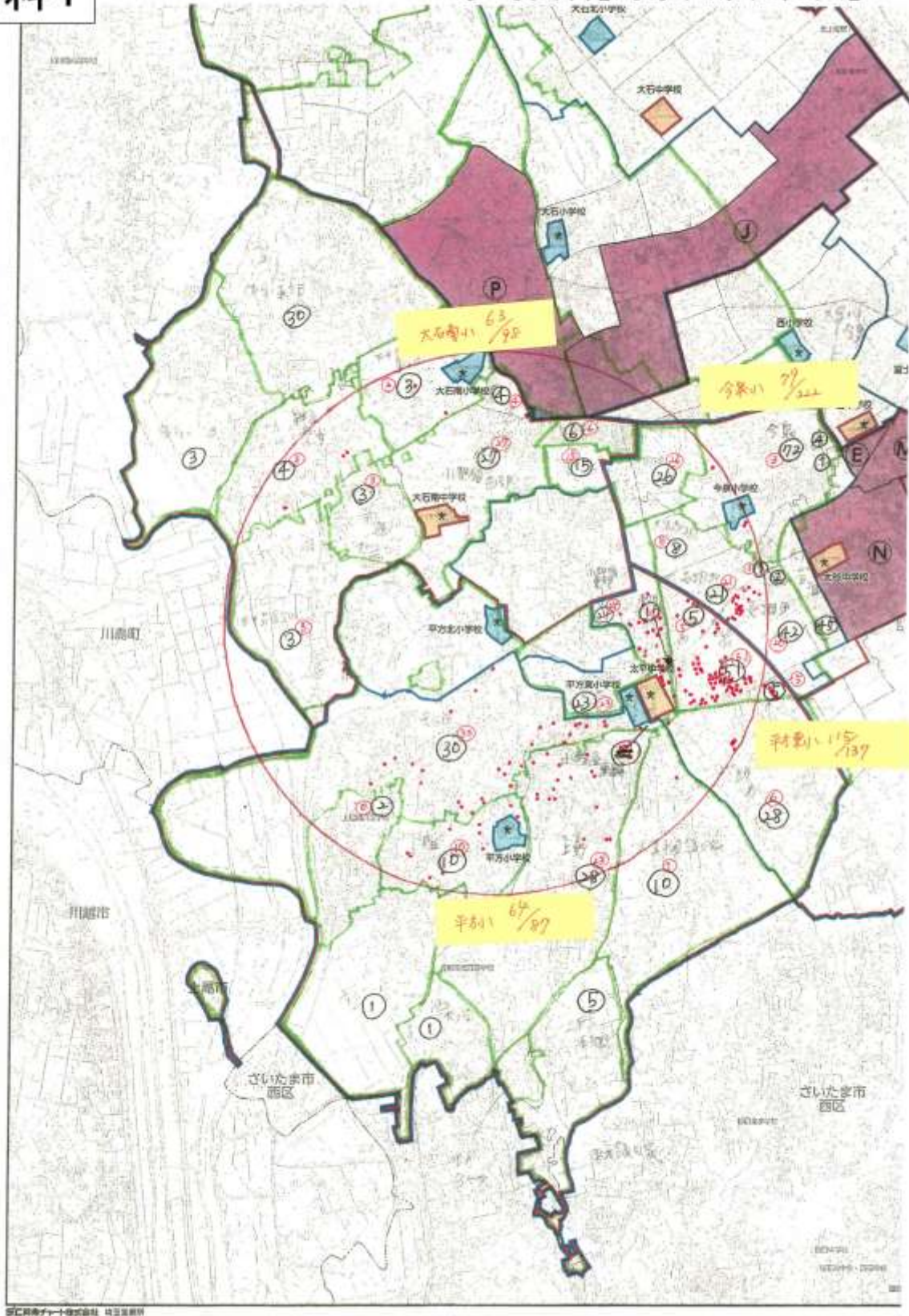
48

お疲れさま
でした

49

資料1

参考資料【対象世帯位置図】



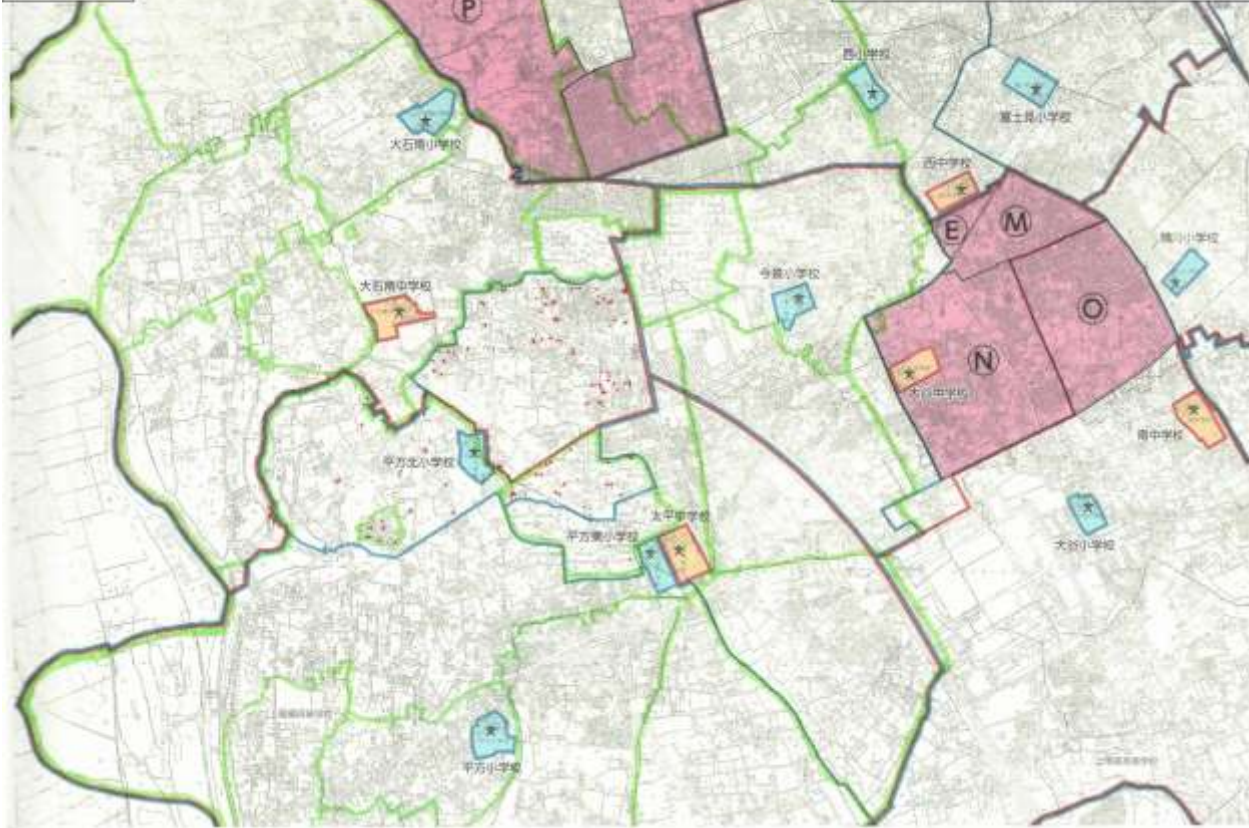
資料2

参考:在籍兒童位置図



資料2

参考:在籍兒童位置図



平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.2 令和6年12月5日発行

◎ 平方北小学校再編検討協議会とは

- 市学校施設更新計画基本計画では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。
- 市では、平方北小学校が令和2年から1学年1学級編制の状態が続いており、今後もその状態が見込まれるため、令和6年度から上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

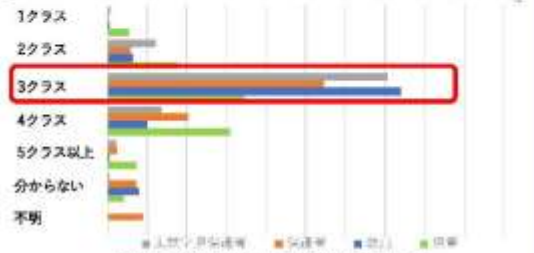


第2回協議会では情報提供と意見交換を行いました。

◎ 情報提供について

子供たちの学びに望ましい学校規模とは？

□子供たちの学びに望ましい学校規模を定めるにあたり、未就学児保護者、保護者、教員、児童を対象に実施したアンケート調査（※）では、小学校1学年あたりの適切なクラス数は、**3クラス**が最も多い結果となりました。市では、国の法令やアンケート結果等を踏まえ、子供たちの学びに望ましい学校規模を12～18学級と決めました。



※上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査

平方北小の児童数の推移は？（6年間で40%、74人減）

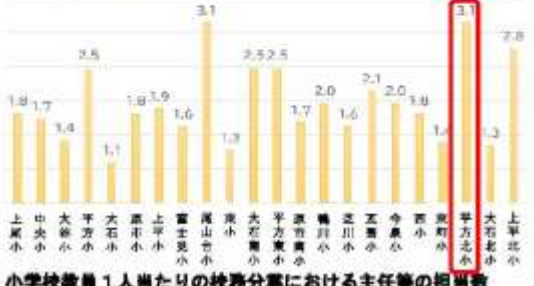
□平方北小の児童は、6年間で40%減少しています。6年前の推計では、令和6年度の児童数を140人と見込みましたが、推計値から28人（20%）減となりました。この理由は、転出や他校等への進学により減少したものと推測され、今後の児童数の推移を注視する必要があります。

H30→R6児童数 40%減 (74人減)

年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	～	R12
児童数	186	164	133	132	124	115	112	～	?

校務分掌の量に偏りがある？

□教員の仕事には、校務分掌という学校を運営するために教員が分担して行う仕事があり、各学校における校務分掌の数は、学校によって多少の違いはあるものの、教員配置が少ない小規模な学校と教員配置が多い大規模な学校で、教員1人当たりの校務分掌における主任等の担当数に偏りが生じています。



◎ 意見交換について（委員の意見の抜粋）

メリット・デメリット関係

- ・1クラス10人しかいない小規模では、皆さんがイメージする小規模のメリットとはちょっと違うという気持ちもある。（現役保護者）
- ・どんなところにもメリット・デメリットがあると思いますが、結局デメリットに感じる部分の方が私としてはちょっと強く感じている。（現役保護者）
- ・ベテランの教員方はいろんな学校を経験したうえでデメリットを感じると答えているので、一番その意見が大事なのではないかと思います。（未就学児保護者）
- ・修学旅行の行事一つにしても、私が前赴任していた小学校は5クラスだったので、旅行会社と打ち合わせをする担当、子どもに渡ししおりを作る担当、会計の担当、食物アレルギーの担当など5人で仕事を分担していましたが、それを全部1人がやることになるので、やはりその行事の負担とかはあると思います。（教職員）

学校再編関係

- ・「統合はどうかの」とか、「統合なんてしないで」というお話やチラシ、ポスティングなどよくありますが、それに惑わされなくて欲しい。（現役保護者）

意見聴取関係

- ・漠然といろいろなアンケートやお話があったりしますが、最終的には平方の子どもの人数が何人くらいになって、学校規模を適正規模にすることを想定した場合、平方の地区全体で学校を何校になっているのか。そういったことを示したうえでアンケートを取ったり、子供たちの意見を聞いた方がいいのではないかと感じます。（地域住民）

学校規模関係

- ・子供の年齢が上がってきたときに、アンケートに書いてある通り人間関係などに直面したときに、クラス替えがないことが子どもにこんなに負担になるのかと思いました。逃げ道がないというか、行きたくても行けない子というのはきっといると思います。もしクラス替えがあって嫌だった子と分かれられたら、次の学年からは1年行けるということがあるかもしれない。（現役保護者）
- ・クラス替えができればうまく学校に通えた子が何人かいました。結局、修学旅行も行けなくなってしまったけれど、そういうのを見ていました。クラス替えがもしできていれば、その子たちもちゃんと学校に通えたかもしれないと思います。（地域住民）
- ・小規模は学年同士では少ないかなと少し思いますが、交流しやすいという点もあると思いました。（未就学児保護者）
- ・保護者は自分の子どもが通ってる学校のことしか知らないし、小規模校だったら小規模校、大規模校だったら大規模校、それ以外のことは多分ほとんど知らないと思います。（未就学児保護者）



◎ 次回のテーマについて

- 意見交換を通じて様々な意見が出たため、事務局で取りまとめを行い、第3回目の協議会では、意見の分類毎に議論を深めていく予定です。

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第2回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認ください。



1.3 第3回会議

1.3.1 会議録

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和6年12月19日(木) 午後3時から午後4時40分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、橋村 則史、本館 弘貴、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	佐藤 智栄	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 玉造副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、樫出主任、矢野主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) いただいた意見と補足する情報について (2) 近隣校をふまえた検討について (3) 児童への意見聴取について (4) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 8名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年2月5日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____</p> <p>(議長が欠けたときののみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
	<p>議題</p> <p>(1) いただいた意見と補足する情報について</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
A 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>複式学級のところなのですが、2学年で18人の場合、複式学級ではなく先生が2名配置されて、2学年で16人と2人減っただけで、2クラスを1人の先生が見るというのは、すごく理に合わないと感じるのですが、これは何で決まっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>教員の配置の基準につきましては、埼玉県教育委員会が定める市町村立小中学校学級編制基準というものがございますので、こちらで教員の配置人数は決めさせていただいております。</p>
A 委員	<p>埼玉県市町村立小中学校学級編制基準ですね。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に何かございますか。ないようであれば、続きまして、近隣校をふまえた検討について説明をお願いします。</p>
	<p>(2) 近隣校をふまえた検討について</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>近隣校をふまえた検討について、現段階でのイメージをご説明いただき、色々あるかと思いますが、方向性等、ただ今の内容で何か質問、意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
B 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>このシミュレーションでは平方北小の子を何人ずつ近隣校にとというのがありますよね。今の人数でシミュレーションしていただいているものですよね。</p>
事務局	<p>そうですね。現段階でのイメージですので、まずは平方全体としての考え方として、こういう考え方があるのではないかとということで、継続するためにやりましたので、今の児童数をベースに作っております。</p>

B 委員	<p>何年か経ったときを想定した場合は、こういうふうにならない大きな変化もあり得るということですね。</p>
事務局	<p>はい。おっしゃる通りです。今わかるのが、未就学児の児童の分布までなので、もし本格的にそういった5年先どうなるかというところを検討するのであれば、シミュレーションを未就学児に置き換えるなど、いくつか考え方を作らなければならないとは思いますが。</p> <p>現時点で、今一番わかりやすいものとしては、現在の児童で考えるというものかと思いましたが、こういった平方全体を考えるということでの検討の仕方の方向性というものを考えてみましたので皆様に共有させていただいたところでございます。</p>
B 委員	<p>平方北小の生徒さんを近隣校にというシミュレーションをされていますけど、適正規模を考える場合に何年か後にもっと児童数が減ってくれば、さらに、どこかの小学校もあわせてやらなければいけないという事態もありますか。</p>
事務局	<p>その可能性もあります。</p> <p>そうなると言いが難しいのですが、前にBさんがおっしゃっていたように、エリアとしてどういう形の学校を作っていくのかというのが重要になってくるのかと思います。</p>
B 委員	<p>いろいろなシミュレーションしてみるのは必要なことだと思うのですが、子どもたちのことですので、やはり実際にやってみて駄目だったから、次にもう1回やりましょうという話にはならないと思います。なので、もうちょっと何か先を見据えたやり方というのが何かないのかなと。</p> <p>いろいろなことをやるときにこれが駄目だったら、駄目だったら駄目だったでいいじゃないかというように取り組むというのは、子どもたちのことなので、極力避けなければいけないと思います。</p> <p>そうであれば、今回のシミュレーションはわかりますが、もっと先を見据えて本当に学校配置をどのようにしなければいけないか、それを目指していくとすると、1年ごとにどのようになるかという見方をしていた方が良いのではないかと。</p> <p>この説明を聞いていてちょっとずれるのかもしれないですけど感じました。</p>
事務局	<p>今回のシミュレーションにつきましては、その先を考えていく上で何も取っ掛かりがないと難しいだろうというところもありまして、このような形で機械的に近い状態でシミュレーションさせていただきました。ですので、今後、この協議や考えを作っていく中で、みなさまから条件などをいただいて、それをもとに新しくシミュレーションなどをお示しできるといいのかなと思っています。</p>
A 委員	<p>今のご説明を伺っていて、いろいろ考えていただいているのだなということがわかったんですけども、再編した方がいいという共通の認識はここで生まれていたでしょうか。</p> <p>現状維持という考えはない状態でお話が進んでいるのかなと感じま</p>

事務局	<p>す。いろいろご説明を伺って、学校規模が適正ではないっていうこともよくわかりましたし、その小規模校の弊害も理解ができました。小規模について良い点とそうでない点というのが相互に出たと思うのですが、再編をすることに踏み出した方がいいという合意はありましたでしょうか。という基本的な質問です。</p> <p>再編をするという全体の合意は協議会の中で取られていないかと思いますが、適正規模校にしていくという考え方については、ご理解はいただいていると思っております。前回の会議で、平方北小から他の学校に行っても児童数がそんなに多くならないなどのお話があり、実際の数字などが分からないと考えるための材料が足りないのではと思い、再編に向けた考え方の一つとしてのシミュレーションを周知させていただいていただいたところでした。</p> <p>今回、このような検討材料を事務局が作成して、皆様にどの方向がいいのか、再編する方向であったりとか適正規模にする形についてのご意見をいただけるとありがたいのかなと思っております。</p>
C 委員	<p>今の件と近いのですが、適正規模を中心に考えるのであれば、この表では大石南小が入っていますが、大石小学校も中に入れなければ、不十分になると思います。</p> <p>例えば、非常に近いので大石小学校から大石南小への移動も視野に入れればできると思います。</p> <p>あと、西小もそうだし、大石北小もそうなんですね。十分通学可能な距離だと思うので、平方だけを考えるのではなくて、平方と大石と一緒に考えての方がスムーズに流れるような気がします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>考え方としては理解はできますが、通学の距離など物理的なものがかかり大切になってくるかと思えます。また、今は平方北小学校からの子をどうしようかという考えがありますので、まずは平方北小学校をメインに考える必要があるのかなと思っております。</p> <p>ですので、他の学校についての考えを膨らませるのは、今の段階では少し難しいのかなと思っております。</p>
D 委員	<p>すみません。ちょっと気になったのでわかれば教えていただきたいのですが、「第3回平方北小学校再編検討協議会資料」35ページ、平方北小の児童を編入する場合のシミュレーションでその通学距離を測ったところ1.5キロ以上となりそうなのが1名となっていますが、例えば大石南小や平方小などもっと校区広い学校だと思えますが、通学距離が1.5キロ以上の児童は何人ぐらいいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在の通われている児童において正確な人数はわかりませんが、通われている児童もおります。</p> <p>大石南小学校、平方小以外でも、大石小学校などは、1.5キロを超えている児童もおります。</p> <p>事務局で把握している中で、一番通学距離が長い児童は、大石小学校に藤波の地区から登校している児童であることは、過去の情報より把握しているところでございます。</p>

<p>会長</p>	<p>その他、何かございますか。ではこちらから E 委員はいかがでしょう か。</p>
<p>E 委員</p>	<p>この 2 つの検討案を見比べて、ぱっと見た印象としては、平方北小から分散するという形の方がいいのかなという気はします。適正規模が平方北小に他校から来てもらおうと、結局どこも小規模校ばかりになってしまう。平方東小にいたっては適正規模だったのが小規模に減ってしまうくらいです。それよりは、シンプルに見る限りでは、平方北小から分けた方が、他の学校も小規模が適正規模になる学校や適正規模を維持できる学校もあるので、その点で考えるとこちらの方がいいのかなという印象があります。</p> <p>あとは、通学路が遠くなる子がいることについては、今後の子どもたちもどんどん減っていくのに、現状の子どもたちの分布でしか測ってないので、判断材料にならない気がします。</p> <p>いろいろと改善していくべき問題があると思うので、通学の遠いとか通いにくいなどの問題は、今はあまり検討材料としては必要ないという印象を私としては持ちました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。続いて F 委員はいかがでしょう。</p>
<p>F 委員</p>	<p>さきほど C 委員が大石小も検討対象にするというお話されていましたが、そこまで範囲を大きくするとすると、通学路の編成を全部で考えないといけないかと思います。</p> <p>検討案の近隣校から平方北小に転入させる案で、大石南小とか平方小からは転入させないとなっていました。大石小から大石南小に通える子も 1.5 キロ圏内にいると思います。大石小から大石南小に移って大石南小が増えれば、大石南小から平方北小に移れる子がいると思います。</p> <p>以前ニュースレターをいただいて、その中で市では学校規模 12 から 18 学級と定めたとありましたが、12 から 18 学級が適正と定めたら、大石小などの適正規模を上回る 5 クラスぐらいある学校などは議題にあがらないのでしょうか。</p> <p>大石地区に人がたくさん固まっているので、そういった話が難しいことはわかりますが、大石地区のクラス数が多い学校を 3 クラスなどの適正規模となるように平方地区にずらしていけば、平方北小も 2, 3 クラスの適正規模になる可能性があるかと思っています。</p> <p>難しい話ではあるかと思いますが、それぐらいしないと通学区の編成はできないのではないかと思います。もっと高崎線西側の小学校で考えてないといけないかと思いました。</p> <p>もし遠くから平方北小に通うとなれば、大人は心配するかと思いますが、1.5 キロより長く歩いている子もいたと言っていたとおり、子供は結構順応性があるので、多分距離はあまり関係ないかと思っています。子供は遠くでも通うし、例えば平方北小がなくなって他の学校に行くとなったら、それは寂しいかと思いますが、子どもは大人が心配するより、通えるかと思っています。仮にそうなるとしても、通学路の安全面だけ考えてあげれば良いかと思っています。通学距離は大人が心配するより子どもは乗り越えられるのではないかと思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。G委員はいかがでしょう。</p>
<p>G委員</p>	<p>E委員とF委員の意見とすごく同じような意見で、平方北小の生徒がほかに分散するというのが、この図を見る限りだと一番しっくりくると思いますが、今後を考えていくと、どこの小学校どこの区域も子どもたち減っていくっていくのを考えないといけないかと思います。</p> <p>通学路の編成も、上尾市の線路で区切って、西と東とかで分けて編成していくっていうが一番良いのではないかと思います。</p> <p>他の小学校でも家から近い小学校があるけれども、学校の区域が違うため、近くではない小学校へ行っているという子たちもいます。道路で学区を分けていると思いますが、子供のお友達もいる隣の学校に行けたりしないのでしょうかと相談したことがあるのですが、道路を渡るというのが駄目だと言われました。上尾市の小学校の登校班については渡る道を考えて編成もしているということでした。</p> <p>親としては安全に登校できるようにしていただければ、心配なく学校に歩くことができるのではないかと思います。F委員が言っていたように、私の子供は平方北小まで行くのを遠いとは言ってはいますが、私から見れば距離はそんなにはないのではないかと思います。1年生でランドセルを背負っていくこと自体が大変なので、距離の数字上の問題ではなく、子供の安全面を大事にいただければというのが私の意見です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。H委員はいかがでしょう。</p>
<p>H委員</p>	<p>この学区の検討についてですが、例えば平方北小に、今泉小から49人、平方東小から61人転入することが決定した場合に、その49人の今泉小の子たちと、平方東小の61の子は強制的に転入になるのでしょうか。</p> <p>各ご家庭で決めて、平方北小か平方東のどちらに通うか選べる形になるのでしょうか。</p> <p>1軒家などを買う時に、駅までの距離や近隣の小学校、中学校までの距離などが、情報として出ていると思います。それを見て、今泉小に通わせたいから家を買いましたというご家庭もいるかと思いますが、そこが選べる形になるのか、市で決めたらもう強制的になってしまうのかと思いました。</p> <p>やはり、平方北小に通わせたくて住んでいる方とかもいらっしゃると思うのですが、平方北小から近隣の学校に子どもたちが通う方が話は進みやすいのかなと、この2種類で選んだ場合には思います。いろんな方たちのお話を聞いて学区を拡大するのはちょっと難しいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今ご質問があった、学区が変わる際には家庭で選択させるという感じなのではないでしょうか。それとも、強制的にという感じでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さんの協議が必要になってくると思います。</p> <p>調整区域も実際にはあるので、今のお話を聞いたところ選択制もできるかとは思いますが、ここで選択制にしますとか断定的なことはお話が</p>

	<p>できないです。選択制も方法の一つになりますということはお伝えさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>まだ全然決まっていなくて、もしそうなるようであれば協議をするという感じですね。ありがとうございます。I委員はいかがでしょう。</p>
<p>I委員</p>	<p>先ほども話が出ていますが、近隣の状況を踏まえた検討について、どちらかをやりましょうというのであれば、平方北小の子が移動する方が現実的なのかなと感じました。</p> <p>適正規模化させるとかもし近隣の方を編入させるのであれば、それこそまたこの今泉小学校学区の保護者の方であったり、平方東小学校の保護者の方とかにも説明会を開いて、納得していただくととなると、その納得していただくのは難しいのではないかという話になると思います。そういうところで、関わる人数の多さ的にもこちらの方が良いとは思いましたが、先ほどの皆さんの話を聞く中で、結局この平方北小学校の学区のところを決めたとして、また5年後10年後とかに、他の学区でそういうことをやるのであれば、西側全体で学区を検討していくというのもあるかなと感じました。</p> <p>あとさきほど藤波から大石小に通っている子がという話がありましたが、私が1年生の担任を持っているときに、ほとんど桶川市のところから、大石小学校までは8時に着くためには7時ぐらいに出るみたいな子がいました。</p> <p>1年生の女の子だと4月5月頃は来たくないと言っていたりするのですが、成長して6年生とかになって立派に卒業していききましたので、確かに慣れはあるだろうなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。続いてJ委員はいかがでしょう。</p>
<p>J委員</p>	<p>これが2パターン出ているわけですが、これに固執しているわけではなく、単なる例示だと思います。一応情報までに皆様にお伝えしたいのは、通学区域については教育委員会が決めるもので学校は決められません。</p> <p>通学路については学校長の裁量で決めているものであります。</p> <p>この2パターンのみで話をさせていただけると、この2パターンにどちらかになった場合には校長が安心安全に子どもたちを通学させるにはどうしたらいいかというのは、かなり検討しないといけないなというふうには感じております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。K委員はいかがでしょう。</p>
<p>K委員</p>	<p>平方北小の再編ということで今ご説明いただきましたが、一つ目が平方北小学校の学区拡大、二つ目が近隣校の学区拡大ということで、いろいろな考え方をされていると思いました。また、平方北小の方から平方小に編入ということで、単純に平方小が増えるのであればそれもいいのかなという思いも少しあります。平方小はなかなか増えないところなので、むしろそういうことがあるのであれば、そういう考え方もありかなと思いました。</p>

<p>会長</p> <p>L 委員</p>	<p>ありがとうございました。L 委員いかがでしょうか。</p> <p>今の通学範囲の問題は別として、私は平方北小を残していった方がいいと思います。</p> <p>私は小敷谷東部区からどのぐらい生徒が行っているのかというのが気になっていました。少し愚痴になりますけども、小敷谷東部区はコウモリのような状態なのですね。</p> <p>この問題が最初に持ち上がってきたころ、区長会の方で説明があったのですが、小敷谷東部区が平方北小の説明会には入っていませんでした。大石地区の説明会の時には、平方北小の学区内の方は関係ないと言われました。平方の説明会では小敷谷だから外されて、ちょっと寂しい思いをしています。</p> <p>それと余計な話ですが、小敷谷東部区は防災訓練にも参加できない予定になっています。この前、大石南小学校で防災訓練あったのですが、うちの方からは児童が通ってないので、防災訓練に参加できませんでした。</p> <p>今度、平方北小で訓練をやる時は、多分平方地区だから小敷谷東部が外されるのではないかと。こういうことで、非常に困っている状況が続いています。</p> <p>小敷谷東部区の児童は大石南小には通っておらず、平方北小と平方東小に分かれて通っています。中学校も大石南中と太平中に分かれて通っています。学区については入り組んでおり非常に苦慮しております。</p> <p>そのため、私は平方北小は残すと考えています。</p> <p>小敷谷西部区も平方北小に近いのですが、大石南小に通うことになっています。小敷谷西部区が近いので、そこを編成すれば、平方北小を残しても、まだまだ児童は増えていくのではないかと思います。前、聞いた予定ですと、平方東小と合併していろいろやると言いましたが、平方北小を大きくして、平方東小には防災の基地として、太平中学校の近くにいてもらえればと考えています。ひがみでいうわけではないですが、平方平方で、前回もこちらの方が全然出てこなくて非常に寂しい思いをしました。ちょっと愚痴になりますけども、それでもちょっと生徒さんも通っていると、結構うちの方から行っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>青木副会長か何かご意見ありましたらお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>今回の話し合いですけれども、一番よかったなと思うのは前回のなぜ適正規模なのか、それからどうしてその学級数や学級の中の人数が決まっているかなど、わからないこととか、共通理解できてないこととか結構ありました。</p> <p>だから、今回事務局の方から詳しい資料を出していただいて良かったなと思います。単学級で大変だけど複式になっちゃうともっと大変になっちゃうとか、そういうことが共通理解できたのかなと思います。この共通理解されたことをベースにこの再編の検討をしていくということが重要なんじゃないかなと今回思いました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様からいろいろご意見を伺いました。どうもありがとうございました。いただいた意見は後日、事務局の方にて取りまとめいたします。事</p>

	<p>事務局は取りまとめをお願いいたします。 次回の会議ではこうした意見を踏まえながら、また更に協議を進めていけたらと思っております。 続きまして、児童への意見聴取について説明をお願いします。</p> <p>(3) 児童への意見聴取について</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>それでは5つほど検討の項目がありますが、まず意見聴取をすることの目的、アンケートの内容にも関わってくるかと思っておりますので、そのあたり何かご意見ございますでしょうか。</p>
E 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>2番の聴取の対象について、先ほど出していただいたアンケートの分析はわかりやすかったです。もうちょっとその対象を広げて欲しいと思いました。今通っている小学生に聞くのはもちろんですが、小学校6年間を経験して卒業した中学生とかにもアンケートの対象を広げられないかなと思います。</p> <p>中学生になると規模も大きい学校に行くし、他の学校の子たちとも実際に会ってみて、自分たちは小規模にいたけれども、複数クラスあるというのは、こういう面があったのだからという良い面も悪い面もそれで気づく子たちがきっと多いと思います。</p> <p>上の子供が今年太平中に1年生で入ったので、平方北小で6年間1クラスを経験してから、太平中で3クラスを経験しています。1クラスの数も今までの倍まではいかないですけども、30人以上はいます。今までが20人程度、中学校では30人程度です。</p> <p>中学生にもなると自分の意見もきちんと振り返ったりとか、まとめたりもできる年頃だと思うので、できれば中1、中2、中3ぐらいまでも対象にしていただければと思います。近隣校の太平中、大石南中だけでもいいですし、もうちょっと広げていいと思います。そういう中学生にも同じような内容でもいいので、アンケートを取るのはいかがでしょうかと思いました。</p> <p>実際に上の子供ともそういう話を少しして、平方北小から太平中で規模が大きくなったけどどうか、という話もしますが、やはり中学校はすごく楽しそうです。</p> <p>いろいろな行事ごとについて、全然規模が違くと本当に生き生きとすごく楽しく話をしています。小学校でも楽しい思い出いっぱいだったけれども、もう少し小学校もこういうこともできたのではないかといい思いも話してくれるのではないかと考えます。過去に小学生だった中学生にもアンケートを取ってみるのも良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。少しご意見いただきたいと思いますが、対象者を広げるという話もありましたし、あと意見聴取は一応行う方向でという話でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>昨今は子どもの意見をしっかり取るというのが行政としてのスタン</p>

	<p>スでございますので、意見聴取は行いたいと考えているところです。 あとはアンケートの実施時期も含めて、いつ誰に実施するのかというところも含めて検討する必要があるかと思うところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>意見聴取の方法についてアンケートであったり、もしくは何人かの現役の子どもたちから直接お話を伺うということもありだと思いますが、その辺に関して何か内容とかその手法とかの時期とかも何かございましたらご意見いただきたいと思いますが、いかがですか。</p>
<p>I 委員</p>	<p>アンケートの対象の数が少ないので、子どもの気持ちとかでブレてしまうと他のところにもつけてしまうことがあるのかなと思います。アンケートをとる場合に、スライドだったりとか動画などでこのアンケートの趣旨を説明したりだとか、メリット、デメリットとかを話した状態でやった方が良くないと思います。</p> <p>学校でも、学校に来るのは楽しいですかというようなアンケートを取りますが、月曜日の朝に取ると、つらいことがあるという回答をつけたり、逆に友達とすごい仲良くなったときとかに、〇〇ちゃんと最近仲良しで楽しいとかはあります。そういう時期であるとか、前提条件とかを学校ごとに揃えた方がいいと感じました。</p>
<p>J 委員</p>	<p>この調査を見て、2つ自分は感じましたが、1つは子供というのは現在の自分が置かれている状況が一番中心になって、それで答えているなというところ。もう1つは、43番目のスライドを見ていただくとわかるのですが、例えば平方北小は1人答えるとそれが2.6%なり、平方東小は1人だと0.4%ということで、うちは人数が少ないので1人の%がすごくウエイトが占めていることがわかると思うのです。</p> <p>したがって、調査結果は、慎重に分析していただけるとありがたいなとは思っております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>母数の数値が少ないとちょっとでパーセンテージがすごい変わりますよね。その辺は事務局の方で お願いしたいと思います。 その他何かございますか。D委員はいかがですか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>はい。意見聴取の設問のところは基本的にその選択式で答えることになっていると思いますが、対象は小学校1年生から6年生、中学生まで広げるにしても、理由を選んでくださいまでの回答だと小学1年生がどの程度理解して回答できるかはよくわからないと思います。選択式にするにしても、小学1年生が「いろんな人の意見を聞くことができるから」というような難しい選択肢を選ぶのかと思うので、設問の内容についてはよく考えて作らないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。F委員はいかがですか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>聴取の目的のところですけど、平方北小がなくなる前提の話し合いではないとのことですが、ちょっとなくなる前提になってしまうのですが、もし平方北小がなくなることに決まったとして、在籍している子どもからすると、とても悲しいことで、大きい出来事だと思います。</p>

	<p>そのため、子どもも大人が決めたことで平方北小がなくなりますということではなくて、ちゃんと子どもたちにも意見を聞いて、その上で平方北小が廃校になりますということも考えられると思います。</p> <p>同じ学校の友達と分かれることになる時に、子どもたちも意見を言えてそうなるのと、何も言えないで分かれるのでは、心のダメージや捉え方は違うのかなと思います。それを目的にしていなくて、大人が勝手に決めて平方北小がなくなったということと、自分たちもちゃんと意見を言えて、それでもなくなったのでは過程が全然違うのかなと思います。</p> <p>北小がなくなる結論に達するときまでの過程は大事で、アンケートを取る目的はそこなのかなと思いました。もちろんなくならないかもしれないですけど、なくなるという方向になったときの子どもの考え方とか受け捉え方は、子どもにちゃんと話を聞いてあげればまた違うのではないかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。G 委員いかがですか。</p>
<p>G 委員</p>	<p>ちょっとまた話がずれてしまうかもしれませんが、家の中で子供と一緒に小学校の先生の話とかしていると、今 1 年生なので学校は楽しいけれども、他の周りの小学校には同じ保育園だったお友達がいるので、そっちに一緒に行きたかったっていう思いもあるみたいです。</p> <p>対象となる子供について、低学年であったり、高学年とかでも、アンケートの内容を変えるとしても、言葉遣いとか、記述式を選択式になどかだと思います。</p> <p>多分子どもに同じようになる前提とかで聞いたらきっと喜んで違う小学校に行くと思います。みんなで一緒に行けるんだったらそっちの小学校がいいっていうふうに子どもは言っていました。</p> <p>子供としては場所をどうっていうよりも、お友達と一緒に移動するのであれば別に平方東小でもどこでも変わらないっていう認識でいると思います。</p> <p>前提が友達と一緒に。お友達が増えるっていうところの認識でしかなかったので、子供に聞く場合、設問の仕方とかがちょっと難しくなってくるかだと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。B 委員いかがですか。</p>
<p>B 委員</p>	<p>皆様のご意見を聞いていて、子どもたちにいろいろ聞く場合に子どもたちによりイメージが出てくる聞き方をしなければと思いました。友達と一緒に居られるとか、低学年の子だと具体的なイメージがわくような話をしたうえで質問をしていかなければいけないし、そういうことのために聞いているのですよということを伝えるのが必要なのかと思います。</p> <p>突然、クラスの人数が多い方が良いか、少ない方が良いか聞いたとしても、友達多い方がいいという話になると思います。例えば平方北小学校の人数が少ないので、適正規模の学校にするために他の小学校に行くことになるのはどうですかとか。</p> <p>子どもたちに何のために聞かれていて、自分が答えることによってどういうことが起きるのがわかるような内容にしてあげた方が良い</p>

C 委員	<p>のではないかと思います。年齢層の低いところになると、アンケートで丸つけてもらうというより、子供たちの話をちゃんと聞いてあげるといようにした方が良いと思います。</p> <p>私の孫は大石小学校の近くの小泉に住んでいたのです。風評ではないのですが、大石小学校の人数が多くて大変だよっていう話を聞いて、仲いい友達と話し合っ、今泉小学校のすぐそばのところに家を買って引っ越しました。今でも今泉小に通っているのですけれども、幼稚園のときから母親とどうするって話を何回もしました。</p> <p>仲いい子がいるから移動するとかっていうのもあるだろうし、逆に離れたいからというのもあると思うのですね。</p> <p>私の娘は今泉小の近くに住んでいたこと、地域の小学校に行くこと、担任が仲良かったのですが、今でも今泉小で仲良くやっています。</p> <p>だから、一概には言えないと思います。子どもにどうするのだからって言われてもわからないと思います。</p> <p>最終的には親が決めるしかないかもしれない。</p>
E 委員	<p>調査の対象として今回例として挙げていただいたアンケートの対象は小学生5、6年生だけで、低学年ではとっていないのですよね。</p> <p>今後とる予定も、そもそもどの学年からとるかっていう話はまだはっきりしないのか、とるとしたら5、6年なのでしょうか。</p>
事務局	<p>あとは皆様のご意見も踏まえて作成していくことになると思うのですが、当時の話をさせていただきますと、学校の先生や、教育委員会の先生方にも話を聞いて、ある程度このような内容について経験を経て答えられるのがどれくらいかなというところで、5、6年生が良いところなんじゃないかというので、とらせていただいたところです。</p> <p>あとはその前、更新計画の基本計画を作る際にもアンケートをとっていますが、その際は、大人の方と一緒に小さい子については、意見を子どもに聞きながらやってくださいねというアンケートはとらせていただきました。</p> <p>そういったやり方でそれぞれ意見を聞いてきたという経緯をもっているところです。今日はいろいろとご意見がありましたから、対象をどうするかというのは結構重要なのかなと思っています。</p>
会長	<p>ちなみにE委員はどのくらいを対象にしたらよろしいと思いますか。</p>
E 委員	<p>やっぱり5、6年生から中学生も入れてほしいなと思います。他に聞くなら聞くで、もうちょっと内容を変えて、親御さんと一緒に話しながらとか答えるような感じがいいかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ご意見の一つとしていただきます。</p> <p>アンケートや意見聴取をするということについて、目的や趣旨をちゃんと説明して理解できるようにしておくなど、いろいろご意見いただきましたので、この辺りに関しましては、事務局の方で案を取りまとめをよろしく願いいたします。</p> <p>参考にしてまた次のところで提案させていただきたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>(4) その他 これまで出てきたところで今のアンケートの部分でも、全員にご意見いただくことはできなかったのも、フリートークの時間を設けたいと思います。全体的にでもその会議の内容でも構いませんので、何かご意見とかご発言とかいただければと思います。何かございますか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>アンケートのことですけれども、E 委員がおっしゃっていた、中学生も対象にすすめるのはすばらしいなと思いました。あとやはりそういう経験を踏まえた子供たち同士が話し合うとか、そんな場があってもいいじゃないかなというふうに思いました。 あとこれが子どもたちのことだけではなくて小学校というのが、地域にとっての財産だっているという考え方をいたしますと、避難所という役割があったりとか、小学校の役割ってたくさんあると思うんです。 その中で私達の丸山団地の子供の数は本当に減っているんですけども、減った原因というのが、子育て支援制度で結構入居していた方がいましたが、ちょうど10年目を迎えて結構退去してしまったというところもあります。何かできることはないかなと考えたときに、やはり子育て支援政策でお子さんが転居しやすい状況を作っていきたいんです。例えばこれで平方北小がないとなると、通学に結構時間がかかるので、やっぱり選ばれない地域というふうになってしまうのは非常に怖いなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。何かご意見ございますか。他にないようであれば、その他、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。今後の予定でございますが、4回目の協議会は2月27日を予定しております。ご協力のほどよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。 閉会</p>
<p>事務局</p>	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>以上をもちまして、令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>青木副会長ありがとうございました。第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様お疲れさまでした。 以上</p>

第3回平方北小学校再編検討協議会

1

第3回平方北小学校再編検討協議会

資料

次第

第3回
平方北小学校
再編検討協議会
資料

意見・質問
に関する
資料・情報提供

2

【第3回 協議会の内容】

- ① いただいた意見と補足する情報についての説明
《質疑・応答》
- ② 近隣校をふまえた検討についての説明
《協議》
- ③ 児童への意見聴取についての説明
《協議》
- ④ フリートーク

3

いただいた意見と補足する情報について

4

○前回までの会議でいただいた意見・質問

- (1) 学校の再編に関する事…… 13項目
- (2) 通学区域の編成に関する事…… 2項目
- (3) 児童の安全確保に関する事…… 0項目
- (4) その他事項…… 6項目

5

○前回までの会議でいただいた意見・質問

- (1) 学校の再編に関する事

- ・学級人数

- ・教員の負担

- ・自治会ごとの児童数

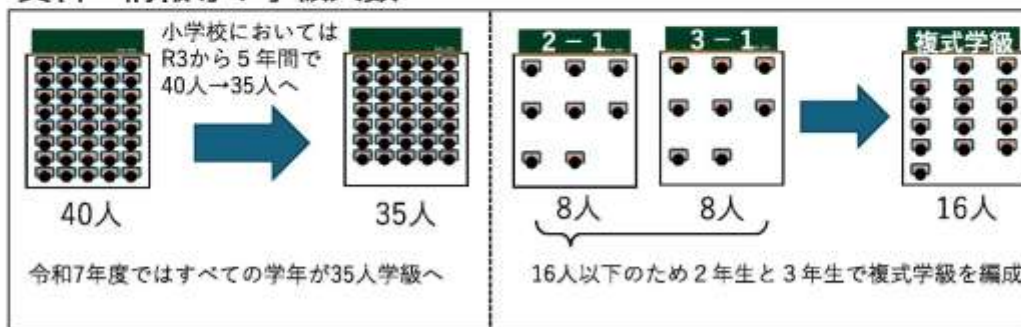
6

○前回の意見や質問 (1)学校の再編に関すること 整理番号2-1

意見・質問:学級人数

・小規模校のメリットとあるが、現状の1クラス20人程度では、1クラス30人程度の小規模校よりメリットは少ない。

資料・情報等:学級人数

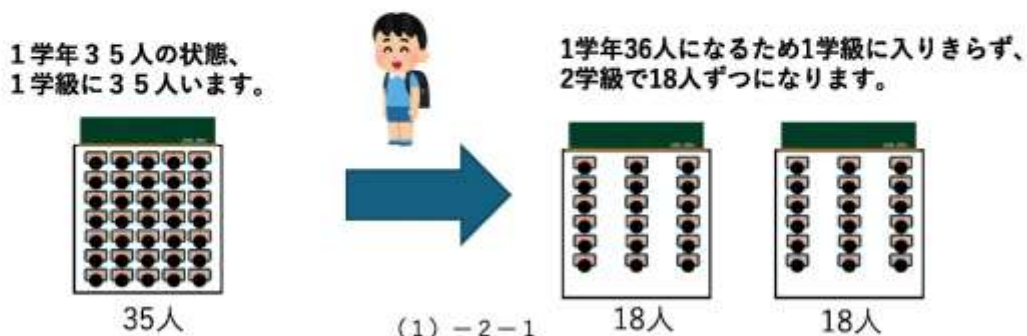


(1) - 2 - 1

補足説明 (1学級あたりの人数)

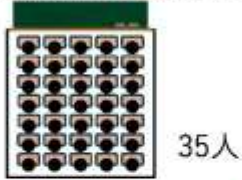
- ・1学級あたりの人数は、各学年の児童数と学級編制の上限人数により決まります。
- ・令和6(2024)年では、埼玉県教育委員会が定める埼玉都市町村立小・中学校学級編制基準において、小学校第1学年から第5学年は35人、小学校第6学年は40人が、1学級の児童生徒数の上限人数となっています。
- ・従って、**各学年の児童数の違いにより、1学級あたりの人数が異なります。**

この学年に児童が1人転入すると…

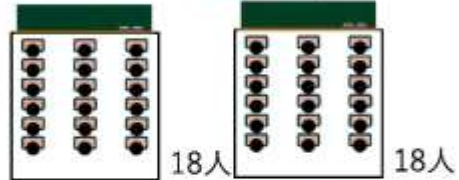


補足説明（1学級あたりの人数）

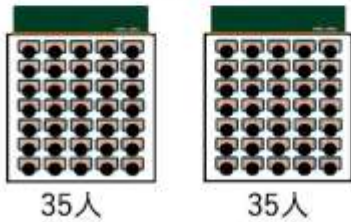
A校 小学校第1学年の児童数が**35人**
 →**1学級編制** [35人]
 →1学級あたり**35人**となる



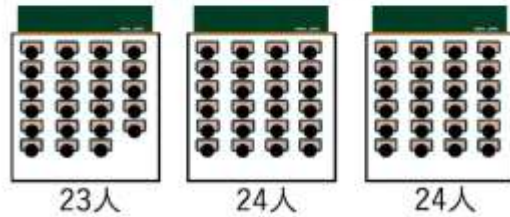
B校 小学校第1学年の児童数が**36人**
 →**2学級編制** [18人・18人]
 →1学級あたり**18人**となる



C校 小学校第1学年の児童数が**70**
 →**2学級編制** [35人・35人]
 →1学級あたり**35人**となる



D校 小学校第1学年の児童数が**71人**
 →**3学級編制** [23人・24人・24人]
 →1学級あたり**23~24人**となる



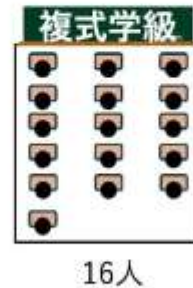
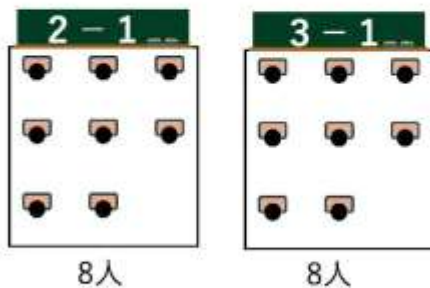
(1) - 2 - 1

補足説明（複式学級）

- ・ 2つの学年の合計人数が16人を下回った場合、2つの学年を1つの学級として複式学級にすることとなっています。
- ・ 1年生を含む場合は2つの学年の合計人数が8人を下回った場合に限ります。

2年生と3年生がそれぞれ8人ずつになっています。

2年生と3年生の2学級を一つにして、複式学級になります。



(1) - 2 - 1

補足説明（複式学級）

・令和6（2024）年では、埼玉県教育委員会が定める埼玉県市町村立小・中学校学級編制基準において、複式学級では既存の問題に加えて以下のような問題が追加されます。

① 教員に特別な指導技術が求められる

② 複数学年分や複数教科分の教材研究・指導準備を行うこととなるため、教員の負担が大きい

③ 単式学級の場合と異なる指導順となる場合、単式学級の学校への転出時等に未習事項が生じるおそれがある

④ 実験・観察など長時間の直接指導が必要となる活動に制約が生じる

⑤ 兄弟姉妹が同じ学級になり、指導上の制約を生ずる可能性がある。

(1) - 2 - 1

○前回までの会議でいただいた意見・質問

(1) 学校の再編に関すること

・学級人数

・教員の負担

・自治会ごとの児童数

○教職員の配置（基本計画P37）



小学校教員1人当たりの校務分掌における主任等の担当数

13

○前回の意見や質問 (1)学校の再編に関すること 整理番号2-5~6

意見・質問:教員の負担

・先生は負担が大きいと感じている。保護者はきめ細やかな指導ができると感じている。認識のずれがある。本当に子どもにきめ細やかな指導ができているのか。

・先生方への負担が子供たちへの負担になる。

資料・情報等:教員の負担

【学校規模の適正化による効果】

- ・バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が可能となる。
- ・校外における研修等に参加する機会が確保され、教職員の資質向上を図ることができる。
- ・教職員一人当たりの校務や行事に関わる負担を分散・軽減させることができる。
- ・教職員の負担軽減により、教材研究などより多くの時間を費やすことができる。

などの教育的効果が見込まれる。

(1) - 2 - 5、6

14

○補足説明（教員配置の仕組み）

・教員の配置人数は学校全体の学級数に応じて決まっています。学級数に対応した教員配置の基準表は基本計画P35に記載があります。
 ・基本的には1学級につき1教員が担任でつく人数になりますが、学校規模に応じて担任を持たない教員が配置されます。これらの教員は教務主任などの役割を担います。

各学年1学級、全6学級の学校

小学校 6 学級	
<教職員構成>	
校長	1人
教務主任	1人
教諭	7人
支援教諭	1人
事務職員	1人
計	11人

学級担任の教員が6名
担任外の教員が1名
合計7名配置



各学年2学級、全12学級の学校

小学校 12 学級	
<教職員構成>	
校長	1人
教務主任	1人
教諭	14人
支援教諭	1人
事務職員	1人
計	18人

学級担任の教員が12名
担任外の教員が2名
合計14名配置

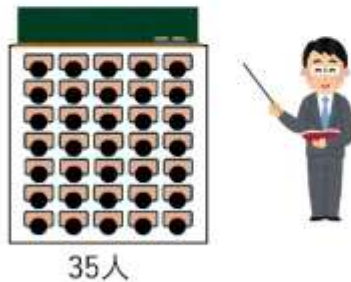


(1) -2-5、6

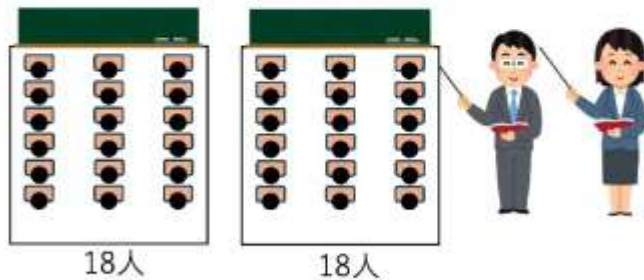
○補足説明（教員配置の仕組み）

・教員配置にあたっては、学級内の人数に関わらず学級数で算出されます。1学級18人でも35人であっても1学級で算出されます。

1学年35人の場合
1学級35人の1学級
学年に教員が1名配置



1学年36人の場合
1学級18人の2学級
学年に教員が2名配置

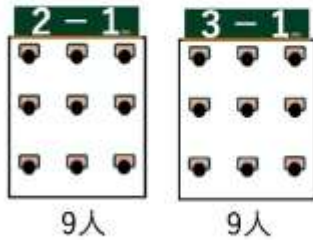


(1) -2-5、6

補足説明（複式学級の教員配置）

- ・ 2つの学年の合計人数が16人を下回り、複式学級の規模になった場合、2学級ではなく1学級として算出されます。

2学年で18人の場合
複式学級ではない
教員が2名配置



2学年で16人の場合
複式学級
教員が1名配置



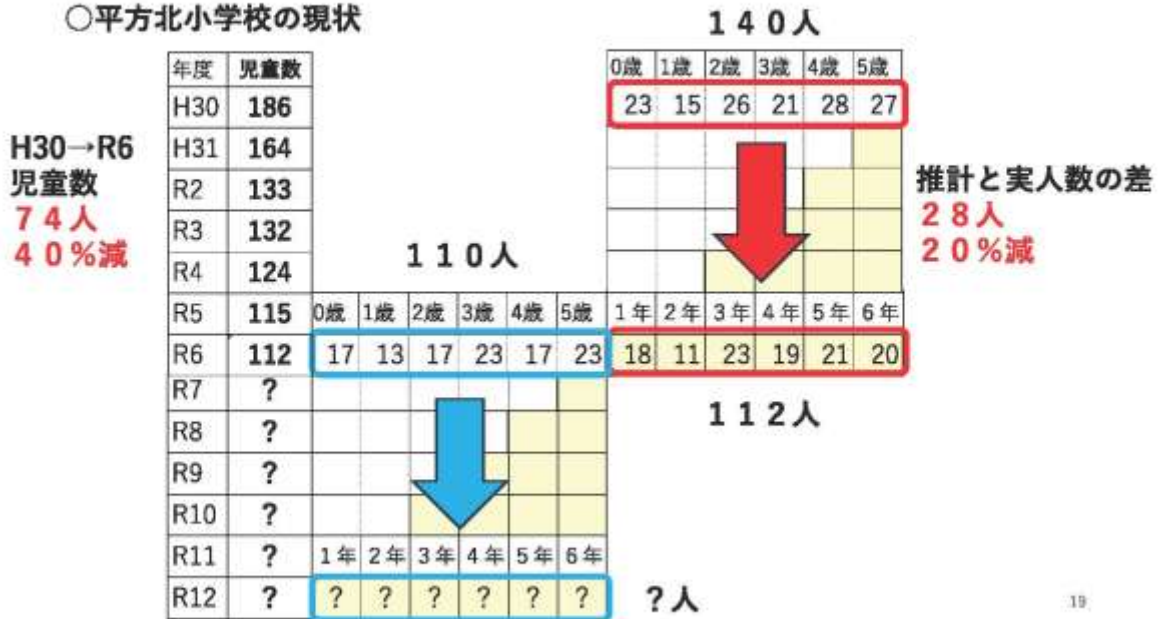
(1) - 2 - 5, 6

○前回までの会議でいただいた意見・質問

(1) 学校の再編に関すること

- ・ 学級人数
- ・ 教員の負担
- ・ 自治会ごとの児童数

○平方北小学校の現状



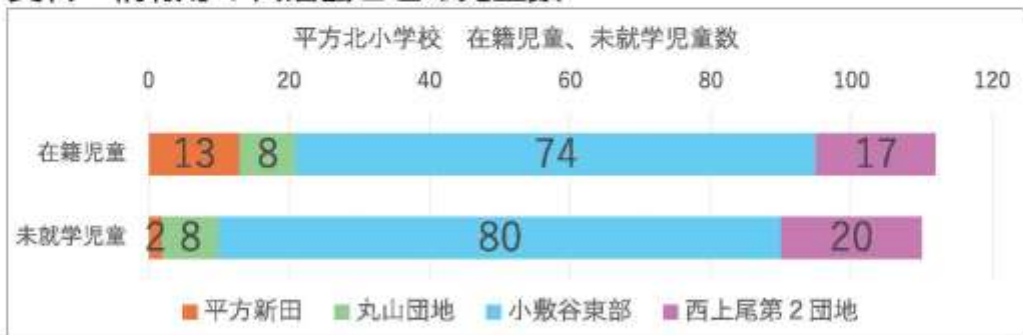
19

○前回の意見や質問 (1)学校の再編に関すること 整理番号2-12

意見・質問:自治会ごとの児童数

・今の状態で平方新田、丸山団地、小敷谷東部、第二団地の子供が平方北小へ登校していると思いますが、地区別の児童数は分かりますか。

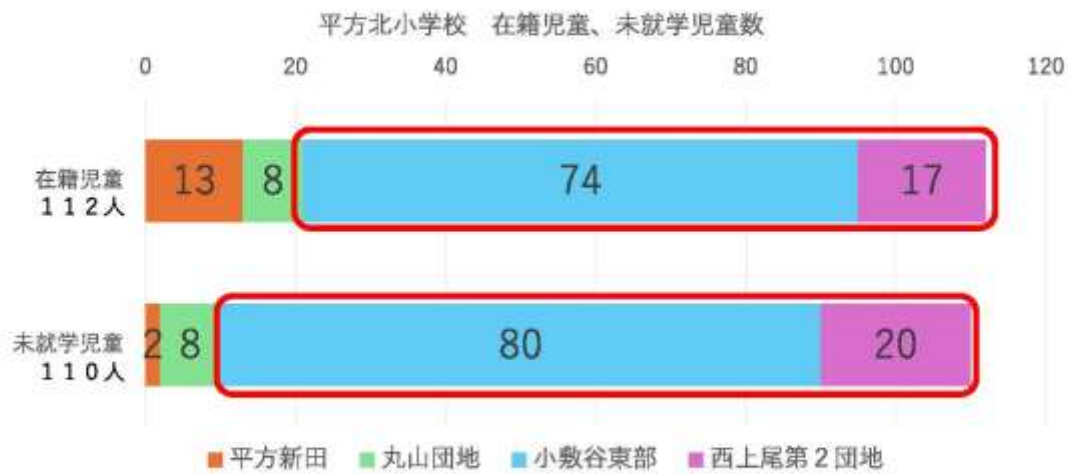
資料・情報等:自治会ごとの児童数



(1) - 2 - 1 2

20

○補足説明（自治会ごとの児童数）



(1) - 2 - 1 2

21

質疑・応答

22

近隣校をふまえた検討について

23

○前回までの会議で出た意見・質問一覧

(1) 学校の再編に関する事

整理番号…(1-○)：先頭数字は開催回次を示す

整理番号	意見・質問
2-2	平方地区では統合したとしても児童数が少ない。適正規模になりにくい。
2-3	平方地区全体の問題ではないか。平方北小だけの話ではない。平方地区の小学校全体で再編を考えたほうがよいのでは。
2-4	1年生と6年生が遊んでるのは小規模校の良い点だと思うので、大人数になることに不安がある。ただ、再編しても人数が少ないならば話は、変わってくる。不安点は通学

(2) 通学区域の編成に関する事

整理番号	意見・質問
1-1	通学路の問題なども結局は通学路の見直しが厳しいと言われて終わってしまったので、もう少し詳しいことをみんなで話したり、聞けたら良いと思っています。



近隣校をふまえた検討について

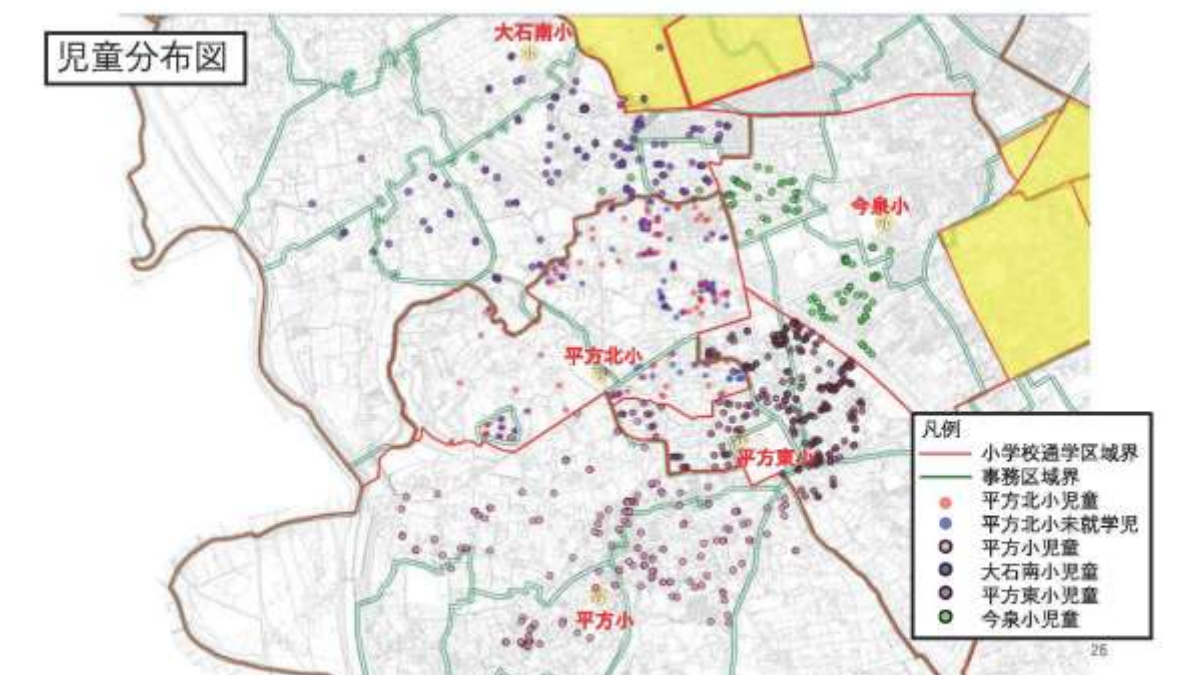
24

平方北小学校の近隣校の児童数・学級数（令和6年5月時点）

No.	学校名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)							学校規模
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
1	平方北小学校	17	10	22	18	19	18	104	再編検討対象校
		1	1	1	1	1	1	6	
2	平方小学校	31	37	43	49	39	35	234	小規模校
		1	2	2	2	2	1	10	
3	大石南小学校	43	33	26	42	45	44	233	小規模校
		2	1	1	2	2	2	10	
4	平方東小学校	52	69	66	58	61	44	350	適正規模校
		2	2	2	2	2	2	12	
5	今泉小学校	100	114	89	96	100	85	584	準適正規模校
		3	4	3	3	3	3	19	

25

児童分布図



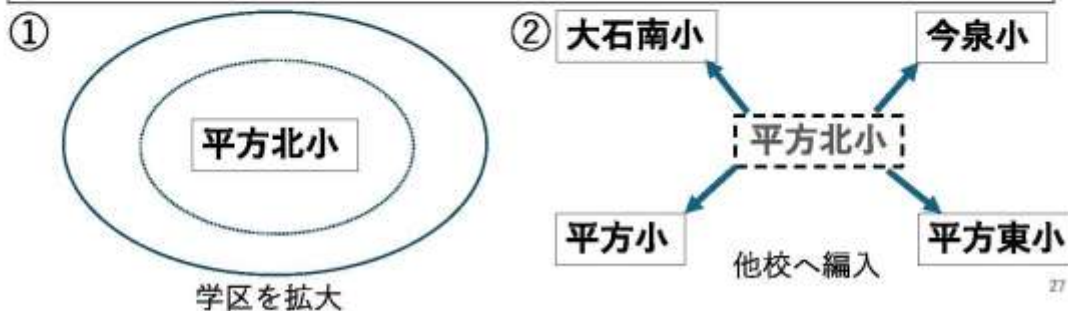
26

○近隣校をふまえた検討について

児童の編入の仕方を以下のように検討し、実施しました。

<児童の編入の仕方>

- ①平方北小学校の通学区域を拡大し、児童を編入させる場合
- ②平方北小学校の児童を他校に編入する場合



27

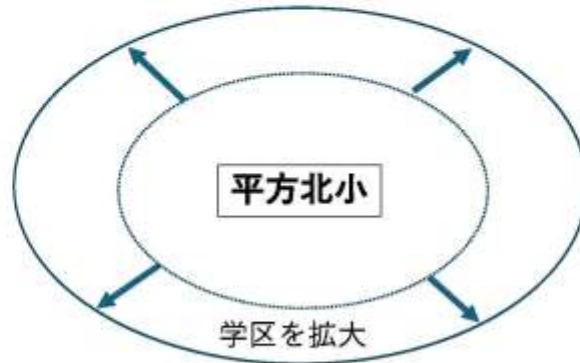
○児童の編入の仕方

- ①平方北小学校の通学区域を拡大し、児童を編入させる場合
 - ・平方北小学校だけでなく、近隣校も適正規模を維持して編入させる場合はどのように学区を拡大させるか

- ②平方北小学校の児童を他校に編入する場合
 - ・近隣校が適正規模となるように編入させるにはどのように近隣校の学区を拡大させるか

28

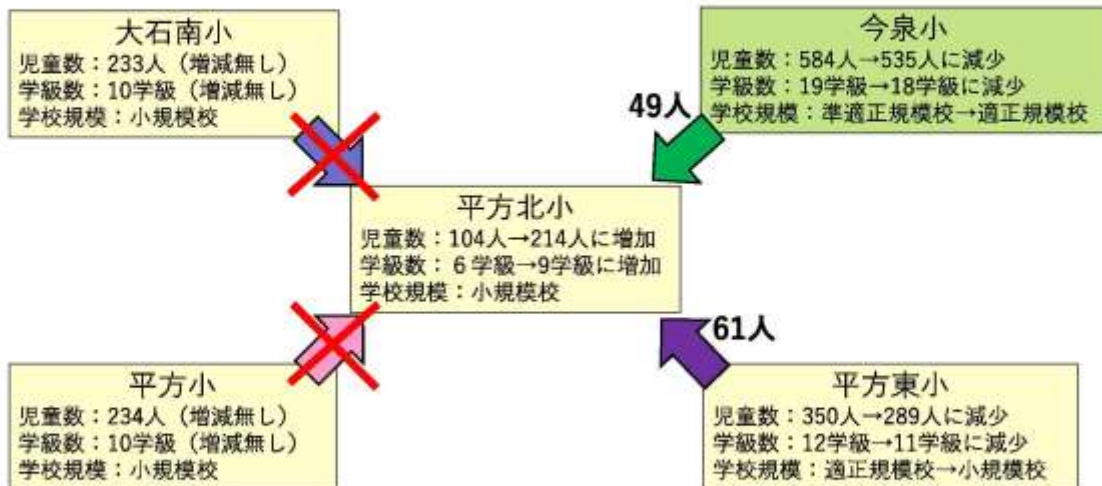
① 平方北小の学区を拡大し近隣校の児童を編入



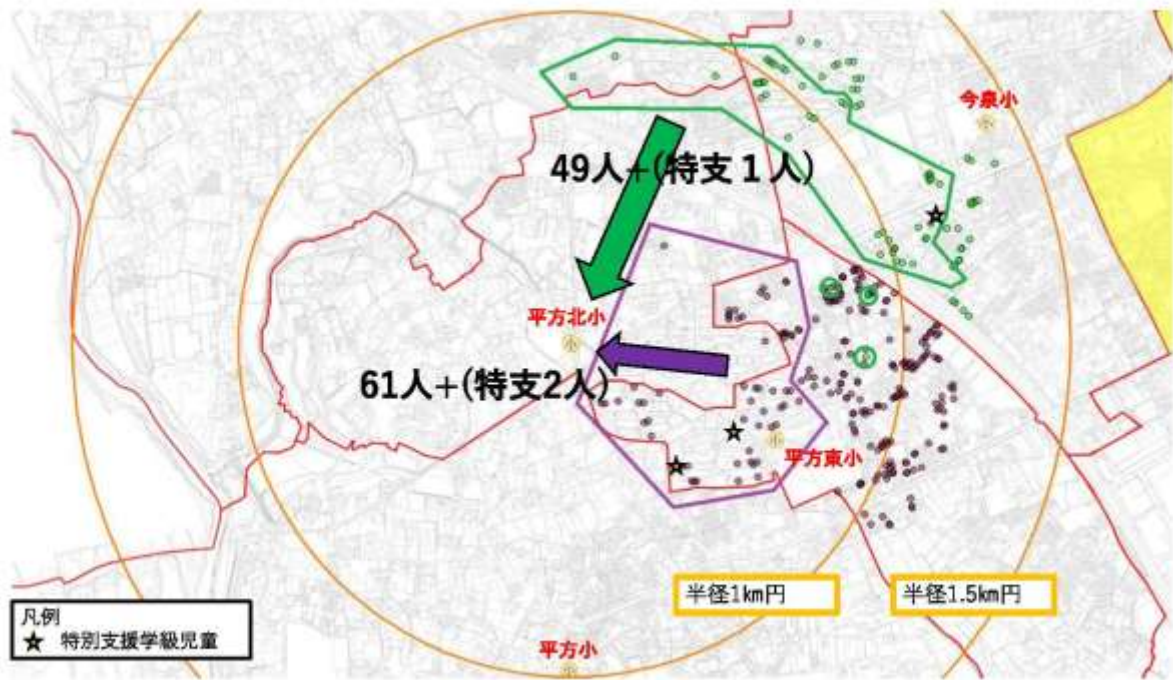
29

① 平方北小の学区を拡大して近隣校の児童を編入

近隣校の規模を維持したまま平方北小学校に編入させる場合

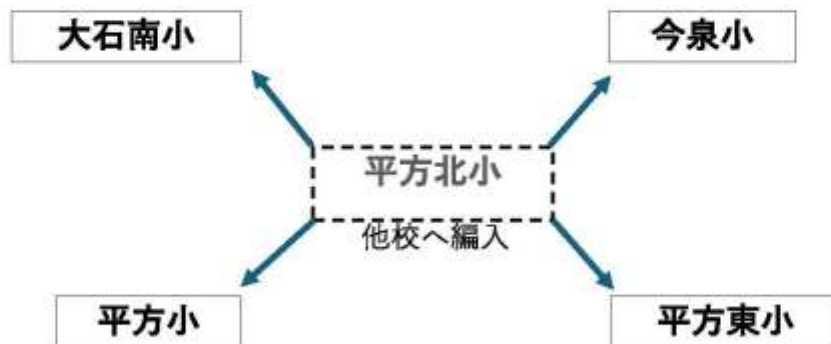


30



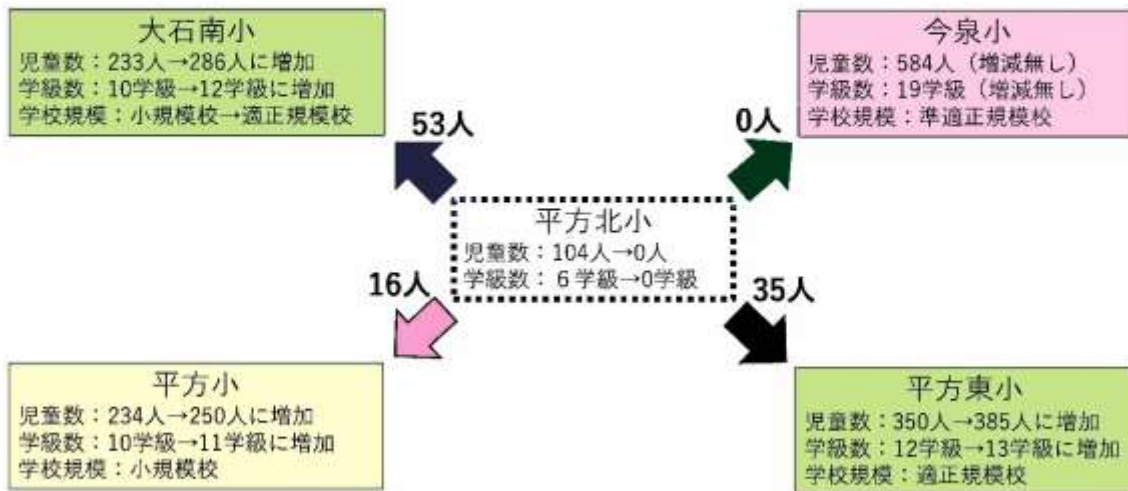
②平方北小学校の児童を他校に編入する場合

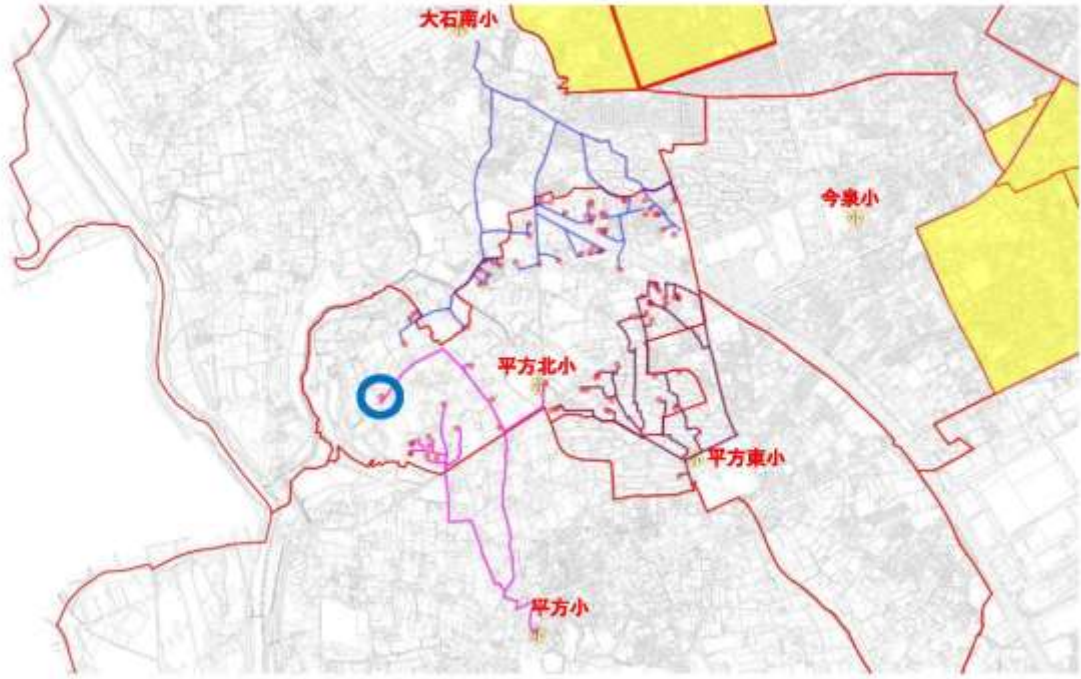
近隣校が適正規模となるように近隣校の学区を拡大



② 近隣校の学区を拡大して各学校へ編入

通学距離を考慮して、近隣校が適正規模となるように近隣校の学区を拡大





協議

協議の内容

【頂いた意見の概要】

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

37

【頂いた意見】

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

38

児童への意見聴取について

39

○前回までの会議で出た意見・質問一覧

(4) その他事項

整理番号…(1-○)：先頭数字は開催回次を示す

整理番号	意見・質問
1-1	子供はどう考えているのかという意見を吸い上げるなど、子供の気持ちを大切に して先を見越して進めていくのが大切なのではないかと感じました。
2-1	子供の意見を聞いてほしい。アンケート等で。



児童への意見聴取について

40

○児童への意見聴取について

以下の項目について、検討し、共通認識を図った上で、実施。

- ① 意見聴取の目的
- ② 意見聴取の対象
- ③ 意見聴取の手法
- ④ 意見聴取の内容
- ⑤ 意見聴取の設問

41

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

問3-2 小学校の1学年あたりのクラス数は、どのくらいがちょうど良いと思いますか。
(1つ選ぶ)

	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上	分からない
全体	158 5.3%	538 18.0%	1029 34.5%	919 30.8%	217 7.3%	123 4.1%
平方北小学校	22 57.9%	10 26.3%	4 10.5%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%

令和4年5月時点の小学校5、6年生のクラス数

	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス
5年生	4 18.2%	8 36.4%	6 27.3%	4 18.2%	0 0.0%
6年生	3 13.6%	10 45.5%	5 22.7%	3 13.6%	1 4.5%
合計	7 15.9%	18 40.9%	11 25.0%	7 15.9%	1 2.3%

42

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

問3-2 小学校の1学年あたりのクラスの数は、どのくらいがちょうど良いと思いますか。
(1つ選ぶ)

	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上	分からない
平方北小学校	22 57.9%	10 26.3%	4 10.5%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%
平方小学校	13 13.7%	48 50.5%	26 27.4%	4 4.2%	0 0.0%	4 4.2%
原市小学校	4 2.2%	6 3.3%	100 54.3%	59 32.1%	11 6.0%	4 2.2%
東小学校	1 0.4%	7 3.0%	27 11.7%	157 68.3%	23 10.0%	15 6.5%

	上記学校の各学年の学年数					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
平方北小学校	1	1	1	1	1	1
平方小学校	2	2	2	1	2	2
原市小学校	3	3	3	3	3	3
東小学校	4	4	4	3	4	4

43

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

問3-2 小学校の1学年あたりのクラスの数は、どのくらいがちょうど良いと思いますか。
(1つ選ぶ)

	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上	分からない
大石南小学校 (5年生)	12 42.9%	12 42.9%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%	2 7.1%
平方東小学校 (6年生)	8 32.0%	10 40.0%	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%
上平北小学校 (5年生)	11 29.7%	18 48.6%	5 13.5%	1 2.7%	0 0.0%	2 5.4%

学校名	上記学年の学級数変遷					
	1年生の時	2年生の時	3年生の時	4年生の時	5年生の時	6年生の時
大石南小学校 (5年生)	1	1	1	1	1	
平方東小学校 (6年生)	1	1	1	1	1	1
上平北小学校 (5年生)	2	2	1	1	1	

44

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

問3-3 「問3-2」で答えた理由を教えてください。(3つまで選べる)															
問3-2 回答		いろいろな学年の友達と交流できる	仲の良い友達などずっと同じクラスでいられる	一人ひとりの活躍(かつやく)の場が増える	先生に相談や質問をしやすい	校庭や体育館を使う回数が増える	たくさんの友達をつくらることができる	毎年、新しい友達と出会うことができる	たくさんの先生から勉強を教えてもらえる	自分がやりたいクラブ活動や委員会活動を選ぶことができる	大人数で運動会や音楽会ができる	いろいろな人の意見を聞くことができる	その他	不明	
大石南 小学校 (5年生)	1クラス	12	1	6	0	1	3	4	2	0	1	1	2	0	3
			8.3%	50.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	25.0%
	2クラス	12	3	1	4	6	0	2	5	2	1	1	1	0	0
			25.0%	8.3%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	3クラス	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4クラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5クラス以上	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
分からない	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

問3-3 「問3-2」で答えた理由を教えてください。(3つまで選べる)															
問3-2 回答		いろいろな学年の友達と交流できる	仲の良い友達などずっと同じクラスでいられる	一人ひとりの活躍(かつやく)の場が増える	先生に相談や質問をしやすい	校庭や体育館を使う回数が増える	たくさんの友達をつくらることができる	毎年、新しい友達と出会うことができる	たくさんの先生から勉強を教えてもらえる	自分がやりたいクラブ活動や委員会活動を選ぶことができる	大人数で運動会や音楽会ができる	いろいろな人の意見を聞くことができる	その他	不明	
平方東 小学校 (6年生)	1クラス	8	2	7	0	1	1	0	1	1	0	4	1	0	0
			25.0%	87.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	2クラス	10	5	0	2	5	0	7	3	0	0	1	3	0	0
			50.0%	0.0%	20.0%	50.0%	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	3クラス	6	4	0	3	2	0	4	4	0	1	0	0	0	0
			66.7%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4クラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5クラス以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
分からない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

○上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係るアンケート調査結果
(R4実施)

図3-3 「問3-2」で答えた理由を教えてください。(3つまで選べる)

問3-2 回答	いろいろな学年の友達と交流できる	仲の良い友達などと同じクラスでいられる	一人ひとりの活躍(かつやく)の場が増える	先生に相談や質問をしやすい	校庭や体育館を使う回数が増える	たくさんの友達をつくらることができる	毎年、新しい友達と出会うことができる	たくさんの先生から勉強を教えてもらえる	自分がやりたいクラブ活動や委員会活動を選ぶことができる	大人数で運動会や音楽会ができる	いろいろな人の意見を聞くことができる	その他	不明		
上平北 小学校 (5年生)	1クラス	11	5	8	0	0	1	6	1	0	0	3	4	0	0
			45.5%	72.7%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%
	2クラス	18	7	1	2	5	3	6	10	2	1	1	4	1	1
			38.9%	5.6%	11.1%	27.8%	16.7%	33.3%	55.6%	11.1%	5.6%	5.6%	22.2%	5.6%	5.6%
	3クラス	5	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	2	1	0
			40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	4クラス	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	
5クラス以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
分からない	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

○児童への意見聴取について

以下の項目について、検討し、共通認識を図った上で、実施。

- ① 意見聴取の目的
- ② 意見聴取の対象
- ③ 意見聴取の手法
- ④ 意見聴取の内容
- ⑤ 意見聴取の設問

協議

49

協議の内容

【頂いた意見の概要】

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

50

【頂いた意見】

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

51

フリートーク

52

お疲れさま
でした

53

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No. 3 令和7年2月18日発行

◎ 平方北小学校再編検討協議会とは

市学校施設更新計画基本計画では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。

市では、平方北小学校が令和2年から1学年1学級編制の状態が続いており、今後もその状態が見込まれるため、令和6年度から上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）



第3回協議会では「児童への意見聴取」「近隣校をふまえた検討」について協議を行いました。

◎ 児童への意見聴取について

第1、2回の会議で児童への意見聴取をした方が良いとの意見があったため、過去に行った意見聴取の結果をふまえて、協議を行いました。以下が主な意見の抜粋です。

対象者について

- ・中1、中2、中3ぐらいまでも対象にしていればと思います。近隣校の太平中、大石南中だけでも良いですし、もう少し広げて良いと思います。中学生にも同じような内容でも良いので、アンケートを取るのはいかがでしょうかと思いました。（現役保護者）

目的について

- ・同じ学校の友達と別れることになる時に、子供たちも意見を言ったうえで別れるのと、何も言えないで別れるのでは、心のダメージや捉え方は違うと思います。（現役保護者）
- ・子供としては通う場所よりも、お友達と一緒に移動することを重視していると思います。お友達と一緒にあれば平方東小でも他の学校でも変わらないという認識でいると思います。（現役保護者）



注意点について

- ・アンケートの趣旨を説明したりだとか、メリットデメリットを説明した状態でやったほうが良いと思います。（意見を有する者）
- ・「理由を選んでください」までの回答だと、小学1年生がどの程度理解して回答できるかはよくわからないと思います。（未就学児保護者）
- ・子供たちに何のために聞かれていて、自分が答えることによってどういうことが起きるのかがわかるような内容にしてあげた方が良いのではないかと思います。（地域住民）

◎ 近隣校をふまえた検討について

第2回の会議で平方地区の小学校全体で再編を考えた方が良いとの意見があったため、平方北小学校の近隣の学校をふまえた検討のイメージを作成し、協議を行いました。

平方北小の近隣校は？

平方北小学校を含む近隣校の児童数は右の表のとおりで、平方小学校、大石南小学校が適正規模を少し下回る小規模校、平方東小学校が適正規模校、今泉小学校は適正規模を少し上回る準適正規模校となっています。

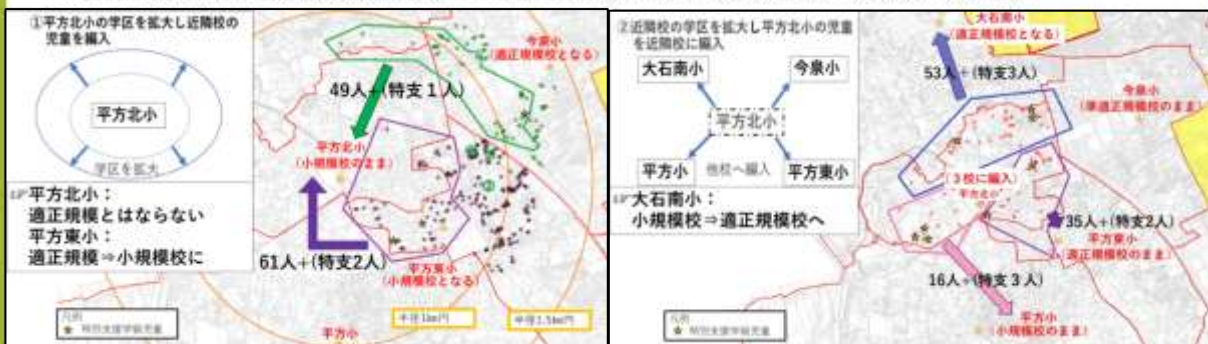
No.	学校名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)						学校規模	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		計
1	平方北小学校	17	10	22	18	19	18	104	再編検討対象校
		1	1	1	1	1	1	6	
2	平方小学校	31	37	43	49	39	35	234	小規模校
		1	2	2	2	2	1	10	
3	大石南小学校	43	33	26	42	45	44	233	小規模校
		2	1	1	2	2	2	10	
4	平方東小学校	52	69	66	58	61	44	350	適正規模校
		2	2	2	2	2	2	12	
5	今泉小学校	100	114	89	96	100	85	584	準適正規模校
		3	4	3	3	3	3	19	

近隣校の学校規模をふまえた検討とは？

近隣校をふまえ、下図のような2通りの方法を検討をしました。

①平方北小学校の通学区域を拡大し、近隣校から児童を編入させる方法

②近隣校の通学区域を拡大し、平方北小学校の児童を近隣校へ編入する方法



近隣校をふまえた検討への意見

上記の検討内容について協議を行いました。以下が主な意見の抜粋です。

①学区を拡大についての意見

- ・平方だけを考えるのではなく、平方と大石を一緒に考える方がスムーズに流れるような気がします。(地域住民)
- ・通学路の編成も、高崎線の線路で区切って、西と東とかで分けて編成していくってのが一番良いのではないかと思います。(現役保護者)
- ・もっと上尾駅西口側の小学校で考えないといけなかったと思います。(現役保護者)
- ・例えば①の「学区を拡大」のように、平方東小と今泉小の児童が平方北小に編入することに決定した場合、強制的に転入になるのでしょうか、それとも選択制になるのでしょうか。(未就学児保護者)

②他校へ編入についての意見

- ・②の「他校へ編入」の方が、他の学校も小規模が適正規模になる学校や適正規模を維持できる学校もあるので、その点で考えると②の方が良いのではないかと印象があります。(現役保護者)
- ・平方北小の方から平方小に編入ということで、単純に平方小が増えるのであればそれもいいのかなという思いも少しあります。平方小はなかなか増えないところなので、そういう考え方もありかなと思いました。(地元住民)

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第3回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。



1.4 第4回会議

1.4.1 会議録

会 議 録

会議の名称	令和6年度第4回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年2月27日(木) 午後3時から午後4時40分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会印)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	橋村 則史、本館 弘貴	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 玉造副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、檜出主任、矢野主任	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 近隣校をふまえた検討について (2) 児童への意見聴取について (3) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 7名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年 4月20日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは本日の議題に入る前に、一点皆様に確認しておきたいことがございます。</p> <p>前回の会議で事務局より本会議において再編をするという合意が得られていないが、適正規模にしていくという理解は得られていると思うとの発言がございました。本協議会は条例に定められている通り、平方北小学校の児童のために、学校規模の適正化について協議をし、もって子どもたちの学びに望ましい学校規模を実現するために設置されています。再編の手法等についてはこれから協議を進めていくということでございますが、前回の協議まででは、再編のシミュレーションなど、各論に近い内容の協議に入り、様々なご意見をいただきました。それで改めて、この設置目的や協議の方向性を私達委員の中で共通した認識であるかを確認したいと思っております。</p> <p>それでは、適正規模化を目指す前提で引き続き協議を進めるということでもよろしいでしょうか。このことについてご意見がある方、挙手をお願いいたします。</p>
A 委員	<p>適正規模は 12 学級以上 18 学級以内ということになるかと思いますが、それで区切るということに私自身はあまり納得できていません。最初の頃に小規模ではいけないのだからってというお話もあったと思います。多分、人数で区切られていくと、答えが見えてしまうという危惧を持っています。ですので、人数で適正化をしなければならないということ自体に納得は私自身あまりできておりません。12 学級以上にしなければならないということ、ここで皆さんが合意するかどうかっていうお話だと思います。</p> <p>12 学級に満たない場合には再編の方向に動きますと思っています。教育委員会の皆さんが考えられるっていうことは、子どもたちがもちろん中心であるとは思いますが、地域からの意見とさせていただきますと、小学校という場所が、社会的資源であり、避難所などの機能もあります。しかし、適正規模というところで区切られてしまうと、なくなっていく方向により近くなると私は考えております。ですので、少し納得がいかないという意見です。</p>
会長	<p>ここでは児童を通わせるということを中心にお話をいただいているところもありますので、その辺に関しても適正規模の適正化の方に向かっていくという方向の議論で進めてきたのですが、他の方ご意見とかございますか。</p>
B 委員	<p>「子どもたちに平等に教育を」ということを考えたときに、物理的な問題として一定の規模がないとできない、ということであれば、適正化が必要だと思います。しかし、そうであれば今時点で適正規模でない学校についても、平等にしていかなければいけないということになります。ですので、先ほど A 委員が言ったように、必ずしも学校規模だけで割り切って本当によいか、というところは少しあります。子どもたちに本当に平等に教育をしてあげるといふことに対しての学校はそのよ</p>

<p>会長</p>	<p>うであると思います。</p> <p>ただ、地域を考えた場合に、学校の数がどんどん統合されていくと、ある地域は通学の時間がすごくかかるということになると、子育てをしにくい地域ということになるのではないかと思います。そうすると、その地域はどんどん過疎化していきます。学校を統合することが本当にこの地域にとって良いことなのか、ということも考える必要があると思います。適正規模についても、これから子どもたちがどんどん減っていくので、今の適正規模の人数をもっと少なくなるということも考える必要があるのではないかと思います。確かに、基準というものが必要なので適正規模は必要だと思います。しかし、今使われている基準が絶対値ではない、というふうに考えていくことが必要ではないかと思っています。</p> <p>おそらく今言われている適正規模は、文部科学省が現時点で適正規模だと言われているものを提示してここで議論をしていますが、その先のことになりますとなかなかここでは想像しづらい形にもなるかと思っています。</p> <p>必ずしも今の時点では一応再編の方向性という形で議論を進めていて、まだ平方北小学校が統合されるとかそこまでは合意は皆さん得られていないところだと思うので、これからまた事務局で改めてご説明がございまして、その辺り踏まえながら本日ご意見等を承れたらと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題</p> <p>(1) 近隣校をふまえた検討について</p>
<p>事務局</p>	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
<p>会長</p>	<p>前回の意見を踏まえて、今回は大石地区まで対象を拡大したイメージを示していただきました。懸念点や問題点なども含めて皆さんのご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>今のいろいろとデータを示してもらったのを見ての印象としては、やはり他の学区から児童を編入するというのが厳しいのではないかとというのがはっきりしたと感じます。他の学校から北小にかき集めて北小を存続させようというのは、難しいのではないかとという印象が強いです。今の時点ではどう頑張っても無理ではないかというイメージがあります。</p> <p>あと、通学区域の変更における通学区域の調整と再編成についての考え方というのを改めてこういう基準も確かに大切だと思っていました。その中で自治会を不自然に分割統合しないように配慮をするというのもすごくその通りだと納得しました。それを納得するとともに、今私は自治会にも少し役員として関わっていて、平方の新田地区という、太平中学校の学区がほぼ入るような大きな規模の地区のすごい片隅の小</p>

	<p>林班っていう班に所属しているのですが、全部で 100 何戸のうち北小に通っている子たちは 10 数人ぐらいっていう規模にで、子ども会なども、すでに 10 年以上前からないような小さい自治会になっています。その新田というところで新田の夏祭りや新田の集会場というのが、平方小学校に近い側にあります。平方小の子どもたちはお祭りなどのイベントに行くのですが、北小の子はお祭りに知っている子もあまりおらず、少し離れているということもあってなかなか行けないでいます。同じ新田地区ではあるのですが、既にこのように分断されている状態で、なかなか子どもたちがそういう楽しめるイベントというのがここ 10 年以上ないような状況になっています。</p> <p>そう考えると、逆に統合などをして、平方小や平方東小の友達が増えていけば、自治会の集会場などに行ってそういう子供たちの交流が逆に広がっていく明るい面があるのではないかと考えました。この自治会をむやみに分割せずに統合するというのも大事だと考えるのであれば、逆にその北小から分かれて別のところに統合した方が、今の分断がされてしまっている自治会が逆に統合して良い方向にも持っていけるっていう考え方もあるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そのほかご意見ございますか。</p>
B 委員	<p>アンケートの平方北小を選択しない人数が結構ありますが、選択しない理由はどうなっていますか。</p>
会長	<p>事務局ご発言お願いします。</p>
事務局	<p>主な選択しない理由の一つとして 80%程度で回答されているのは、学校が遠くなるからというものでした。次いで多いのは、兄弟が他の学校へ就学しているからというのが 11%程度となっております。平方北を選択しないと回答された 457 件中 371 件は学校が遠くなるからという意見でございました。皆さん共通して考えられているのは、通学距離と通学の安全性というところが学校を選択する上で重要だというアンケート結果が出ている状態です。</p>
B 委員	<p>学校の統廃合等が今後進む場合に、通学距離というのは延びると思われませんが、それに対する安全性などの対策というのは、教育委員会としてはどう考えていますか。</p>
	<p>私の娘たちが子どもの頃は家を一步出ると学校が見えるところに住んでいましたが、学校まで 10 分程歩く場所に引っ越したところ、子供たちから「すごく遠い」とクレームが出たので、やはり距離があるというのは、子供たちにとってすごく大変なことだと思います。通学に 30 分もかかるとなると大変なことになります。またそういう統廃合等をしていくとなれば、何らかの通学に対しての対応を考えなければいけないのではないかと思います。通学の距離という問題で出ているのであれば、通学距離が延びたときの対策を踏まえて、こういう手もありますよということを提示して、アンケートをとる必要があるのではないかと思います。</p> <p>先ほど自治会問題のことでおっしゃられた意見が出てきましたが、私は自治会の役員やっぴまして、確かに新田の自治会というのは、子ど</p>

	<p>も会の場合だと、平方小中心になっています。北小の班長会などでは、祭りがあった場合には、お子さんに声かけてくださいということをしてはいますが、どうしても友達がいないとかそういう問題があるので、やはりご意見が出ていたようなことありうるのではないかと思います。そのように、無理やり線を引いてやっていくのがどうかと思います。ただ、子ども会と自治会を無理やり同じ区域にしなくてもいいのではないかと思います。あまり自治会の区域を子どもたちの学区を考えるうえで考慮しすぎるのも、子どもたちにとってはかわいそうではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。その他ご意見ございますか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>今のアンケートを答えた理由で学校が遠くなるからというのが、元々遠い方にだけアンケートを取ったのでしょうか。また、北小がなくなるかもしれないという情報を提示してアンケートを取ったのかなどが少しこの資料からだと見えなかったです。</p> <p>今後の学校の編成について、学級数が12から18というのが本当に将来を見据えて適正なのかなという疑問もすごくあります。子ども自身がどんどん減っていくので、そこにこだわることの意味がどんどん薄くなっていくのではないかと感じました。</p> <p>編成については本当に細かくてちょっと正直よく見えてないっていうところですね。子どもたちの安全はもちろんですが、子どもがいない地区になるという恐怖感というのは正直拭えないです。要するに若い世代に選ばれない地域になっていくのではないかとということなので、地域の将来まで考えたときに、教育委員会の方だけで話していいことなのかという疑問も残ります。そういったところから、もっと広い視野を持って考えたときに、どう考えていけばいいのかということも検討していただけると、大変ありがたいなと思います。</p> <p>あと多分、小林班のお子さんって第二団地のお祭りとかに結構行ってしまうのかなと思いました。距離的には丸山団地の方がきっと近いと思うので、お誘いすればよいかとも考えました。丸山団地だけでは本当に子どもが少ないので、新田地区の子供たちに来てもらえたらありがたいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>アンケートの聞き方については再編されるかどうかを検討していたということを情報提供せずにこのアンケートでは聞いているということでしょうか。事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料提供としましては、前回第3回の資料の中に「アンケート調査資料一式」という資料を配布させていただいております。そのページ数でいきますと52ページのところになります。</p> <p>聞き方としては、「これから学校のあり方についてお聞きします。上尾市では学校においては1学年1学級の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、学校規模を適正化することで見込まれる教育効果を得られるよう、学校再編について検討する必要があると考えております」というように前置きをしています。さらに、参考資料としましては、令和5年度の平方北小、大石南小学校、平方小、平方東小、今泉小学校児童数と学級数、平方小学校周辺の地図に通学区域図や近隣の学</p>

	<p>校の位置、平方北小から半径 1.5 キロ圏内が分かるような目印をつけたものを添付しております。そういったものを提示したうえで、学校再編する手段として望ましいものとするもの何かや、今後皆さんと検討を進め、学校再編という結論に至った場合、通学したい学校を教えてくださいといった内容で、お聞きしているものでございます。</p> <p>そういった資料等を含めてご提示をさせていただいていた回答として、先ほどお話がありました本日の資料の 25 ページ目の通学調整区域について平方北小学校の近隣校の通学区域に関するアンケートになっております。その結果を今回再度配布させていただいたという次第でございます。</p>
会長	A 委員いかがですか。ご覧になりました。
A 委員	解決しました。
会長	一応適正規模というところでは 12 学級以上 18 学級以下ということでご説明をしているところでもあります。
A 委員	たまたま答えられた方が北小より遠いところの方にアンケートを取られたということでしょうか。
事務局	アンケートをとった未就学児の保護者さんについては、大体分布も一応把握しております。今モニターでだささせていただいておりますけれども、地図上の青い点がアンケートで選択しないを選んだ方が住んでいる場所になります。こちらの枠で囲ったところが先ほどのシミュレーションで編入をしていただく必要がある方になります。近いところ遠いところ関係なく回答はいただいています。ですので、例えば平方北小学校に近い青い点の方でも平方北小を選択しないという回答をされている状態になっています。
A 委員	そうすると、よくわからないですね。
会長	よろしいですか。
D 委員	私は孫が 10 人いまして、大石小学校、大石北小、今泉小学校、大石南小学校に通っています。比較的仲が良いので、孫同士で話をしているのを聞いていると、やっぱり人数だけの問題ではないんですね。一部にはあるのかと思いますが、校長先生を中心とした学校の運営、経営の時代になっていて、学校毎に方針が全然違ってきています。やっぱり魅力ある学校づくりをする方が先決のような気がします。孫たちと話しあっていると、自分の通っている運動会はこうだった、こういう催しやっている、あいさつ運動こうしている、というのを聞いていると、なるほどと思うことがたくさんあります。平方北小だと孫は通っていないですが、代わりに私が来ています。この近隣の 5 校ぐらいの通っている孫たちの話を聞くと、やっぱり運営の仕方によって大きく違っていると思います。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今ちょっと地域の方の発言が続いたので、もし現役の児童をお持ちの通っている方からお話いただきたいと思います。E委員いかがですか。</p>
<p>E委員</p>	<p>簡単に言ってしまうのですが、調整区域をとりあえずやってみるというのはいかがでしょう。アンケートで聞くのではなく、今泉小学校の方で北小に通える範囲の子がいるなら、とりあえずそこを選択区域にしてしまう。おそらく、いきなり北小なくなりますというから皆さん何か漠然とした不安などいろいろあると思います。ですので、ある程度やれることをやったが駄目だったという方が、何か筋が通っているように思います。確かにあまり北小への編入は見込めないかもしれないですが、アンケートはあくまで仮定や想像の話なので、実際やってみるといのもいいのではないかと思います。大石南小、平方東小、今泉小との間に調整区域を作って実際に運営してみるのはどうでしょうか。それでも、編入がなく、児童が少ないとなったら次の段階を考えていくのはどうでしょうか。</p> <p>親として子どもを見ていると、やはりクラスの人数が少なかったり、クラス替えできないことは、いろんなことを思います。クラス替えがあったらと思いますが、実際子どもたちは1学級しかない状態に結構満足はしてしまっています。さきほどおっしゃっていた運営ですよ。1学級しかないからこそ、北小の先生や校長先生は、一学級でも楽しめる工夫をしてくれているのかと思います。子どもたちはそこまでこの一学級だからつらいとかそういう不安はあんまりないと思います。もちろん辛い子もいるかもしれませんが、つらいことがある中でも先生たちが支えてくれたりもして、乗り越える姿もやはり自分の子でも見てはいるので、今、どちらがいいのか私もよく分からないです。ですので、とりあえず一つずついろんなことをやっていった方がいいのではないかなと思います。</p> <p>こうやって話していることよりも、やれることをやってから、統廃合にするならみんな納得するのかなとも話を聞いていて思いました。</p>
<p>F委員</p>	<p>今回資料もらって、令和6年から12年までの推移について、北小減っていくという印象を持っていたのですが、実際みるとあまり変わらないと思いました。特に大規模校で生徒数が多かったところは減っていくというところもあるので、まわりのところからどうこうというよりも、全体的に子どもが減っているというのがすごい何か方向性的にはまた何か違うなあと印象を感じました。この資料見させてもらって、出生数も今年統計出たものからすると減っているというところもあるので、上尾市だけではなく、他の自治体でどんな取り組みしているのかというのが素朴な疑問として感じました。</p> <p>もし平方北小学校がなくなったときを考えると、地域としては避難所の心配はすごくあるかと思いますが、上尾市の医師会が出している災害時の防災の避難所というものでは、平方北小が上がってきていません。医師を派遣する災害医療避難所というものがあるのですが、そこに北小は上がってないです。ただ、その上尾市医師会の防災マップというきちんとした書類はまだ出来上がってないという話も聞きました。地域の住民としてはここを避難所だという認識を持っているが、本当の災害時の避難所となるか、ならないというところで認識の相違があっ</p>

	<p>たりします。ですので、地域としてはやっぱり避難所だから残しておきたいというところもありますが、実際は避難所として使えるのかというところでまた違った考えになるのではないかと思います。</p> <p>あと通学路の件でいうと、遠くなるからという距離の話について、通学路が長くなるとそのぶん子どもたちは夏の暑い中登下校するのだろうなというのがありますので、親としてはスクールバスみたいなものを出してくれれば、子どもたちは暑くなくて良いかと思います。</p> <p>さくら連絡網で夏休みの期間を8月31日まで延ばす話を聞きましたが、実際に9月も暑いです。夏休みじゃなくて、5、6月も汗びっしょりで帰ってきているので、距離がどうこうというのであれば、上尾市としてスクールバスを出せるようになれば、いろんなところから北小に来てくれる子たちも増えるのではないかなと思います。富士見小とかの方に住んでいる子たちも、平方北小であれば丸山公園に行ったり散歩したりできるので、そういうところを学校の良さとして出すということもできるのではないかと思います。上尾市の財政などもあるのでいろいろ言えないかとは思いますが。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。未就学児をお持ちのG委員いかがですか。</p>
<p>G 委員</p>	<p>いつも皆さんの話を聞いていて、どうしてこんなに人気がないのだろうかと思いました。私自身北小に通っていたのですが、私がいたときからすごい暑かったので、私の向かいに住んでいた方は北小には行きたくないから引っ越してしまったりしていてショックを受けたこともあります。ですので、やはりスクールバスなどのいろいろなことをやっているよというのをあんまりわからないと思います。私自身、子供がどこの小学校に通うか聞かれて、来年から平方北小に通うことを伝えたのですが、どこかわからないという反応を受けたので、丸山公園の方ですと伝えたら、分かっていたような感じでした。ですので、平方北小でスクールバスがでるようなことが言えれば、その学校いいなと思っていただけるのではないかと思います。</p> <p>通学路について私が通っていたときも、すごく暑かったです。この前一緒に娘と歩いたのですが、その時点で少しいやだなと言っていたので、ランドセル背負ってとなるとさらにいやだと言われてしまいました。通学路で25分通うのは結構きついという話になりました。</p> <p>地区で子どもの人数、絶対数は変わらないので、選択制にしたとしても、もうこの大石小と大石南小の2択にしたとしてもかなり厳しいですし、そんなに遠くから呼べるわけでもないの、そう考えるとやはりこの魅力を上げていくしかないのかなとは思いますが。来年から子供が通うので、すごくいい学校だよって言ってあげたいので、何か少しでも何かいい意見がいっぱい出て、まとまっていけばいいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。こちらの現役の先生のH委員いかがですか。</p>
<p>H 委員</p>	<p>先ほど全体的に子どもの数が減っているという話は私も思ったところですが、今回、平方北小学校の学区を拡大するシミュレーションの案を出していただいて、この方法を使えば令和12年の時に232人に児童数になるというところだと思いますが、その令和12年には平方小、大石南小が単学級で150人前後になるので、そちらの方で人数が少なく</p>

	<p>なったから、平方北小からちょっと学区を広げて少しこっちに来てくれということもあり得るのかなと思いました。また、子どもの数が全体的に減っているので、小規模校が増えてくるのだなというのを感じました。今の上尾の小学校の数は22校だと思いますけれども、それは子どもの数が多かった頃の数なのかなとも思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。続いてI委員いかがですか。</p>
<p>I委員</p>	<p>先ほどE委員から本校についていろいろお話を伺いありがとうございます。担任の先生も校長先生も頑張っているっていただけたのが、率直に嬉しかったです。先ほど来年度入学されるG委員からも言われましたが、私としては、前回も同じ話したと思いますが、子どもたちのために、この学校をどう盛り上げていくかということ、ますます考えさせられました。ただ私としても、H委員としてもずっとこの学校にいろっという保証はありません。やはり人事異動などこれから先、私達もよくわからない状況でもあります。ですが、まずは魅力ある学校づくりに励みたいと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。では、地域の方から伺います。J委員かK委員から何かありますか。</p>
<p>J委員</p>	<p>私は今子どもが通うとかではないので、地域のものとしての意見では、新しく出たシミュレーションだと、私達の地域の子どもたちが同じ学校に行けるからいいなと思いました。先ほどから皆さんの意見があった通り、地域の活動をするときに、第二団地の中でも平方東小と平方北小で子どもが二手にわかれているんですが、行事等々でどうしても声をかけづらい状況です。こんなことを言うのもなんですが、学校で格差があって、声をかけてたくさん協力をしてくれるところ、そうでないところがどうしても出てきてしまうので、地域の子どもにとっては、少し不平等かなと思います。ですので、私だけの考えですが、第二団地はみんなが同じ学校に行けたらいいなというのが本音です。</p> <p>地域の子は地域で育てるという意味で。だからといって私達の地域のいろんな行事に小敷谷の子も新田の子も丸山団地の子もみんな参加してくれます。ですので、そこまでの隔たりはないとは思いますが、できればそのように同じ学校にできればと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。K委員いかがですか。</p>
<p>K委員</p>	<p>今後やはり子どもが減っていくというのも、今までの状況でいくと事実ですよ。だから、北小の例をとっていくと子供たちがどんどん減って行って、2055年あたりになったら、1年生と2年生が同じクラスで勉強するというのは、本当に子どものことを思ったらいいことなのかという話になると思います。だからその辺のことを考えて進めていかなければいけないと思います。そうすると、本当に子どもさんのことを思ったら、やはりある程度大人数のほうにまとめていかなければ無理なのかと思います。ただ、結果はかなり先にならないとわからないと思います。1年生2年生と一緒に勉強したからよかったとか悪かったとかはあると思います。ただ、今の考えとしては子供が減ってくるので</p>

	<p>あれば、もう一緒になるしか増やす方法はないかなと思っています。</p> <p>それから、自治会について、どう編成するかについては再編するかが決まってからの話でいいと思います。通学路の問題も。ただ自治会が分かると、今うちのほうで大変です。北小で卒業式が24日であって、小敷谷東部区は平方北小さんに通っている人数が多い方ではあります。ただそれが今度卒業して、大石南中行くとも一番少ない人数になってしまいます。向こうの方が多くて、そういうところいきなり行くようになってしまうので、そうすると、その辺もある程度区域を決めないといけないのかなと思います。</p> <p>それと、夏祭りの例では、太平中学校と大石南中学校にボランティアを募集するのですが、やはり太平中学校さんは一部に1人か、それくらいになってしまいます。一方で、大石南中の方は、十何人ボランティアに来てくれるとあってなっちゃうので、やはり良い悪いはちょっとわからないですけど、その学校へ行く自治会の地域を一つにするっていうのは、私は大事だと思っています。これから特に子どもさんが少なくなると、子ども会も子どもの取り合いになってしまうと思うので、その辺はやっぱり考慮した方がいいかなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。副会長いかがですか。</p>
副会長	<p>今年これが最後ということですので、この協議会の意義についても一度原点に戻って、再認識していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>元々この協議会が設置されたところが、単学級が5年以上続くと見込まれた場合には、再編について検討協議会を立ち上げて検討するということであったと思います。先ほどから適正規模ということについていろいろ出ていますが、2回目か3回目の協議でそこについては何が適正なのかという協議はされたと思います。やはり単学級ということ言えば、学校の負担、親の負担が結構出てくるということ以上に、子どもたちにとってずっとクラス替えがないという状況が6年間続いた場合にどうなのだろうか、というようなことも話し合われたと思います。だからその12学級というのが出てきているのだと思います。もちろん平方北小学校の話ではあるのですが、協議会としては、平方北小学校ということではなくて、この状況をこれから他の学校にも適用できるように、その話し合いに持っていくということが、必要なのではないかなというように気がしています。</p> <p>私の経験から言っても、定年退職した学校が統廃合でなくなっていますが、そこの子供たちは元気でやっています。中学校なので小学校とは少し違いますが。その子たちに聞くと、むしろ元の学校の方が小さかったので、部活も満足にできなかったところが、部活が増えて、やりたい部活に入れて喜んでいてというような話も聞いております。</p> <p>そういったこともあるので、あまり広げるのではなく、やっぱり原点によってこの協議会の意義についてしっかり一度見直していただければなというふうに思っています。</p>
会長 K委員	<p>ありがとうございます。その他、何かございますか。</p> <p>今は北小の問題でここはやっていますが、教育委員会では埼玉県内とかもっと広い範囲でこの北小と同じような問題を抱えているところ</p>

<p>会長</p>	<p>ある程度把握して調べてあると思います。 今やっているこの会よりもちょっと先へ進んでいるようなところではどういう問題が出ているとか、そういうのが何かありましたら、参考までに次回でいいのですが、できる範囲で出していただければ参考になるかなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。そのほか何かございますか。 ではいろいろ再編の方向とかいろいろご意見いただきましてありがとうございます。皆様からいただいたご意見と K 委員からいただいた事例ですね、この事例については次回の会議で事務局の方からご報告していただきたいと思っています。 では続きまして二つ目の児童の意見聴取についてです。まず事務局の方からご説明お願いいたします。</p> <p>(2) 児童への意見聴取について</p>
<p>事務局</p>	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
<p>会長</p>	<p>前回の議論を踏まえて、事務局の方から中学生向けのアンケートのたたき台を出していただきました。 何かご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。</p>
<p>A 委員</p>	<p>〈主な質疑・意見〉 2つめの設問で最後にその他の自由記述というのがあっていいかなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>選択肢の中に理由がない場合、自由に書ける欄があった方がいいという意味でよろしいですかね。</p>
<p>A 委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>その他ございますか。</p>
<p>B 委員</p>	<p>よくわからないのですが、目的が単学級から普通学級に変わったことによる影響の把握ですが、小学校と比べて学校が楽しいですかという話だと、何か違う意見が出てきそうだと思います。中学生になっていろんなことをつまづいたり、いろいろ今問題あるじゃないですか。そういう方向のアンケートになりませんか。これ自体はすごくいいと思っているのですが、何か違う解決をしなければいけない課題がたくさん出てきてしまうかもしれないと思います。非常に重たい回答が出てきて、アンケートが取りっぱなしにならないように解決していくということになりませんかという。だからこれを設問すると何か違うアンケートのような気がしてしまいます。 かといってそれを避けた方がいいですよって言っているわけじゃなく、そういうのがちゃんと出てくる方がより良いアンケートだとは思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>我々の本当の知りたいことがかなり薄れてしまう可能性もあるとい</p>

	<p>うご指摘ということによろしいですかね。</p>
B 委員	<p>どっちがいいですかって言ったら、よくわからないんですけど。非常に、中途半端になりそうな気がします。</p>
A 委員	<p>ストレートにクラスが増えて良かったこと悪かったことを聞いてもいいかもしれません。</p>
G 委員	<p>設問3の「中学校と比べて小学校にあったらよかったなと思うことは何ですか」というのが、自由記述になっているのですが、かなりフワッとされていて、これで中学生書けるのかなと思います。ちょっとここをもうちょっとわかりやすく、具体的に変えた方がいいかなと私は思います。</p>
A 委員	<p>その他とする自由記述はない方がいいなと思います。逆に。</p>
G 委員	<p>「中学校と比べて小学校の方がよかったと思うところは何ですか」、これがちょっとよくわからなくて、これはどんな答えを想定しているのか聞きたいです。例えばどんな答えが来るのを想定しているのかなと。</p> <p>私自身、中学校と比べて小学校にあったらよかったなと思うことは何ですか、と聞かれて何だろうと大人でもこんなに悩むのに、中学生がもう早く友達と喋りたいのに、考えてくれるのかなと思います。何かしらの想定があるのですか。なければ変えた方がいいと思いますし、あるのであれば聞きたいですね。</p>
事務局	<p>大枠で聞けたらいいなっていう思いもあります。あとはあまり事務局でいろいろ作りすぎても我々のイメージだけになってしまうと思ったので、皆さんのご意見を踏まえるために、フワッとしている部分はかなりあります。こういったご意見を踏まえると、設問3についても「小学校に振り返ったときにどうだったらいいか」、「振り返ったときにどうだったらよかった」、「振り返ったときにこうなっていたらよかったな」など、そういうふう聞き方をするのでも良いかもしれないですね。あとは振り返って問題ないなら、「そのままよかった」、「別に問題ない」という回答を得られるとか、そういう聞き方がいいかもしれないですね。</p> <p>前にご意見としてあったかと思いますが、小学校ですと自分のところしかわからない。そのステージが変わって中学校でクラスが増えたりとかして、小学校を改めて振り返ったら時に思うことを問うようなイメージでしょうか。</p> <p>あと聞く対象の子どもたちが大石南中であれば大石南小からも来ている状態なので、単学級だけではなくて複数学級もあるので、そこを意識して作る必要があるのかなとは思っています。</p>
G 委員	<p>そうすると、設問1の目的の単学級が複数学級で変わったことによる影響の把握ってということ変わっちゃいませんか。</p>
事務局	<p>我々として知りたいことは、単学級だった子どもたちが複数学級に</p>

	<p>なっていてどういうふうに思ったかっていうところが本当の目的かと思えます。ですので、他の複数学級あった子どもたちは全然そんなこと思っていないなど、思っていることが違うというところが見えるのではないかと意識で設問を考えたらいいのではないかと思います。例えば、設問の中で単学級だった子たちはこれを選択したけど複数学級の子どもたちは違うものを選択しているとかそういう差が見えるようなものです。</p>
F 委員	<p>アンケートを取るにあたって、回答する子どもは単学級だったのか複数学級だったかという設問は作る予定ですか。</p>
事務局	<p>この前段でご自身がどの学校にいたかについては伺った方がいいかなと思っているところです。</p>
F 委員	<p>単学級だったかっていうのがわからないと、集計したときによくわからなくなるといけないかなと思いました。単学級だったのが複数学級になって良かったと思うこととか、やっぱり単学級は良かったと思う、そういうふうな子どもの意見を書けるようなところがあるといいと思います。このアンケートの内容だと、先ほども意見のあったように必要としている目的と少し違うものができそうな気がするので、抽出できるようなアンケートの項目か回答方法がいいかなと思えます。</p> <p>小学校と比べて楽しいですか、楽しいかつまらないかというよりも、もう率直に単学級が良かったか複数学級になって、複数がよかったですかっていうような設問にしていけないと、方向性を見失ってしまうのではないかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。そのほか何かご意見ございますか。</p>
E 委員	<p>あと他のこのアンケート取る説明ですね。</p> <p>それが大事かなと思っています。誘導するわけではないですが、どういう目的とするのかとか、ある程度ちゃんと説明してあげないと、さっきいろんな意見が出た通り、迷走してしまうと思います。その辺をちょっと考えてみた方がいいかなと思えます。</p>
会長	<p>アンケート取るところ、多分中学生なのでわかりやすく書かないといけないと思うのですが、そういう目的とか意義とかっていうところをしっかりとっていただきたいのかなというふうに思いました。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p> <p>それでは、続いて小学生の方の意見聴取について事務局の方からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>前回の議論を踏まえて、事務局の方から小学生向けのアンケートのたたき台を出していただきました。</p> <p>具体的にまだアンケートをどうするかということや、ここの議論の中でまだ方向性がはっきりしていないというところもありまして、設問が</p>

	<p>ないということでしたが、何かご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
A 委員	<p>内容のところ、他の学校に編入になった際に気をつけてほしいことってというのは、子どもが気をつけてほしいと希望しているという意味でいいのですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p>
E 委員	<p>質問なのですが、5・6年生を対象としていますが、1～4年生は取らないのでしょうか。</p>
事務局	<p>仮にWebアンケートとする場合ですと、ある程度書き込めるまたは考えを持たれているのは、5、6年生ではないかというところで、前回のアンケートにつきましても同じような形で取らせていただいたところなので、最初の案としては5、6年生かと思い提示をさせていただいた次第でございます。</p>
E 委員	<p>Googleフォームを使うのは前提ですか。</p>
事務局	<p>前提でというわけではございません。集計や意見の整理の仕方等を考えると、こういったものを使うとやりやすいかなと思ったところです。</p>
E 委員	<p>例えば、教育委員会の方とかが授業参観みたいな形で見に来られて、子どもたちが討論していただくというのはできますでしょうか。この質問をGoogleフォームではなくて、例えば先生が1年生から4年生も含めて集めて、こういうことについてみんなはどう思っているかなどを聞いて意見を集める方が素直な意見が出ると思います。Googleフォームで考えるより、そのときの本当の思いみたいなのは、こういう方が言えるのではないかと思います。</p> <p>それを書記の方にこの子はこう言っていたという方が率直な感じの本当の意見が出やすいのかなと思います。そういうのは先生たちから見るとどういうふうを考えていますか。高学年になれば、Googleフォームの方が本当の思いは言いやすい場面もあるなどはあるかと思いますが。</p>
H 委員	<p>一意見ですが、3、4年生ぐらいだと、全体で話したりとか小グループで話をすると本音があげやすいかなと思いますが、5、6年生ぐらいになると確かに周りに合わせたりするような子とかも出てくるので、事前資料をしっかりと与えて、打ち込む時間をしっかりと取ったりすると、Googleフォームの方が出てきたりするのかなと思います。</p>
E 委員	<p>方向性が違う意見が出る可能性もありますが、1年生などの意見も聞くのはありなのではないかと思います。そういう今1年生が通ってみて、本当に人数少なくつまらないという意見もいけば、1クラスだけ</p>

	<p>ど6年生とあそべて楽しいなどいろんな意見が多分出てくると思うので、率直な意見を聞くのも大事なのかと思います。子どものことを聞いてもらえる機会がすごく貴重なことだと思うので、こうやってアンケートを取ることで事態はいいと思いますが、5、6年生にGoogleフォームで聞くということに絞らず、もう少し1年生から4年生、1、2年生は難しいかもしれませんが、その子たちのことも考えても良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では副会長。</p>
副会長	<p>あくまでも小学生のアンケートは本会議で方向性が煮詰まってからの話ですよ。</p>
事務局	<p>いただいたご意見を踏まえると、このような内容になってしまうかと思えます。現時点でとるアンケートとしては聞きにくいといえますか。</p>
副会長	<p>何もわからない時点で子どもに不安を与えても、心理面での影響というのがありますから、慎重にやっていただきたいです。それこそ本当に方向性が決まってから、そうなったときにはどうして欲しいとか、あるいはこんなことを大人に言いたいとかでいいと思います。内容もまたそこで変わってくると思えます。ですから、そこでのまた検討でいいのではないかと思います。子どもの意見で左右されるものではないと思えますので、時期的にはやはり、ある程度の方向性が決まっている話というのをされておかないかと思えます。</p>
会長	<p>事務局からご説明があった通り、実施時期としては方向性、この学校に編入するという方向が決まってからでよろしいということでしょうか。そのときにまた内容等々を検討するという形になります。</p> <p>その他に中学生の意見聴取も含めて何かございますか。</p> <p>ないようであれば、皆様のご意見から事務局の方でまた参考に試案を作成していただければと思います。</p>
○	<p>(4) その他</p>
会長	<p>続きまして、その他で事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>はい。では一点申し上げさせていただきます。今後の予定でございますが、次回の協議会は5月から6月を予定してございます。開催日程については後日アンケートをお願いしたいと考えておりますので、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。以上でございます。</p>
会長	<p>以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。</p>
	<p>5 閉会</p>
事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和6年度第</p>

<p>副会長</p> <p>事務局</p>	<p>4回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第4回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p> <p>青木副会長ありがとうございました。第4回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------------------	---

第4回平方北小学校再編検討協議会

1

【第4回 協議会の内容】

- ① 近隣校をふまえた検討について
《協議》
- ② 児童への意見聴取について
《協議》

2

近隣校をふまえた検討について

3

【近隣校をふまえた検討についての内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 前回の意見や質問への資料提供
- ③ 協議

4

① 前回の振り返り

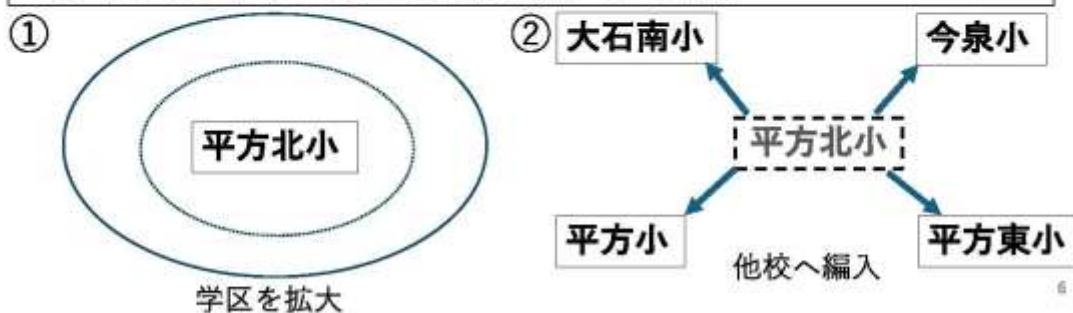
5

○近隣校をふまえた検討について

児童の編入の仕方を以下のように検討し、実施しました。

<児童の編入の仕方>

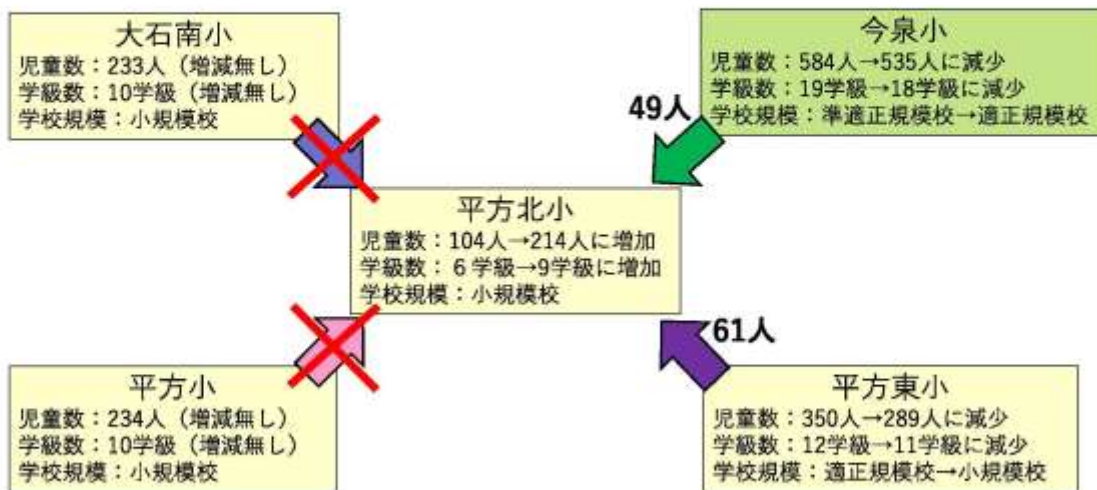
- ①平方北小学校の通学区域を拡大し、児童を編入させる場合
- ②平方北小学校の児童を他校に編入する場合



6

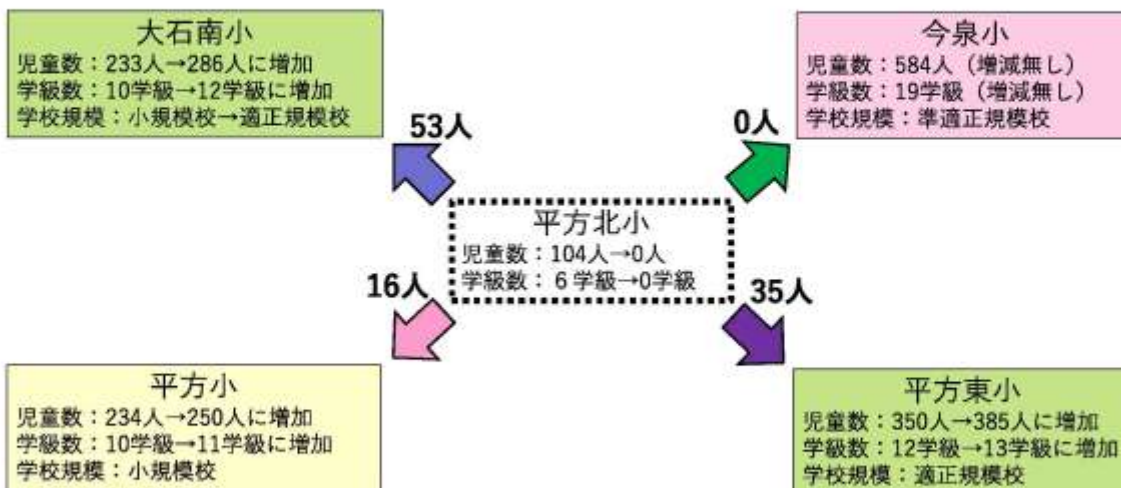
① 平方北小の学区を拡大して近隣校の児童を編入

近隣校の規模を維持したまま平方北小学校に編入させる場合



② 近隣校の学区を拡大して各学校へ編入

通学距離を考慮して、近隣校が適正規模となるように近隣校の学区を拡大



② 前回の意見や質問への資料提供

9

○前回の意見や質問 今後の児童数の動向

意見・質問:今後の児童数の動向

・もっと先を見据えて本当に学校配置をどのようにしなければいけないか、それを目指していくとすると、1年ごとにどのようになるかという見方をしていった方が良くはないか。

・12から18学級が適正と定めたなら、大石小などの適正規模を上回る5クラスぐらいある学校などは議題に上がらないのでしょうか。

10

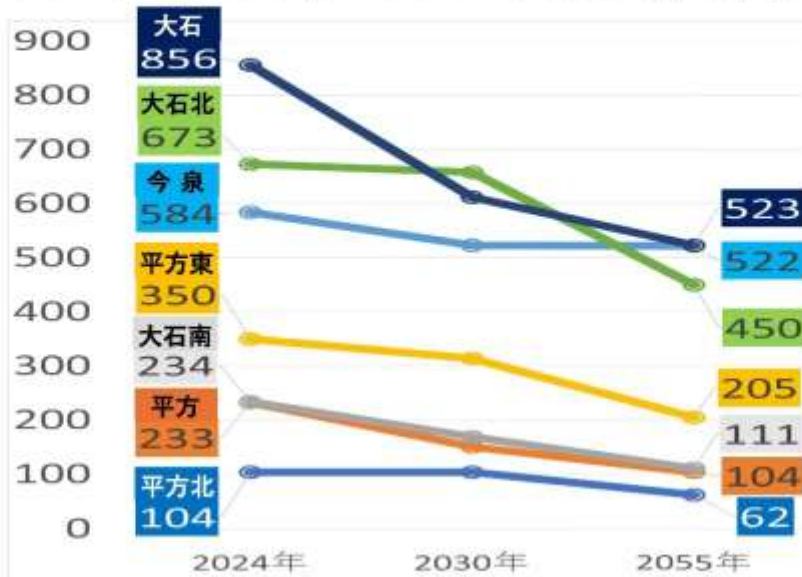
平方北小学校の近隣校及び大石方面の学校の児童数・学級数
(令和6年から12年までの推移)

No.	学校名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)							学校規模
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
1	平方北小学校	104	108	105	109	103	105	104	再編検討対象校
		6	6	6	6	6	6	6	
2	平方小学校	234	229	220	202	186	172	169	小規模校 (全学年半学級2年目)
		10	10	9	8	7	6	6	
3	大石南小学校	233	220	207	181	185	174	151	小規模校 (全学年半学級1年目)
		10	9	8	7	7	7	6	
4	平方東小学校	350	375	368	360	351	327	314	適正規模校
		12	12	12	12	12	12	12	
5	今泉小学校	584	595	610	595	589	560	523	適正規模校
		19	19	20	20	20	19	18	
6	大石小学校	856	824	791	723	711	651	612	準適正規模校
		27	26	25	23	23	21	20	
7	大石北小学校	673	653	656	636	635	657	658	準適正規模校
		20	20	20	20	20	21	21	

平方北小学校の近隣校及び大石方面の学校の児童数・学級数
(令和12年推計)

No.	学校名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)							学校規模
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
1	平方北小学校	16	12	16	22	16	22	104	再編検討対象校
		1	1	1	1	1	1	6	
2	平方小学校	28	23	27	31	30	30	169	小規模校 (全学年半学級2年目)
		1	1	1	1	1	1	6	
3	大石南小学校	20	22	30	16	32	31	151	小規模校 (全学年半学級1年目)
		1	1	1	1	1	1	6	
4	平方東小学校	39	45	57	50	54	69	314	適正規模校
		2	2	2	2	2	2	12	
5	今泉小学校	63	85	83	81	115	96	523	適正規模校
		2	3	3	3	4	3	18	
6	大石小学校	91	82	124	93	118	104	612	準適正規模校
		3	3	4	3	4	3	20	
7	大石北小学校	104	120	104	112	119	99	658	準適正規模校
		3	4	3	4	4	3	21	

2024年～2030年～2055年の児童数の推移



2024年～2030年～2055年の学級数の推移



○前回の意見や質問 シミュレーションの条件（対象について）

意見・質問：シミュレーションの条件（対象について）

- ・平方だけを考えるのではなくて、平方と大石を一緒に考える方がスムーズな気がします。
- ・大石地区のクラス数が多い学校を3クラスなどの適正規模となるように平方地区にずらしていけば、平方北小も2、3クラスの適正規模になる可能性があります。
- ・もっと西口側の小学校で考えないといけないのではないかと思います。
- ・通学路の編成も、高崎線の線路で区切って、西と東とかで分けて編成していくというのが一番いいのではないかと思います。
- ・小敷谷西部区も平方北小に近いのですが、大石南小に通うことになっています。小敷谷西部区が近いので、そこを編成すれば平方北小を残しても、まだ児童は増えていくのではないかと思います。

15

○通学区域の変更について

通学区域の調整と再編成についての考え方

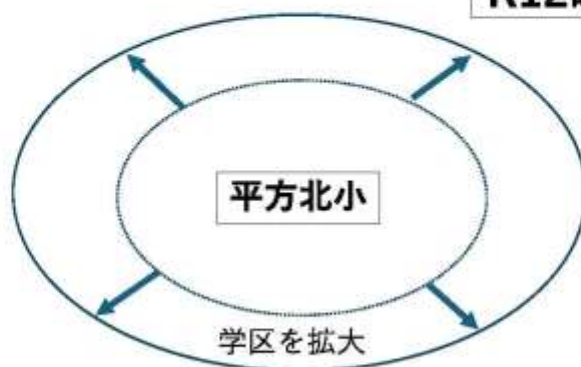
法令上の厳格な基準はないが、児童数や自治会、通学路などを考慮して、市町村の教育委員会
が通学区域を決めています。

児童数	・対象地区にまとまった児童数が存在しており、調整の効果があること ・受け入れ先の学校に長期的な施設の余裕があること
自治会	・市民の地域活動単位である自治会を不自然に分割・統合するものでないこと
通学路	・学区調整により、児童の通学距離が極端に増加することがないこと ・大きな道路、鉄道を新たに横断する時は、安全上の問題を生じないこと ・隣接する学区やその通学路が複雑に交差しないこと
その他	・過去に地元との協議経緯等がある場合は、その実現可能性に留意すること

16

前回の意見をふまえたシミュレーション（案）

R12時点での児童数



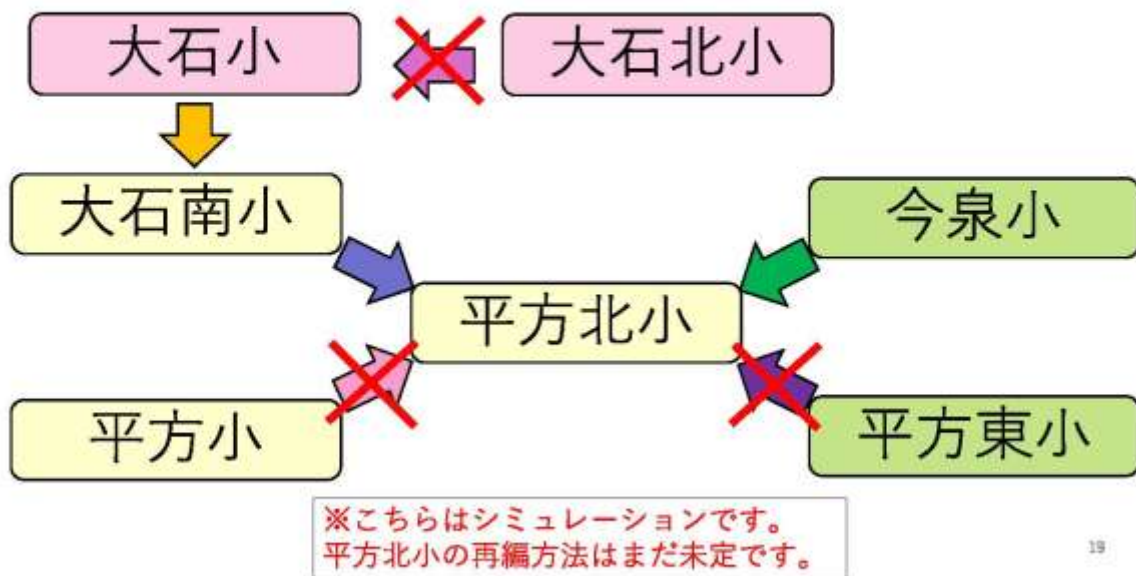
37

○児童の編入の仕方

- ・児童を編入する範囲は自治会全体で編入とする
- ・近くの学校を通り過ぎるような児童は編入しない
- ・通学距離は考慮しない

18

○シミュレーションのイメージ図

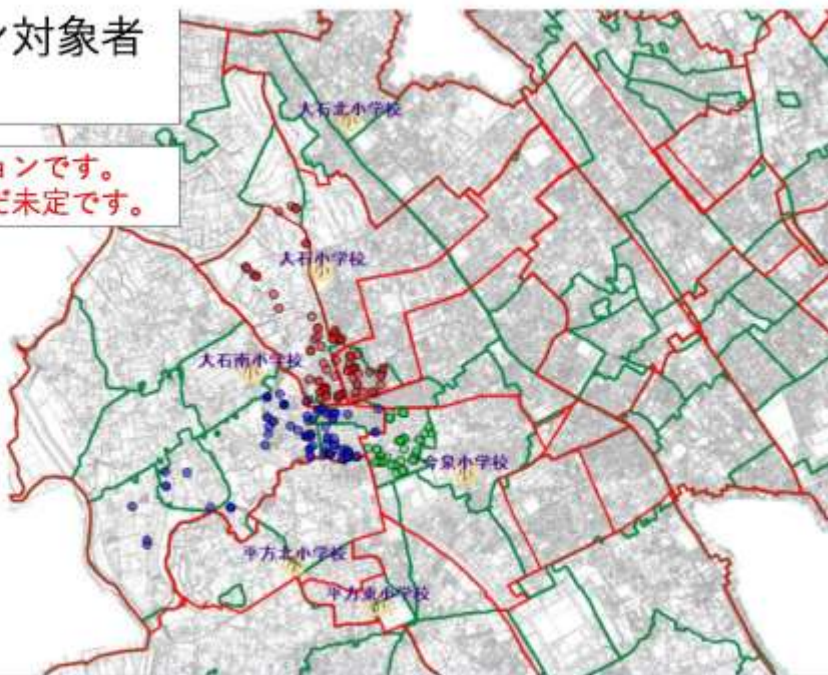


19

シミュレーション対象者の
の分布図

※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

- 凡例
- 小学校通学区境界
 - 事務区域界
 - 大石小未就学児
 - 大石南小未就学児
 - 今泉小未就学児



○シミュレーションによる編入後の児童数

No.	学 校 名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	大石小学校	90	79	117	84	109	98	577
		3	3	4	3	4	3	20
2	大石南小学校	16	22	34	21	34	25	152
		1	1	1	1	1	1	6
3	今泉小学校	61	68	74	64	90	79	436
		2	2	3	2	3	3	15
4	平方北小学校	42	30	35	39	45	41	232
		2	1	1	2	2	2	10

※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

○前回の意見や質問 通学区域変更時の対応

意見・質問:通学区域変更時の対応

・例えば平方北小の学区を拡大して、平方東小と今泉小の児童を平方北小に編入すると決定した場合、強制的に編入になるのでしょうか、それとも選択制になるのでしょうか。

○調整区域について

調整区域(学区調整区域)とは

学校規模の適正化のため通学区域によって定められた学校とは別の学校を選択して通学することができる地域のことでございます。

小学校で11カ所、中学校では9カ所の調整区域が現存している。



○調整区域について

大石小(指定校)と大石南小(選択校)の調整区域の効果について

	大石小	大石南小
人数	69	3
割合	95.8%	4.2%
令和6年度入学	12	1
令和7年度入学	7	1

大石小を選ぶ理由
 ・きょうだいが進学しているため(10名)
 ・通学距離による安全面(6名)
 ・近所の子も通っているから(2名)
 ・子供の希望(1名)

大石南小を選ぶ理由
 ・きょうだいが進学しているため(1名)
 ・近所の子も通っているから(1名)
 ・少人数のため(1名)



○調整区域について

平方北小の近隣校の通学区域に関するアンケートについて

問1 現在、平方北小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、平方北小学校への就学を選択できるようになった場合、平方北小学校への就学を選択しますか。次の中から1つ「○」を記してください。

学校	選択する	選択しない	分からない
平方小学校	1	66	14
	1.2%	81.5%	17.3%
大石南小学校	1	64	10
	1.3%	85.3%	13.3%
今泉小学校	1	205	13
	0.5%	93.6%	5.9%
平方東小学校	2	127	8
	1.5%	92.7%	5.8%

25

2024年～2030年～2055年の児童数の推移



児童への意見聴取について

29

【児童への意見聴取についての内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の共有と協議（中学生）
- ③ 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の共有と協議（小学生）

30

① 前回の振り返り

31

○児童への意見聴取について

以下の項目について、検討し、共通認識を図った上で、実施。

- ① 意見聴取の目的
- ② 意見聴取の対象
- ③ 意見聴取の手法
- ④ 意見聴取の内容
- ⑤ 意見聴取の設問

32

② 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の 共有と協議（中学生）

33

○前回の意見のうち中学生の意見聴取のたたき台の参考とした意見

意見・質問：

・対象を広げてほしいかなと思っていて、(中略)中1、2、3の近隣校(太平中、大石南中)だけでもいいですし、中学にも似たような内容でいいのでアンケートを取ったらどうか。

・中学生になり規模の大きい学校に行くと、自分たちは小規模にいたけれども、複数クラスあるというのは、良い面、悪い面あったということに気づく子たちが多いと思います。

34

○前回の意見をふまえた意見聴取のたたき台（中学生）

- ① 目的：単学級から複数学級へ変わったことによる影響の把握
- ② 対象：太平中、大石南中、瓦葺中1～3年生
- ③ 手法：Googleフォームを使用
- ④ 内容：小学校から中学校に進学して、学校生活がどう変わったかなど
- ⑤ 実施時期：令和7年5月～6月に実施予定。その後の4回の会議でアンケート結果を協議結果に反映するため。
- ⑥ 事前資料：なし。バイアスのかかっていない子供の意見が欲しいため。
- ⑦ 設問内容：別スライド参照

35

○意見聴取の設問案（中学生）

- ① 小学校と比べて、学校での生活は楽しいですか。
選択肢案) 楽しい、つまらない
- ② ①で答えた理由を教えてください。（3つまで）
選択肢案) クラス替えができるようになったため、クラスが多いため、新しい行事があるため、部活動があるため、仲の良い友達と別れたため、授業が難しくなったため
- ③ 中学校と比べて、小学校にあったら良かったなと思うことはありますか。
選択肢案) 自由記述

36

中学生の意見聴取のたたき台の協議の内容

【協議していただきたい内容】

- 意見聴取の目的、対象などはこれでよいか。
- 意見聴取の設問内容について、追加・削除したい設問案や選択肢案はあるか。

【頂いた意見の概要】

<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--

37

③ 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の 共有と協議（小学生）

38

○前回の意見のうち小学生の意見聴取のたたき台の参考とした意見

意見・質問：

・同じ学校の友達と別れることになる時に、子供たちも意見を言えてそうなるのと、何も言えないで分かれるのでは心のダメージや捉え方が違うのかなと思います。

・結論に達するときまでの過程は大事で、アンケートをとる目的はそこなのかなと思っています。

・子供としては場所をどうっていうよりも、お友達と一緒に行動するんだったら別に平方東小でもどこでも変わらないっていう認識でいます。

39

○前回の意見をふまえた意見聴取のたたき台（小学生）

- ① 目的：他の学校に編入する際に児童たちが受ける影響の把握
- ② 対象：平方北小5，6年生
- ③ 手法：Googleフォームを使用
- ④ 内容：他の学校に編入となった際に気を付けてほしいことなど
- ⑤ 実施時期：本会議で平方北小を他の学校に編入する方向が強くなった時
- ⑥ 事前資料：他の学校に編入となった際にどのようなことが起こるかわかる資料
- ⑦ 設問内容：－

40

小学生の意見聴取のたたき台の協議の内容

【協議していただきたい内容】

- ・意見聴取の目的を考えると、現時点での実施が必要か。
- ・意見聴取の目的を変えたうえで現時点での実施が必要であれば、どういった目的とするか。

【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

41

お疲れさま
でした

42

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.4 令和7年5月20日発行



「平方北小学校再編検討協議会」とは

上尾市学校施設更新計画基本計画では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。

平方北小学校は令和2年から1学年1学級編制の状態が続いており、今後もその状態が見込まれるため、市では令和6年度から上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

第4回協議会において、前回に引き続き「近隣校の児童数をふまえた再編」「児童への意見聴取」について協議

◎ 近隣校の児童数をふまえた再編

第3回の協議会で将来的な児童数を見据え、平方地区だけでなく大石地区の小学校も含めて再編を考えた方が良いとの意見があったため、通学区域を再編する検討のイメージを作成し、協議を行いました。

将来的な児童数はどうなる？

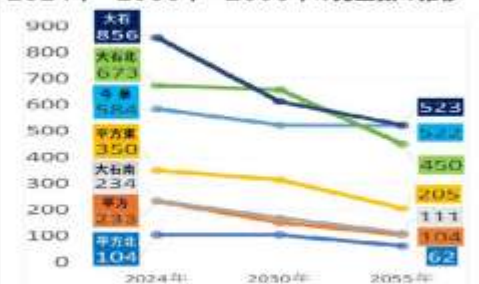
平方北小学校の近隣校と大石地区の小学校の将来的な児童数の推計は右上のグラフ1のとおりです。

全体的に減少傾向であり、現在は856人の大石小学校の児童数は、2055年（令和37年）には約500人まで減少し、学級数も18学級で適正規模となる見込みです。

また、大石南小学校、平方小学校では100人程度に、さらには、平方北小学校の児童数は62人まで減少することが見込まれ、複式学級(※)の学級編制となる可能性も懸念されます。

※ 複式学級とは1学年の人数が少なくなった場合に、複数の学年で一つの学級とすることです。2つの学年の合計児童数が16人を下回った場合に、2つの学年で1つの学級編制となります。

2024年～2030年～2055年の児童数の推移



グラフ1：2024年～2030年～2055年の児童数の推移

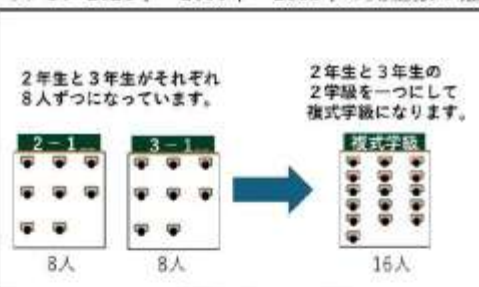


図1：複式学級の図式

新しい再編のシミュレーションは？

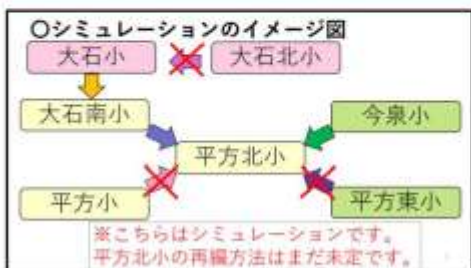


図2：シミュレーションのイメージ図

現在の0～5歳のお子様は小学1～6年生になる6年後の各校の児童予測を基礎に、大石地区を含めた再編のシミュレーションを作成しました。

作成に当たっての配慮事項としては、「編入する範囲は自治会全体で編入とすること」「学校を通り過ぎて別の学校へ通学する編成は行わない」などを考慮した上で作成しました。

その結果としては、大石南小学校において、全ての学年で単学級編制となるが、それでも平方北小学校においては適正規模とならない結果となりました。

学区調整区域の効果の見込みは？

第3回協議会では「他校の児童を平方北小に編入することに決定した場合、強制的に転入になるのか」というご意見がありました。近年行った学区調整では複数の学校を選択できる「調整区域」を設けて、急な学校変更とならない方法を採用しています。

そこで、平方北小への編入希望を把握するため、平方北小の通学区域に近接する、他校の学区内に居住する未就学児の保護者に対して、就学の意味について、アンケートを実施しました。

結果としては、8割以上の保護者が、平方北小を選択しない回答であり、この結果を踏まえると他校からの編入は難しいことが想定されます。

平方北小学校の通学区域変更に係るアンケート（対象：近隣の未就学児保護者）

※現在、平方北小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、平方北小学校への就学を選択できるようになった場合、平方北小学校への就学を選択しますか、次の中から1つ「○」を記してください。

学校名	選択する	選択しない	わからない
平方 小学校	1 (1.2%)	66 (81.5%)	14 (17.3%)
大石南 小学校	1 (1.3%)	64 (85.3%)	10 (13.3%)
今泉 小学校	1 (0.5%)	205 (93.6%)	13 (5.9%)
平方東 小学校	2 (1.5%)	127 (92.7%)	8 (5.8%)



協議における委員の意見

《学校の適正規模》

- ・（地元住民）子供の数が減っているので、適正規模が12～18というのが将来を見据えて適正なのかという疑問があります。
- ・（有識者）第2回の会議で、単学級では学校や親の負担が出ることや、子供たちはクラス替えができないことから、適正規模を12学級～18学級と定めたという話をしたと思う。

《学区と自治会》

- ・（地元住民）私達の地域の子どもたちが同じ学校に行けるならいいと思う。
- ・（地元住民）自治会の区域内で同じ学校に通うようにすることは大事だと思う。
- ・（現役保護者）統合などで同じ学校の友達が増えていけば、自治会の集会場などで子供たちの交流が広がると思う。
- ・（地元住民）子供会と自治会を無理やり同じ区域にしなくてもいいのではないかなと思う。子どもたちの学区を考える上で、自治会の都合を考慮しすぎるのもよくないと思う。

《学校の統廃合》

- ・（地元住民）本当に子供のことを思ったら、学校をまとめていかないといけないと思う。
- ・（教職員）現在のの上尾の小学校の数は、子供が多かった時代の学校数なのかなとも思いました。
- ・（現役保護者）他の学校から児童を集めて平方北小を存続させるのは、難しいと思う。

《学区の調整区域》

- ・（現役保護者）調整区域の導入などを実施するなど、できることを行った後、統廃合にするなら納得いくのではないかなと思う。
- ・（未就学児保護者）調整区域にしても、地区で子どもの絶対数は変わらないため児童数を増やすのは難しく、遠くから児童を編入するのも難しいので、平方北小の魅力を上げていくしかないのではないかなと思う。

◎ 児童への意見聴取について

小学生への意見聴取は時期を見て実施すること、中学生への意見聴取については単学級から複数学級に変わって感じたことを聞くが、設問について再度考えることとなりました。

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第4回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。



1.5 第5回会議

1.5.1 会議録

会 議 録

会議の名称	第5回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年5月30日(金)午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、橋村 則史、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	手塚 雅博	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 本協議会の役割とスケジュールについて (2) 他自治体の事例について (3) 中学生向けアンケートの結果について (4) 協議 (5) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年7月23日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">(1) 本協議会の役割とスケジュールについて</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〈主な質疑・意見〉</p> <p style="text-align: center;">特になし</p>
会長	<p>ないようであれば、続きまして、他自治体の事例について説明をお願いします</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">(2) 他自治体の事例について</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〈主な質疑・意見〉</p>
事務局	<p>1点補足のご説明をさせていただきます。先ほどご紹介した栄小学校の学級数ですが、通常学級のみで、特別支援学級は含まれてない学級数です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。何かご質問等ございますか。</p>
A委員	<p>学区調整をした事例は、学区を変えてその学校に通ってもらう方法ではなく、どちらか選択できるような調整の仕方なのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。学区を調整して指定校にしたという取り組みではなく、選択できる範囲を広げた事例です。</p>
A委員	<p>デメリットとして、配慮を要する児童の選択肢となってしまうことが多いと挙げられていましたが、配慮を要する児童は小規模校を選びやすいのでしょうか。</p>
事務局	<p>本事例に限らず、人間関係をリセットしたい子どもや、今通っている学校が居づらいと感じている子どもが、選択して通われているという事例がございます。</p>

会長	その他何かご質問ございますか。
B 委員	北本市の適正規模等に関する基本方針が平成 3 1 年度に定められ、翌年の年度途中から検討協議会が立ち上がったとのことですが、検討協議会が立ち上がることは、もっと前々から北本市では分かっていたのでしょうか。
事務局	検討協議会の委嘱手続きなどを含めると、年度途中の発足になってしまったのだと思われまます。
B 委員	平成 3 1 年度の新入生の人数が、1 年前の見込み数 9 名でしたが、結局 3 名となってしまったのは、人数が減ってきていて今後統廃合となるのであれば、途中で転校することがないよう引っ越したのではないかと思いました。平方北小学校も似た状況なので、同じようなことにならないか心配になりました。北本市は短期間で協議を進めていたようですが、それでも 2 年間は新 1 年生 3 人で過ごしたのか、もしくは途中で引っ越しした人もいればもっと少人数で過ごしたのかと思うと、本当に早く進めたほうが良いのだなと危機感が増しました。
C 委員	上尾市の基準では、単学級が 5 年以上続いたら協議会が設けられるということですよ。
事務局	上尾市では、全学年単学級の状態が 5 年以上見込まれる場合は再編対象となります。0 歳から 5 歳までの子どもたちが今後入学した際に、もう既に 6 学級しかない状態となります。
C 委員	平方北小が単学級になったのはいつからでしょうか。
B 委員	結構前から単学級だったと思います。今中学 2 年生の子が 1 年生の時に、1 学年だけ 2 クラスがありました。もっと早くわからなかったのかと思います。
事務局	単学級の状態はしばらく前から続いていましたが、以前は基準がなかったというのが大きなポイントだと思います。文部科学省が平成 2 7 年に公立小学校・中学校の適正規模適正配置に関する手引きを定めたことから、全国的に少子化に対する解決策が必要だという認識がされ始めたのが、ここ 1 0 年くらいだったという状態です。
会長	その他何かご質問ございますか。
D 委員	娘が小学生の頃に、栄小学校の P T A と交流がありました。栄小学校は、平方北小学校と同じように団地の近くにある学校で、当時は栄小学校の P T A もとても熱心に活動していました。事例として挙げられて思い出し、同じような状態なのかなと思いました。
会長	その他何かご質問ございますか。
E 委員	北本市の栄小学校は検討中に複式学級になったのでしょうか。

事務局	<p>令和2年度でしょうか。そこまでは確認できておりませんが、資料に記載している平成31年度の児童数ですと、1年生を含む場合の複式学級の人数は8人以下と定められており、1年生と2年生を合わせて12人になってしまうため、複式学級の可能性は低いかと思います。</p> <p>それ以降については、県から教員が配置されないため、複式学級の選択肢が出てきた可能性もありますが、市が他のところで配置する予定だった教員を異動させ、複式学級を作らずに残り1年どうにか維持した可能性もあります。</p>
E委員	<p>平方北小の3年生が10人で、前後の学年の人数が多いので複式学級にはなっていない状況ですが、もし再編検討中に人数が減ってしまった場合、複式学級になる可能性もあります。複式学級について調べてみたところ、保護者からするとデメリットが多いと感じたため、複式学級になることは避けたいです。</p>
事務局	<p>先ほどの平方北小が全ての学年で単学級になったのはいつなのかについては、最後に1学年に2学級あったのが令和元年でした。平成31年5月には平方北小の6年生が48人いて、2クラスありました。以降の学年は35人以下のため、単学級となっています。</p>
会長	<p>その他にご意見ご質問等ございますか。</p>
F委員	<p>統廃合と学区調整の事例がありましたが、学区調整してもあまり効果が出なかったということでしょうか。効果が出ない可能性が高いと見込んだのでしょうか。</p>
事務局	<p>統廃合をする場合は、こういった協議会を実施するなど、色々な意見を踏まえて進めることが多く、その中で選択肢として統廃合を進めた方がいだろうという結論に至った自治体が多いということです。</p> <p>事例にもございますが、学区調整をした学校については、やってみたがなかなか人が集まらない事例や山間部で市街地の学校まで行くのに、通学バスや電車を使っても1時間以上かかってしまうため、複式学級でなんとか学校を運営しているという状況です。</p>
会長	<p>よろしいですか。その他何かご意見ご質問ございますか。</p>
G委員	<p>3月に丸山団地に入居した人が4人いますが、2人が外国籍の方でした。外国籍の方はお子さんが3人いて、今後は外国籍のお子さん達が増えていくのかと感じました。また、資料後半の統廃合した北本市の事例ですが、望ましい通学距離が3km以内はすごい距離だなと思いました。</p>
会長	<p>その他何かございますか。他にないようであれば続きまして、中学生向けアンケートの結果についての説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題 (3) 中学生向けアンケートについて</p> <p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>

会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
C委員	<p>このアンケートは電子で中学生1年生を対象に実施したのですか。</p>
事務局	<p>Googleフォームを使用し、中学1年生から3年生を対象に回答していただきました。</p>
C委員	<p>中学生にこのように聞いても、数字自体にあまり意味はないと思います。私が中学生の頃は、小学校の事に関してこんなに親達が真剣に考えていると思っていなかったですし、友達と仲が良いからといった感じで回答する子も多いと思います。</p> <p>少人数のクラスで、仲の良い友達がおらず「仲の良い友達とクラスが離れてしまうから」と書けなかった子がいると思います。そういった声の方が大事だと思います。</p> <p>このアンケートは皆で一斉に実施しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。期間は同じです。</p>
C委員	<p>私自身も気をつけていることですが、親が聞きたいタイミングと子どもが話したいタイミングは違って、子どもが話したいタイミングでないと本音はなかなか聞けないと思います。親のタイミングで聞いた答えは、上辺だけで心の底が見えてこないと感じることもあります。今回アンケートを実施しましたが、それは本当の気持ちなのか、深く考えた気持ちではないのではと思いました。</p> <p>また、前回の協議会の最後の方で小学生へのアンケートは再編の方向性が決まってから実施することとなりましたが、帰り際に当事者の小学生にも事前にきちんと聞いた方がよいのではないかといった話も聞こえてきました。子ども達にアンケートを取り、その結果に重きを置いてしまうと、子ども達に責任を取らせるような形になってしまい、荷が思いと思います。例えば話し合いに参加してもらえば良いと思いますが、小学生のアンケート結果によって、平方北小の再編方法が決まっても子ども達は困ってしまうと思います。中学生のアンケート結果についても、重きを置かないほうが良いと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。中学生へのアンケート結果は参考資料とし、再編の方法については本協議会で引き続き検討していきます。</p>
C委員	<p>子どもが蚊帳の外なのではといった声がありましたが、そんなことはないと思っていたので良かったです。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p>
G委員	<p>今回のアンケートはクラス替えについてのアンケートで、通学などについては含まれていないということですよ。</p>

<p>会長</p>	<p>今回はクラス替えやクラス数に関するアンケートです。 その他何かございますか。ないようですので、ここから協議に必要な資料の説明をお願いします。</p> <p>議題 (4) 協議</p>
<p>事務局</p>	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
<p>会長</p>	<p>協議の説明のところで、まず「どこへ編入とするのか」が挙げられていましたが、ここでは2つの方法として「平方北小学校の通学区域を拡大して他校の児童を編入させる方法」と、「平方北小学校の児童が別の学校に編入する方法」が挙げられていました。</p> <p>まず、平方北小学校の児童が別の学校へ編入する場合は、どういった編入が考えられるのか、望ましいのかについて議論いただきたいと思っております。</p> <p>では、資料をご覧になりながら、どこへどのように編入したら良いかを、特に私の方から指定はしませんので、ご意見ございましたら忌憚なくご発言していただきたいと思っております。感想程度でも大丈夫です。</p>
<p>H委員</p>	<p>平方北小学校の児童が各学校に編入する場合、各学校何人になるかを示している資料を見ると、平方北小学校は児童数が少ないからこそその良いところとして、他学年との交流もあって、みんな仲が良いところがあり、みんなバラバラになってしまうのがもったいない、寂しいなということがすごく印象的でした。</p> <p>他市町村の編入の考え方として、在校生に限り近隣校に一斉に行くというのを見て、そういうやり方もあるのかというのも一つ印象に残りました。バラバラにするよりもみんな一緒というのもいいなと思う反面、在校生と未就学児がいる場合、将来的に別の小学校になってしまうのは難しいと思いました。</p> <p>全員が同じ学校に編入するというのはいいなとは思いますが、次に入ってくる未就学児は近くの学校へという形になるときょうだいで違う小学校に行くことになるかと思っております。市内だと運動会などが同じ日になってしまうこともあるかもしれません。そう考えると、家から近い学校へ編入するというのも良いですが、みんな仲の良いところがすごくもったいないと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>1つの学校に全員が行くとか、こちらで個々の通学距離などを考慮しながら分けていくのか、もしくは選択制にするのか、おそらくいくつか案があるかと思っておりますが、どこの学校にどう分けたら良いかなどご意見ございますか。</p>
<p>E委員</p>	<p>下のお子さんがある方の場合、基本は近くの学校に編入するのがいいのかなと思う反面、例えば本当だったら大石南小が近いが、今泉小もさほど遠くないので、今回自分の子どもが今泉小に行くとなった場合、下のお子さんも同じ今泉小に通えるのか、学校を選んだ場合どこまで市としては対応できるのかというのはちゃんと出した方がいいのかなと思っております。</p> <p>アンケートで一つ共通していたのが、友達というワードが多いというこ</p>

	<p>とです。子どもからすると友達はすごく重要なことだというのは、このアンケートをとって見えたのかと思いました。</p> <p>今在校している子達が、友達と一緒に学校に行きたいので、周り相談して一緒に今泉小に通うことにした場合に、下のお子さんはどうなるのか、再編する上で答えは出しておいたほうが良い問題かと思います。</p>
会長	ありがとうございます。
C委員	<p>例えば近隣の子と仲が良く一緒にいきたいとなった時に、「私聞いていなかった」「私は違った」などトラブルになったり、親同士が結託じゃないですけど、何かなっちゃったりとかするのであれば、もう市が選んでくれた方がいいのかなとも思います。</p> <p>私自身も以前保育所が1回取り壊しになったことがあります。耐震基準を満たしていないので取り壊します、移動先はどちらがいいですかと言われ、その間の対応など、今回は少し違いますが、やはり結構トラブルの元になるのではないかなと思います。その時は、近いところか新しいところを2つ選べるような感じでした。子ども達は一回体験して、特例で兄弟も一緒にのところにいれますと言われました。今回も特例で、兄弟は同じ学校でもいいのではないかと思いました。</p> <p>やはり距離で私は測った方がいいのではないかなと思います。近所の方に話したときに、資料の4番目とか5番目のところに住んでいることもあり、結構名前が出てくるのが今泉小です。資料の5番目に住んでいる子しか行けないとなった場合に、4番目に住んでいる子は行けないのかとなった時でも、市が決めたことだからと言われたら仕方ないと思うと思います。今泉小はもう適正規模になっていて人が多いです。だからそれで殺到してしまうと、またそういうトラブルにもなるのかなとも思っています。もうこれ以上増えてもという形になったりするので、選択制の難しさみたいなものもあるかなと思います。</p>
会長	選択制はちょっと難しいかなということですかね。
C委員	絞った選択、なるべく2択とかが良いのかなと思います。
会長	その他何かございますか。
G委員	<p>資料では事務区がグリーンで囲ってあったりするじゃないですか。</p> <p>丸山団地はこの2番のあたりですかね。平方小まで1kmとなっていますが、直線距離でしょうか。</p>
事務局	こちらはGoogleマップで調べたものです。
会長	直線距離ではないです。
事務局	インターネットの地図アプリで、2点間を選ぶとその間の道を通って距離を測ってくれるっていうアプリがあるのですが、それで測った距離によると1kmという形です。
G委員	平方小学校って結構いろんな運動会などの際に、丸山団地から行きます

	<p>が、歩いて行くイメージではなく、自転車とかで行くような距離だったので、1 kmというのはいさ意外でした。</p>
C委員	<p>通学路でなくてそのアプリのルートということですよ。</p>
会長	<p>そうですね。</p>
事務局	<p>第3回の資料作成の際に、家から一番近い学校へそれぞれ編入するシミュレーションをしました。その際は、各学校から1番遠い児童の通学路となりそうなルートを実際に歩いて検証もしました。</p> <p>Googleマップで最短距離を調べると畑の中を突っ切ってしまうので、横断歩道を渡ったりすると、令和6年度の平方北小在園児で1番遠いルートで平方小まで1.7 km程度でした。</p>
G委員	<p>アンケートではないですが、実は5月の30度を超えるか超えないかの日に、ちょうど6年生から中学1年生になった子が太平中から帰ってきた時に、結構顔が真っ赤になっていて、平方北小から太平中に移ってどうか聞いてみました。そうしたら、通うのが大変だと言っていました。</p> <p>小学校1年生が歩いて行くとしたら、どう思うかも聞いたところ、無理だと言っていました。なので、1年生が歩いて行くのかと思うと、1 kmならなんとかなるかと思いますが、もっと遠い印象があります。</p>
会長	<p>その他何かございますか。選択制にしても、どこの地域の人がどこの小学校へ行ったらいいのかなど。</p>
I委員	<p>私は一番いいのは、大石南小にみんなが行けばいいかなと思います。</p> <p>平方の遠いところの人が、逆に10年後20年後には遠くてよかったと思うようなことがあるかもしれない。</p> <p>例えば、登下校中の事故が今頻繁にニュースで流れています。遠いところは幼稚園バスをイメージしていただいて、スクールバスなどを行った方が、10年後20年後にはバスも良かったということになるかもしれないと思います。</p> <p>これから気候も問題になると思います。暑くなるので、そういうときにやはりバスで行くことは、10年後20年後を考えたら検討していく必要があると思います。最初はバスには大反対でしたが、こういうことを考えると、ちょっと離れていてもバスで行くのも安全のためにはいいのかなと思います。</p> <p>それともう1つの理由は、今泉小はわかりませんが、平方の各小学校で水害の時の避難所になっているのは、大石南小だけとなっています。この前も平方の方で経験したことないような水害が起きました。10年後20年後に水害が発生し、もし平方東小が水没した場合、何日か学校は使えなくなると思います。そういうときに、何でそういうところを選択したのか、他のもっと安全なところを選択しなかったのかを問われた場合に、バスを使って安全に通学でき、水害もある程度マップから外れているということで良いのではないかというのが私の意見です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>

C 委員	<p>子どもが新1年として通い始めて、心配していましたが、最初は元気に行っていたので、全然心配なかったなと思いました。ちゃんと登校班について行って、しっかり荷物も持って帰ってきたのですが、暑かった日が3日間あった時に、もうやだ、もう行きませんといった感じになってしまいました。</p> <p>私も外に出てみたら、やっぱり私がもう嫌だった時のあのままだなと思って、荷物だけ先に私が持って帰ったり、金曜日はすごい荷物が重いので迎えに行ってみたり、何とかもう機嫌を損ねないように行かせています。</p> <p>1年生は特に体がちっちゃいので、本当に顔真っ赤で、何回か送り迎えの時にみんなで、登校班で帰って見たのですが、みんな途中で座り込んでしまったりして、暑い中座り込んでしまうのは結構危険だと思いますし、普通にランドセルからお茶出すのも大変です。</p> <p>そんな上手いこといかないです、新1年生って。慣れていないし、5・6年生のように上手いかわなくて、暑い所に座ったり、行くよと言っても、もう嫌だとなってしまいます。それはうちの子だけでなく、3～4人いる同じ登校班の子達に聞いてみても、暑い日は嫌だと言うことですね。</p> <p>ですので、バスに賛成かなと思います。距離が延びる子だけでもいいですが、バスあったら良いですね。</p>
F 委員	<p>再編にあたり、バスは必要だと思っています。</p> <p>私の子どもの頃の話ですが、その頃の平均気温と今の平均気温はまったく違うので、これを同じ小学校1年生が通えたからという話にはならないと思います。</p> <p>統廃合や学区編成の見直しは、やはり子どもたちの通学を、まず第一に考えてあげないといけない。バスがあるといった強いものがないと難しいのではないかと思います。</p> <p>それと、平方北小がどのように再編するかはまだわかりませんが、再編が終わり、数年後にその学校が再編検討対象になりましたということはあるのでしょうか。これは重要なことだと思います。</p> <p>そんなことあり得ないと思いますけど、やはりかなりそこまで思っていないと、行った先で、自分の行った学校が変わっていきますという風になる。見ているとそういう感じがします。そういうのを踏まえてどうするのか。できれば学校と学校が合併するっていうのが一番その時点ではいいと思います。いろんな学区が選択できる場合は、隣の人が違うところへ行きますというのも出てくるとは思いますが、今の子どもたちだけだったら一緒に行った方がいいし、足さえ確保してもらえば良いと思います。</p> <p>やはり次に入ってくる子達をどうするのか、合併したときにもう1回再編検討が出ることはないか、その可能性の一番低い、リスクの低い方法を考える必要があるのかなと思います。</p>
会長	<p>そうですね。中学のほうは少しそういう形にもなってきているので、その辺りも含めてという形になるかと思っています。</p>
G 委員	<p>先ほどの大石南小へみんなで編入するお話しが、本当に目からうろこが落ちる感じでした。</p> <p>どうしても平方小か平方東小かということばかり考えていましたが、水害のリスクのことを考えれば、バスでないと行けない距離にしか避難所がないというリスクもありますが、考え方としては、ちょっと転換できるよ</p>

	<p>うな考え方だなと思いました。</p> <p>そうすることによって、バスの足を確保できるとか、そういったことになれば素晴らしいなと思いました。</p>
会長	<p>バスについては他市町村のところでもいくらか km が書いてありますが、上尾市の場合はどれくらいで検討するのでしょうか。</p>
事務局	<p>再編に伴って、通学距離が延びてしまう場合で、1.5 km 以上になるとときには徒歩通学以外を検討するというようにしておりますので、バスの選択肢も出てくるかと思えます。</p> <p>あとは、現行で通われている子どもとの兼ね合いなど、そういったところをどう判断するのか、不公平感が生じないというところが、決定していく上での判断材料とバスを導入するにあたっての配慮事項になるかと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
F 委員	<p>先ほどの1.5 kmというのは、ずっと変わっていないのでしょうか。</p> <p>気象状況も変わっていて、昔は1.5 kmでもよかったが、今考えると1 kmかもしれないです。1.5 kmがいつ決められたもので、それがずっと続いているのか、実態に合っているか考えられているものなのか。</p> <p>もし、かなり昔のものであったり、あまり考えられないのであれば、先ほどおっしゃったように今通っている人たちも含めて、1.5 kmではなくて1 kmという可能性もあると思います。それはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>通学距離につきましては、どのぐらいが適正なのかというアンケートを、令和4年に実施しており、アンケート結果や平均すると大体どれぐらいの通学距離の子が多いのかを基に令和5年に策定した基本計画にて1.5 kmと設定しております。</p>
F 委員	<p>それは特に学年を絞らずに全体を対象にして、小学生の親御さんにアンケートを実施したということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
F 委員	<p>先ほどの話にもあったように、1年生が通える距離なのかどうか重要なポイントになってくると思います。どちらかといえば、高学年のお子さんではなくて低学年のお子さんが通える距離なのかというのが、1つのキーになるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらの結果については、全体でとったものになっていきますので、学年別の結果がわかるようであれば資料提供させていただきます。</p> <p>また、未就学児保護者を対象としたアンケート結果では、望ましい通学距離はどのくらいかについて、1 kmと1.5 kmが同じぐらいの回答数になっているという状態です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>

B 委員	<p>資料で他市町村の編入の行い方として、北本市、鴻巣市、熊谷市の例が載っていて、北本市と鴻巣市は割と上尾市からも近いです。北本市では、通学距離的に全員まとまって1つの学校に行けたということでしたが、そこに「同じく小中一貫教育を実施している学校へ編入した」とありますが、これは結局中学校で合流する小学校だったということなのか、どういった意味なのでしょう。</p>
事務局	<p>小中一貫教育というのは、小中学校で一貫した理念をもって連携していく方法になっておりまして、栄小学校と同じ中学校に紐付いている小学校が石戸小学校だったということです。</p>
B 委員	<p>平方北小は中学校の学区が太平中と大石南中に分かれる地区なので、大石南小に全員で編入した場合は、中学校で結局別れてしまいます。</p> <p>または、大石南小へ行ったことによって大石南中に行かなきゃいけないという問題も出てきますし、逆に本来は大石南中側に行くはずだった子が平方側の小学校に行ってしまうと太平中に行かなければいけないのか、それとも中学になった時点で別れるのかという問題もあります。</p> <p>中学校までの進路もふまえて、ばらける範囲を考えなきゃいけないのがちょっと難しいですね。他の市に倣ってできない部分があると思います。それでいくと北本市の例は、平方北小にはそぐわないと思いますし、鴻巣市のように選べるようにしたりするようにするのもありだと思います。</p> <p>中学校が分かれてしまうということが元々ある地区なので、できればその学校に移った後の中学校までの小中一貫教育としてあげたいです。</p> <p>違う小学校に移り、中学校はその小中一貫教育にそぐわない中学校に行くってということになるとおかしいことなので、そう考えるとやはり小学校を移るにあたって、中学校の学区も含めて考えないといけないと思います。</p> <p>大石南中の学区でも結構微妙な場所の方もいます。小敷谷あたりで太平中にも近いし大石南中にも近いような場所もあります。そういった地区の方は選択できる区域みたいなのがありますよね。</p> <p>また、大石南中も来年度から平方北小と同じく再編検討協議会が立ち上がる話はもう出ていますし、太平中との平方東小が小中一貫で、老朽化もあり校舎が新しくなるって話が出ているというタイミングでもあるので、将来的に通う中学校のこともイメージしながら小学校を選べるように情報提供して、別れることになるということを在校生にしっかりと情報を与えた上で、選択肢を与えるってことが良いのではないかという気がしています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。その他何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>1つの小学校に決めていくお話や、ゆくゆく統廃合が進みそうなところはなるべく避けながら考えていくとか、中学のことも検討しながら区分けをしていくとか、いろいろな議論が出ておりましたので、その辺りを今後事務局の方でまとめいただくということでもよろしく願いいたします。</p> <p>もう1つの再編の方法で、逆に平方北小の通学区域を拡大して児童を編入させるというのは時間の都合上、次回ということになるろうかと思えます。</p>

	<p>その他何かございますか。ではないようですので、最後にその他でございますが事務局からございますか。</p>
事務局	<p>1点、今後の予定について申し上げます。次の協議会は7月29日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>閉会</p>
事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第5回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。</p>
副会長	<p>以上をもちまして、第5回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
事務局	<p>青木副会長ありがとうございました。第5回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第5回平方北小学校再編検討協議会

1

【第5回 協議会の内容】

- ① 本協議会の役割とスケジュールについて
《質疑・応答》
- ② 他自治体の事例について
《質疑・応答》
- ③ 中学生向けアンケートの結果について
《質疑・応答》
- ④ 協議

2

本協議会の役割とスケジュールについて

3

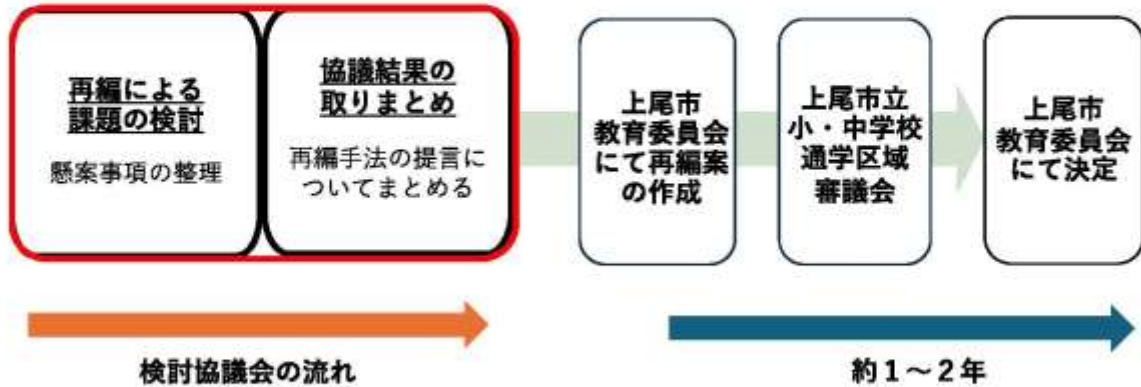
○検討協議会の役割

子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、
平方北小学校の**学校再編を協議**し、その内容を**取りまとめる**こと。



4

○協議会とその後の流れについて



5

○具体的なスケジュールについて

	日程	協議内容
第5回	5月30日 15:00～	・再編による課題の検討
第6回	7月29日 15:00～	・再編による課題の検討
第7回	9月30日 15:00～	・再編による課題の検討
第8回	12月2日 15:00～	・協議結果の取りまとめ
第9回	2月3日 15:00～	・協議結果の取りまとめ
第10回	未定 (4～5月)	・予備日

6

質疑応答

7

他自治体の事例について

8

学校規模適正化のための統廃合や学区調整に関する調査

回答数：県内61市町村

団体数



統廃合をしてみて感じたメリット・デメリットについて (児童・教員に関すること)

メリット

- 学校の数が減少することで複式学級が解消された。(4件)
- 多様な人間関係が築け、切磋琢磨する機会が増えた。(2件)
- 多くの児童との交流ができ、集団の活動で活気あふれる活動ができる。(3件)

デメリット

- 児童の仲間意識の壁を解消するのに時間がかかった。(1件)
- 通学区域拡大による児童・生徒の通学時間の増加。(5件)

統廃合をしてみて感じたメリット・デメリットについて (行政・地域に関すること)

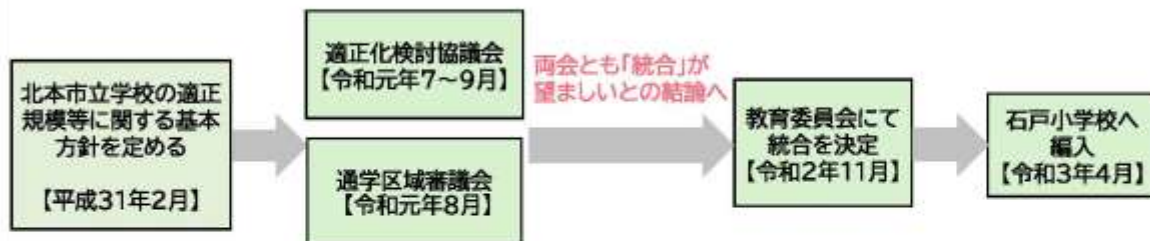
メリット

- 学校の数が増えることで事務量、管理運営費の削減が見込める。
(11件)

デメリット

- 学校の備品廃棄作業及び跡地活用に係る事務負担が増加した。
(3件)
- スクールバスの費用負担・事務量が増えた。(3件)
- 歴史のある学校がなくなってしまう場合がある。(1件)

統廃合した事例：北本市(栄小学校)



平成31年度学級編成

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	合計
児童数	3	9	14	10	13	14	3	66
学級数	1	1	1	1	1	1	1	6

北本市立栄小学校規模等適正化検討協議会の流れ

第1回

- 北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について
- 栄小学校の現状や規模等に関する適正化について

第2回

- 学区再編・学校統合の検討・協議について
 - 学区再編(栄小学校の通学区域を見直し、適正な児童数・学級数を確保する場合)と、
 - 学校統合(同じ中学校区の小学校や隣接する小学校へ統合する場合)を検討・協議
- ⇒「**学校統合**」の方法で適正化を進めることについて合意

第3回

- 学校統合により生じる課題への対応について
 - 統合対象校(「石戸小学校」と「南小学校」)の検討・協議について
- ⇒「**栄小学校**」を「**石戸小学校**」へ統合する方法で適正化を進めることについて合意

学校規模適正化のための統廃合や学区調整に関する調査

回答数：県内61市町村



学区調整をしてみて感じたメリット・デメリットについて

メリット

- 少しでも適正規模に近づけていくことができた。
- 地域と学校の結びつきが強くなった。

デメリット

- 多様な児童を受け入れることになっている。
- 配慮を要する児童の選択肢となってしまうことが多く、小規模校の負担が増える。

学区調整した事例

県内自治体の事例①

取組：市内の児童の希望があれば入学できるようにした。

結果：人数が集まらず複式学級となった。今は他学校との統合を検討している。

県内自治体の事例②

取組：山間部の学校を残すため、市街地の学校の児童を希望があれば通えるようにした。

結果：山間部のため別の学校と統合は難しく、複式学級のまま存続している。

参考：上記の取り組みをしている学校の児童数と学級数

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
A小学校	児童数	3	4	4	6	3	3	23
	学級数	1	複式		1 複式	1	複式	4
B小学校	児童数	1	6	5	6	8	5	31
	学級数	1	複式	1	複式	1	複式	5
C小学校	児童数	15	10	19	11	19	11	85
	学級数	1	1	1	1	1	1	8

質疑応答

17

中学生向けアンケートの結果について

18

○アンケートの概要

クラス数に関するアンケート

調査目的：単学級から複数学級へ変わったことによる影響の把握

対象校：太平中学校、大石南中学校、瓦葺中学校

(学区に平方北、尾山台小学校を含む学校)

調査対象：対象校の中学1年生から3年生

調査内容：クラス数について、クラス替えについて

19

○アンケートの設問

設問1 小学校の時にはクラス数が1クラスの場合と2クラス以上ある場合はどちらが良いと思いますか。

設問2 設問1で答えた理由を教えてください。

設問3 小学校の時にはクラス替えができて（できる方が）良かったと思いますか。

設問4 設問3で答えた理由を教えてください。

20

○アンケートの期間と回答率

アンケート期間：令和7年5月8日（木）～16日（金）

アンケート対象者数：710人

アンケート回答者数：635人



回答者数内訳

単学級のみを経験した生徒	176人
単学級・複数学級両方経験した生徒	58人
複数学級のみ経験した生徒	401人

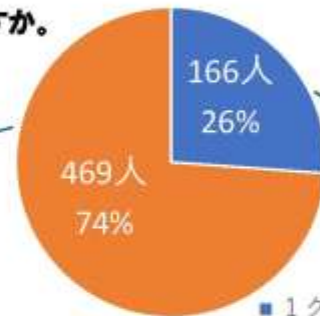
アンケート回答率：89%

21

○アンケート調査の結果について（全体の集計結果）

設問1 小学校の時にはクラス数が1クラスの場合と2クラス以上ある場合はどちらが良いと思いますか。

単学級のみ	71	(15.1%)
単・複両方	31	(6.6%)
複数学級のみ	367	(78.3%)



単学級のみ	105	(63.3%)
単・複両方	27	(16.3%)
複数学級のみ	34	(20.5%)

2クラス以上が良いを選んだ理由

303 (64.6%)	たくさん友達をつくらることができる。
326 (69.5%)	毎年、新しい友達と出会うことができる。
120 (25.6%)	たくさん先生の勉強を教えてもらえる。
130 (27.7%)	自分がやりたいクラブ活動や委員会活動を選ぶことができる。
227 (48.4%)	大人数で運動会や音楽会ができる。
164 (35%)	いろいろな人の意見を聞くことができる。
18 (3.8%)	回答しない
41 (8.7%)	その他

1クラスが良いを選んだ理由

60 (36.1%)	いろいろな学年の友達と交流できる。
146 (88%)	仲の良い友達などずっと同じクラスでいられる。
33 (19.9%)	一人ひとりの活躍（かつやく）の場が増える。
41 (24.7%)	先生に相談や質問しやすい。
64 (38.6%)	校庭や体育館を使える回数が増える。
4 (2.4%)	回答しない
15 (9%)	その他

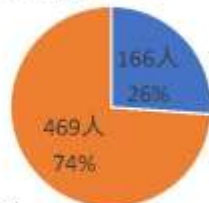
22

○アンケート調査の結果について（全体の集計結果）

小学生時代のクラス数別

設問1 小学校の時にはクラス数が2クラス以上あるのと1クラスの場合はどちらが
良いと思いますか。

全体



小学校の時1クラスだった生徒



小学校の時2クラス以上
だった生徒



1クラスだけの時と2クラス
以上の時があった生徒



■ 1クラスだけ ■ 2クラス以上

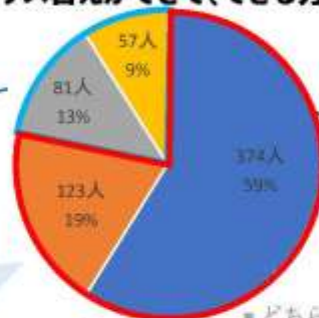
23

○アンケート調査の結果について（全体の集計結果）

設問3 小学校の時にはクラス替えができて(できる方が)良かったと思いますか。

そう思わない・どちらかという
そう思わないを選んだ生徒内訳

単学級のみ	97	(70.3%)
単・複両方	23	(16.7%)
複数学級のみ	18	(13%)



そう思う・どちらかというと思う
そう思うを選んだ生徒内訳

単学級のみ	79	(15.9%)
単・複両方	35	(7%)
複数学級のみ	383	(77.1%)

「そう思う」「どちらかというと思う」合わせると78%

■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

そう思う・どちらかというと思うを選んだ理由

381 (76.7%)	新しく仲の良い友達ができるから
255 (51.3%)	気分が変わり頑張ろうと思えるから
274 (55.1%)	クラスの雰囲気を変えられるから
205 (41.2%)	新しいことに挑戦できるから
71 (14.3%)	勉強に集中できるようになるから
22 (4.4%)	回答しない
19 (3.8%)	その他

そう思わない・どちらかというと思わないを選んだ理由

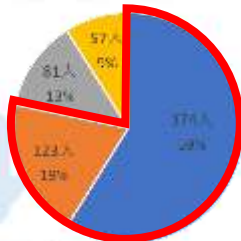
100 (72.5%)	仲の良い友達とクラスが離れてしまうから
82 (59.4%)	新しい環境に慣れるまで時間がかかるから
24 (17.4%)	勉強に集中できなくなるから
9 (6.5%)	回答しない
11 (8%)	その他

○アンケート調査の結果について（全体の集計結果）

小学生時代のクラス数別

設問3 小学校の時にはクラス替えができて(できる方が)良かったと思いますか。

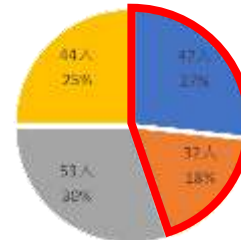
全体



「そう思う」「どちらかというと思う」合わせると**78%**

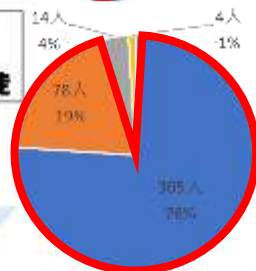
小学校の時

1クラスだった生徒



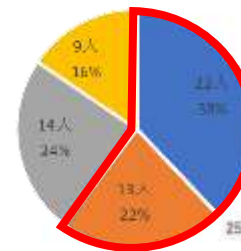
「そう思う」「どちらかというと思う」合わせると**45%**

小学校の時
2クラス以上だった生徒



「そう思う」「どちらかというと思う」合わせると**95%**

1クラスだけの時と2クラス以上の時があった生徒



「そう思う」「どちらかというと思う」合わせると**60%**

■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

質疑応答

協議

27

アンケート結果について

設問 昨年度までの再編検討協議会を受けて、子供たちのことを考えて適正規模化をする場合、どのような手法が現実的だと思いますか。

- 1 平方北小学校の児童が他校へ編入する 13人
- 2 平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる 2人

28

アンケート結果について

設問 もし、他校への児童の編入とする場合に

- ①どこへ編入とするか
- ②いつ編入とするか
- ③編入に伴い通学距離が延びた際の通学方法

以外で検討が必要な事項について

- バスによる通学（③に含まれると思われる）
- 編入となる子供たちのケア
- 編入先の学校指定の体育着等
- 職員の異動

29

再編による課題

①どこへ編入とするか

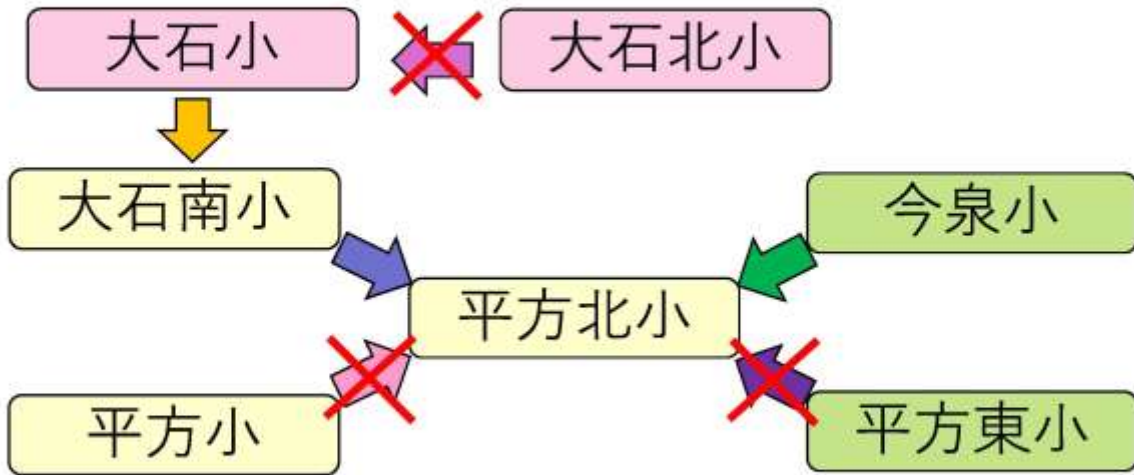
②通学距離が延びた際の通学方法

③いつ編入とするか

30

○平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

第4回資料



※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

11

○平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

第4回資料

シミュレーション対象者の
分布図（R12時点児童数）

※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

- 凡例
- 小学校通学区境界
 - 事務区域界
 - 大石小未就学児
 - 大石南小未就学児
 - 今泉小未就学児



○平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

第4回資料

シミュレーションによる編入後の児童数（R12時点児童数）

No.	学校名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	大石小学校	90	79	117	84	109	98	577
		3	3	4	3	4	3	20
2	大石南小学校	16	22	34	21	34	25	152
		1	1	1	1	1	1	6
3	今泉小学校	61	68	74	64	90	79	436
		2	2	3	2	3	3	15
4	平方北小学校	42	30	35	39	45	41	232
		2	1	1	2	2	2	10

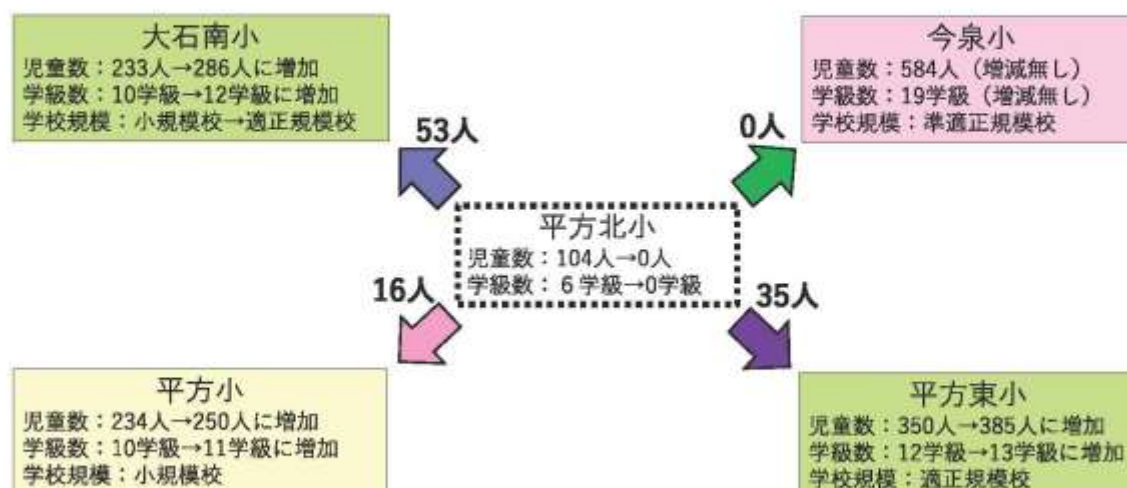
※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

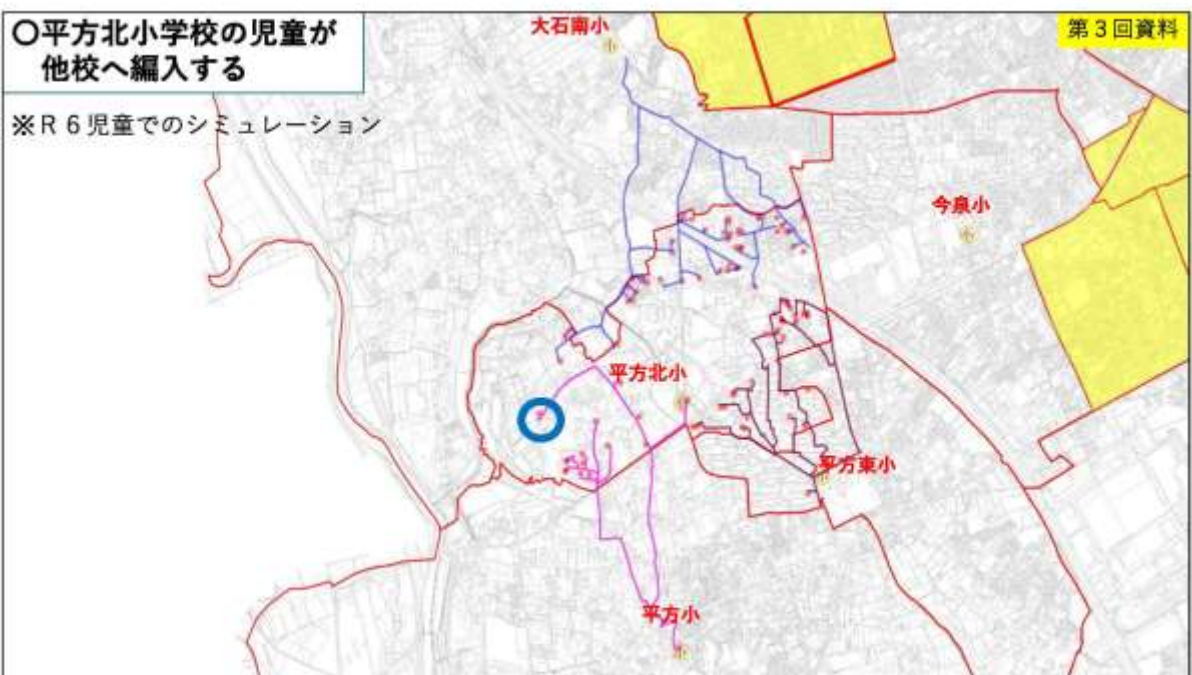
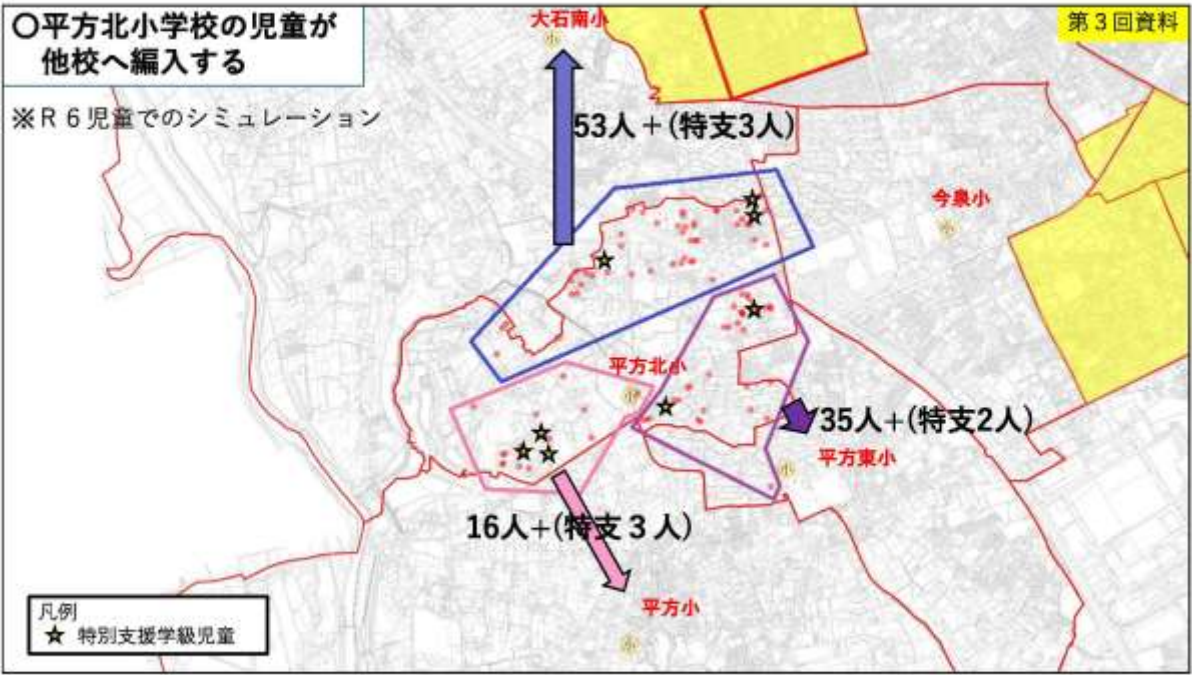
○平方北小学校の児童が他校へ編入する

※R6児童でのシミュレーション

第3回資料

通学距離を考慮して、近隣校が適正規模となるように近隣校の学区を拡大





○平方北小学校の児童が他校へ編入する

アンケート結果について

設問 もし、他校へ児童を編入する場合、他校への児童の編入の行い方についてよいと考える方法はどれですか。

- 1 居住地から近い学校を選べるようにする 9人
- 2 すべての児童を同じ学校に編入する 1人
- その他
 - ・ 基本1だが、在校生についてはより柔軟に対応する。
 - ・ 付近の学校（1km目安）で選べるようにする。
 - ・ 基本1だが、遠い場合はバス通学も検討する。
 - ・ 基本1だが、柔軟に選べるようにする。
 - ・ 編入先を選択できるようにする

37

○平方北小学校の児童が他校へ編入する

他市町村の編入の行い方

	編入方法	通学距離
北本市	児童全員を一つの学校へ編入。距離が近い学校ではなく、同じく小中一貫教育を実施している学校へ編入とした。	望ましい通学距離の基準がおおむね3kmキロであり、それを超える児童はいなかった。
鴻巣市	在校生に限り、近隣校か主たる編入校か選択できるようにした。その後の新入生は近隣校へ入学とした。	主たる編入校を選択し、通学距離が直線距離で2kmを超える場合はスクールバスを利用できる。
熊谷市	児童全員を一つの学校へ編入。「全学年で単学級」となることが見込まれる複数校のうち一つの学校に統合し、学校名を新しく変更した。	他校へ編入することになった学区の児童については、スクールバスを利用できる。

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.5 令和7年7月25日発行



「平方北小学校再編検討協議会」とは

上尾市学校施設更新計画基本計画では、小学校は全ての学年で1学級編制の状態が5年以上継続することが見込まれた場合、学校関係者、保護者や地域住民とともに、統廃合を含めた学校の再編について、検討を開始することとしています。

平方北小学校は令和2年から1学年1学級編制の状態が続いており、今後もその状態が見込まれるため、市では令和6年度から上尾市立平方北小学校再編検討協議会を設置し、子供たちの学びに望ましい学校規模を実現する最適な方法を検討していきます。

他自治体の事例について

前回の協議会で、他自治体の事例を知りたいとの意見があったため、埼玉県内の市町村へアンケートを実施しました。

統廃合した学校があると回答した団体が25団体でした。(全体の約41%)

学校を存続するために学区調整をした学校があると回答した団体は2団体でした。(全体の約3%)

多くの自治体で、学校規模適正化の手法として、統廃合が行われていることがわかりました。



中学生向けアンケートの結果について

小学校の頃に単学級を経験した中学生が在籍する学校を対象に、クラス数やクラス替えについてのアンケートを実施しました。

単学級を経験していない生徒にもアンケートを実施したため、回答を小学校の時のクラス数別に集計しました。

小学校の時にはクラス数が1クラスの場合と2クラス以上ある場合はどちらが良いと思いますか？

2クラス以上だった生徒の回答



1クラスだった生徒の回答



両方経験した生徒の回答



2クラス以上が良いと選んだ理由は、毎年新しい友達と出会うことができる、沢山の友達を作ることができるが多かったです。
1クラスが良いと選んだ理由は、仲の良い友達とずっと同じクラスでいられるが多かったです。
どちらの回答も友達関係を重視していることがわかりました。

《中学生向けアンケートに関する委員の意見》

- ・(未就学児保護者) 少人数のクラスで、仲の良い友達がおらず「仲の良い友達とクラスが離れてしまうから」と書けなかった子がいると思います。アンケートの数字ではなく、そういった声の方が大事だと思います。また、アンケートの結果に重きを置くと、子ども達に責任を取らせるような形になってしまうので、参考程度にした方が良いと思います。



※アンケートの詳細は裏面の二次元コードを読み取り、第5回会議資料をご覧ください。

第5回協議会からは再編による課題を検討するため、以下の流れで協議していくことになりました。

- ①どこへ編入とするか
- ②通学距離が延びた際の通学方法
- ③いつ編入とするか



①どこへ編入とするかに関する委員の意見

これまで「平方北小学校の通学区域を拡大して他校の児童を編入させる方法」と、「平方北小学校の児童が別の学校に編入する方法」がありました。まず、平方北小学校の児童が別の学校へ編入する場合は、どういった編入が望ましいかについて協議しました。

《在校生に限り、同じ学校へ編入する》

- ・（現役保護者）平方北小は仲が良いので、バラバラにならず皆で一緒に通えるのは良いと思う。
- ・（現役保護者）下の子は家の近くの学校に通うことになる、きょうだいも別々の小学校になってしまう。

《家から近い学校を選択して編入する》

- ・（未就学児保護者）選択制にするとトラブルもあると思う。トラブル防止のためにも、ある程度は市で決めてほしい。
- ・（現役保護者）下のきょうだいも学校を選べるのか、どこまで市としては対応できるのかを決めておいた方が良いと思う。

《全員で大石南小へ編入する》

- ・（地元住民）平方の各小学校の中で、水害時の避難所になっているのは、大石南小だけなので、安全に通える学校を選択すべき。遠い子はスクールバスを使えば、安全に通学することができる。
- ・（地元住民）水害のリスクのことを考えれば、バスでないと行けない距離にしか避難所がないというリスクもある。
- ・（現役保護者）中学校で太平中と大石南中に分かれるので、大石南小に全員で編入した場合は、中学校で結局別れてしまう。

《その他の留意点》

- ・（地元住民）編入先の学校が再度、再編対象になることがないようにしたい。
- ・（現役保護者）進学する中学校についても、きちんと情報提供をしたうえで、選択を与えるのが良いと思う。

②通学距離が延びた際の通学方法に関する委員の意見

- ・（地元住民）気候も変わってきており、だんだん暑くなってきている。バスでの通学も将来的に検討していく必要があると思う。
- ・（地元住民）1年生が通える距離なのかどうか重要なポイントだと思う。

もうひとつの再編方法である「平方北小学校の通学区域を拡大して他校の児童を編入させる方法」については、次回検討することになりました。

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第5回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認ください。



1.6 第6回会議

1.6.1 会議録

会 議 録

会議の名称	第6回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年7月29日(火) 午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子	
欠席者(委員)氏名	橋村 則史、蛟嶋 紀子、廣林 達哉	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) A案「通学区域を分けない場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法	別紙「議事の経過」のとおり
	(2) B案「通学区域を分ける場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法	
	(3) いつ編入とするか	
(4) その他		
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 4名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年9月26日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____</p> <p>(議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>議題 (1) A案「通学区域を分けない場合」について ・ どこへ編入とするか ・ 通学距離が伸びた際の通学方法</p>
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
会長	<p>まず、距離や実際の人数規模などから、どこの学校に編入するのが良いのかということについて、また、この場でどの学校へ編入するかを決めるということではなく、いろいろ考えられる点、懸念点が解消できればそちらに行くということも考えられますので、どの小学校へ編入するかということは特に限らないので、ご意見いただきたいと思います。</p>
A委員	<p>例えばどこかの小学校に平方北小の生徒が編入するとなった場合は、今後ずっとその学校の区域になるということになるのか、今回だけ特例で編入するのかどちらですか。</p>
会長	<p>事務局いかがですか。</p>
A委員	<p>例えば平方東小に編入するとなったときには、今後平方東小の学区はこの範囲になりますよということになるのですか。</p>
事務局	<p>今回お示したところのA案につきましては、おっしゃる通りのことを想定したものです。</p> <p>A案の再編の形として、平方北小の通学区域をそのまま近隣の学校に編入した場合となり、近隣の学校からすると通学区域が拡大した状態が続いていくというイメージでございます。</p>
A委員	<p>単純にみると、この平方東小の通学区域が非常に細長いエリアになっていて、平方小の学区に平方東小のグラウンドのすぐ南にあります。この件とは少し違うかもしれませんが、平方東小のすぐ近くに住んでいる方が平方小の通学区域に入っていると思いますが、そういった方の通学距離は今後考えないのでしょうか。</p>
事務局	<p>平方東小が目の前だが、平方小まで通っている子どもの事は、この先ど</p>

	<p>う考えるのかというお話でしょうか。</p> <p>今回の再編に伴った考え方の中では、他の学校の通学区域をいじめることは考えないほうがよいと思っていますところでは。</p> <p>特に平方小については、現状の学校規模もそこまで大きい方ではないので、これ以上平方小の通学区域をいじるとするのはよくないかなと思われまます。</p> <p>そのため、平方北小の通学区域を近隣の学校へ編入するとどうなるかということをお話していただきました。</p> <p>また、強いご希望があれば、平方東小の目の前に住んでいる方の通学区域を変えるというのものもあるのかもしれませんが、今の段階ではそこまで検討することは難しいのではないかと考えています。</p>
会長	<p>平方北小をどういうふうにも再編するかということがメインになってくるかと思うので、このように提案されたのかと思われまます。</p>
B委員	<p>ぱっと見た感じでは、児童としてはみんなで行けるのでA案の方が良いのではないかと考えています。ただB案を見てみると、通学区域を分けた方が距離など様々な面で良いのではないかと考えています。</p> <p>通学区域を分けずに編入するとすると、大石南小の学区図で見ると、大石南小に近い北側に住んでいる方たちはいいけど、平方東小に近い南側に住んでいる方は平方東小へ行きたいなとなると考えています。</p> <p>A案もいいところありますが、私的にはB案の方が良いのではないかと考えています。近隣校の児童も均等に増えるという点もあります。</p>
副会長	<p>確認したいのですが、今回の協議はA案の場合はここが良いのではないかと、B案の場合はこうした方が良いのではないかと、という協議の仕方をするとということではよろしいでしょうか。A案とB案のうち、どちらかに決めるということではないかと私は考えています。A案ならここが良いのではないかと、B案ならこうするのはどうかということではないのかなと思われまます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回の協議の中でA案かB案かを決めるというわけではなく、A案にはこういう良い点、悪い点があるというご意見をいただくとありがたいです。</p> <p>先ほどB委員からいただいたように、例えば、今大石南小に編入するとした場合、平方東小に近い南側に住んでいる方、地図上でいうと青い点の子どもたちは通学距離が長くなってしまふので良くないのではないかとご意見をいただくとありがたいです。</p>
会長	<p>どれかに決めるということではなくて、それぞれのメリットデメリット、懸念点などがあり、その懸念点が解消できる場合もあるとかそういうご意見をいただければと思います。</p>
C委員	<p>メリットデメリットという面では、メリットは平方北小の児童全員で移れるので新しい環境に早くなじめるのではないかなと思われまます。</p> <p>今回見て思ったのは、平方北小のこの会議の中で、平方地区の人がちょっと少ないというお話がよく出るかと思われまます。ただ、丸山団地に最近引</p>

	<p>っ越してきた方が少しいるというお話も、前回か前々回にあったかと思ひます。</p> <p>例えば今泉小は少し難しいのかとは思ひますが、今泉小に編入する場合、平方の方から今泉小まで通うとなるかと思ひますが、小学校がそんなに遠いのであれば、子育て世代は平方へは行かないのではないかと思ひます。A案にはそういうデメリットがあるのではないかと思ひます。子育て世代は子どもを小学校に通わせることを考えて住む場所を選ぶと思うので、子どもが小学校まで通う距離はすごく重視すると思ひます。子育て世代が引越しをする際には、生活圏内に小学校、中学校、スーパーなどがどこにあるかを調べるかと思ひます。A案の地図でみると、どこかが遠いとなった時に、その地域に引越そうと思わなくなるデメリットが住んでいる人にとってあるのではないかと思ひました。そうすると子どもが増えるってことは難しいのかなとも思ひました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p>
D委員	<p>今回は他の学校から平方北小に編入することについての協議はせず、それ以外のところから決めるということだと思ひますが、並行してやっていたいただいても良かったのではないかと思ひます。</p> <p>以前に丸山団地のほうにお越しいただいてお話をしたのですが、その際に平方東小が意外に近いというお話をされていて、今回見てみて本当に近いなと思ひました。前回、大石南小に移った場合、避難所としても安定しているという話がありましたが、そうすると丸山団地は1.5kmから2kmくらいの距離になるので、バスに乗れる可能性が高いかなと考えています。</p> <p>A案のように全員で編入できれば、人間関係を壊さずに行けるというメリットはどこの学校に編入してもあると考えます。あとは距離の問題かと思ひます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
E委員	<p>一つに絞るといふのは非常に難しいと思ひます。</p> <p>私は地元の間人ですからよくわかるのですが、例えば平方北小の周辺に住んでいる方が、平方小に行くのは非常に大変です。距離だけではなく、安全な道がありません。ガードレールがついている道がないです。</p> <p>一番安全なのは平方東小です。平方東小は団地の中を通過して行けば、比較的的安全です。</p> <p>大石南小は危険がいっぱいです。実際に平方北小学区に近い大石南小の児童の通学路を考えると、川沿いに行くのが一番近道ですが、非常に危険です。私はスクールガードリーダーをやっているという関係があつて、いろいろな学校のリーダーとコミュニケーションをとっていますが、危ないという話をよく聞いています。ですから、送迎の際に小敷谷広場の方まで行って一緒に帰ることもありますが、危ないなと思うことがずいぶんありました。</p> <p>距離だけを考えるのではなくて、危険性も少し頭に置かないとせつかく作つたものが無駄になってしまうような気がします。</p> <p>逆に言えば、ある程度の絞つて選択制にした方がいいような気がします。平方つていふのは非常に広い地区なものですから、丸山公園の南側と</p>

	<p>北側とは相当距離があります。この両方に住んでいる方が平方北小まで通っているわけです。北側に住んでいる方は、大石南小が近いです。B委員が言ったように、平方小に近い方と大石南小に近い方をきっちり分けられないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。全員で同じところに行くと友達関係も悩まずにうまく馴染めるということもありますが、距離の問題と通学路の危険性、安全性の問題が少し入ってくるのかなと思います。</p>
<p>F委員</p>	<p>学校の情報提供させていただきます。 一つは上尾市では小中一貫教育を昨年度から進めています。 本校につきましては、教育委員会指導の下、大石南中学区の方で小中一貫教育を進めております。大石南中学区は、大石南中、大石南小、あと本校になっております。 二つ目としては、これは皆様ご存知かと思います。本校は、大石南中に行く子と太平中に行く子と二つに分かれます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。 その件に関しましては、B案の検討の際に、また情報提供をお願いいたします。</p>
<p>B委員</p>	<p>みなさんの意見を聞いていて、例えばE委員の大石南小への通学は危険だよという意見を私達は今ここで知れたのですが、転入してくる人や既に住んでいる親御さんたちはどうやって知るのだろうかと思いました。 そういった通学路の安全性の情報などを手紙で伝えるというのは難しく、口づてや噂話でしか伝わっていかないと思います。 もし選択制になった場合、保護者はおそらく距離で考えてしまうと思うので、距離的には近い大石南小を選んでみたら、通学路が危険でしたということになってしまうのではないかと思います。 そういったものは一度決めてしまったら、簡単に変えられないと思います。そういう情報を保護者へ周知するというのは、手紙とかウェブになってしまうのではないかと思います。通学路の安全性というのは伝えづらいかと思います。選択制の場合は、そういう情報を知っている人にはメリットになるかと思いますが、知らない人たちにとってはデメリットになってしまうのではないかと思います。現状では協議会に参加している人だけが知っているのではないかと感じました。 生活圏について良く調べてから引っ越してくる人もいるという話もありましたが、反対に近所の方で遠くても大丈夫みたいな方もいました。元々田舎育ちだったから全然近いと思うし、どこに変わったとしても関係なく、子供を通わせるだけですという感じでした。そういう意見もあるのかなと思いました。知りたい人もいればそうでない人もいるのだと思いました。 ただ、距離で見えてしまうのかと思います。それこそバスがあればと思います。</p>
<p>G委員</p>	<p>通学路っていうのは危険なところは通ってないですよ。 もし近いところだったら、それは体験してから通学をしているということですか。</p>

F委員	そうです。
G委員	さっきの話については、改善はできるのかなと思います。
B委員	今の一番は距離っていう感じですかね。
会長	今の話では通学路まで具体的にどうこうという話ではないということですか。
事務局	<p>通学路につきましては、再編の方向性を定めたタイミングで再編に向けての具体的な準備委員会等を設け、望ましいルートや安全なルートの協議を進めて決めていくイメージ感でございます。あとは、通学路に危ない部分がある場合はグリーンゾーンを後から追加したり、本当に危険なところについてはガードレールを設置していくなどの協議を教育委員会や警察と共に行っている自治体もでございます。上尾市でも同様のことができるかはまだわかりませんが、そういった対応が考えられると思います。</p> <p>また、現状の通学路の危険なところは、ホームページに通学路安全マップというのがありますので、こちらで確認していただけるかと思えます。</p> <p>今後どうなるかはどのように再編が決まっていくかということもあるのですが、安全なルートなどを考えなければいけないかと思えますので、学校なども含めて実際に決まった段階で具体的な話になるかと思えます。</p> <p>危ないところについての対策は改善できるようなことはしつつ、改善が難しいところは情報共有をするといった形になるかとは思っています。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p> <p>他にないようですので、続きましてB案についてご説明をお願いいたします。</p> <p>議題</p> <p>(2) B案「通学区域を分ける場合」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法
事務局	[事務局より会議資料に基づき説明]
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
H委員	<p>B案になった場合で、小学校、中学校に行くことを考えるとこういう分け方もあるのかと思いました。</p> <p>ただ、この区分けされた地図を見させてもらったときには、自分の家はどこの校区に入るかというふうに見てしまいます。自分の家の場所だと大石南小に通うことになるので、在校生たちがまとまって行けるから安心だなという目で親としては見てしまいます。</p> <p>もし自分が平方小に行く側だった場合、私の子供は2年生なので、1人</p>

	<p>で平方小に通うことになってしまい、少し嫌だなと思ってしまいます。子供が1人で行くとなると転校したような形になってしまい、子供に申し訳ないと思ってしまうので、それなら引っ越そうかなとか考えてしまうと思います。そこがデメリットとしてあるかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
<p>I 委員</p>	<p>A案とB案を見させてもらったところ、B案の方がすっきりするなという印象があります。</p> <p>懸念点とメリットを比較してみると、B案の懸念点は懸念点と言えるのかという印象があります。例えば、B案の懸念点として挙げられている仲の良い友達と離れてしまうのは、あくまで在校生が移動するという観点でしかなく、A案のように全員で編入をしても中学校に上がる時点で分かれてしまうというのものもあるかと思います。</p> <p>同じように、A案で在校生が離れなくて済むというメリットとして挙げられていますが、そのメリットは中学生に上がるまでのものかと思いません。B案なら中学校になってしまえば、行った先で増えた友達と一緒に同じ中学校に行けるので、逆により仲の良い友だちも増えて、そのお友達とも同じ学校に行けるので、私はあまり懸念点という感じには取れませんでした。</p> <p>平方小の人数についても、この資料では令和7年度時点での人数のため、実際に再編をするとなった時の年度にどうなるのかはわからないと思います。</p> <p>ですので、その点も懸念点として取るのも微妙かと思います。平方北小と同じように、平方小もどんどん児童数が減っていくと思うので、数年後にB案で再編したとしても平方小は小規模のままかもしれないので、そこを懸念点としてB案が難しいとは考えられないかと思います。B案の懸念点は私の中では懸念点と取れなかったもので、B案はメリットの方が強いという印象です。もう少し先のことも考えるとメリットでしかないなと思います。距離が遠くなる児童がいるという話がありますが、それも実際に再編となった際にどのくらい増えているのかわからないので、そこであまり比較はできないかとも思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>先ほどの話で、B案は学年で1人だけ別の小学校に行くことになり、仲の良い子たちと分かれてしまうというのがあったかと思います。もしB案にするのであれば、ある程度は特例で通う学校を選べるというのにも考えに入れた方がいいのかなと思います。</p> <p>B案で再編をする場合はこの小学校の区域はこの範囲ですと決めていくと思いますが、今回の再編の中では特例として、本当は平方小に通う区域の子だけけれども、他の学校にも通えますというような、全部線を引いてしまうのではなく子どものことを考えた細かい対応が必要なのではないのかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>在校生に限ってはということですか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>そういう風にするしかない。線を引いてこうしますというのは良くないと</p>

	<p>思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
I 委員	<p>今のご意見に私も賛成です。在校生が高学年でいきなり今年から別の学校に編入となると5年間築いてきた友だち関係がありますし、低学年ではまだ一年経っていないところで分かれてしまうというのもあります。</p> <p>きょうだいの関係もあるので、再編する年度だけでなく、数年は配慮や特例が必要だと思います。特例や配慮がない状態でこの再編をするのは難しいと思います。そういう特例をやるべきだと思いますし、もし分かればこの間調査しましたが、上尾市以外でもそういう特例があったかどうかもあれば知りたいなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
C 委員	<p>学校の通学区域を決めるというのはいいと思います。上尾市以外でこういう会議をしている自治体のニュースレターを読んだところ、通学区域をB案のように分けた案、在校生に限り区分けに関係なく学校を選べる案、近隣の学校だけでなく市内の他の学校も選べる案の3案がありました。上尾市は小学校が22校あるので大きい話になりますが、その自治体では3年間、市内どこの学校も選べる。その代わりに、親御さんが送迎をしていただくというのを出している自治体がありました。</p> <p>I委員が先ほど友達と別れてしまうことが懸念点としづらいとおっしゃっていましたが、逆にそこに重きを置いている子もいると思います。友達と別れてしまうことが関係ある子も中にはいると思います。そう考えたとき、再編の区割りを1案で出すのではない方が良いのではないかと。</p> <p>再編後に入学する方に示す必要があるので、区割りは市で分けていただく。前提としては区割りのとおりに通っていただくが、在校生に限り他の学校も通えるというような案を何個か作って伝えた方が良いのかと思いました。案として言わせていただきました。</p>
会長	<p>この場合はこういった条件が付いた方が良くと言っていたいて構わないです。</p>
C 委員	<p>上尾市内の他の場所では、鴨川小と今泉小を選べる、大石小と西小で選べるような地域があります。B案の大石南小に通う区域でも、平方東小寄りの子たちは平方東小と大石南小を選べるというのを作るのもよいかと思います。B案の大石南小の区域全部を平方東小も選択できるようにするというわけではないですが、上尾市内で選択制になっている地域があるので、選択区域をこの中で作ってもいいのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
F 委員	<p>先ほど小中一貫教育の状況と中学校進学についての情報提供をさせていただきましたが、小学校段階でもしどこかの小学校に行きますとなった場合、進学先の中学校はどうなるのかということを心配しております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>

C委員	<p>案なのですが、例えば選択制で選んだら中学校も選んだ小学校に対応する中学校に通うようにするというのはいかがでしょうか。例えば、大石南中の区域に住んでいる方が、平方東小を選択した場合は太平中に通うことになる。選択制の小学校を選ぶ段階でどの中学校に通うことになるか示してもよいかもしれません。極端な話ですが、もし市内のどこの小学校でも通える案が採用されて、上尾駅近くの小学校に通う場合は上尾中学校に通うというような形です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かご意見ございますか。</p>
D委員	<p>学区の問題などがあるとは思いますが、市内で自由に学校を選択できるようになってくると、今後の生徒数もデータからは読めなくなって、平方北小が増えることもあり得るのかなと思いました。太平中は体育館を建て替えるのでそれを目当てに集中するかもしれません。</p> <p>先が読めないというのは学校にとっては大変なことなのかもしれませんが、逆の意味で希望は持てるのかなという感じがしました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
J委員	<p>B案の平方小に通う学区に関しては、平方小に通うのが1年生2人、2年生1人、3年生3人と少ない人数になっていますが、逆に平方東小に行く5年生が1人なので、やはり選択できる方がいいのかなと思います。中学校に関しても選べるようにするのであれば、B案の平方小に通う学区の子も大石南小に行って大石南中を選べるような形になるとか、選択区域ができる方が子ども達もやりやすいのかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p> <p>他にないようですので、続きまして「いつ編入とするか」についてご説明をお願いいたします。</p>
	<p>議題</p> <p>(3)「いつ編入とするか」について</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
C委員	<p>段階的に再編とするのは少し現実的ではないのかなと思いますが、その場合は、新入生が入ってこないのので教員も減るということですよ。生徒数で教師が配置されるっておっしゃっていたと思います。校長先生、教頭先生、教務主任の先生などがいらっしゃるかと思いますが、学校の中に1、2学年しかいないと、できない授業とかも出て来てしまうと思われま。平方北小だけではないかもしれませんが、教科ごとにはいろんな先生が入ってくださっています。自分の担任の先生以外の先生が5、6人くらい1</p>

	<p>学年で関わってやってくださっているのですが、そういうような授業ができなくなるかと思います。今まで5、6年生の子たちが低学年の時は担任の先生しか知らないですよ。いろいろな先生と会うとちょっと気分が違うようです。そういうのをやっていただいて、1学年1学級でも楽しく過ごせているかとは思いますが。新入生が入ってこないとなると、それもできなくなりますし、在校生としては下級生がいないという状況は本当に大きな影響があると思いました。</p> <p>準備ができ次第編入という場合でも、年度初めに編入するのはすごく大事だなと思いました。他の学校は2クラスとかはあるのでクラス替えをす<!--る-->かと思<!--い-->います。2クラスしかない顔見知りの児童が多いとは思いますが、初見の子もいるとは思<!--う-->ので、平方北小から編入となった際にそこでもうまくまぎれてスタートできるのではないかと思<!--い-->います。年度初めというのは本当にすごく良いと思<!--い-->います。夏休み明けなどの中途半端な時期ではなく、4月でクラスが変わるときに紛れ込めるとい<!--う-->か、一緒になれるというのはすごく大事だなと資料を見て本当にその通りだと思<!--い-->いました。</p>
会長	ありがとうございます。
B委員	段階的に編入となった場合、イベントとかも少ない人数ですることになる、よくテレビで見る限界集落の卒業式のようなことが起きるかもしれないということですよ。だから皆さん圧倒的に準備ができ次第編入の方がいいと思 い いますが、段階的に編入のメリットとして早くできるとかあったりしますかね。
事務局	その場合でも6年間はかかってしまいますね。
B委員	そうですね。であれば、生徒もすごく寂しいと思 い いますし、防犯上もイベントも問題があって大事な思い出を作る機会も損なわれてしまうので、私は圧倒的に準備が出来次第編入がいいと思 い います。
会長	ありがとうございます。
H委員	<p>この案を見させてもらって、まず準備ができ次第編入しか考えていなかったの<!--で-->、資料が先日届いて見た時には少しびっくりしました。もしそれをやった場合、新入生の入学を停止するとい<!--う-->のを知ったら、下の子を入学させないだろうと思<!--い-->います。私立でも違う学校に頑張っ<!--て-->でもどこかに入れようと思<!--い-->います。</p> <p>子どもが下級生の子どもと触れ合うことも大事だと思<!--う-->ので、運動会もないし、いろいろなものがないとい<!--う-->のはありえないと思<!--い-->います。段階的に編入はないかなと思<!--い-->います。</p>
会長	ありがとうございます。
C委員	<p>質問なのですが、これはどちらかの手法を選ぶ感じでしょうか。</p> <p>例えば、2年間くらい1年生の入学を停止して、3年生から6年生の4学年しかない時に、他の学校に編入するとい<!--う-->2つの案を混ぜることはできるのでしょうか。それともどちらかの手法だけを採用するとい<!--う-->ことでしょうか。</p>

事務局	<p>段階的に編入のケースを出させていただいたのは、小学校ではなかなか見受けられなかったのですが、中学校や高校は3年制なのでそういった事例があるためです。新入生の入学を停止して、3年間の中で段階的に少なくなって最後の卒業生が2人しかいないというようなものです。ただ、それは小学生にはそぐわないと思いましたが、考え方としてはそういうのもあるので周知させていただきました。</p> <p>そういうところも含めて、今C委員からあった例えば1学年2学年の2年間ぐらいは入学を停止して、残りその年に残った3年生から6年生を一気に編入するとか、そういうイメージでよろしいでしょうか。</p>
C委員	<p>そういうことはあり得るかお伺いしたかった。</p>
事務局	<p>やり方として想像はついてなかったのですが、分かりかねるところもありますが、全くないわけではないかと思います。</p> <p>ただ、そこでどれくらい教員の配置が可能なのか、実際の運用をシミュレーションしないといけないかなという気がしています。</p>
E委員	<p>意見として、段階に編入するというのは確かにいいかもしれませんが、どこかで一気にやらない限りはリスクが大きいと思います。今でも登下校の人数が非常に少ない人数の班編成です。それが段階的に減っていったら、登下校は非常に危険です。今まで10人から13人で、登下校していたものが半分になると考えたら、少し危ない気がします。</p> <p>まして、上の方の子がいなくなってしまい、下の方の子だけで登下校をするというのは大変です。もし編入するのであれば、準備ができ次第編入するしかないです。</p> <p>また、いつから平方北小がなくなるのかという質問されることが多いです。近隣の人、デイサービスに通っている利用者の人、先ほど言ったスクールガードリーダーの仲間内からいつなくなるのかよく聞かれます。全然決まっていないというのは言っていますが、みなさん関心を持っている人は結構気にしているようで、役所の方でもある程度のアナウンスは必要な気がします。おそらく、事情が分からない人は平方北小がなくなると聞いています。いろいろと皆さん関心があるでしょうから、ある程度説明していくのも必要かなと思います。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
A委員	<p>準備ができ次第編入の案でいくと、それを決めた時点で、例えば2年後に再編して何年度になくなりますよというのをアナウンスするかと思います。その場合、再編前に平方北小に新入生として入って来る子たちは後で通う学校が変わることを知っているのだから、必然的に新入生はかなり減ってくるというのもあり得るかとおもいます。今少ない人数をさらに持ってくる、そういうのは少し難しいかと思います。</p> <p>今後、学校が変わるのであれば初めからその学校に通わせてほしいという人たちも出てくると思いますし、それだったら先に引っ越すという方も出てくると思うのですが、その辺はどういうふう考えていくのかなど。引越しについてはそのご家庭の対応で、しょうがないというのものもあるかと思いますが、この地域に住まわられていて引っ越しができない方たちはせつ</p>

	<p>かく平方北小に入学したのに翌年違う学校に行くことになる。</p> <p>違う学校に行くのであれば、初めからその学校に通わせてほしいと言われた場合どうするのだろうかというのはあると思います。そうこうしているうちに、1年、2年かかったらかなり人数減って来てしまい、段階的に編入のように人数が減ってきて、結果的に段階的に編入に近くなってしまいかもしれないです。</p> <p>そういうことがあります、準備ができ次第編入ということになれば、今度はごきょうだいがいる場合はどうしましょうかなどいろんなケースが出てくると思います。そういったことを考えないといけないかと思えます。</p>
G委員	<p>この前の調べてもらった事例の中で、時期について回答をもらっていただきましたでしょうか。例えば北本市などの事例です。</p>
事務局	<p>北本市については時期を決めて、そこで一気に変えていったという形です。ただ北本市の場合は、実際に期間として約1年半程度かかりましたとお伝えはしましたけれど、これは比較的短いと思います。ですので、北本市のように結論が出てからうまく動ければ、先ほどの入学を控える人が出てくるという方が少なく済むのかと思います。</p> <p>しかし、例えば再編が決定してから2年要するという算段をして周知をした場合だと、1年目の周知をした翌年度からの児童はもしかしたら引越していってしまうかもしれないと思います。皆さんおっしゃるように新入学の1年生とか2年生の子は他に比べて少ない人数になってしまう可能性があるのかと思います。</p>
G委員	<p>上尾市の場合は、議会やいろいろ調整もあるかとは思っているので、1年から2年では難しく、3年から4年は事務的にかかるかと思っています。</p>
C委員	<p>1年くらいではできないのですね。</p>
事務局	<p>前回少しお話させてもらった次の段階として通学区域審議会がありまして、そこで皆様の意見をもとに我々の方で作成した案を出すのですが、そこでもっといろいろ調べるとか、もっとこういう意見をもらった方がいいとか、その場でも委員さんからはいろいろな考えが出てくると思いますので、それに対応していくだけでも1年から2年はかかってしまうのではないかなと思います。</p> <p>さらにそこから再編の形を取って進めていこうとすると、条例の改正をする必要があります。条例の改正は議会で議決が必要になりまして、その議決をするためには年度初めに調整を始めたとしても9月が最短という形になります。これは周りの方のご理解がしっかりとされていて順調に進んだ場合なので、それでも早い方ではあるかと思えます。</p> <p>ですので、北本市の約1年半程度っていうのは、比較的順調に進んだ結果なのではないかと思えます。</p>
G委員	<p>こういうふうになりそうだと決まってから結構時間かかるということですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>

G委員	いろいろ考える時間があるということですね。
H委員	<p>お話し聞かせてもらって、私の子どもが入学する前のことを思い出したのですが、ちょうど就学前健診が上尾市から届いたタイミングで、ポストの中に平方北小がなくなりますというようなお手紙が入っていました。それを見た未就学児の親として教育委員会に相談しに行きました。もし平方北小がなくなるのであれば、なくなった後の編入先に行けないのですかということを知りました。</p> <p>なので、それを考えると私のような親はいるのだろうと思います。また、私の子どもが通っている保育園から平方北小に入学する子が1人しかいなかったです。子どももちょっとさみしそうでしたが、慣れれば今の環境に馴染んでいきます。下の子どもも同じ保育園からもう1人平方北小に入学する予定の子がいるのですが、そのお母さんと「同じ小学校ですね」とお話をしたのですが、その方からは「まだわからない」と言われました。</p> <p>平方北小がなくなるという話を聞いていて、その方は持ち家ではなくアパートなので引っ越すことも検討していて、同じ小学校かは分からないのでごめんねというようなことをお話ししました。</p> <p>来年度は平方北小に18人が新入生として入る予定となっているとは思いますが、それも分からないだろうと思います。</p>
会長	ありがとうございます。
副会長	私の経験から言えば、引っ越されるというのは少なくともあります。親御さんの考えですので、引っ越されて住所がそこになったら、それ以上何も言えません。少なからずそういうことはあるということは知っていただいた方がいいのかなとは思いますが、そうならないようにながちりスクラムを地域で組んでいただいて、1年や2年しか通わないとしても、この学校に行くということもあるとは思いますが。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>準備とか時期とかもう少し考えていかなければならないというご意見としていただきましたが、だいたい準備ができ次第編入が良いかなという皆さんのご意見が出たかなと思います。</p> <p>その他何かございますか。</p>
D委員	<p>29ページの再編の時期について委員の皆様へのアンケートと書いてある中で、再編に伴い距離が伸びる場合があったかと思いますが、この暑さの中で新1年生が新しい学校へ通う距離が遠くなるようになったときの負担のことを考えてしまいます。大人の足での1.5kmと小学1、2年生の1.5kmでは負担感が違うと思っています。意外とお母さん方は行くものですよと話されていたのですが、例えば平方小から平方北小までの距離を午後2時ごろの日差しの強い時間の中に行くということを、どうイメージしているのかを皆さんに聞いてみたいです。</p> <p>私としては1.5kmを歩かせるというのは、非常に厳しいのではないかと思います。子ども達はあまりそう思わないのでしょうか。</p>
B委員	新1年生の母ですが、子供は駄目だと言っているのですが、私は歩かせるっ

	<p>て考えはなく、編入のことを考える際には送りやすい道がいいなと思っています。通学について娘に聞いてみたら、一列であんなに長い時間歩くのがすごく嫌だ、楽しくないと言っていました。そうは言ってもと言いついて聞かせて登校班までは行きますが、嫌だと言います。そこで娘が「ママが送った方がいいじゃん」と言うので、「そうではなくて、みんなで行くんだよ」と私が言うのですが、どう説得したらいいのかもわからないし、この暑さだし、1年生だから送ってしまいます。一緒にいられるのも今だけかなと思って送っています。自分自身が通っていた時も通うのがすごく嫌だったし、昔よりも暑くなっているのもよりそう思います。</p> <p>この間ニュースになっていましたよね。何か自費でバスを出した自治体があったとか。</p>
D委員	夏の間だけですよね。
B委員	夏の間だけスクールバスを運行しているというニュースを見て、これはもうやらないといけないのかなと思ってしまいます。みんな顔が真っ赤になっているので。
D委員	<p>高学年であれば体が慣れてと言えますが、低学年については、対策を考えないで決めてしまっているのだからとすごく疑問を覚えます。</p> <p>バス通学などのいろいろデータを拝見したところ、通学距離が3 km以上に限られたりしていたりしますが、そのデータが何年前のデータなのか、この暑さの中で出たデータなのか非常に疑問です。安全に通えるっていう方法をセットで考えていくということをぜひお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。どちらの案にしても通学路が伸びたことについて少し考えていかなければということで承っておきます。</p> <p>その他何かございますか。</p>
A委員	<p>通学距離の問題なのですが、私が子どもの頃の気候と今と全然違います。1.5 kmというのがいつ決まったのかよく分かりませんが、今回通学距離の編成をして1.5 kmの中に入っているからいいだろうということではなくて、全体としても通学距離を根本的に見直す必要があるのではないかなと思います。</p> <p>例えば1.5 kmを1 kmにするとか、その中で子どもの安全だとか健康を考えて、バスの導入なども検討する必要があると思います。今回のケースだけではなくて、全体の中で考えていくということが非常に重要なことではないかなと思います。そういうものを考えれば、先ほどの地域の学校に近いところに偏るということも少しは和らぐのではないかなと思います。必ずしも学校の近くが住みよい地域とは言いきれないところもあるので、距離があっても通いやすいところであれば地域が成り立っていくと思うし、子ども達にとっても良いと思います。</p> <p>1.5 kmというのはかなりの距離だと思うので、この場とは違いますが、ぜひとも考えていただきたいと思います。</p>
会長	その他何かございますか。ではないようですので、最後にその他でございいますが事務局からございますか。

事務局	<p>1点、今後の予定について申し上げます。次の協議会は9月30日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>閉会</p>
事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第6回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。</p>
副会長	<p>以上をもちまして、第6回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
事務局	<p>青木副会長ありがとうございました。第6回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第6回平方北小学校再編検討協議会

1

前回の協議内容の振り返り

2

【再編による課題の検討内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

③協議「いつ編入とするか」

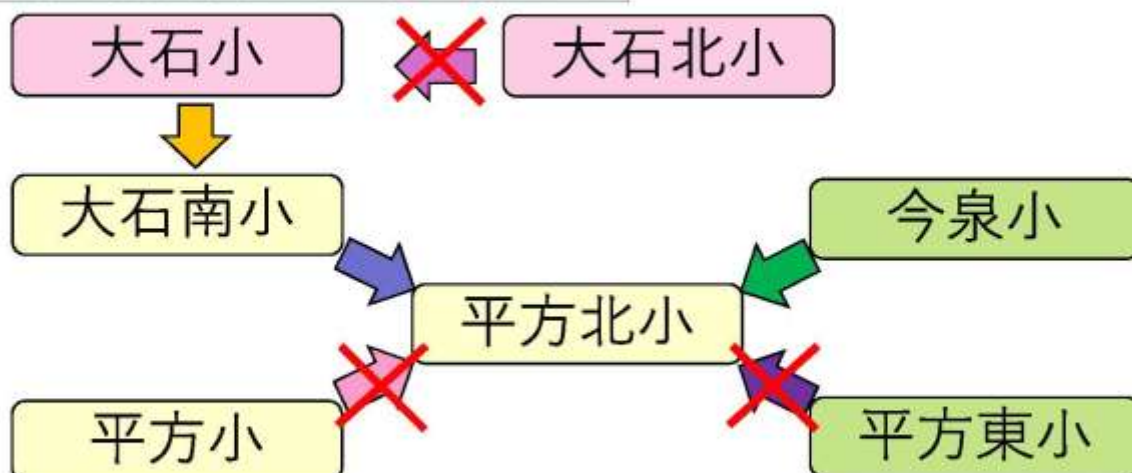
3

平方北小学校の児童が他校へ編入する場合
の主なご意見

- ・全員で同じ学校へ編入する
- ・家から近い学校を選択して編入する
- ・在校生のみ同じ学校へ編入する

4

○平方北小学校の通学区域を拡大し、
周辺の学校へ通学している児童を編入させる



※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

5

「②通学距離が延びた際の通学方法」 の主なご意見

- ・近年の暑さからもバスが必要
- ・低学年が通うことも考えるとバスが必要

6

徒歩による通学距離上限について（学年別）

R4アンケート

	1.0km以内	1.5km以内	2.0km以内	2.5km以内	3.0km以内	その他	総数
1年生	431	336	89	6	2	7	871
	49.5%	38.6%	10.2%	0.7%	0.2%	0.8%	
2年生	438	365	68	6	4	8	889
	49.3%	41.1%	7.6%	0.7%	0.4%	0.9%	
3年生	353	307	90	8	3	9	770
	45.8%	39.9%	11.7%	1.0%	0.4%	1.2%	
4年生	338	262	87	9	2	11	709
	47.7%	37.0%	12.3%	1.3%	0.3%	1.6%	
5年生	321	270	80	6	3	7	687
	46.7%	39.3%	11.6%	0.9%	0.4%	1.0%	
6年生	293	282	76	7	1	11	670
	43.7%	42.1%	11.3%	1.0%	0.1%	1.6%	

7

【第6回 協議会の内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

③協議「いつ編入とするか」

8

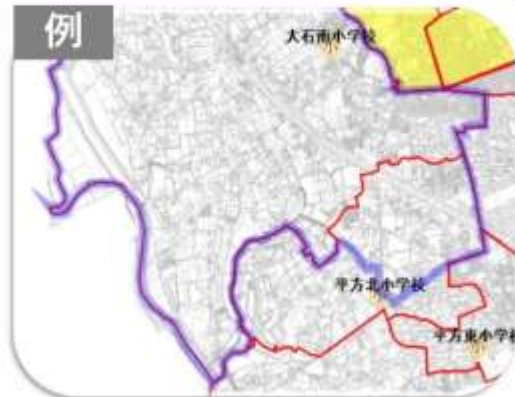
平方北小学校の児童が他校へ編入する場合

平方北小の学区を分けずに他校へ移す



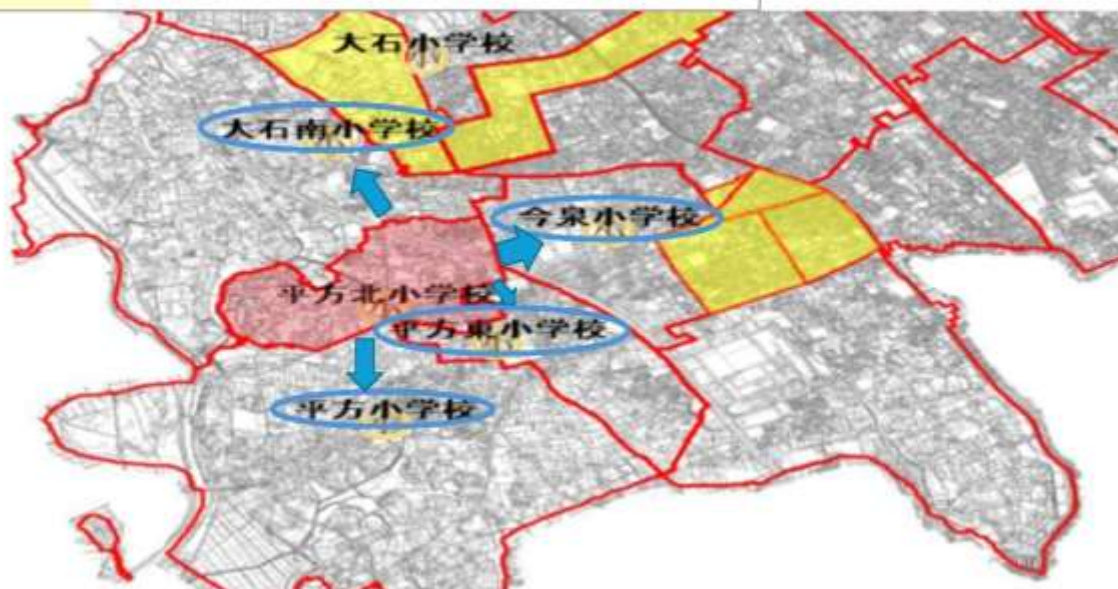
A案 通学区域を分けない場合

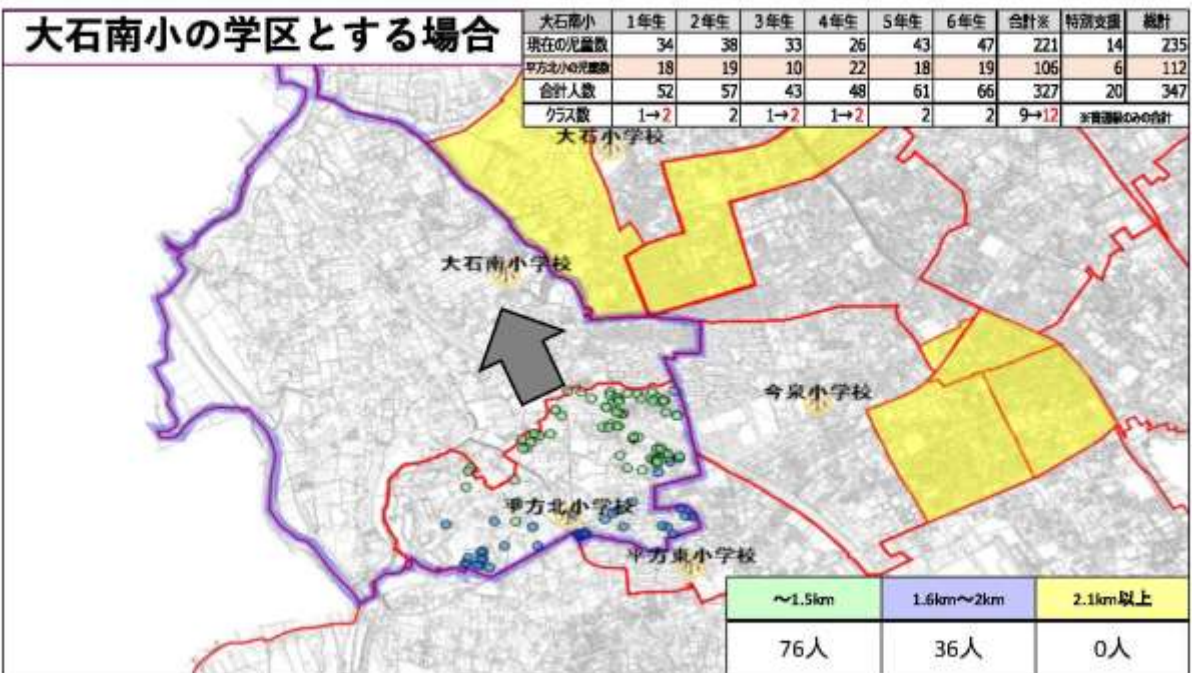
平方北小の学区を分けて他校へ移す

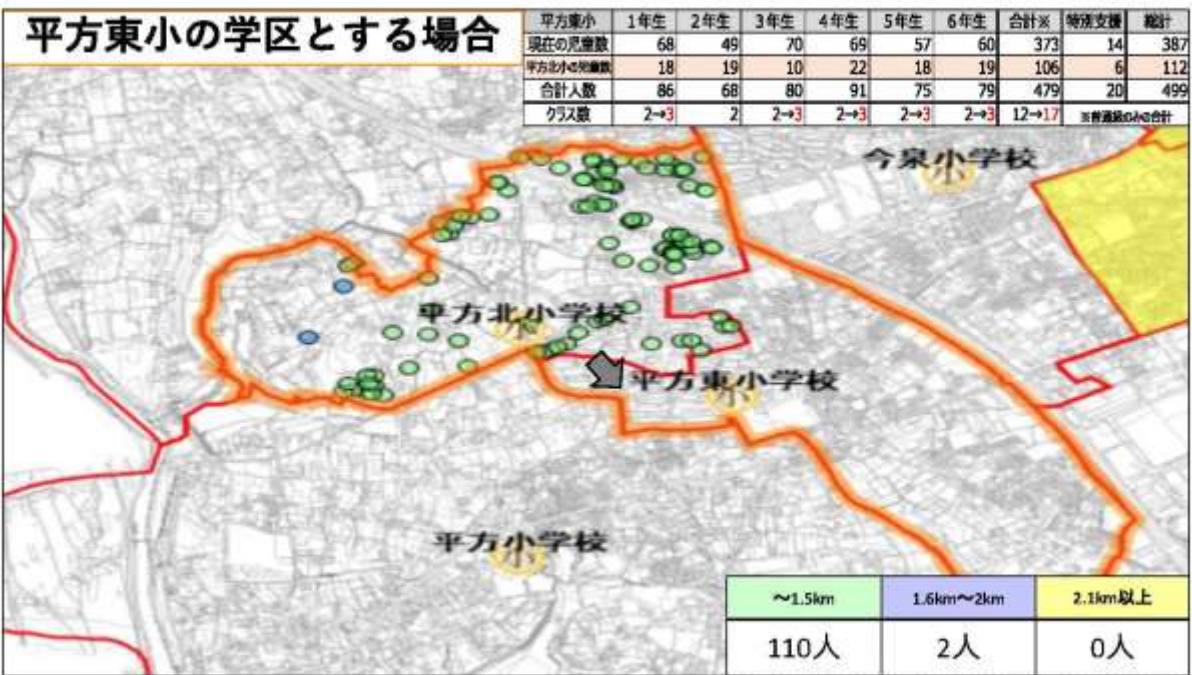


B案 通学区域を分ける場合

A案 通学区域を分けない場合







A案 通学区域を分けない場合

上段：児童数
下段：学級数

R7.5.1時点児童数

	※特別支援を除く						合計※	特別支援	総計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
平方小	34	29	36	44	48	39	230	11	241
	1	1	2	2	2	2	10	2	12
大石南小	34	38	33	26	43	47	221	14	235
	1	2	1	1	2	2	9	2	11
平方東小	68	49	70	69	57	60	373	14	387
	2	2	2	2	2	2	12	3	15
今泉小	99	97	119	89	94	99	597	21	618
	3	3	4	3	3	3	19	4	23
平方北小	18	19	10	22	18	19	106	6	112
	1	1	1	1	1	1	6	2	8

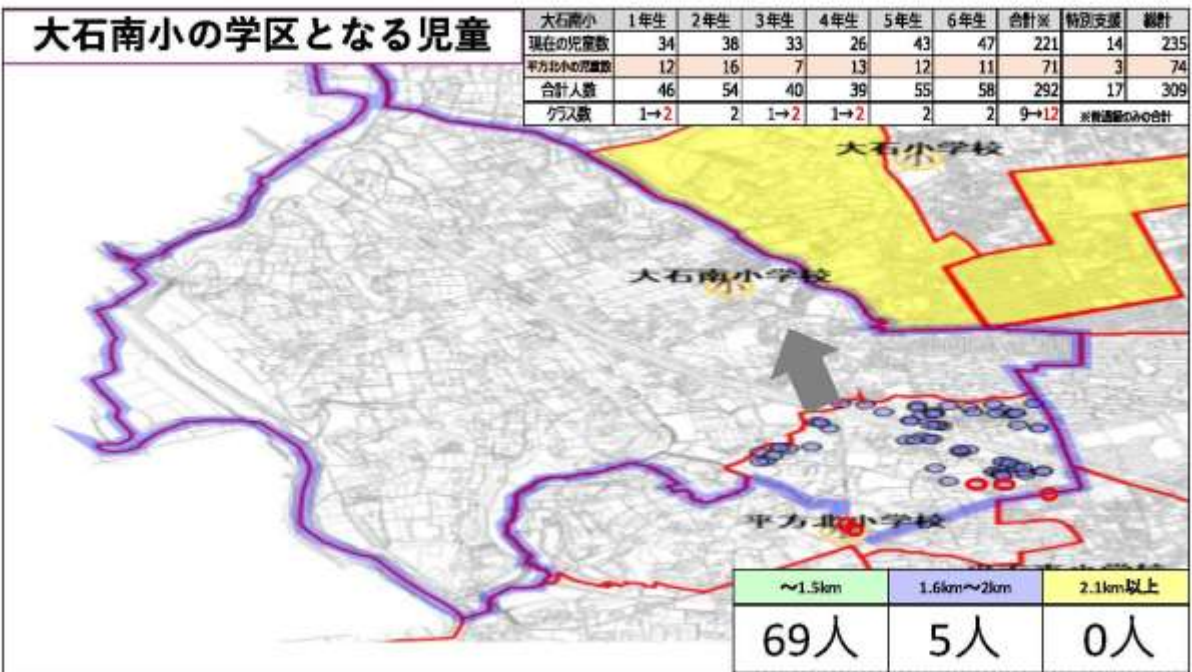
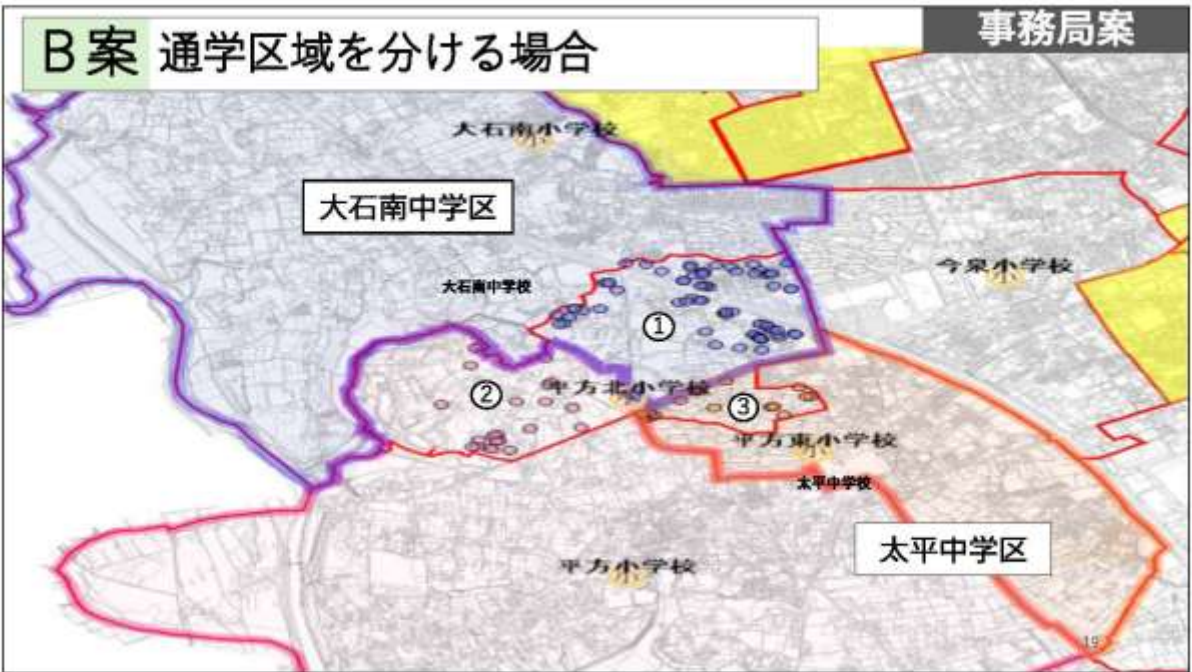
平方北小の児童が全員で編入した場合

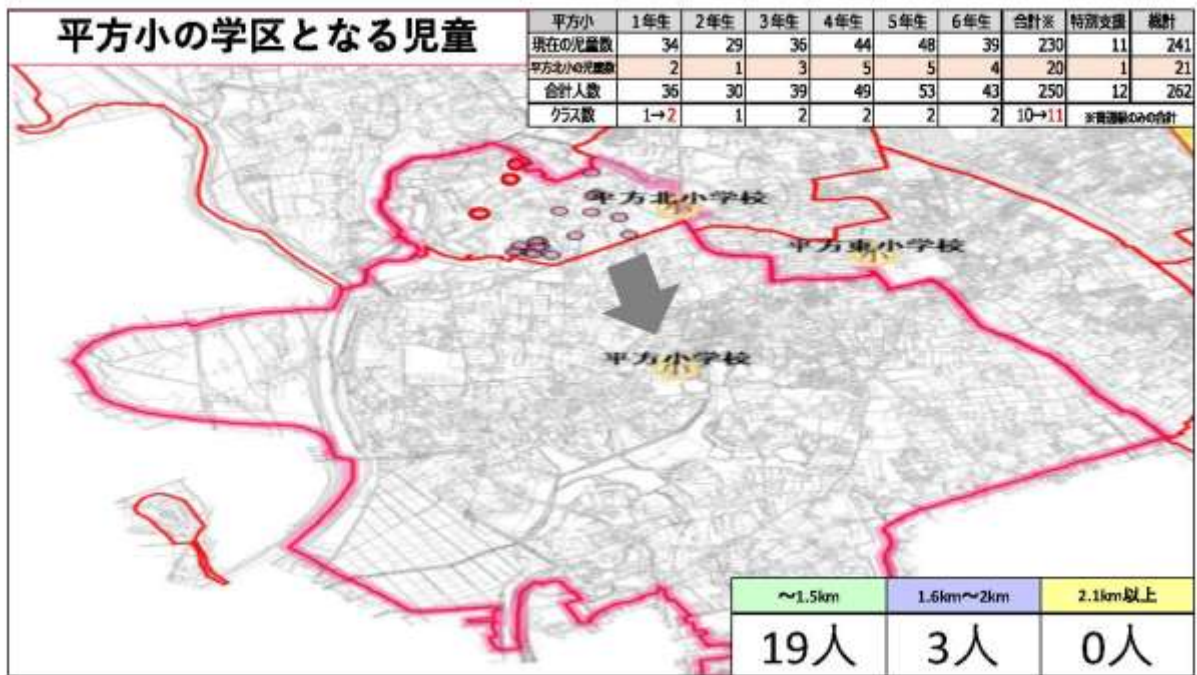
	※特別支援を除く						合計※	増加数	受け入れ
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
平方小	52	48	46	66	66	58	336	106	○
	2	2	2	2	2	2	12	2	
大石南小	52	57	43	48	61	66	327	106	○
	2	2	2	2	2	2	12	3	
平方東小	86	68	80	91	75	79	479	106	○
	3	2	3	3	3	3	17	5	
今泉小	117	116	129	111	112	118	703	106	×
	4	4	4	4	4	4	24	5	

A案 通学区域を分けない場合

平方北小児童の各学校までの距離（R7年度在校生）

	通学距離 (平均)	通学距離 (最大)	～1.5km	1.6km～2km	2.1km以上
平方北小	約720m	1.2km	112人	0人	0人
平方東小	約1.0km	1.6km	110人	2人	0人
大石南小	約1.4km	2.0km	76人	36人	0人
今泉小	約1.3km	2.2km	83人	25人	4人
平方小	約1.7km	2.3km	37人	51人	24人





B案 通学区域を分ける場合

平方北小の児童がB案の通り編入した場合（R7.5.1時点児童数）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	特別支援	総計
平方小	在校生	34	29	36	44	48	39	230	11	241
	平方北小児童	2	1	3	5	5	4	20	1	21
	合計	36	30	39	49	53	43	250	12	262
	学級数	2	1	2	2	2	2	11		
大石南小	在校生	34	38	33	26	43	47	221	14	235
	平方北小児童	12	16	7	13	12	11	71	3	74
	合計	46	54	40	39	55	58	292	17	309
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		
平方東小	在校生	68	49	70	69	57	60	373	14	387
	平方北小児童	4	2	0	4	1	4	15	1	16
	合計	72	51	70	73	58	64	388	15	403
	学級数	3	2	2	3	2	2	14		



23

B案 通学区域を分ける場合

平方北小の児童がB案の通り編入した場合の距離
 (R7年度平方北小在校生)

	通学距離 (平均)	通学距離 (最大)	～1.5km	1.6km～ 2km	2.1km以上
大石南小	約1.24km	1.7km	69人	5人	0人
平方小	約1.18km	1.7km	19人	3人	0人
平方東小	約496m	600m	16人	0人	0人

【内訳】 大石南小 1.6km：4名 1.7km：1名
 平方小 1.6km：2名 1.7km：1名

24

【第6回 協議会の内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

③協議「いつ編入とするか」

27

再編の時期について

①準備ができ次第、再編をする

数年後の年度初め(4月)に実施する方法

②6年間で段階的に再編する

新入生の入学を停止する方法



在校生の子どもたちに大きな影響がある。

②の手法の問題点

- (1)初年度は5学級で毎年学級数が減少し、最後は6年生の1学級のみとなり在校生の子どもたちに大きな影響がある。
- (2)在校生は平方北小、平方北小学区の新入生は、再編後の学校に通うことになる。
(きょうだいがいる場合、学校が分かれてしまう。)

28

再編の時期について

《委員の皆様へのアンケート》

設問

他校への児童の編入について検討する事項としては

- ①どの学校へ編入とするか
- ②いつ編入とするか
- ③編入に伴い通学距離が延びた際の通学方法

この三つを考えていますが、他にも検討したほうが良い点がございましたらご記入をお願いします。

意見

②は年度はじめ以外は考えにくいので他の項目をより重点的に検討したい。

29

協議の内容

【協議していただきたい内容】

再編手法における課題・懸案事項「③いつ編入とするか」

【頂いた意見の概要】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

30

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.6 令和7年9月30日発行

第6回の協議会では、前回に引き続き再編による課題である「①どこへ編入とするか」「②通学距離が延びた際の通学方法」「③いつ編入とするか」について協議を行いました。

「①どこへ編入とするか」「②通学距離が延びた際の通学方法」

再編手法の1つである「平方北小学校の児童が他校へ編入する」場合については、平方北小学校の通学区域を分けない場合をA案、通学区域を分ける場合をB案として検討しました。

A案 通学区域を分けない場合

大石南小の学区とする場合



平方小の学区とする場合



平方東小の学区とする場合



今泉小の学区とする場合



平方北小の児童が全員で編入した場合 (R7.5.1時点児童数)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計※	増加数	受け入れ
平方小	52	48	46	66	66	58	336	106	○
大石南小	2	2	2	2	2	2	12	2	○
平方東小	52	57	43	48	61	66	327	106	○
平方東小	2	2	2	2	2	2	12	3	○
平方東小	86	68	80	91	75	79	479	106	○
平方東小	3	2	3	3	3	3	17	5	○
今泉小	117	116	129	111	112	118	703	106	×
今泉小	4	4	4	4	4	4	24	5	×

上段：児童数
下段：学級数 ※特別支援を除く

今泉小は現在の学級数が他校と比べて多いため、現状からさらに追加でも教室を確保することはかなり厳しい見込みです。

《委員の意見》

- ・(現役保護者) 平方北小の児童全員で移れるので、新しい環境に早く馴染めることがメリットだが、A案は小学校から遠い地域ができてしまう。学校が遠い地域は、子育て世帯からは選ばれないというデメリットがある。
- ・(未就学児保護者) 通学区域を分けた方が距離など様々な面で良いのではないかと思う。近隣校の児童も均等に増える。

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室
〒362-8501 上尾市本町3-1-1
TEL：048-775-9469 (直通)



第6回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。

日案 通学区域を分ける場合

中学校の学区を参考に、3つのエリアに分けてそれぞれの小学校へ編入する想定をしました。



日案の通り編入した場合 (R7.5.1時点児童数)

		※特別支援を除く						合計※	特別支援	総計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
平方小	児童数	34	29	36	44	48	39	230	11	241
	平方北小児童	2	1	3	5	5	4	20	1	21
	合計	36	30	39	49	53	43	250	12	262
	学級数	2	1	2	2	2	2	11		
大石南小	児童数	34	38	33	26	43	47	221	14	235
	平方北小児童	12	16	7	13	12	11	71	3	74
	合計	46	54	40	39	55	58	292	17	309
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		
平方東小	児童数	68	49	70	69	57	60	373	14	387
	平方北小児童	4	2	0	4	1	4	15	1	16
	合計	72	51	70	73	58	64	388	15	403
	学級数	3	2	2	3	2	2	14		

《委員の意見》

- ・ (現役保護者) 編入先によっては、学年で1人など少人数で編入することになってしまう。
- ・ (現役保護者) 現在の友達と離れてしまう可能性もあるが、編入先で増えた友達と同じ中学校に行けるのが良いと思う。
- ・ (地域住民) 特例で学校を選べるようにするなど、子どものことを考えた細かい対応が必要である。
- ・ (現役保護者) 選択制とする場合は、小学校を選ぶ段階で、小学校に対応する中学校に通うことになると示した方が良い。

「③いつ編入とするか」

再編の時期について、考えられる2つの手法について協議を行いました。

- ①準備ができ次第、再編をする
数年後の年度初め(4月)に実施する方法
- ②6年間で段階的に再編する
新生児の入学を停止する方法

《委員の意見》

- ・ (現役保護者) 段階的に再編する方法は、学校運営にも支障があると思うので、現実的ではない。
- ・ (現役保護者) クラス替えのタイミングに合わせて年度初めにするのはすごく大事なと思った。
- ・ (地域住民) 再編決定から再編まで時間がかかると、かなり人数減って来てしまい、結果的に段階的に編入に近くなってしまうことも考えられる。

《その他の意見》

- ・ (地域住民) この暑さの中で新1年生が新しい学校へ通う距離が遠くなる場合の負担のことを考えてしまう。
- ・ (地域住民) 1.5kmというのはかなりの距離だと思うので、ぜひとも考えていただきたい。

1.7 第7回会議

1.7.1 会議録

会 議 録

会議の名称	第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年9月30日(火) 午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会頭)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、本館 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	橋村 則史	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 通学区域を分ける場合の特例措置について ① 選択できる小学校について ② 対象者について ③ 中学校について	別紙「議事の経過」のとおり
	(2) 再編方法の振り返りにについて	
	(3) 再編検討協議会後の取り組みについて	
(4) その他		
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 3名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年11月26日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p>議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
	<p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">(1) 通学区域を分ける場合の特例措置について</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>まず、通学区域を分ける場合の特例措置のうち「①選択できる小学校について」何かご意見ございますか。</p> <p style="text-align: center;">〈主な質疑・意見〉</p>
A委員	<p>私は選択制が良いと思っています。例えば、丸山公園付近の高台に住んでいる子どもは平方北小に通っていますが、道を挟んだ反対側の若竹ホームという施設の子も達は大石南小に通っています。距離で考えると10mないくらいです。保護者と子ども達の気持ち次第だと思いますが、安全性を考えると丸山公園付近の子どもは、平方北小に通った方が安全です。私は時々若竹ホームの子ども達を送迎していますが、大石南小まで行く道は危ないと感じるところが多いです。</p> <p>こういったことを加味して、保護者の方が決めることができる完全な選択制が良いと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご意見ございますか。</p>
B委員	<p>家から近い指定校だけでなく、近隣校を選択できるということでしたが、基本的には遠いところへわざわざ通うことはしないと思います。</p> <p>A案、B案で比較するのであれば、指定校の他に近い学校であれば選択できるというA案の方が、より分かりやすいかなという気がしました。B案のように全て選べるとなると、逆に絞ることが難しいのではないかと思います。最終的には親が決定すると思うので、安全性を加味して個別に判断していくのが良いかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご意見ございますか。</p>
C委員	<p>前回、中学校の決め方で小学校の決め方が変わるというお話があったかと思います。中学校についても選択制にするのか、学区通りにするのかということも影響を及ぼすと思いますので、全ての近隣校を選択できる形が将来的には良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>B案の方が良いということですね。</p>
C委員	<p>そうですね。距離で選ぶ方もいればそうでない選び方もできるということですね。</p>

会長	ありがとうございます。他にご意見ございますか。
D委員	<p>全ての近隣校を選択できるようになった場合、平方小、平方東小、大石南小の学区が広がることとなります。引っ越しした後も今の学校に通い続けるために、友達と合流するところまで、親が送迎して通学するという話はよく聞きます。ここまで学区を広げた場合、例えば大石南小に近い小敷谷の子どもが、平方小を選択した場合それも平方小の学区とするのであれば、先生はそこまで管理することになるのでしょうか。</p> <p>年度初めにある一斉下校では、先生達が自分の担当している地域の子たちの班についてきてくれます。例えば小敷谷の子たちが平方小に行く場合、先生は小敷谷までついて行って、また学校へ戻ることになると先生が大変だなと思います。近い距離で選択できる分にはいいかもしれませんが、あまりに遠いところまで学区を広げることもデメリットがあると思います。</p> <p>しかし、もし選択できる範囲が広く、距離が遠い場合はバスに乗れるのであれば、近い学校よりもバスで通える学校を選ぶかもしれません。</p>
会長	選べる方が良いかもしれませんが、条件によって選択が変わってしまうということですね。
D委員	<p>例えば、近隣校が平方東小だが、平方小を選択した場合はバスに乗れるとなると、私は子どもが安全に通学できるバス通学を選ぶと思います。</p> <p>距離が延びた場合にバスを導入することは前向きに検討していただければでしょうか。これまでバスは出した方が良くといった意見が出ていますが、それに対して今のところ答えもないです。バスがでるかどうかも、選択する際の大きなポイントになると思います。</p>
会長	バスの件については、ここでは意見を伺って次の段階で判断ということになると思います。
E委員	学期初めだけでなく、先日の天気が悪い日に一斉下校がありました。迎えに行こうか悩んでいるうちに、先生達がついてきてくれたことがありましたが、そういった時に距離があると先生達がついてきてくれるのは難しいのかなと思ってしまいます。
会長	ありがとうございます。
F委員	<p>一斉下校時に私も1年生と一緒に帰りましたが、家が違う方向だからと1人で帰ってしまう子がいました。先生はその子について行って、残った子ども達も行ってしまい、結局別れて下校し先生がもう1回来てくれる流れになりました。</p> <p>近さで選ばないと安全面で不安があります。子どもが1人で帰ることになってしまうので、後から別の学校にしたいとはできないと思います。近所の子と別の学校になってしまったり、他の子は学童だったり、親が送迎できず1人で帰ってくることになると思うと心配です。全部選択できる方はバスが使えるかどうかもありますが、そういった懸念があると思います。</p>

会長	その他ご意見ございますか。
C委員	鴻巣市の事例はいつ頃のお話なのでしょうか。
事務局	令和7年度4月より他校へ統合となりました。
F委員	大きなトラブルなどは起こっていないのでしょうか。
事務局	ヒアリングした限りでは、大きなトラブルがあったとは聞いておりません。 ほとんどの方が皆で同じ学校へ通えることを希望し、指定校ではなく選択校を選んだと聞いています。
G委員	対象者についてですが、B案の調整区域とするというのは実際に可能なのでしょうか。 必ずしも本当に一番近い小学校が通学区域になっているとは限らないと思います。そういった他の地域へも同様の対応をしていくと、段々と調整区域を広げていかないといけな状況になってしまうのではないのでしょうか。B案が本当に続けていけるのかどうか。継続できないような案であれば、それはおかしなことだと思います。各小学校があって今のエリアがありますよね。それが本当にきれいに均等になっているのであれば良いですが、そんなことはありえないと思います。 再編時の切り替え時期は、しょうがないと納得できると思いますが、何年後かにはそれを不公平に感じる人も出てきてしまい、調整区域の考え方が継続できないのではないのでしょうか。
事務局	今回平方北小学区の中で調整区域を設けたとして、例えば平方小学区だが平方東小に近い地域からもそういった話が出てくるのではないかというお話でよろしいですか。
G委員	調整区域の考え方が導入できるのであれば、他の地域からもそういった話が出てくる可能性がないとは言い切れないので、そういったことも含めて考え方の整理や学区の整理というものをしていった方が良いのではないかなと思います。
事務局	ありがとうございます。
会長	続いて「②対象者について」ご意見ある方はいらっしゃいますか。
B委員	A案について確認させていただきたいのですが、きょうだいがいるお家で上の子が在学中に下の子が入学してきた場合は、上の子と同じ学校も選択できるが、逆に言うと、上の子が中学校へ進学した後に小学校に入学する場合は、上の子が選択した学校には行けないという意味でよろしいのでしょうか。
事務局	運動会などの行事は同じ学校の方が良いのではないかという観点を踏まえたものです。

B委員	<p>年の離れたきょうだいもたまにいますので、それを踏まえて私としてはA案が良いのではないかなと思います。B案まで広げてしまうと上の子が遠い小学校を選んだために、年が離れた下の子にも選択肢が与えられます。選択肢を与え続けていると管理する側も大変だと思うので、A案の方がより良いかなという印象があります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。</p>
副会長	<p>学校側から言えば、対象者を限定しない場合だと非常に不確定要素が多くなってしまいます。極端な例だと、1人入ってくるか来ないかで学級数が変わってしまうこともあります。学級数は教員数と直結しています。長年そういったことが起きてしまうのは、非常に不安定な要素があると思います。</p>
会長	<p>では、最後に「③中学校について」ご意見ございますか。</p>
D委員	<p>中学校は選択制が良いと思います。</p> <p>中学生になると子どもの意見が強くなります。実際に今上尾市では、中学校によってある部活とない部活があるため、部活を理由に違う中学校に通うということを、平方北小に限らず他の小学校でも申請して行っている人がいます。例えばサッカーを習っていて、学区通りの中学校にサッカー部がない場合、サッカー部のある中学校を探して申請している方もいます。</p> <p>学区を決めていても中学校の方が、部活理由や色々な理由で移動ができてしまっている現状が今あるので、固定をせずに柔軟に対応できる選択制も良いのではないかなと思います。</p> <p>また、大石南中も再編検討の対象になるため、中学校は3年間と短いので、大石南中に進学した後また2回目の再編が起こることは考えにくいですが、場合によっては小学校も合併して、中学校も合併してとなると親としては思うところがあります。選択できるのであれば、再編対象になっていない太平中を選びたいなと思ってしまいます。大石南中に行った方が、大石南中の在校生が増えるという利点があると思いますが、進学先を固定されると、ここに住んでいる場合すこし嫌だなと正直なところ思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
F委員	<p>そうすると大石南中を選ぶ人がかなり減ってしまうと思います。私自身大石南中は家からかなり近いのですが、あえて40分かけて私立の違う中学校に通学していました。太平中がどんな学校かわかりませんが、みんな選びたいのかなと思います。大石南中の裏をこの前通ったのですが、使っていないのかバスケットボールのコートが古かったり、木々が多く森のようになっていて、そういった様子を見てしまうと、選択できる場合、保護者は太平中を選んでしまうのかなと感じました。</p> <p>先ほどの②対象者についての話になってしまうのですが、A案の対象者を限定する場合だと中学校についても上の子と別の中学校になる可能性があるということですね。今回もそれぞれの場合でのメリット・デメリットを挙げていただきました。</p>

	<p>きょうだいで学校が変わることによって、上の子の持ち物が下の子に 使えないかなとも思ったのですが、6才以上離れていれば持ち物も変わ ってくるので、中学校では同じ学校のメリットはそこまでなく、先ほど の管理側の問題になるのかなと思いました。</p>
会長	<p>現状で平方北小の児童は大石南中と太平中に分かれるので、大石南中 か太平中かを選択できるようになるイメージですかね。</p>
F委員	<p>そうですね。</p>
A委員	<p>中学生の場合は、自転車通学がほぼほぼ許されるのでしょうか。 太平中を乗り越えて違う中学校に行く方が何人もいて、学区が合っ ていないような気がします。自転車通学が許されるのであれば、太平中 を乗り越えて違う中学校に行く理由がありますよね。例えば、サッカー 部がないとか、自転車が使えるのであれば、歩くより自転車通学が楽だ という意見も聞きました。私を知る限り何人もいますが、先ほど言った 丸山公園の一番遠いところの方は、隣の子は太平中に通っていますが、 もう一軒、二軒先の子は自転車通学が許可されているので、先の中学校 に通っています。なので、今中学校の事はあまり考えなくても良いかな という気がします。</p>
事務局	<p>学校が距離等を考慮し許可しているので、もしかしたら学校ごとで条 件が違うのかもしれないです。</p>
会長	<p>その他ご意見ございますか。</p>
H委員	<p>小学校も中学校もとりあえず自由に行けるようにして、統制が取れる のかなという気がします。例えば、自由に選択できるとしたら保護者の 人は良いと思います。逆に決めてしまうと、今度は反発が増えると思 うので、どちらを選んでも難しいと思います。 ただ住民としては、選択制としたことであちらこちらの学校に通うこ とになると統制がとれるのかなと思ってしまいます。また、選択制とな った場合は、きょうだいの話だけでなく友達関係も絡んでくるので、い ずれにしろ難しい問題があると思います。 どちらにしても10年後の人に、色々な意見が出てきちんと検討した と言えることが大事だと思います。通学路の危険な箇所も10年後は変 わっているかもしれない。そういう問題は逐一解決されていく問題だ と思っています。スクールバスについても、今学校が遠くて通うのが大変 という人も、スクールバスができれば遠くて良かったと思うようになる かもしれない。先々のことはわからない部分もあるので、この2案につ いてきちんと検討したということで良いのかなと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ここではそれぞれの案についてご意見をいた だく場としたいと思います。</p>
C委員	<p>現在大石南中は生徒数がだんだん減ってきていますが、丸山団地を含 めて②の平方小が指定校となっている部分の子達は、距離の遠い太平中 へ通っています。</p>

	<p>大石南中の方が、距離が近いので、大石南中学区であれば、大石南中はそこまで人数が減ることもないのかなと思います。</p> <p>大石南中の人数が多い時代に決めた学区がそぐわなくなってきたというのが、やはり今決めた事が時代を追ってみると、思惑と違ったということが起こる例なのだと思います。適正学級の人数についても、今後子どもが減っていけば適正学級自体が適正でなくなる時代がくるのかなと感じます。そう考えると暫定的な事しか考えられないなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p> <p>他にないようですので、続きまして再編方法の振り返りについてご説明をお願いいたします。</p>
	<p>議題</p> <p>(2) 再編方法の振り返りについて</p>
<p>事務局</p>	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
<p>C委員</p>	<p>平方北小は自分の子どもが通っていた学校でもあり、地域の防災施設でもあります。平方北小が今後こういった形になっていくのかを話し合うこの場に参加させていただいて、ここで話し合ったことが今後に影響するとなると怖いなという気持ちがあります。子どもはすでに成人しているので、子どもの立場に立ってどれだけ考えられているかという不安もあります。親御さん達とお話をする中で、そういえばそうだったなと思い出しながら、子どもを優先にしつつ、学校の事情も踏まえた色々な考えを見聞きできたため、参加させていただいて良かったなと思いました。</p> <p>どういった結果になるかわかりませんが、子ども達が安全で楽しく学ぶことを持続できるように出来る事を考えてまいりました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>A委員</p>	<p>そろそろ来年度の新1年生の保護者さんへの説明会が開催されるかと思えます。平方北小学校再編の件は結構知られているので、説明会の際に質問される可能性が高いと思います。その時に誰がどう説明会するのか、非常に難しいとは思いますが、ある程度の答えを出さないといけない時期になってくるのではないかなと感じています。</p>
<p>F委員</p>	<p>今は意見を出し合っている段階で、再編方法についてはまだ決まっていないという事ですね。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。検討している段階ということです。</p>

A委員	検討中で保護者の方は納得できるのでしょうか。私が親の立場であれば、はっきりして欲しいと言いたくなってしまいます。
会長	まだ意見を伺っている段階で、早急に決めてしまうのも問題があります。
A委員	難しいですね。
F委員	<p>はっきりして欲しいと思っている方は、駅前などに引っ越して、結構転校してしまっています。</p> <p>先ほどの丸山団地の子達は大石南中が近いとのいうのを聞いて、丸山団地の子達が太平中ではなく大石南中に行けて、①の大石南小が指定校になる子達がどちらも選べるのがいいのかなと思います。</p> <p>選択制にした場合、大石南中ではなく太平中に皆行ってしまうというような事を言ってしまいましたが、②の平方小が指定校になる地域の子達が、距離が近い大石南中に進学すれば、少し大石南中の人数も増えるのかなと思いました。</p>
会長	ありがとうございます。
D委員	<p>中学校について選択制ではなく従来の学区通りとした場合、①の大石南小が指定校の地域の子が平方東小を選んだ場合、進学する中学校は大石南中となってしまいます。平方東小は太平中の隣にあります。平方東小に6年間通ってきたのに、学区の問題で隣にある太平中に通えず大石南中へ通うというのは、人間関係もまた1から築き上げないといけないですし、子どもの心境としてはかわいそうなのかなと思います。そういった意味で選択制の方が良いのではないかと発言させていただきました。</p>
会長	選択制となった場合にお子様や保護者の方がどういったところ基準として考えるのかによるのかなと思います。
D委員	平方東小の場所の問題で、隣にある太平中を通して通学する子も多いです。もし、太平中が敷地から見えない遠い所にあった場合はまた考え方が変わるかもしれませんが、そういった立地の部分も関係するのかなと思います。
会長	距離の問題など、何を優先にするかにもよるのかなと思います。
D委員	もちろん距離の問題で大石南中を選ぶ方もいると思います。
会長	<p>その他ご意見ございますでしょうか。</p> <p>では、これまで協議してきた内容について報告書の形で意見をまとめていくという方向になるかと思います。</p> <p>議題 (3) 再編検討協議会後の取り組みについて</p>

事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 〈主な質疑・意見〉
C委員	議会への報告というようなものはないのでしょうか。
事務局	通学区域審議会の審議を踏まえて、教育委員会へ答申が返されます。再編方法が決定した後に、議会報告という形になると思われま。通学区域審議会にも議員さんが何名か入られていますし、その場である程度お話をいただけるのかなと思います。議会へは再編方法決定までの間、お話があると思いますので答弁等でお答えすることになると思います。
F委員	次年度に予備日との記載もありますが、2月3日が最終ということですのでよろしいでしょうか。
事務局	皆様の任期は来年度の6月までありますが、そこまでいかない方が良いのかなと思い、こちらのスケジュールで考えているところでございます。
F委員	予備日については、何かあったらという事ですね。
事務局	取りまとめた内容を最終的には冊子状にするつもりですが、追加した方が良内容がある場合や、一度議論を挟まなければまとまりきらないなというものがあれば議論をはさみますので、予備日を設けています。
F委員	それが全て終わってから、資料にある教育委員会にて再編案を作成という流れなのですね。
事務局	協議会の内容を取りまとめた結果については、教育委員会へ一度報告し、その後再編案を作成して、審議会にかけていくことになると思います。
F委員	わかりました。
会長	その他何かございますか。ではないようですので、最後にその他でございませが事務局からございませか。
事務局	1点、今後の予定について申し上げます。次の協議会は12月2日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。
会長	ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。 閉会

事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。</p>
副会長	<p>以上をもちまして、第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
事務局	<p>青木副会長ありがとうございました。第7回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第7回平方北小学校再編検討協議会

1

前回の協議内容の振り返り

2

【再編による課題の検討内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

③協議「いつ編入とするか」

2

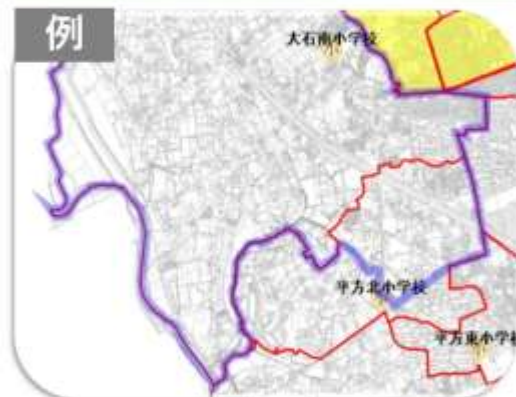
平方北小学校の児童が他校へ編入する場合

平方北小の学区を分けずに他校へ移す



A案 通学区域を分けない場合

平方北小の学区を分けて他校へ移す



B案 通学区域を分ける場合

【第7回 協議会の内容】

- ①通学区域を分ける場合の特例措置について
- ②再編方法の振り返りについて
- ③再編検討協議会後の取り組みについて

5

**通学区域を分ける場合の
特例措置について**

6

他市町村の事例(鴻巣市 ^{こや}小谷小学校)



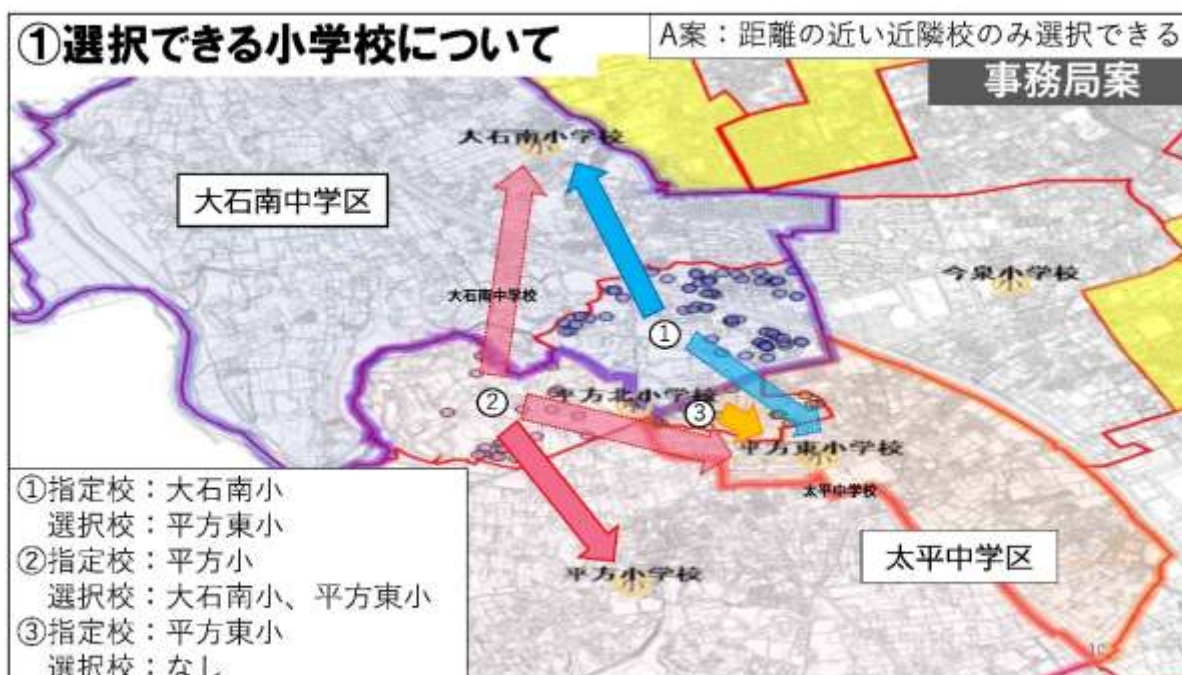
区分けの小学校以外も選択できるようにする場合の検討事項

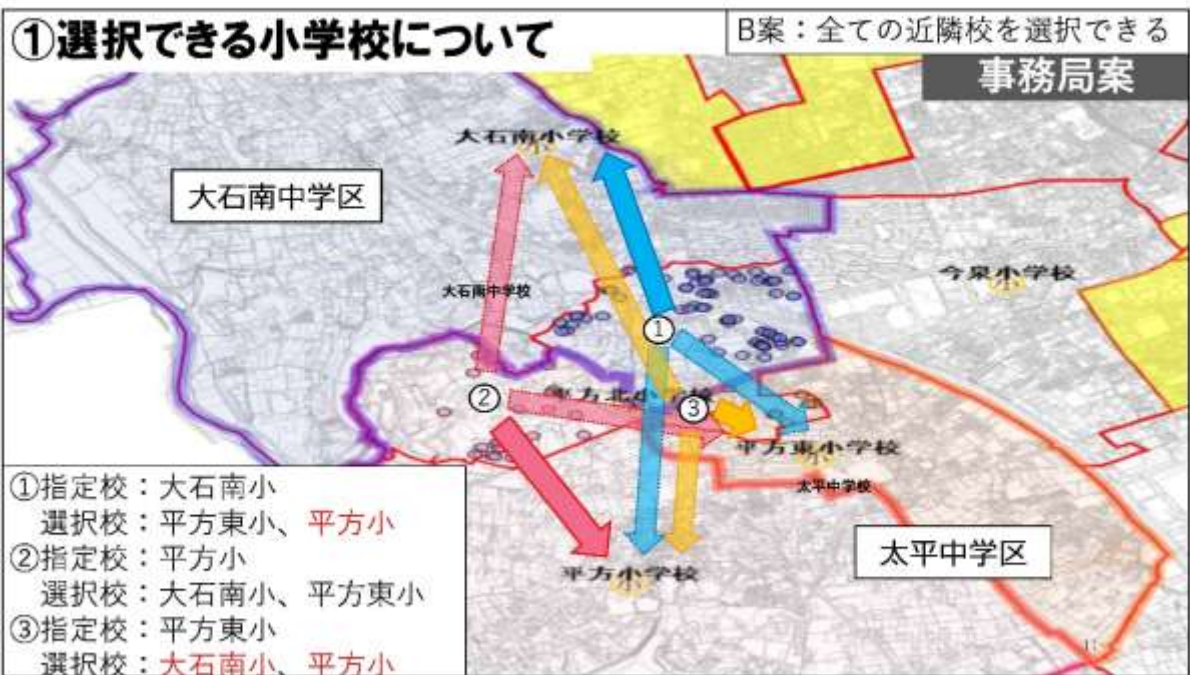
- ① 選択できる小学校について
- ② 対象者について
- ③ 中学校について

①選択できる小学校について

A案：距離の近い近隣校のみ選択できる

B案：全ての近隣校を選択できる





②対象者について

A案：対象者を限定する

B案：対象者を限定しない

②対象者について

A案：対象者を限定する

対象者を再編時の在校生とそのきょうだい児とする



再編時に平方北小の在校生



再編時に平方北小の在校生
のきょうだい児



在校生のきょうだい児が
いない再編後に入学した
児童

②対象者について

A案：対象者を限定する

	統合年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
第1子	2年生				6年生				
第2子			1年生					6年生	



第1子が選択校に在学中の入学のため、
選択校への進学が可能
第1子卒業後も選択校に在籍が可能

②対象者について

B案：対象者を限定しない

調整区域とすることで対象者を限定しない



再編時に平方北小の在校生



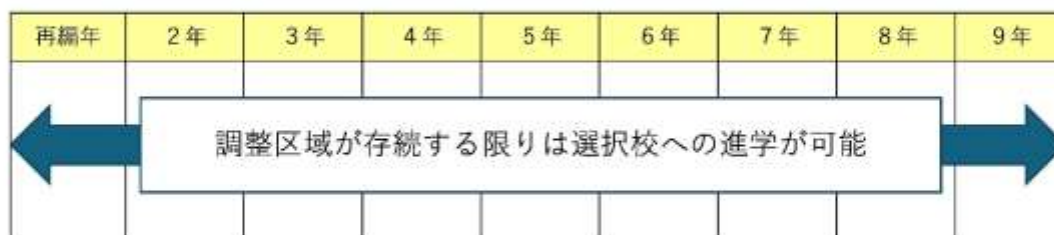
再編時に平方北小の在校生
のきょうだい児



在校生のきょうだい児が
いない再編後に入学した
児童

②対象者について

B案：対象者を限定しない



ただし、調整区域の意義が無くなった場合は調整区域を
廃止とすることがある。

③中学校について

A案：中学校は従来の学区通りとする

B案：中学校についても選択制とする



再編方法の振り返りについて

21

○スケジュールについて

	日程	協議内容
第5回	5月30日 15:00～	・再編による課題の検討
第6回	7月29日 15:00～	・再編による課題の検討
第7回	9月30日 15:00～	・再編による課題の検討
第8回	12月2日 15:00～	・協議結果の取りまとめ
第9回	2月3日 15:00～	・協議結果の取りまとめ
第10回	未定 (4～5月)	・予備日

22

<児童の編入の仕方>

- (1) 平方北小学校の児童が他校へ編入する
- (2) 平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

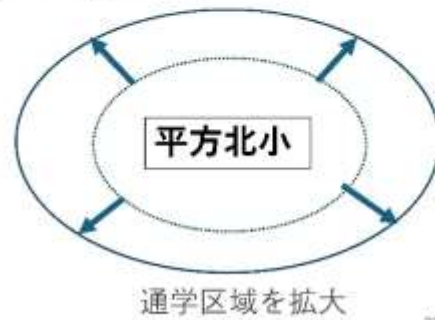
(1)

第3回 第6回



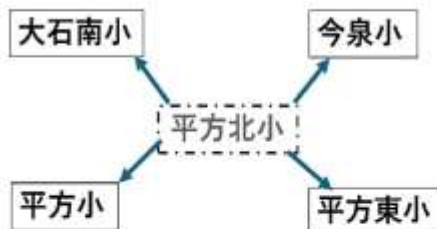
(2)

第3回 第4回



23

平方北小学校の児童が他校へ編入する



- ・第3回にて協議
- ・編入先はほとんどが適正規模校となる。
- ・他市町村の学校規模適正化の手法としては、ほとんどの自治体が統廃合の手法を取っている。

【これまで頂いたご意見】

- ・他の学校も小規模が適正規模になる学校や適正規模を維持できる学校もあるので、その点で考えるとこちらの方がいいのかなという印象があります。
- ・平方北小学校の方から平方小学校に編入ということで、単純に平方小学校の児童が増えるのであればそれもいいのかなという思いもあります。

24

平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる



- ・第3回、第4回にて協議
- ・大石方面を含めても、適正規模化は難しい。
- ・他市町村の事例では、市内全域から通えるようにしたが、人が集まらず統廃合を検討している。

【これまで頂いたご意見】

- ・地区で子どもの絶対数は変わらないため、児童数を増やすのは難しく、遠くから児童を編入するのも難しいので、平方北小の魅力を上げていくしかないのではないかとと思う。
- ・調整区域をとりあえずやってみるのはどうか。
- ・スクールバスを出せるようになれば、色々なところから来てくれる子どもたちも増えるのではないかなと思う。

25

平方北小学校の児童が他校へ編入する（再編の課題について）



- ・第6回にて協議
- ・通学区域を分ける編入と分けない編入について、それぞれ利点と懸念点があった。
- ・時期については、準備ができ次第再編するのが現実的。

【これまで頂いたご意見】

- ・平方北小の児童全員で移れるので、新しい環境に早く馴染めることがメリットだが、小学校から遠い地域ができてしまう。
- ・現在の友達と離れてしまう可能性もあるが、編入先で増えた友達と同じ中学校に行けるのが良いと思う。
- ・特例で学校を選べるようにするなど、子どものことを考えた細かい対応が必要である。
- ・クラス替えのタイミングに合わせて年度初めにするのはすごく大事ななと思った。

26

質疑応答

27

再編検討協議会後の取り組みについて

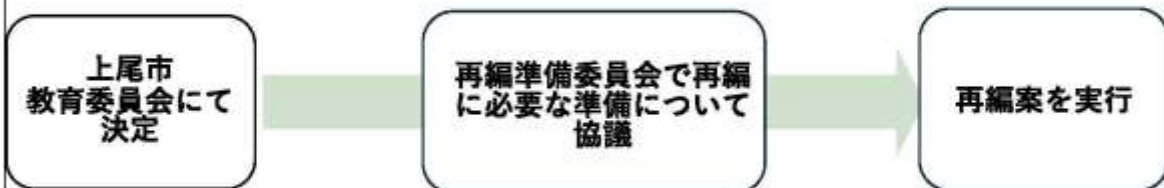
28

○協議会とその後の流れについて



29

○協議会とその後の流れについて



30

質疑応答

31

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.7 令和7年12月9日発行

第7回では、主に平方北小学校の児童が他校へ編入する場合の再編方法の一つである「通学区域を分ける場合の特例措置」について、協議しました。また、これまでの振り返りや今後の流れを確認し、次回以降は意見の取りまとめを予定しています。

1.通学区域を分ける場合の特例措置について

(1) 選択できる小学校について



		A案：距離の近い近隣校のみ選択できる	B案：全ての近隣校を選択できる
①の区域	指定校	大石南小	大石南小
	選択校	平方東小	平方東小・平方小
②の区域	指定校	平方小	平方小
	選択校	大石南小・平方東小	大石南小・平方東小
③の区域	指定校	平方東小	平方東小
	選択校	なし	大石南小・平方小

《委員の意見》

- ・（現役保護者）基本的には近いところを選ぶ人が多いと思う。選択肢が多すぎると決めるのが難しい。
- ・（地域住民）中学校も選択制にするのか従来の学区通りにするのも影響を及ぼすと思う。
- ・（現役保護者）全ての近隣校を選択できる場合は、教員の負担が大きい。また、バスがでるかどうかは選択する際の大きなポイントになると思う。

(2) 特例措置の対象者について

A案：対象者を限定する 選択制の対象者

- ・再編時の平方北小在校生
- ・再編後に在籍期間が重なるきょうだい児のみ

B案：対象者を限定しない 選択制の対象者

- ・再編時の平方北小在校生
- ・再編後に平方北小学区に住む児童全員

《委員の意見》

- ・（現役保護者）選択制という不確定要素が多い状態が続くと、管理する側が大変だと思う。

(3) 中学校について

	A案：中学校は従来の学区通りとする	B案：中学校についても選択制とする
①の地区	大石南中	大石南中・太平中
②の地区	太平中	大石南中・太平中
③の地区	太平中	大石南中・太平中

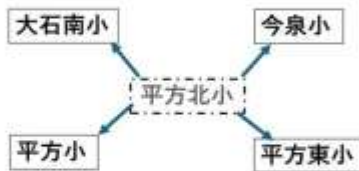
《委員の意見》

- ・（現役保護者）現在も部活理由で違う学校に通っている子もいるので、中学校も選択制が良いと思う。
- ・（未就学児保護者）選択制となった場合、大石南中は今後再編対象となるため、人数がさらに減ると思う。
- ・（現役保護者）平方東小を選択した場合、隣にある太平中に行けないのは問題かなと思う。しかし、距離の問題で大石南中に行きたい人もいると思うので、選択制が良いと思う。
- ・（地域住民）小学校も中学校も自由に行けるとなると、統制が取れるのかなと思ってしまう。

2.再編方法の振り返りについて

これまでの協議では、「平方北小学校の児童が他校へ編入する方法」と「平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる方法」を中心に協議を進めてきました。

平方北小の児童が他校へ編入する方法



- ・編入先はほとんどが適正規模校となる。
- ・他市町村の学校規模適正化の手法としては、多くの自治体が統廃合の手法を取っている。

平方北小の通学区域を拡大する方法



- ・大石方面を含めても、適正規模化は難しい。
- ・他市町村の事例では、市内全域から通えるようにしたが、人が集まらず統廃合を検討中である。

《委員の意見》

- ・（地域住民）この協議会で話し合ったことが、今後に影響するとなると怖いなという気持ちがあるが、子ども達が安全で楽しく学ぶことを持続できることを重視してこれまで検討してきた。

3.再編検討協議会後の予定について

再編実行までは以下のプロセスを予定しています。



発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第7回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。



1.8 第8回会議

1.8.1 会議録

会 議 録

会議の名称	第8回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年12月2日(火) 午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	橋村 則史、本館 弘貴、小森 幸男	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 協議報告書(素案)の構成について (2) 報告書の協議内容について ① 学校規模の適正化に関する事 ② 再編方法に関する事 ③ 再編に伴う影響に関する事 (3) 報告書完成までの流れ (4) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 5名
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和8年1月29日 議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
	<p>議題 (1) 協議報告書（素案）の構成について</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
A委員	<p>素案が完成したら報告書として教育委員会に報告すると思いますが、地域の方へ公開するのでしょうか。</p>
事務局	<p>ホームページ等で公開すると思います。</p>
A委員	<p>そこでまた意見が届く可能性もありますか。</p>
事務局	<p>あると思います。</p>
	<p>議題 (2) 報告書の協議内容について</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>まず、第3章 協議内容・結果の「①学校規模の適正化に関すること」について何かご意見ございますか。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
A委員	<p>黄色の網掛けになっている協議結果の部分についてですが、最後の「子供への意見聴取は必要だが、それによって再編の是非や方法を決めてしまうと子供に責任を取らせてしまうような形になってしまう。」という部分ですが、このような意見を私が言いましたが、文言的に「責任」という言葉が重く感じられてしまっていて、子供に責任を取らせるような話が出たのかと感じられてしまうかなと思いました。私は「結果の伝え方」や「アフターフォロー」、「地域の事を考えるきっかけにしてほしい」といったことや、「もちろん子どもの意見は大事だけれども、それが重くなりすぎないような結果の伝え方をして欲しい」といったような感じで発言をしました。なので、この文言を消すか、変更していただきたいです。</p> <p>基本的に協議結果の部分は一文になっていますが、増えても良いのでしょうか。まとめなのでやはり一文でまとまっていた方が良いでしょう。</p>

事務局	<p>うか。</p> <p>できれば端的になっていた方が、読み手としては読みやすいかなとは思いますが。</p>
A委員	<p>この報告書をパラパラとしか見ない人は、この黄色の網掛けが目立って、ここだけしか読まない可能性もあります。確かにこのようなことは言いましたが、もしかしたら変な伝わり方になってしまうのかなと思いました。</p> <p>もう少しやわらかくて、いい表現があったらいいなと思います。</p>
会長	<p>先ほど取り下げるといったようなご発言もありましたが、報告書に掲載するのは問題ないでしょうか。</p>
A委員	<p>どちらでも良いです。</p>
会長	<p>この部分の表現について、ニュアンスが少し違うのですね。</p>
A委員	<p>そうですね。少し違う感じですか。</p>
会長	<p>本日の協議会で、文言まできっちりやっていく感じなのでしょうか。</p>
事務局	<p>大枠で気になるところについてご意見いただけたらと思います。細かい気になる文言等は、本日お配りしたアンケート用紙にて「何ページのここはこういう言い回しにしてもらいたい」といったような形で後日ご意見をいただければと思います。先ほどのご意見は賜ります。</p>
会長	<p>では、本日は気になるところだけ挙げていただいて、具体的にこうした方が良いといった提案などの細かい部分は後日回答するということですね。</p> <p>その他何か気になる部分などございますか。</p>
B委員	<p>メリット・デメリットの記載の部分ですが、誰を主体にするかによって逆の考え方が出てくると思います。例えば、自分の子供や関係する子供の立場ではメリットだが、全体にとってはデメリットになるかもしれない。主体をどこにしてのメリット・デメリットにしないとわかりにくいのではないかなと思います。学校側から見たメリット・デメリットと個人で見たメリット・デメリットは違ってくると思います。</p> <p>なので、主体をどこにするのかを明確にしてメリット・デメリットを記載した方が、読み手はわかりやすいのではないかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私見で恐縮ですが、最初に子どもを第一に考えていくとするのであれば、子どもを主体とした部分を書きつつ、教職員も負担が大きいといった感じでまとめるのはいかがかなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>

C委員	<p>大枠でまとめると確かにこういう流れだったかなと思いますが、例えば教員配置のところでは「もっと教員の配置を増やすことはできないのだろうか」といった意見もあったのかなと思います。</p> <p>あくまでも今の枠組みで考えたときに、こうであるということになるのではないかなと思います。クラス替えができないというのも、今の学校の基準があるので、クラス替えができないといったことだと思うので、絶対に小規模より大規模の方が良いというのではなく、現行の枠組みの中ではこうであるというのがわかるような形に変えていただけたらいいのかなと思います。</p>
会長	<p>続いて「②再編方法に関する事」についてご意見ある方はいらっしゃいますか。</p>
B委員	<p>上尾市内の備品類は、各学校でどういったものを使っているのでしょうか。</p> <p>私も転校した経験がありますが、例えば上履きの色がみんなと違っていてすごく嫌な思いをしました。平方北小学校でも中央小学校から転校してきた児童のあさがおの植木鉢が1人だけ違うものを使っています。名前を書くところが違っているので、誰が見てもすぐわかってしまいます。それを交換することができないのであれば、すごく浮いてしまう可能性が高いと思います。</p> <p>上尾市内では全部同じものを使うのであれば問題ないと思いますが、今でも違う上履きを使っている子が2、3人いるので、少しかわいそうな気がしています。</p>
事務局	<p>もし再編するとしても年度初めになると思いますので、学年が変わったり、足のサイズが変わりますので、そういった切り替えのタイミングで上履き等をご購入いただく形になるかなと思います。</p> <p>また、備品類については、市内で統一しているわけではなく各学校で選定したものを使用しています。</p>
B委員	<p>途中で転校した児童は、転校先と違うものを使うか、新たに買うしかないのですね。</p>
事務局	<p>新たに購入するのもタイミングにより難しさもあると思います。市外からの転居の場合は必ず同じものではなく、すでに購入しているものを利用できるようにしているようです。</p>
B委員	<p>市外の場合はしょうがないと思いますが、市内くらいは揃えることはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>備品の選定は先生の使いやすさも重要だと思いますので、なかなか難しい部分もあるのかなと思います。</p>
B委員	<p>平方北小の児童が他校へ編入する場合でも、逆の場合でも同じことが起きると思います。私は学校に来ることが多いので、そういった様子を見ているとちょっとかわいそうかなという気がしています。</p>

会長	では、再編方法に関することについて話し合いたいと思いますが、何かご意見等ございますか。
A委員	質問なのですが、今は何を言ったら良いのでしょうか。 文言は後で良いとのことでしたが、例えばもっとこの内容を増やしてほしいとかそういったことを言えば良いのでしょうか。
事務局	このまとめ方はこういった形式で問題ないか、載せ方や流れは問題ないかなどをご意見いただければと思いますが、まとめですのでやってきたことと逸脱することを入れるのはなかなか難しいかなとは思いません。
A委員	わかりました。流れ的にはすごく良いなと思います。
事務局	皆様のご意見をいただきながら、まとめていきたいと思っておりますので。
A委員	私たち委員は参加していたので、流れが分かっていますし細かい内容や発言も全部分かってしまうので、初見の人にどれぐらい伝わるのかなというのは気になります。
会長	意見や何か抜けているとかそういうことでも構いません。流れは順序立って議論してきたところで書いたものだと思います。
D委員	実際の議論では、シミュレーションの図や地図を見ながら議論しましたが、そういったものは載せないのでしょうか。ビジュアル的に分かりやすい気がしますので、簡略化したものでも良いので載せた方が良いかなと感じました。 学校の距離感など位置関係が地元の人でないと分からないと思います。私も元々地元ではないので、正直今泉小の距離感がぱっと浮かばない時がありましたので、図があった方が良いなと思いました。
事務局	ありがとうございます。最初は結構図を入れたものを作っていましたが、図を入れてしまうと、逆に論点が見づらいところもございましたので、これまでの議事録や資料は別冊や何かしらに紐づけてまとめたものを作成する予定ですので、注意書きで第何回協議事項と記載しておいて、どうしても気になる方や詳しく見たい方はそちらを見ていただくのがよろしいかなと思います。 おっしゃる通り、図を入れた詳しいものを作成しましたが、そういった経緯があったことは申し添えます。
D委員	それは書き添えた方がいいかもしれませんね。
会長	では、最後に「③再編に伴う影響に関すること」についてご意見ございますか。
B委員	最近引っ越しした児童の話ですが、親の都合で引っ越ししたのでこちらの事例とは違いますが、5年生だったので、小学校時代の一番の思い出

	<p>である修学旅行までは転校したくなかったと泣きながら言っていました。違う学校に行って卒業式を迎えるのも嫌だと言っていました。それを聞いた時に、再編時期をよく考えないと同じような子供が出てしまうなど思いましたので、時期をよく考えないと難しいなど思いました。少し脱線しましたが、そのような事例があったので報告しておきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他ご意見ございますか。</p>
E 委員	<p>報告書の第3章については、3編に分かれていると説明を受けましたが、最初のスタートで分かっていたことは、平方北小の児童が少なくなってきたこと、それをどうしようかということで色々意見を出してきました。</p> <p>上尾市では初めての事例ですので、私を含めて皆が雲を掴むような形でしたが、この素案でまとまってきたような感じがして、流れる的には私はこれで進めていいのではないかと思います。</p> <p>これから先この協議会の他に色々な委員会などに向けられると思いますが、その時に「なんだ、みんなそんなことも検討しなかったのか。」と言われぬように、ある程度意見は網羅されているので、誤字脱字等の細かい部分については後ほど修正していただくとして、流れる的にはこれでよく出来ていると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p>
C 委員	<p>この再編はあくまでも教育委員会や学校を主体として考えて、子供たちのためにと話し合ったことはわかっています。</p> <p>ただ、平方北小の再編によって子育てしにくい地域が生まれてしまうのを危惧していることをどうにか表せないのかなという思いがあります。未就学児のいる世帯が平方北小を選ばないというアンケート結果を見てショックを受けたことを思い出しましたが、それは平方北小がなくなるかもしれないという噂があったことで起こったことだと思っています。子育て世帯が住まない地域が生まれてしまうということはこういった報告書には残せないのかなという思いが今でもあります。</p>
会長	<p>報告書は学校再編の話になっているので、最後のまとめではそこまでいかないかもしれませんが、協議会委員の意見で載せるかどうかかなと思います。</p>
C 委員	<p>枠外で載せるという形ですかね。もう少し先生の手当が厚くならないだろうかといった意見もあったと思うので、そういった意見があったことの足跡を残していただけたら嬉しいなと思います。</p>
会長	<p>他の方はいかがでしょうか。ご意見ございますか。</p>
F 委員	<p>報告書の形にまとめるのはすごく大変だったと思います。何十時間にもなる協議会の意見の抜粋ですので、少し思いが違うという先ほどの意見もありましたし、ニュアンスで捉え方が違っていたり、先ほどの誰視点のメリット・デメリットなのかという話もありましたので、次の通学区域審議会の人たちに議事録を全部しっかり読んでくださいと言いたい</p>

	<p>です。</p> <p>議事録にしっかり目を通していただいてこの報告書を読むのと、この報告書だけで審議されるのではかなり違うと思います。「議事録をしっかり読んで挑んでいます。」と一筆欲しいくらいです。この報告書だけで審議会にかけられてしまうと少し思いが違う部分が出てくるかなと思います。議事録をしっかり読んで欲しいという思いを伝えて欲しいなと思います。</p>
会長	<p>おそらく報告書は箇条書きで書くものが多いですし、文章で書くところごい分量になってしまうのでコアな部分を抜き出しているようなところがあると思います。なので、第4章のまとめは黄色の網掛けの部分を中心にまとめていくという話でしたが、そういった思いみたいなものを少し載せてもいいのかなと思いました。</p>
F 委員	<p>議事録は最後まとめて渡していただけるのですよね。</p>
会長	<p>渡しますが、読むか読まないかはわかりませんし、なかなか読んでくださいとは報告書に書けないです。</p>
F 委員	<p>議事録を読んでくださいますか？書いてもいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>渡すときは良いと思いますが、報告書の中に読んでくださいとは多分書けないと思うので、こういった思いがあるということ、黄色の網掛けの部分だけをただまとめるだけではなく、ちゃんと議論をしたということがわかるように上手く最後のまとめのところに書けたら良いのかなと思います。</p>
F 委員	<p>見てもらえるのであればこの量でも良いのかなと思います。これだけになってしまうと悲しいなと思いました。</p>
会長	<p>その他何かございますか。</p>
G 委員	<p>前の方のページに平方北小学校の児童の推移とありますが、それと一緒に今後予想される子どもの人数も載せると、より一層今後平方地区の子どもが減ってしまうことが印象付くのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
A 委員	<p>公式の文書に未来の予想を載せることができるのでしょうか。</p>
G 委員	<p>今生まれている子供の人数から算出するのですかね。</p>
事務局	<p>基本計画、学校施設更新計画で推計している内容は公表しているものなので、そういったものを参照した数値であれば、一緒に載せられると思います。</p>
G 委員	<p>将来の人数が結構減ってしまうことが印象的だったので、載せていただけたらなと思います。</p>

会長	<p>ありがとうございます。その他何かございますか。</p> <p>ではよろしいでしょうか。いただいたご意見を修正していくのと、細かいところは今後のアンケートに書いていただければと思います。</p> <p>では、最後に報告書の完成までの流れについて事務局の方からご説明お願いいたします。</p>
	<p>議題</p> <p>(3) 報告書完成までの流れ</p>
事務局	<p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>特になし</p>
会長	<p>最後にその他でございますが事務局からございますか。</p>
事務局	<p>今後の予定について申し上げます。次の協議会は2月3日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>閉会</p>
事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第8回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。</p>
副会長	<p>以上をもちまして、第8回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
事務局	<p>青木副会長ありがとうございました。第8回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。</p>

第8回平方北小学校再編検討協議会

1

【第7回 協議会の内容】（振り返り）

①通学区域を分ける場合の特例措置について

- ・ 選択できる小学校
- ・ 特例措置の対象者
- ・ 中学校の選択制

②再編方法の振り返りについて

③再編検討協議会後の取り組みについて

2

【第8回 協議会の内容】

①協議報告書（素案）の構成について

②報告書の協議内容について

③報告書完成までの流れ

3

①協議報告書(素案)の構成について

4

協議報告書(素案)

平方北小学校 再編検討協議会 協議報告書 (素案)

検討協議会の目的、学校の概要などの基礎的な情報や、学校規模の適正化や再編方法の検討などの協議内容とそれに伴う委員の意見など、これまでの協議内容・結果などをまとめた協議報告書(素案)

協議報告書(素案)

報告書(素案)		
	P 3	はじめに
第1章	P 4	上尾市立平方北小学校再編検討協議会
第2章	P 5	平方北小学校の概要
第3章	P 7	協議内容の協議結果
第4章	P 17	まとめ

協議報告書(案案)

報告書(案案)		
3-(1)	P7~	学校規模の適正化に関すること
3-(2)	P10~	再編方法に関すること
3-(3)	P14~	再編に伴う影響に関すること

質疑応答

②報告書の協議内容について

9

3－（1） 学校規模の適正化に関すること

協議の内容

論点1 学校規模の考え方

論点2 学校規模の適正化により見込まれる教育効果

論点3 小規模校のメリット・デメリット

論点4 教職員一人当たりの校務分掌の負担

論点5 関係者の意向（アンケート調査結果）

3 - (1) 学校規模の適正化に関すること

協議結果

- ◎小規模校にもメリットがあるが
デメリットが大きいため、
適正規模化が必要である。

3 - (1) 学校規模の適正化に関すること

5_m 00_s

協議報告書（素案） P7～10

12

質疑応答

13

3 - (2) 再編方法に関すること

協議の内容

論点 6 再編方法

論点 7 「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法①

論点 8 「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法②

論点 9 関係者の意向（アンケート調査結果）

論点10 「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法

3-(2) 再編方法に関すること

協議結果

- ◎ 「通学区域を拡大し平方北小学校に児童を編入させる」手法による場合は、学校の適正規模化が難しく、「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法が現実的である。

3-(2) 再編方法に関すること

5_m 00_s

協議報告書（素案） P10～13

16

質疑応答

17

3-(3) 再編に伴う影響に関すること

協議の内容

- 論点1-1 他校へ編入する場合の児童への影響
- 論点1-2 通学区域を分割して編入した場合の特例措置
- 論点1-3 通学方法
- 論点1-4 再編の時期

3 - (3) 再編に伴う影響に関すること

協議結果

- ◎編入に当たっては通学区域を分ける方が望ましいが、区域外の学校にも通学できる特例措置を設定することが望ましい。
- ◎通学距離や安全を考慮して徒歩で通える学校を保護者に選んでいただく方が良い。
- ◎再編は段階的に実施するのではなく、準備ができ次第行うのが現実的である。

3 - (3) 再編に伴う影響に関すること

5_m 00_s

協議報告書（素案） P14～17

20

質疑応答

21

③報告書完成までの流れ

22

報告書完成までの流れ

	12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
第8回検討協議会（報告書の説明）			○						
委員に報告書の修正確認	→								
第9回検討協議会（報告書の承認）									○

23

質疑応答

24

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.8 令和8年2月10日発行

第8回では「平方北小学校再編検討協議会 協議報告書」作成に向けて協議を行いました。次回の会議では、委員からの意見を反映させ、報告書（案）の協議を予定しています。

1. 協議報告書（素案）の構成について

○報告書構成案

平方北小学校 再編検討協議会 協議報告書 (素案)		はじめに
	第1章	上尾市立平方北小学校再編検討協議会
	第2章	平方北小学校の概要
	第3章	協議内容・結果
	第4章	まとめ

2. 報告書の協議内容について

これまでの協議内容の振り返りながら、「第3章 協議内容・結果」の内容を確認しました。

(1) 学校規模の適正化に関すること

論点1 学校規模の考え方

- ・アンケートでは、小学校の適切なクラス数が3クラスであるという回答が最も多くなっている。
- ・上尾市では、望ましい学校規模を「12学級以上18学級以下（特別支援学級を除く）」としている。

論点2 学校規模の適正化により見込まれる教育効果

- ・教育環境面ではクラス替えができる等、教員配置面ではバランスのとれた教職員配置が可能など、学校運営面では校務負担の分散・軽減などが見込まれる。

論点3 小規模校のメリット・デメリット

- ・メリット（例）一人一人の学習状況を的確に把握でき、きめ細かな指導が行いやすい。
- ・デメリット（例）クラス替えが全部又は一部の学年でできない。

論点4 教職員一人当たりの校務分掌の負担

- ・小規模校は教員の配置が少なくなるため、一人当たりの校務分掌が多くなる。

論点5 関係者の意向（アンケート調査結果）

- ・保護者は小規模校について「どちらかというメリットの方が大きい」と考えている者が多いが、教員は「どちらかというデメリットの方が大きい」と考えている者が多かった。

◎小規模校にはメリットもあるがデメリットが大きいいため、適正規模化が必要である。

- ・メリットは、人数が少ないため子供たちに教員の目が行き届くことや他学年との交流がしやすいことである。
- ・デメリットは、教員負担が大きいことやクラス替えができないことである。
- ・特にクラス替えができないことは子供への負担が大きいのではないかということから、メリットよりもデメリットの方が大きく感じるため、適正規模化が必要である。

《委員の意見》

- ・（地域住民）主体をどこにするのかを明確にしてメリット・デメリットを記載した方が、読み手はわかりやすいのではないかと思います。例えば、自分の子供や関係する子供の立場ではメリットだが、全体にとってはデメリットになるかもしれない。学校側から見たメリット・デメリットと個人で見たメリット・デメリットは違ってくると思います。
- ・（地域住民）絶対に小規模より大規模の方が良いというのではなく、現行の枠組みの中ではこうであるというのがわかるような形に変えていただけたらいいのかなと思います。

(2) 再編方法に関すること

論点6 再編方法

- ・「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法と、平方北小学校の児童が隣接する他の学校に編入する「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法が考えられる。

論点7、8 「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法①、②

- ・シミュレーションで適正規模にならず、近隣校の規模も縮小するため難しい。

論点9 関係者の意向（アンケート調査結果）

- ・平方北小の近隣校の学区に住む未就学児保護者に行ったアンケート結果では、「平方北小を選択できる場合に平方北小を選択するか」との設問に対して、9割が「選択しない」と回答した。

論点10 「平方北小学校の児童が他校へ編入する」

- ・他の小規模校が適正規模になったり、規模を維持することができる。

◎「通学区域を拡大し平方北小学校に児童を編入させる」手法による場合は、学校の適正規模化が難しく、「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法が現実的である。

《委員の意見》

- ・（未就学児保護者）私たち委員は参加していたので、流れが分かっていますし細かい内容や発言も全部分かってしまうので、初見の人にどれくらい伝わるのかなというのは気になります。
- ・（現役保護者）学校の距離感など位置関係が地元の人でないと分からないと思うので、図があった方がよいなど思いました。

(3) 再編に伴う影響に関すること

論点11 他校へ編入する場合の児童への影響

- ・通学区域を分けない場合は、全員で同じ学校に行けるため人間関係の維持ができるが、通う学校によっては通学距離が遠くなりすぎたり、危険な個所を通る必要がある児童が多くなる。
- ・通学区域を分ける場合は距離が近い学校に通えるが、少人数で別々の学校に編入することになる児童がいるため、特例措置が必要である。

論点12 通学区域を分割して編入した場合の特例措置

- ・特例措置① 選択できる小学校は距離の近い学校のみ選択できる。
- ・特例措置② 対象者は再編時の在校生とそのきょうだい児に限る。
- ・特例措置③ 中学校は選択制とする。

論点13 通学方法

- ・通学距離が1.5kmを越える場合は通学方法について検討することとしている。

論点14 再編の時期

- ・「準備ができ次第再編をする」か「6年間で段階的に再編する」手法が考えられる。

◎編入に当たっては通学区域を分ける方が望ましいが、区域外の学校にも通学できる特例措置を設定することが望ましい。

◎通学距離や安全を考慮して徒歩で通える学校を保護者に選んでいただく方が良い。

◎再編は段階的に実施するのではなく、準備ができ次第行うのが現実的である。

《委員の意見》

- ・（地域住民）上尾市では初めての事例ですので、私を含めて皆が雲を掴むような形でしたが、この素案でまとまってきたような感じがしています。
- ・（現役保護者）この報告書だけで審議会にかけられてしまうと少し思いが違う部分が出てくるかなと思います。再編方法を決定する際は、議事録をしっかりと読んでいただきたいです。

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第8回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認ください。



1.9 第9回会議

1.9.1 会議録

会 議 録

会議の名称	第9回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和8年2月3日（火）午後3時から午後4時	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、橋村 則史、本館 弘貴、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	佐藤 智栄、鮫嶋 紀子	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 協議報告書(案)の変更点について (2) 別冊 資料集について (3) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 7名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和8年3月6日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>議題 (1) 協議報告書(案)の変更点について</p> <p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
会長	<p>恐らく私が文言の修正を依頼したところで大変恐縮ですが、今文章を見ていると少し変なところがあったのでご指摘をさせていただきますが、8ページの論点6のところ、「～2種類の手法が考えられる」と修正させていただきましたが、前のところで「～手法と、逆に、」と書いてあるので、「～手法の2種類が考えられる」とした方が流れとしてよいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>ご自身でご指摘いただいた内容が適切に修正されているかどうか、読みづらい点やわかりづらい点がございましたらご発言をお願いいたします。</p>
A委員	<p>修正点を確認させていただきましたが、報告書はこちらの内容で充分伝わると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。よろしいでしょうか。ないようであれば、協議報告書については、今回の資料の内容で上尾市教育委員会へ報告することといたしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
会長	<p>では、異議なしということですので、この報告書を教育委員会に上程させていただきます。</p> <p>議題 (2) 別冊 資料集について</p> <p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたし</p>

	<p>ます。</p> <p>〈主な質疑・意見〉</p>
B委員	<p>別冊資料集に学校要覧が基礎資料として入っていますが、学校要覧にはその時の職員名等の個人情報がかかれていいますので、基礎資料として適切なのかをもう一度確認したいです。やはりあった方が良いでしょうか。</p>
事務局	<p>学校の全体像がわかるものを載せられたらと考えているところでして、今気にされている部分は、教員一覧の部分でしょうか。この部分を掲載するかについては再度調整させていただければと思います。</p>
B委員	<p>分かりました。</p>
事務局	<p>別冊資料集（参考）のP250～251辺りの学校の全体像が分かる部分やこれまでの活動が記載されている沿革の部分に掲載した方が良いのかなと思い、学校要覧を資料として載せられたらと考えたところでございます。他にもこの部分は削った方が望ましいのではないかとこのころがあれば、ご指摘いただければ助かります。</p>
B委員	<p>例えば沿革等はやはり載せた方が良いのかなとは思いますが、他に気になる部分もあります。相談できればありがたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他何かお気づきの点ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>ないようであれば、協議報告書別冊資料集については、学校要覧を学校と事務局で調整し個人情報がないような形で掲載するという条件付きで、今回の会議資料、会議録及びニュースレターを追加したものを上尾市教育委員会へ報告することといたしますがよろしいでしょうか。</p>
	<p>（「異議なし」の声あり）</p>
会長	<p>はい。では異議なしということですので、後ほど調整をお願いします。</p>
事務局	<p>検討いたします。</p> <p>議題 （3）その他</p> <p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>最後にその他ですが、これで最後の会議となり皆様が集まる機会はおそらくないと思いますので、約2年間委員としてご協議いただいた感想等がございましたらご発言をお願いします。</p>
C委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>今年度は仕事の都合でなかなか出席できず、役割を全うできなかった</p>

<p>D 委員</p> <p>B 委員</p> <p>E 委員</p> <p>F 委員</p>	<p>ところがあり申し訳ないなと思っています。自分の子どももまだ小さいのですが、今後のこの地域のことを考える良い機会となりました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>私のところは子どもが大きくなってからずっと経っていますし、孫もいないので、実際にはなかなか分からないこともありますが、子どもたちの声が聞こえる、子どもたちが笑顔ではしゃいでいる、そういう地域は活性化していくのだと思います。学校の色々な状況がありますが、統廃合されるのはやはり寂しいです。今回色々な意見を出して協議させていただきましたが、何とか地域に学校が残る方法はないのかというのは、これで終わりではなくていろんな場で考えていくべきことなのかなというのを痛感いたしました。ありがとうございました。</p> <p>この会議がスタートしたときに一番心配だったのが、本校の児童の心がざわざわしたり、落ち着かなくなったらということでした。おかげさまで子どもたちは毎日元気に登校しているので、その心配は払拭されたのかなと思っています。この会議に参加して、地域の方々の色々な思いを伺うことができました。今までありがとうございました。</p> <p>昨年度、今年度と自治会長という立場もあり参加させていただきました。子どもが小さいときは全然考えてなかったようなことも、自治会長という立場になってみると考えないといけないという責任も感じました。うちの団地は高齢化が進み、子ども達がどんどん減っていくという危機感も持ちながら、加えて学校がなくなってしまうかもしれないということでした。私の意見がどこまで反映されるのだろうかという疑問に感じながらも参加しておりましたが、あくまでもここは子どもを中心に話し合っていく場でしたので、この協議会の意見としては致し方無い、子どもたちの教育の豊かさを考えたら、こういった方向性になるんだということをお納得しましたが、地域の資源としての学校のあり方は、通学バスの件もありますので、そういったことが話し合える機会を今後も作っていただけたら大変ありがたいなと思いました。本当にいろいろなご意見、特に在校生のお母さん達が、もう次のことしか考えてないという印象を受けまして、そうだよなど、やはりご自分のお子さんの未来が一番に考えられるのだろうかと思いました。立場によって異なるご意見を拝聴することができましたのは、大きな学習の機会だったと思います。本当にありがとうございました。</p> <p>在校生の保護者ということと、PTA役員として学校や保護者と日頃から関わりがあるということで代表として参加させていただいて、自分の子どものことだけでなく、先生達や学校との関わり方も考える機会になりました。最終的に再編されていくと思いますが、自分の子どもが在籍している間はできる限り、保護者としてPTA役員として、今後の未来に繋がるように、子どもたちが学校生活を明るく楽しく過ごせるように、平方北小という形でなくとも、明るく楽しく過ごせるような形を地域の方とも協力しながら今後も作っていきたいという気持ちになりました。良い機会を与えてもらったと思います。ありがとうございました。</p>
---	---

G 委員	<p>在校生の保護者として参加しましたが、もう 1 人未就学児の子どももいるので、今後のことを考える機会になってよかったと思います。私は埼玉県出身ではないので、上尾に引っ越してきて子どもが小学校に入学して、やっと小学校の場所を知ったような形だったので、小学校の周りの町名や町内会、他の小学校や中学校の位置関係も含めて色々知り、まわりを考えさせられる機会になってすごく良かったなと思います。中学校も再編検討の話があるようですので、こちらも良い検討ができたらいなと思います。ありがとうございました。</p>
H 委員	<p>私は子どもの登下校の見守りをしてちょうど 10 年経過しました。それだけ平方北小には思い入れがあります。私の子どもも孫も平方北小にはお世話になっていません。通っているところは、大石南小と今泉小です。ただ、スポーツ少年団で野球の監督を 11 年やっていたので、その時に平方北小を使わせてもらって何回も試合をしました。その点でも思い入れはあります。先生の考え方が各小学校で違いますが、それぞれ良い点がたくさんあります。それを知っただけでも、今回の会議に参加して大きなメリットがあったように感じております。ありがとうございました。</p>
I 委員	<p>昨年度は自分の子どもが未就学児でしたので、未就学児の保護者として参加させていただきました。今年度から 1 年生になり学校に楽しく通っています。月曜日は少し憂鬱そうですが、他の日は楽しく通っていて、学校から帰ってきたら、学校で何があったとか色々話してくれるので、平方北小でよかったなと思っています。学校は今後再編されていくと思いますが、色々な委員の方からのお話、子どもについてや先生方について、また地域のことなど皆さんの意見を沢山聞けたので、上尾市の再編は平方北小が第 1 番になりますので、今回の協議会のまとめが他の学校でも活かせることができればなと思います。参加させていただいて良かったです。ありがとうございました。</p>
J 委員	<p>私は本校勤務 5 年目になります。平方北小の子どもたちは本当に素直で思いやりがあり、それから保護者の方や地域の方達も本当に温かくて協力的ですので、私は平方北小学校が大好きで働けていて良かったと思っています。再編検討協議会に参加して、教員目線の意見や考えだけではなく、保護者の方の目線だったり地域の方の目線だったり、色々な考えがあることを感じることができました。その中でも子どもたちを第一に話し合いが進められて良かったなと思っています。ありがとうございました。</p>
K 委員	<p>少し皆さんの視点とは違うかもしれませんが、こうして会議を通して先生達の仕事の知らなかったことを知ることができたり、教育委員会の方々がこうして沢山資料を作ってくださいたり、傍聴に来てくださる方もいて、平方北小に直接関わりが無い方も一緒に考えてくださっていることがわかりました。色々な方の意見、特に在校でない視点も知ることができ、その点はすごく勉強になったなと思います。再編時の在校生が傷つかないようにしていただけたらそれが一番かなと思います。</p>

副会長	<p>まず報告書に関する感想ですが、子どもを第一に考えた報告書になってよかったなと思います。それから協議会全体を通しての感想ですが、公立の学校は私立の学校と違って地域を持っているということが大きな力になっているなと私は常々思っています。この協議会の一年半を通じて、保護者の皆さん、地域の皆さんの学校に対する熱い思いがひしひしと感じられました。本当にこれで学校は支えられているのだなという思いがして、公教育に携わってきた者として大変感謝しております。今後とも地域の学校、それから子どもたちのためにご支援ご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
A委員	<p>この会議が始まるということで、どのように始まるのかなと思っていました。上尾市としては初めてのことで、どのようにまとまていくのかなと最初は思いました。また申し訳ないですが、市の職員主導のもとに、そちらに誘導されて決まったところに落ち着くのかなと最初は思っていたのですが、やはりそうではなくて、各関係の色々な方々の意見を上げて、色々な意見をまとめて良い方向にいったと私は思っています。この報告書も大変良くできていて、どんな方に出しても恥ずかしくないようなものが出来たということ、市役所主導ではなく皆さんの意見でまとまったということを私は安心しております。</p>
会長	<p>私はこの地域に住んでいるわけではなく大学が上尾市にあってこの協議会の会長を務めさせていただきました。多々至らぬ点がございました。地域のこともあまりよくわからない中で、この会議に参加させていただいて、一つの小学校がなくなるかもしれないということは非常に地域にも大きな影響を及ぼしますし、子ども達の将来のことも一生懸命考えていかなければならないなと思いました。草の根ではないですが、研究者だと第三者的に見てしまうところもありますが、実際にこの協議会に参加し、私自身も勉強になりました。色々な立場の皆様から意見をいただき、この報告書が出来上がったことを大変嬉しく思っております。これはひとえに皆様のご協力のおかげだと思っております。心より感謝いたします。どうもありがとうございました。それでは本日の議事を終了し進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>長嶋会長ありがとうございました。</p> <p>この検討協議会は、令和6年7月の委嘱から2年間の効力を持つ会議となりますが、大きな問題等の発生が無い限り、本日の会議録の確認をもって終了となります。今後につきましては、これまでの協議会でもご説明させていただきましたが、教育委員会へ報告後、教育委員会からの諮問に対する通学区域審議会の答申を踏まえ、適正化の方法の最終決定を教育委員会で行います。</p> <p>また、今後市長及び市議会への報告を予定するほか、保護者や地域の方々に対し、説明会等により、随時情報提供していく予定です。様々な手続や準備が完了するまで時間を要することとなります。委員の皆様方には、引き続き御意見や御助言等を賜る機会があるかと思っておりますので、その際はご協力をお願いいたします。</p> <p>閉会</p>

事務局	本日予定しておりました第9回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。
副会長	以上をもちまして、第9回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。
事務局	青木副会長ありがとうございました。第9回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。

第9回平方北小学校再編検討協議会

1

【第8回 協議会の内容】（振り返り）

- ①協議報告書（素案）の構成について
- ②報告書の協議内容について
- ③報告書完成までの流れ

2

【第9回 協議会の内容】

①協議報告書（案）の変更点について

②別冊 資料集について

3

①協議報告書(案)の変更点について

4

協議報告書(案)の変更点

- ① 別紙「修正一覧」のとおりに内容を修正
- ② 「はじめに」、「4. まとめ」の章に内容を追加

修正一覧の抜粋について(委員の意見の追加)

ページ	修正内容	対応方法
5P	あくまで現行の枠組みでの話であることを追記	論点1 学校規模の考え方の委員意見に以下を追加 ◎小学校は避難所機能などを備えた社会的資源であり、適正規模で区切って統廃合を含めた再編を検討していくのは疑問である。
7P	「教員の増員によって解決出来る事があるのでは?」といった意見を追加	論点4 教職員一人当たりの校務分掌の負担に以下の意見を追加 ◎スクールサポーターなどの人員を増やし、小規模校の教員負担を軽減することはできないのか。
10P	「子育て空白地区が生まれるのでは?」といった危惧などが書かれていません。	論点10 「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法に以下の意見を追加 ◎地域から学校がなくなった場合、子育て世代に選ばれない地域になってしまうのではないのか。

修正一覧の抜粋について(内容の修正)

ページ	修正内容	修正前	修正後
6P	子供を主体としたメリット・デメリットに修正する。	○メリット ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。 (中略) ・異なる年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	○メリット ・学習状況や学習内容の定着状況にあった補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導を受けやすい。 (中略) ・異なる学年との交流がしやすい。
		○デメリット ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない。 ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない ・クラブ活動や部活動の種類が限定される。 ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。	○デメリット ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない。 ・単学級の場合クラス同士で切磋琢磨する機会がない。 ・クラブ活動や部活動の種類が限定される。 ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。

修正一覧の抜粋について(内容の修正)

ページ	修正内容	修正前	修正後
8P	小規模にもメリットがあるがデメリットが大きいため適正規模化が必要という文が気になる。	小規模校にもメリットがあるがデメリットが大きいため、適正規模化が必要である。	小規模校の良さはあるが、集団の中での切磋琢磨や多様な人間関係を保障するために、適正規模化が必要である。
8P	教員負担が大きいこと→クラス同士が切磋琢磨する活動が難しいことに変更する。	デメリットは、教員負担が大きいことやクラス替えができないことである。	一方デメリットは、クラス同士が切磋琢磨する活動が難しいことやクラス替えができないことである。
8P	「結果の伝え方を慎重に」「アフターフォローを重視」などの文言を足すか、「責任」の部分を変える	子供への意見聴取は必要だが、それによって再編の是非や方法を決めてしまうと子供に責任を取らせてしまうような形になってしまう。	子供への意見聴取については、実施時期やアフターフォローを含め慎重に検討すべきである。

修正一覧の抜粋について(内容の修正)

ページ	修正内容	修正前	修正後
13P	「大石南中学校を選ぶ人が減ってしまうかもしれない。」を「偏ってしまう可能性がある」などにしたほうがいいかもしれません。	◎選択制の場合、太平中と大石南中を比較して、大石南中学校を選ぶ人が減ってしまうかもしれない。	◎選択制の場合、太平中学校と大石南中学校で人数が偏ってしまう可能性がある。

修正一覧の抜粋について(その他)

ページ	修正内容	対応方法
3P	児童数の推移のグラフの縦軸、横軸に単位を入れる。項目名を横にする	下図の通り修正 縦軸、横軸に単位を入れた。項目名を横にしたことにより隔年ごと⇒5年ごとの表示にした。
3P	図1-2に令和8年以降の予測値を追加する	図1-2ではなく、図1-1に予測値を追加した。

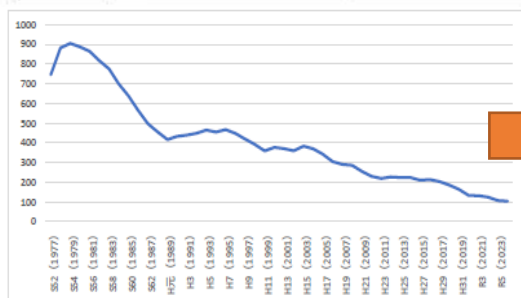


図1-1 平方北小学校の児童数の推移

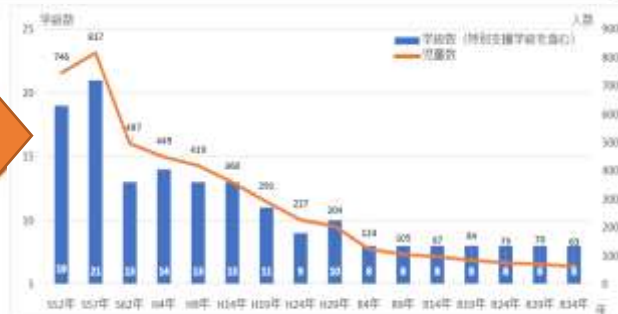


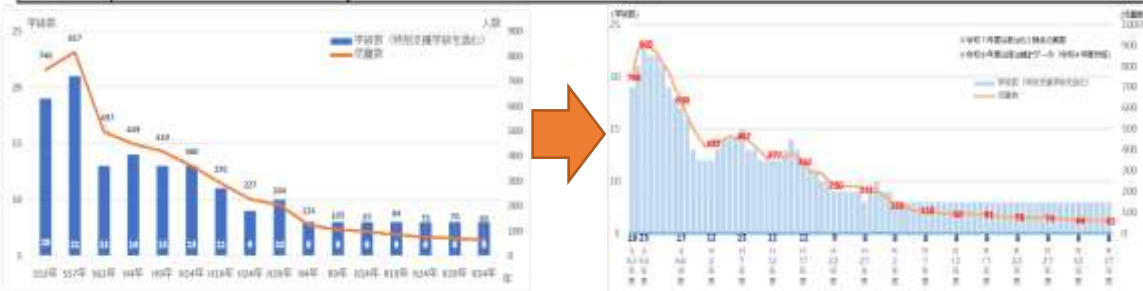
図1-1 平方北小学校の児童数・学級数の推移

修正一覧の抜粋について(その他)

ページ	修正内容	対応方法
3P	施設概要に老朽化状況を追加	基本計画P26の老朽化状況を元に以下の文言を追加。 「老朽化状況：築年数が40年以上経過しており、校舎においては屋根や屋上、外壁が広範囲に劣化している。詳細は学校施設更新計画基本計画を参照。」
全体	論点ごとに第〇回協議事項と注釈をつける	(事務局からの情報・説明)の横に、「※第〇、△回協議事項」と追記

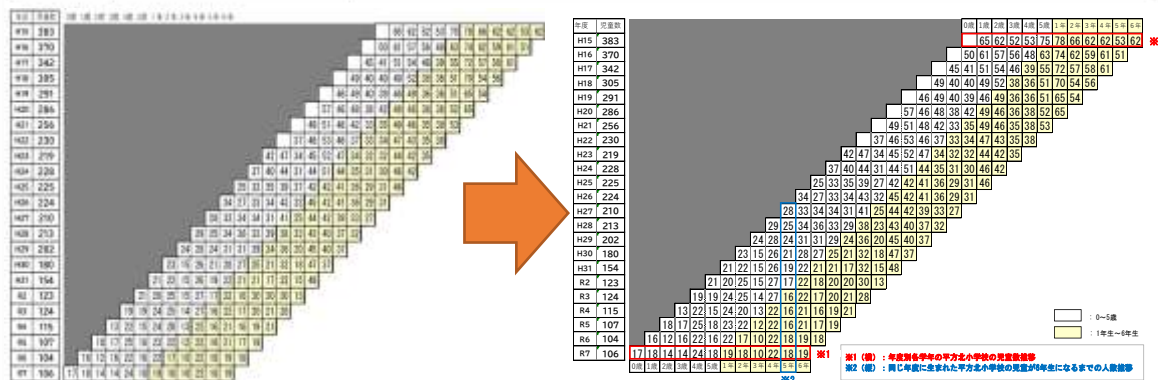
1月の確認依頼以降の変更点について

ページ	修正箇所	修正前	修正後
3P	5ページ (2) 4行目	西上尾第一団地(昭和43年)や西上尾第二団地(昭和45年)の建設に伴い、付近の児童数が増加したため、平方小学校、平方東小学校、大石南小学校の通学区を分離して、平方北小学校が開校しました。	西上尾第一団地(昭和43年)や西上尾第二団地(昭和45年)の建設に伴い、付近の児童数が増加したため、平方小学校、平方東小学校、大石南小学校の通学区を分離して、 昭和52年4月 に平方北小学校が開校しました。
3P	図1-1児童数・学級数の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・5年ごとでは図の上記に記載している文章の確認ができない。 →各年度表示し、ラベルのみ5年ごとに表示。 ・データについての注釈を追加(集計の基準日、何年から推計のデータか) 	



1月の確認依頼以降の変更点について

ページ	修正箇所	修正前	修正後
4P	図1-2 平方北小学校の児童数推計・通常学級児童数の推移	・表をどのようにみればいいのか分かりづらい→表の見方がわかる注釈を追加 ・学年や年齢のラベルを見やすい位置に移動	



1月の確認依頼以降の変更点について

ページ	修正箇所	修正前	修正後
5P	論点1 事務局からの情報・説明	○アンケート結果や国の基準、学校施設の配置状況、今後の児童生徒数の動向から子供たちの学びに望ましい学校規模を「12学級以上18学級以下（特別支援学級を除く）」と定めている。	○基本計画では、アンケート結果や国の基準、学校施設の配置状況、今後の児童生徒数の動向から子供たちの学びに望ましい学校規模を「12学級以上18学級以下（特別支援学級を除く）」と定めている。
6P	論点3 小規模校のメリット	・学習状況や学習内容の定着状況にあった、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導を受けやすい。	・学習状況や学習内容の定着状況にあった補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導を受けやすい。
8P	論点6 ○の4行目	○平方北小学校の実際の再編方法としては、平方北小学校の児童を増加させることで学校規模を適正な規模とする「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法と、逆に、平方北小学校の児童を隣接する他の学校に編入する「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法の2種類の手法が考えられる。	○平方北小学校の実際の再編方法としては、平方北小学校の児童を増加させることで学校規模を適正な規模とする「通学区域を拡大し他校の児童を平方北小学校へ編入する」手法と、逆に、平方北小学校の児童を隣接する他の学校に編入する「平方北小学校の児童が他校へ編入する」の2種類の手法が考えられる。

1月の確認依頼以降の変更点について

ページ	修正箇所	修正前	修正後
10P	論点10（シミュレーション結果）の3行目	・平方北小学校の児童の編入により、大石南小学校は10学級から12学級となり、小規模校から適正規模校になる一方で、平方小学校は10学級から11学級に増加するが、適正規模校の学級数を満たせない結果であった。また、平方東小学校は12学級から13学級となり、適正規模校を維持する結果であった。	・平方北小学校の児童の編入により、大石南小学校は10学級から12学級となり、小規模校から適正規模校になる一方で、平方小学校は10学級から11学級に増加するが、適正規模校の学級数を満たせない結果であった。また、平方東小学校は12学級から13学級となり、適正規模校の学級数を維持する結果であった。
12P	論点11 委員からの意見	◎在校生については同じ学校へ編入となるので人間関係を維持できるのが良い。	◎在校生については 全員 同じ学校へ編入となるので人間関係を維持できるのが良い。

4. まとめの内容について

1. 学校規模の適正化に関すること

- ・小規模校の良さはあるが、集団の中での切磋琢磨や多様な人間関係を保障するために、適正規模化が必要である。

2. 学校再編の方法に関すること

- ・学校規模適正化の方法としては、「通学区域を拡大し平方北小学校に児童を編入させる」手法よりも「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法の方が現実的な方法である。

3. 再編に伴う影響に関すること

- ・「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法の場合は、通学区域を分ける方が望ましいが、区域外の学校にも通学できる特例措置を設定することが望ましい。
- ・通学区域を分ける場合において、特例措置として選択できる小学校については、距離の近い学校のみ選択できる方が望ましい。また、再編時の在校生とそのきょうだい児が通う中学校については、選択制とするのが望ましい。
- ・特例措置の対象者については、再編時の在校生とそのきょうだい児に限る方が望ましい。

4. その他

- ・再編は段階的に実施するのではなく、準備ができ次第行うのが現実的である。
- ・夏場などの児童の安全性を考えた通学バスについては、学校再編の検討とは切り離し、市全体の小中学校で検討することが望ましい。

質疑応答

17

②別冊資料集について

18

別冊資料集

平方北小学校 再編検討協議会 協議報告書 別冊資料集

平方北小学校再編検討協議会の資料をとりまとめた冊子。主に、会議録、会議資料、ニュースレターなどを掲載します。

報告書にこれらの資料をつけると、ページ数が膨大になるため別冊としています。

別冊資料集の掲載内容

P1	会議録、会議資料、ニュースレター（7回分）
P247	検討協議会設置条例
P249	検討協議会委員名簿
P250	学校要覧
P254	通学区域図
P255	参考資料の紹介

質疑応答

21

平方北小学校再編検討協議会ニュースレター

No.9 令和8年3月18日発行

第9回では「平方北小学校再編検討協議会 協議報告書（案）」の修正内容を確認し、「平方北小学校再編検討協議会 別冊資料集（案）」の内容確認を行いました。

1. 協議報告書（案）の変更点について

前回からの変更点を確認し、今回の内容で教育委員会へ報告することになりました。

協議報告書のまとめ

1. 学校規模の適正化に関すること

・小規模校の良さはあるが、集団の中での切磋琢磨や多様な人間関係を保障するために、適正規模化が必要である。

2. 学校再編の方法に関すること

・学校規模適正化の方法としては、「通学区域を拡大し平方北小学校に児童を編入させる」手法よりも「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法の方が現実的な方法である。

3. 再編に伴う影響に関すること

・「平方北小学校の児童が他校へ編入する」手法の場合は、通学区域を分ける方が望ましいが、区域外の学校にも通学できる特例措置を設定することが望ましい。

・通学区域を分ける場合において、特例措置として選択できる小学校については、距離の近い学校のみ選択できる方が望ましい。また、再編時の在校生とその兄弟姉妹児が通う中学校については、選択制とするのが望ましい。

・特例措置の対象者については、再編時の在校生とその兄弟姉妹児に限る方が望ましい。

4. その他

・再編は段階的に実施するのではなく、準備ができ次第行うのが現実的である。

・夏場などの児童の安全性を考えた通学バスについては、学校再編の検討とは切り離し、市全体の小中学校で検討することが望ましい。

《委員の意見》

・（地域住民）修正点を確認したが、報告書はこちらの内容で充分伝わると思う。

2. 別冊資料集について

これまでの会議録、会議資料、ニュースレター等については、ページ数が膨大になってしまうため別冊としました。今回（第9回）の会議録・会議資料・ニュースレターを追加し、上尾市教育委員会へ報告することになりました。

会議録、会議資料、ニュースレター（全9回分）

検討協議会設置条例

検討協議会委員名簿

学校要覧

通学区域図

参考資料の紹介



《委員の意見》

・（教職員）学校要覧には職員の氏名等の個人情報が含まれているので、取り扱いについては留意して欲しい。

3.おわりに

報告書の取りまとめが終わり、後日作成する今回の会議録の完成をもって、平方北小学校再編検討協議会は終了することになりました。

未就学児保護者



- ・平方北小が上尾市では初めての再編になるので、今回の協議会のまとめが他の学校でも活かせることができればと思います。
- ・今後のこの地域のことを考える良い機会となりました。

- ・子ども達が学校生活を明るく楽しく過ごせる形を地域の方とも協力しながら、作っていききたいという気持ちになりました。
- ・他の小学校や中学校の位置関係も含めて色々知り、まわりを考えさせられる機会になって、良かったと思います。
- ・再編時の在校生が傷つかないようにしていただけたら、それが一番かなと思います。

現役保護者



- ・この協議会が始まった際に一番心配だったのが、本校の児童の心がざわざわしたりしないかなということでした。子ども達は毎日元気に登校しているので、その心配は払拭されたのかなと思います。この会議に参加して、地域の方々の色々な思いを伺うことができたことに感謝いたします。
- ・平方北小の子どもたちは本当に素直で思いやりがあり、保護者の方や地域の方達も本当に温かく、協力的です。私は平方北小学校が大好きで働けていて良かったと思っています。子どもたちを第一に話し合いが進められてよかったと思っています。

教職員



- ・何とか地域に学校が残る方法はないのかというのは、これで終わりではなくていろんな場で考えていくべきことなのかなと痛感いたしました。
- ・子どもを中心に話し合っていく場でしたので、この協議会の意見としては子どもたちの教育の豊かさを考えたら、こういった方向性になるんだということを納得しましたが、地域の資源としての学校のあり方については、今後も話し合える機会を作っていただけたら大変ありがたいと思います。
- ・各小学校にはそれぞれ良い点が沢山あります。それを知っただけでも、今回の会議に参加して大きなメリットがあったように感じております。
- ・市主導のもとに、そちらに誘導されて決まったところに落ち着くのかなと最初は思っていたのですが、そうではなくて、各関係の色々な方々の意見をまとめて、良い方向にいったと思います。

地域住民

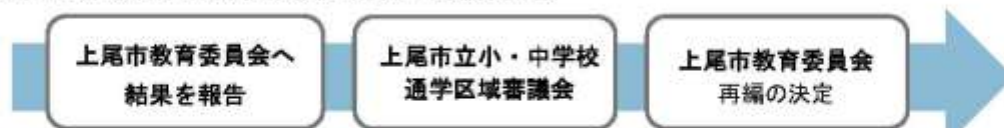


有識者



- ・この協議会を通じて、保護者の皆さん、地域の皆さんの学校に対する熱い思いがひしひしと感じられました。学校はこういったもので支えられているのだなという思いがして、公教育に携わってきた者として大変感謝しております。
- ・色々な立場の皆様から意見をいただき、この報告書が出来上がったことを大変嬉しく思います。

平方北小学校再編検討協議会終了後の流れ



保護者や地域の方々に対しては、説明会等により随時情報提供していく予定です。

発行元・連絡先・資料について

発行：上尾市教育委員会 教育総務課 新しい学校づくり推進室

〒362-8501 上尾市本町3-1-1

TEL：048-775-9469（直通）

第9回の協議会の会議録、資料は右記の二次元コードからご確認いただけます。



1. 10 検討協議会設置条例

○上尾市立平方北小学校再編検討協議会条例

令和6年3月22日条例第5号

上尾市立平方北小学校再編検討協議会条例

(設置)

第1条 上尾市学校施設更新計画基本計画（上尾市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が上尾市立小・中学校の施設の更新に関し基本的な考え方を定めた計画をいう。）に基づき、上尾市立平方北小学校（以下「平方北小学校」という。）に関する学校規模の適正化について協議し、もって子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、上尾市立平方北小学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、平方北小学校に関し、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 学校の再編に関すること。
- (2) 通学区域の編成に関すること。
- (3) 児童の安全確保に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、学校規模の適正化に関し教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 平方北小学校に在籍する児童の保護者
- (2) 平方北小学校の通学区域内に居住する未就学児童（小学校就学の始期に達するまでの子をいう。）の保護者
- (3) 平方北小学校の通学区域内に居住する者
- (4) 識見を有する者
- (5) 平方北小学校の校長及び教職員
- (6) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、委嘱され、又は任命された時における当該身分を失ったときは、その職を失う。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の会議への出席等)

第7条 協議会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係者に対して、資料の提出を求め、又は会議への出席を求めてその意見若しくは説明を聴くことができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、教育委員会事務局教育総務部において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。

(上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年上尾市条例第17号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(この条例の失効)

- 3 この条例は、協議会が平方北小学校に関する学校規模の適正化について必要な協議を終えた日と決した日の属する年度の3月31日限り、その効力を失う。

1.11 検討協議会委員名簿

区 分	氏 名	備 考
1号委員	フクシマ テイコ 福島 禎子	在籍児童保護者
	イトウ ユカ 伊藤 由佳	在籍児童保護者
	ウエムラ ユカ 上村 友佳	在籍児童保護者
2号委員	ハシムラ ノリフミ 橋村 則史	未就学児童保護者
	モトダテ ヒロキ 本館 弘貴	未就学児童保護者
	サトウ チエ 佐藤 智栄	未就学児童保護者
3号委員	ジンノ ウチ フミエ 陣 ノ内 文江	地域住民
	カワハラツカ リツオ 河原塚 律緒	地域住民
	サメジマ ノリコ 鮫嶋 紀子	地域住民
	コモリ ユキオ 小森 幸男	地域住民
	テヅカ マサヒロ 手塚 雅博	地域住民
4号委員	ナガシマ サオリ 長嶋 佐央里	聖学院大学 准教授
	アオキ カズヤ 青木 一弥	元校長
5号委員	ミカツキ ケイコ 三日月 桂子	平方北小学校 校長
	ヒロバヤシ タツヤ 廣 林 達哉	平方北小学校 教諭



令和6年度

学校番号(南部)	■■■■
学校コード番号	■■■■

学 校 要 覧



校 歌

光の道

作詞 木村 次郎
作曲 丸山 亜季

一、歌はたからか 頬はかがやき
身はかるやかに 力あふれて
むさしのの丘 風はひかり
心かよわす 友と友

空をつきさす 雑木の林
きらめききらめき 命ともえて
育ちゆくもの 北小われら
われらいまゆく 光の道を

二、太陽めぐる 地球の先に
空はかがやき 光あふれて
世界みつめる 眼はすみ
平和の声よ 友と友
空をつきさす 雑木の林
きらめききらめき 命ともえて
育ちゆくもの 北小われら
われらいまゆく 光の道を

上尾市立平方北小学校

〒362-0059
上尾市大字平方 3 6 5 7
電話 048(726)2 1 2 0
FAX 048(726)2 5 7 2
E-mail s737400@city-ageo.ed.jp

1 設置者及び管理者

(1) 設置者	上尾市	上尾市長	畠山 稔		
(2) 管理者	上尾市教育委員会	教育長	西倉 剛	教育長職務代理者	大塚 崇行
		委員	内田みどり	委員	小池 智司
		委員	谷島 大	委員	矢野 誠二

2 沿革の概要

- ・昭和52年4月1日 平方小、平方東小、大石南小の学区を分離して開校
- ・昭和52年5月4日 開校記念日に定める
- ・昭和53年3月1日 校舎落成記念式、校旗、校章制定
- ・昭和53年4月1日 学校開校
- ・昭和53年7月30日 プール完成
- ・昭和54年3月31日 校章制定
- ・昭和61年11月1日 10周年記念行事（南校香花壇造成、記念樹 キンモクセイ）
- ・昭和63年11月1日 校歌、校章、学校沿革制作
- ・平成3年2月25日 校舎改修工事完成
- ・平成3年3月20日 野島の広場完成
- ・平成4年1月27日 生活科室、ランチルーム完成
- ・平成4年3月25日 北小ギャラリー完成
- ・平成5年2月18日 第39回よい歯のコンクール努力賞
- ・平成6年2月17日 第40回よい歯のコンクール努力賞
- ・平成7年2月16日 第41回よい歯のコンクール努力賞
- ・平成7年6月9日 プール改修工事完成
- ・平成8年11月16日 20周年記念行事
- ・平成10年9月25日 コンピュータ室完成
- ・平成11年1月22日 学校安全教育優良校受賞
- ・平成11年3月30日 昇降口ホール完成
- ・平成12年3月24日 体育館ステージ裏幕新調
- ・平成12年3月27日 国際理解室整備、中国の作品展示
- ・平成12年11月17日 プール改修工事完成
- ・平成13年1月30日 市教委研究委嘱発表（算数）
- ・平成13年8月14日 創育舎完成
- ・平成15年1月21日 ハンノキ里親認定証受ける
- ・平成15年2月8日 上尾環境賞受賞
- ・平成16年2月12日 第50回学校歯科保健コンクール入選校
- ・平成16年11月30日 市教委研究委嘱発表（国語）
- ・平成17年2月10日 第51回学校歯科保健コンクール入選校
- ・平成18年2月2日 第52回学校歯科保健コンクール入選校
- ・平成18年5月 東門完成
- ・平成18年9月24日 開校30周年記念セレモニー（築山完成）
- ・平成19年11月2日 市教委研究委嘱発表（国語）
- ・平成21年1月20日 学校保健優良学校
- ・平成21年7月7日 わくわく子ども自転車体験
- ・平成22年8月 耐震工事・トイレ改修（南校舎）
- ・平成23年1月27日 市教委研究委嘱発表（算数）
- ・平成24年8月 耐震工事・トイレ改修（北校舎）
- ・平成25年11月5日 市教委研究委嘱発表（算数）
- ・平成28年11月6日 40周年記念行事
- ・平成29年2月1日 市教委委嘱研究発表（国語）
- ・令和元年6月22日 上尾環境推進大会「あけお環境賞」受賞
- ・令和元年10月25日 市教委研究委嘱発表（特別支援教育）
- ・令和2年2月2日 全国学校・園庭ビオトープコンクール2019「日本生態系協会賞」受賞
- ・令和3年2月16日 令和2年度彩の国埼玉環境大賞奨励賞
- ・令和4年2月3日 学校歯科保健コンクール入選校
- ・令和4年4月1日 「野島の広場」を「野島の森」に名称変更
- ・令和4年4月1日 開校記念日を5月2日に改定
- ・令和4年11月24日 市教委研究委嘱発表（国語・算数）

3 学校経営方針等

- (1) 学校教育目標
確かな学力・豊かな心・健やかな身体の育成
- (2) 学校経営方針
ひらきた Spirits “認め合い 助け合い 高め合い” ～ It's okay! みんなちがっていい～
- (3) 目指す児童像
○かしこい子 - 意欲をもって学ぶ子、こつこつ頑張る子
○心豊かな子 - 友達と助け合い協力する子、感謝の気持ちを忘れない子
○たくましい子 - 進んで運動する子、最後まであきらめない子
- (4) 目指す学校像
【唯一無二の存在】児童First 職員First 保護者First 地域First
○あいさつと返事が響く学校 ○感謝と自信が溢れる学校 ○保護者と地域との絆が深い学校
- (5) 目指す教職員像
○児童一人一人のよさを伸ばす教職員 ○楽しくわかる指導のできる教職員 ○保護者・地域から愛される教職員
○自らのWell-beingを体現できる教職員
- (6) 本年度の目標
～本校の課題から～
☆非認知能力の育成
・個別最適な学びと協働的な学びの一体化 ・GIGAスクール構想等と従来大切にしてきた指導との融合
・インクルーシブ教育の推進 ・開かれた学校、学級への取組の継続、HP更新、地域人材活用
◎重点目標
【非認知能力の育成 ～Grit やり抜く力、Confidence 自信、Self-control 自制心、Affirmation自己肯定感～】
★返事・あいさつの定着 ★一人一人のよさを認め、かけがえのない存在として互いを大切にできる心の育成
○基本的な生活習慣の定着
★返事・あいさつの定着 ・靴揃えの徹底
○学力の向上
★特別支援教育の視点を生かした個別最適な学びと協働的な学びの一体化
・基礎基本の定着 ・ICTを効果的に活用した授業の推進 ・かずのじかん、ことばのじかん、読書タイムの充実
○豊かな心の育成
★一人一人のよさを認め、かけがえのない存在として互いを大切にできる心の育成
・互いに尊重し、感謝の気持ちを大切にできる心の育成 ・異年齢集団活動の充実
・生徒指導・教育相談・特別支援教育における校内体制の充実
○体力向上
★外遊びの励行 ・新体力テストの検証 ・運動遊びの充実
○開かれた学校・学級に向けての取組
★地域連携の定着 ・学校運営協議会の充実 ・幼保小連携の充実 ・小中連携の充実
・外部機関との連携、地域の教育力の積極的導入 ・学校からの発信の充実 ・ゲストティーチャーの活用
○安心安全の確保
★迅速な報告、連絡、相談

挨拶 返事の定着
 一人一人のよさを認め合う指導
 ICTを効果的に活用した指導
 特別支援教育の視点を生かした個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実
 迅速な報告・連絡・相談 外遊び励行 運動の生活化
 地域連携の充実 幼保小中連携の充実

確かな学力 豊かな心
 健やかな身体

令和6年度 上尾市立平方北小学校

4 週日課表

通常日課	月	火	水	木	金	特別日課
8:15~8:20 8:20~8:25	児童登校 朝の準備・宿題提出・読書					児童登校 朝の準備・宿題提出・読書
8:25~8:35	読書	かずのじかん	フッ化物洗口	ことばのじかん	読書	8:25~8:35 朝の会
8:35~8:45	朝の会					8:35~9:20 第1校時
8:45~9:30	1	6	12	18	24	休み時間
9:30~9:40	休み時間					9:30~10:15 第2校時
9:40~10:25	2	7	13	19	25	休み時間
青空タイム(金曜は全校集会)						10:30~11:15 第3校時
10:50~11:35	3	8	14	20	26	休み時間
11:45~12:30	休み時間					11:25~12:10 第4校時
12:30~13:20	4 (1年)	9	15	21	27	12:10~12:15 帰りの連絡 12:15~13:05 給食・遊びがき 13:05~13:20 清掃
13:20~13:35	給食・遊びがきタイム					13:20~14:05 第5校時
13:35~13:50	登休み					下校・帰りの会
13:50~14:35	清掃					14:10~14:55 第6校時
14:35~14:50	5 (2~6年)	10 (1~2年)	16 (1~3年) (金曜日は4年下校)	22 (1~2年)	28 (1~3年)	15:00 下校
14:45~15:30	14:45~15:30 休憩	11 (3~6年)	17 (4~6年) (金11限・フ10限)	23 (3~6年)	29 (4~6年)	休憩 5時間授業 14:10~14:55 6時間授業 15:00~15:45
15:35	下校					休憩 学級事務
16:05	15:30~16:45 職員(帰園) ①職員会議 ②生徒指導・教育相談 特別支援委員会 ③研修 ④各種委員会	15:30~16:20 休憩				16:45
16:45	①教科・領域別会 ②教科別部会 ③学級事務 ④学級事務	16:20~16:45 ①研修 ②学級事務 ③研修 ④学級事務	16:20~16:45 ①研修 ②学級事務 ③研修 ④学級事務	16:20~16:45 教育相談日 (月1限)	16:20~16:45 学級事務	

5 学級編制

(令和6年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひかり	総計
男	9	5	14	8	8	7	4	55
女	8	5	8	10	11	11	4	57
計	17	10	22	18	19	18	8	112
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8

6 学校医氏名



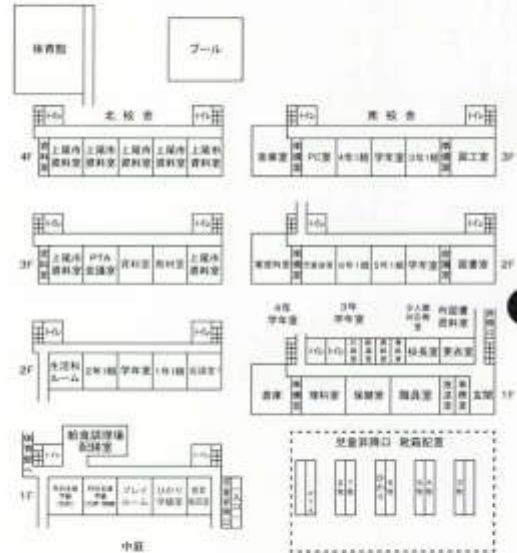
7 学校運営協議会委員



8 職員一覧表

No.	職名	氏名	担任等	校務分掌
1	校長			
2	教頭			
3	教務主任			
4	教諭			
5	教諭			
6	教諭			
7	教諭			
8	教諭			
9	教諭			
10	教諭			
11	教諭			
12	教諭			
13	教諭			
14	養護教諭			
15	事務主査			
16	小規模校対応 支援員			
17	キャリア カウンセラー			
18	栄養士			
19	業務補助員			
20	給食調理員			
21	給食調理員			
22	給食調理 業務員			
23	学校図書館 支援員			
24	A S S			
25	A S S			
26	特別支援学級 職員			
27	S S S			
28	学校ICT 支援員			
29	A L T			
30	校務員			
31	校務員			
32	校務員			
33	校務員			
34	教諭			
35	養護教諭			

9 学級等配置図



10 校地校舎平面図



11 学校区



1.14 参考資料の紹介

1) 上尾市学校施設更新計画

- 上尾市学校施設更新計画基本計画（令和5年3月改定）
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/iinkai/335591.html>
- 上尾市学校施設更新計画実施計画 第1期 令和6年～令和10年度（令和6年3月）
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/iinkai/364181.html>

2) 令和5年度実施アンケート

- 令和5年度アンケート調査実施報告書（令和6年7月）
- 1. 教育環境に関するアンケート調査報告書（令和6年7月）
- 2-2. 通学区域に関するアンケート調査報告書（令和6年7月）
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/iinkai/374401.html>